

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
 章/項番号: 3.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	3.11.1	添 3.11-2	燃料プール代替注水系(可搬型スプレィヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) により代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の水をホース及び可搬型スプレィヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。 燃料プール代替注水系(可搬型スプレィヘッド)は、第54条第2項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)から水を、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) によりホース及び可搬型スプレィヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレィすることで、燃料損傷を緩和するとともに、スプレィ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレィヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)により防火水槽の水をホース及び可搬型スプレィヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。 燃料プール代替注水系(可搬型スプレィヘッド)は、第54条第2項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により防火水槽から水を汲み上げ、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)によりホース及び可搬型スプレィヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレィすることで、燃料損傷を緩和するとともに、スプレィ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	②(水源の運用の変更)
2	3.11.1	添 3.11-2	別項目で記載されている為削除	ここで、水源である防火水槽は、淡水貯水池又は海から水を補給できる設計とする。	⑤
3	3.11.1	添 3.11-2	燃料プール代替注水系(常設スプレィヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) により代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の水をホース及び常設スプレィヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。 燃料プール代替注水系(常設スプレィヘッド)は、第54条第2項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の水を、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)により燃料プール代替注水系配管及び常設スプレィヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレィすることで、使用済燃料プール近傍へアクセスすることなく屋外からの現場操作により、燃料損傷を緩和するとともに、スプレィ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(常設スプレィヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)により防火水槽の水をホース及び常設スプレィヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。 燃料プール代替注水系(常設スプレィヘッド)は、第54条第2項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により防火水槽の水を汲み上げ、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)により燃料プール代替注水系配管及び常設スプレィヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレィすることで、使用済燃料プール近傍へアクセスすることなく屋外からの現場操作により、燃料損傷を緩和するとともに、スプレィ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	②(水源の運用の変更)
4	3.11.1	添 3.11-4	使用済燃料プールの水位が著しく低下した場合に、ステンレス鋼板を用いて使用済燃料プール水の漏えいを緩和するとともに使用済燃料プールの水位低下を緩和する。 ステンレス鋼板は、寸法400mm×400mm、厚さ5mm、重量約10kgの仕様のも を使用済燃料プールの設置される原子炉建屋地上4階 [※] に保管する。(※保管場所は運用を考慮し今後変更となる場合がある。)	使用済燃料プールの水位が著しく低下した場合に、ステンレス鋼板を用いて使用済燃料プール水の漏えいを緩和するとともに使用済燃料プールの水位低下を緩和する。 ただし、この手段では漏えいを緩和できない場合があること、重いステンレス鋼板を使用するため作業効率が悪いことから、今後得られた知見を参考に、より効果的な漏えい緩和策を取り入れていく。	②(補修用鋼板仕様明記)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
5	3.11.1	添 3.11-4	また、代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の淡水が枯渇した場合の海水の利用手段として、以下を整備する。	また、複数の代替淡水源(防火水槽、淡水貯水池)の淡水が枯渇した場合の海水の利用手段として、以下を整備する。	②(水源の運用の変更)
6	3.11.1	添 3.11-4	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)及び燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の水源である代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の淡水が枯渇した場合において、防潮堤の内側に設置している取水路より、大容量送水車(海水取水用)を用いて可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)に海水を直接送水を行う設計とする。なお、海の利用については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備(設置許可基準規則第56条に対する設計方針を示す章)」で示す。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)並びに燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の水源である複数の代替淡水源(防火水槽、淡水貯水池)の淡水が枯渇した場合において、防潮堤の内側に設置している海水取水箇所(取水路)より、大容量送水車(海水取水用)を用いて防火水槽への供給又は可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)に海水を直接送水を行う設計とする。なお、海の利用については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備(設置許可基準規則第56条に対する設計方針を示す章)」で示す。	②(水源の運用の変更)
7	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-5	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、設計基準対象施設である残留熱除去系(使用済燃料プール水の冷却及び注水機能)及び燃料プール冷却浄化系(使用済燃料プール水の冷却機能)の有する使用済燃料プールの冷却及び注水機能が喪失した場合、また、通常時における使用済燃料プールへの補給水の供給設備である復水補給水系が有する補給機能が喪失した場合に、この機能を代替し、使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷、臨界の防止及び放射線の遮蔽を目的として使用する。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、設計基準対象施設である残留熱除去系(使用済燃料プール水の冷却及び注水機能)及び燃料プール冷却浄化系(使用済燃料プール水の冷却機能)の有する使用済燃料プールの冷却及び注水機能が喪失した場合に、この機能を代替し、使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷、臨界の防止及び放射線の遮蔽を目的として設置するものである。	②(MUWC機能喪失)
8	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-5	本系統は、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、計測制御装置、水源である代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)、流路であるホース、可搬型スプレイヘッド、注入先である使用済燃料プール、及び燃料補給設備である軽油タンク、タンクローリ(4kL)等から構成される。	本系統は、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)、計測制御装置、及び水源である複数の代替淡水源(防火水槽及び淡水貯水池)、流路であるホース、可搬型スプレイヘッド、注入先である使用済燃料プール、燃料補給設備である軽油タンク、タンクローリ(4kL)等から構成される。	②(水源の運用の変更)
9	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-5	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により水源である代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の水をホース及び可搬型スプレイヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、第54条第1項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)により防火水槽の水をホース及び可搬型スプレイヘッドを経由して使用済燃料プールへ注水することで使用済燃料プールの水位を維持可能な設計とする。	②(水源の運用の変更)
10	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-5	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、第54条第2項対応の場合、水源である代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)の水を可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型注水ポンプ(A-2級)又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)によりホース及び可搬型スプレイヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレイすることで、燃料損傷を緩和するとともに、スプレイ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は、第54条第2項対応の場合、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)により防火水槽の水を汲み上げ、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)又は(A-2級)によりホース及び可搬型スプレイヘッドを経由して使用済燃料に直接スプレイすることで、燃料損傷を緩和するとともに、スプレイ水の放射性物質叩き落としの効果により、環境への放射性物質放出を可能な限り低減可能な設計とする。	②(水源の運用の変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-5	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とし、燃料は燃料補給設備である軽油タンク及びタンクローリ(4kl)により補給できる設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、駆動源である軽油を、軽油タンクからタンクローリ(4kl)を介し給油できる設計とする。 水源である防火水槽は、淡水貯水池からホースを經由して補給できる設計とする。	⑤
12	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.2	添 3.11-6			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
13	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.2	添 3.11-7	<p>「電算設備については 1.1.14 電算設備 設計要件可基準地震動レベルに相当する 設計方針を必ず遵守」で設計。 「計測設備については 1.1.13 計測設備 設計要件可基準地震動レベルに相当する 設計方針を必ず遵守」で設計。</p>	<p>「電算設備については 1.1.14 電算設備 設計要件可基準地震動レベルに相当する 設計方針を必ず遵守」で設計。 「計測設備については 1.1.13 計測設備 設計要件可基準地震動レベルに相当する 設計方針を必ず遵守」で設計。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
14	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.1	添 3.11-8	<p>表 3.11-1 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 可搬型スプレイヘッド 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源^{※1}</td> <td>防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給 設備を含 む)</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^{※2}</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：水源については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備（設置許可基準規則第 56 条に対する設計方針を示す章）」で示す。 ※2：主要設備を用いた使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷を緩和，臨界防止及び放射線の遮蔽対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態計装設備については「3.15 計装設備（設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 可搬型スプレイヘッド 【可搬】	附属設備	—	水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】	流路	ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】	注水先	使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】	電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	<p>表 3.11-1 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 可搬型スプレイヘッド 【可搬型】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源^{※1}</td> <td>防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール 【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給 設備を含 む)</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^{※2}</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：水源については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備（設置許可基準規則第 56 条に対する設計方針を示す章）」で示す。 ※2：主要設備を用いた使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷緩和，臨界防止及び放射線の遮蔽対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態計装設備については「3.15 計装設備（設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 可搬型スプレイヘッド 【可搬型】	附属設備	—	水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】	流路	ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】	注水先	使用済燃料プール 【常設】	電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	⑤
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 可搬型スプレイヘッド 【可搬】																																				
附属設備	—																																				
水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】																																				
流路	ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】																																				
注水先	使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】																																				
電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 可搬型スプレイヘッド 【可搬型】																																				
附属設備	—																																				
水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】																																				
流路	ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】																																				
注水先	使用済燃料プール 【常設】																																				
電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.2	添 3.11-9	(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6 号及び 7 号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 168m ³ /h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : 1 (予備 1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 146kW	(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6 号及び 7 号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 168m ³ /h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 1 (予備 1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 160kW	②(最高使用温度の見直し)
16	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.2	添 3.11-9	(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (6 号及び 7 号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 120m ³ /h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : 16 (予備 1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに 5 号炉東側第二保管場所 原動機出力 : 100kW	(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (6 号及び 7 号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 120m ³ /h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 4 (2/プラント) (予備 5) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 110kW	②(最高使用温度の見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
17	3.11.2 3.11.2.1 3.11.2.1.2	添 3.11-9	(3) 可搬型スプレイヘッド 最高使用温度：40℃ 数量：1 (予備 1) 設置場所：原子炉建屋 地上4階 保管場所：原子炉建屋 地上3階	(3) 可搬型スプレイヘッド 最高使用温度：100℃ 数量：1 (予備 1) 設置場所：二次格納施設内 地上4階 保管場所：二次格納施設内 地上3階及び4階	②(最高使用温度の見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-10	<p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管し、重大事故等時に原子炉建屋の接続口付近の屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-2に示す設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に保管し、重大事故等時に原子炉建屋の接続口付近の屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-2に示す設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に保管し、重大事故等時に原子炉建屋の接続口付近の屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-2に示す設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の操作は、付属の操作スイッチにより、想定される重大事故等時において設置場所から可能な設計とする。風(台風)による荷重については、転倒しないことの確認を行っているが、詳細評価により転倒する結果となった場合は、転倒防止措置を講じる。積雪の影響については、適切に除雪する運用とする。また、降水及び凍結により機能を損なうことのないよう、防水対策が取られた可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を使用し、凍結のおそれがある場合は暖気運転を行い凍結対策とする。</p> <p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型スプレイヘッドは原子炉建屋原子炉区域内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における原子炉建屋原子炉区域内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-3に示す設計とする。</p>	<p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、屋外に設置している設備であることから、想定される重大事故等時における屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-2に示す設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型スプレイヘッドは二次格納施設内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における二次格納施設内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-3に示す設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、屋外で可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)の操作スイッチで操作可能な設計とする。また、風(台風)による荷重については、転倒しないことの確認を行っているが、詳細評価により転倒する結果となった場合は、転倒防止措置を講じる。積雪の影響については、適切に除雪する運用とする。降水及び凍結により機能を損なわないよう防水対策及び凍結対策を行う。</p> <p>(54-3-2~10)</p>	<p>①(TBP対応に伴う保管場所の追加)</p> <p>⑤</p>
19	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-12	<p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、接続口まで屋外のアクセスルートを通行してアクセス可能な設計とするともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p>	<p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、接続口まで移動可能な車両設計とするともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p>	<p>⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
20	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-13	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級) は, 表3.11-5に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能確認, 弁動作試験, 分解検査, 外観検査が可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は, 表3.11-5に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能確認, 弁動作試験, 分解検査, 外観検査が可能な設計とする。	⑤
21	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-13	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)のホース及び可搬型スプレイヘッドは, 発電用原子炉の運転中又は停止中に外観検査により機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂, 腐食等がないことの確認が可能な設計とする。	ホース及び可搬型スプレイヘッドは, 外観検査により機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂, 腐食等がないことの確認が可能な設計とする。	⑤
22	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-13	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の 可搬型スプレイヘッド は, 発電用原子炉の運転中又は停止中に通気により, つまり等がないことの確認が可能な設計とする。(54-5)	可搬型スプレイヘッドは, 通気により, つまり等がないことの確認が可能な設計とする。(54-5-2,3)	⑤
23	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-14	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は, 想定される重大事故等時において, 他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。 重大事故等への対処以外に通常時に使用する設備でないことから, 図3.11-3で示すタイムチャートのとおり系統の 切替え は発生しない。(54-4)	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)は, 重大事故等への対処以外に通常時に使用する設備でないことから, 図3.11-3で示すタイムチャートのとおり系統の切り替えは発生しない。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-15	<p><使用済燃料プールへ注水する場合></p> <p>図 3.11-3 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)のタイムチャート(1/2)*</p>	<p><使用済燃料プールへ注水する場合></p> <p>図 3.11-3 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)のタイムチャート(1/2)*</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
25	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-16	<p><使用済燃料プールヘスプレイする場合></p> <p>図 3.11-3 燃料プール代替注水系 (可搬型スプレィヘッド) のタイムチャート(2/2)*</p> <p>* : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての 1. 11 で示すタイムチャート</p>	<p><使用済燃料プールヘスプレイする場合></p> <p>図 3.11-3 燃料プール代替注水系 (可搬型スプレィヘッド) のタイムチャート(2/2)*</p> <p>* : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての 1. 11 で示すタイムチャート</p>	⑤
26	3.11.2.1.3 3.11.2.1.3.1	添 3.11-17	<p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 飛散物となって他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	新規追加の為記載なし	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	3.11.2.1.4	添 3.11-19	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能又は注水機能が喪失する事故シーケンスのうち、使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能が喪失することにより、使用済燃料プール内の水の温度が上昇し、蒸発により水位が低下する事故及びサイフォン現象等により使用済燃料プール内の水の小規模な喪失が発生し、使用済燃料プールの水位が低下する事故において、有効性が確認されている45m ³ /hで注水可能な設計とする。	新規追加文書の為記載なし	⑤
28	3.11.2.1.4	添 3.11-19	使用済燃料プールに注水する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は、使用済燃料プールに注水する場合の水源(淡水貯水池)と注水先(使用済燃料プール)の圧力差、静水頭、機器圧損、配管、ホース及び弁類圧損を考慮し、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の組合せ又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)で注水流量45m ³ /h達成可能な設計とする。	新規追加文書の為記載なし	⑤
29	3.11.2.1.4	添 3.11-19	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、想定される重大事故等時において、使用済燃料プール内燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な注水流量を有するものとして、可搬型スプレーヘッダを使用する場合は、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)を1セット1台及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット3台、又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット4台使用する。保有数は、6号及び7号炉共用で可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の場合に4セット16台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計17台、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)の場合に6号及び7号炉共用で1セット1台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計2台を分散して保管する。	新規追加文書の為記載なし	⑤
30	3.11.2.1.4	添 3.11-19	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、使用済燃料貯蔵槽からの大量の水の漏えいその他の要因により当該使用済燃料貯蔵槽の水位が異常に低下した場合において、有効性が確認されている46m ³ /hでスプレー可能な設計とする。	新規追加文書の為記載なし	⑤
31	3.11.2.1.4	添 3.11-19, 20	使用済燃料プールにスプレーする場合の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は、使用済燃料プールにスプレーする場合の水源(淡水貯水池)とスプレー先(使用済燃料プール)の圧力差、静水頭、機器圧損、配管、ホース及び弁類圧損を考慮し、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の組合せ又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)でスプレー量46m ³ /h達成可能な設計とする。	新規追加文書の為記載なし	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
32	3.11.2.1.4	添 3.11-20	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、想定される重大事故等時において、使用済燃料プール内燃料体等を冷却し、放射線を遮蔽し、及び臨界を防止するために必要な注水流量を有するものとして、可搬型スプレイヘッドを使用する場合は、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)を1セット1台及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット3台、又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット4台使用する。保有数は、6号及び7号炉共用で可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の場合に4セット16台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計17台、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)の場合に6号及び7号炉共用で1セット1台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計2台を分散して保管する。	新規追加文書の為記載なし	⑤
33	3.11.2.1.4	添 3.11-20	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から来るホースと接続口、並びに可搬型スプレイヘッドの接続箇所は、簡便な接続方式である結合金具による接続にすることに加え、接続口の口径を65Aに統一し、75A/65Aの接続治具を配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。また、6号及び7号炉が相互に使用することができるよう、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)からくるホースと接続口について、ホースと接続口を簡便な接続方式である結合金具による接続にすることに加え、接続口の口径を65Aに統一し、75A/65Aの接続治具を配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。(54-7)	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)の起動及びホースの接続作業は、仮に線量が高い場合は線源からの離隔距離をとること、線量を測定し線量が低い位置に配置することにより、これら設備の設置及び常設設備との接続が可能である。また、現場での接続作業にあたっては、簡便な結合金具による接続方式により、確実に速やかに接続が可能である。 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、現場での据え付け後は、現場での操作が不要な設計とする。また、可搬型スプレイヘッドの設置場所への据え付けが困難な環境時に備え、常設スプレイヘッドを設ける。(54-7-2~5)	⑤
34	3.11.2.1.4	添 3.11-22	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し、燃料プール冷却浄化系ポンプ、残留熱除去系ポンプと位置的分散を図り、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は、発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)の複数箇所に分散して保管し、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)並びに5号炉東側第二保管場所の複数箇所に分散して保管する。	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し、燃料プール冷却浄化系ポンプ、残留熱除去系ポンプと位置的分散を図り、発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)に複数箇所に分散して保管する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																								
35	3.11.2.1.4	添 3.11-22	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は、通常時は高台の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に分散して保管し、燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、通常時は高台の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に分散して保管しており、想定される重大事故等が発生した場合においても、可搬型重大事故等対処設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する設計とする。、『可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて』参照)	燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、通常時は高台に保管しており、想定される重大事故等が発生した場合においても、可搬型重大事故等対処設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する設計とする。、『可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて』参照)	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)																																																																																																																																								
36	3.11.2.1.4	添 3.11-24	<p>表 3.11-7 多様性又は多重性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>燃料プール冷却浄化系</th> <th>残留熱除去系(燃料プール冷却モード)</th> <th>残留熱除去系(燃料プール注水モード)</th> <th>燃料プール代替注水系</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注水端</td> <td colspan="3">使用済燃料プールディフューザ</td> <td>可搬型スプレイヘッド</td> <td>常設スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>駆動用空気</td> <td colspan="3">不要</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td>潤滑油</td> <td colspan="3">不要(内包油)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td colspan="2">残留熱除去系ポンプ</td> <td colspan="2">可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋 地上2階</td> <td colspan="2">原子炉建屋 地下3階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水</td> <td colspan="2">6号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系(7号炉は不要)</td> <td>原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td colspan="2">使用済燃料プール</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> <td colspan="2">代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源</td> <td colspan="2">原子炉建屋 地上4階</td> <td>原子炉建屋 地下3階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td colspan="3">非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動電源</td> <td colspan="3">原子炉建屋 地上1階</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準対象施設			重大事故等対処設備		燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系(燃料プール冷却モード)	残留熱除去系(燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系		注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド	駆動用空気	不要			不要		潤滑油	不要(内包油)			不要		ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)		原子炉建屋 地上2階	原子炉建屋 地下3階		屋外		冷却水	6号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系(7号炉は不要)		原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系	不要		使用済燃料プール		サブプレッション・チェンバ	代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)		水源	原子炉建屋 地上4階		原子炉建屋 地下3階	屋外		非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)			不要		駆動電源	原子炉建屋 地上1階			不要		<p>表 3.11-7 多様性又は多重性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>燃料プール冷却浄化系</th> <th>残留熱除去系(燃料プール冷却モード)</th> <th>残留熱除去系(燃料プール注水モード)</th> <th>燃料プール代替注水系</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注水端</td> <td colspan="3">使用済燃料プールディフューザ</td> <td>可搬型スプレイヘッド</td> <td>常設スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>駆動用空気</td> <td>計装用圧縮空気系</td> <td colspan="2">不要</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td>潤滑油</td> <td colspan="3">不要(内包油)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td colspan="2">残留熱除去系ポンプ</td> <td colspan="2">可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋 地上2階</td> <td colspan="2">原子炉建屋 地下3階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水</td> <td colspan="2">6号炉は原子炉補機冷却系(7号炉は不要)</td> <td>原子炉補機冷却系</td> <td colspan="2">不要(自滑水)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">使用済燃料プール</td> <td colspan="2">代替淡水源又は海水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源</td> <td colspan="2">原子炉建屋 地上4階</td> <td>原子炉建屋 地下3階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td colspan="3">非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)</td> <td colspan="2">エンジン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動電源</td> <td colspan="3">原子炉建屋の二次格納施設外 地上1階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準対象施設			重大事故等対処設備		燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系(燃料プール冷却モード)	残留熱除去系(燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系		注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド	駆動用空気	計装用圧縮空気系	不要		不要		潤滑油	不要(内包油)			不要		ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)		原子炉建屋 地上2階	原子炉建屋 地下3階		屋外		冷却水	6号炉は原子炉補機冷却系(7号炉は不要)		原子炉補機冷却系	不要(自滑水)		使用済燃料プール			代替淡水源又は海水		水源	原子炉建屋 地上4階		原子炉建屋 地下3階	屋外		非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)			エンジン		駆動電源	原子炉建屋の二次格納施設外 地上1階			屋外		②(MUWC機能喪失)
項目	設計基準対象施設				重大事故等対処設備																																																																																																																																								
	燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系(燃料プール冷却モード)	残留熱除去系(燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系																																																																																																																																									
注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド																																																																																																																																								
駆動用空気	不要			不要																																																																																																																																									
潤滑油	不要(内包油)			不要																																																																																																																																									
ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)																																																																																																																																									
	原子炉建屋 地上2階	原子炉建屋 地下3階		屋外																																																																																																																																									
冷却水	6号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系(7号炉は不要)		原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系	不要																																																																																																																																									
	使用済燃料プール		サブプレッション・チェンバ	代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)																																																																																																																																									
水源	原子炉建屋 地上4階		原子炉建屋 地下3階	屋外																																																																																																																																									
	非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)			不要																																																																																																																																									
駆動電源	原子炉建屋 地上1階			不要																																																																																																																																									
	項目	設計基準対象施設			重大事故等対処設備																																																																																																																																								
燃料プール冷却浄化系		残留熱除去系(燃料プール冷却モード)	残留熱除去系(燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系																																																																																																																																									
注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド																																																																																																																																								
駆動用空気	計装用圧縮空気系	不要		不要																																																																																																																																									
潤滑油	不要(内包油)			不要																																																																																																																																									
ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)																																																																																																																																									
	原子炉建屋 地上2階	原子炉建屋 地下3階		屋外																																																																																																																																									
冷却水	6号炉は原子炉補機冷却系(7号炉は不要)		原子炉補機冷却系	不要(自滑水)																																																																																																																																									
	使用済燃料プール			代替淡水源又は海水																																																																																																																																									
水源	原子炉建屋 地上4階		原子炉建屋 地下3階	屋外																																																																																																																																									
	非常用交流電源設備(非常用ディーゼル発電機)			エンジン																																																																																																																																									
駆動電源	原子炉建屋の二次格納施設外 地上1階			屋外																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	3.11.2.2 3.11.2.2.1	添 3.11-25	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)は, 設計基準対象施設である残留熱除去系(使用済燃料プール水の冷却及び注水機能)及び燃料プール冷却浄化系(使用済燃料プール水の冷却機能)の有する使用済燃料プールの冷却及び注水機能が喪失した場合, また, 通常時における使用済燃料プールへの補給水の供給設備である復水補給水系が有する補給機能が喪失した場合に, この機能を代替し, 使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷, 臨界の防止及び放射線の遮蔽を目的として使用する。	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)は, 設計基準対象施設である残留熱除去系(使用済燃料プール水の冷却及び注水機能)及び燃料プール冷却浄化系(使用済燃料プール水の冷却機能)の有する使用済燃料プールの冷却及び注水機能が喪失した場合に, この機能を代替し, 使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷, 臨界の防止及び放射線の遮蔽を目的として設置するものである。	②(MUWC機能喪失)
38	3.11.2.2 3.11.2.2.1	添 3.11-25	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とし, 燃料は燃料補給設備である軽油タンク及びタンクローリ(4kL)により補給できる設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は, 駆動源である軽油を, 軽油タンクからタンクローリ(4kL)を介し給油できる設計とする。 水源である防火水槽は, 淡水貯水池からホースを經由して補給できる設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	3.11.2.2.2	添 3.11-26			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
40	3.11.2.2.2	添 3.11-27			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
41	3.11.2.2.2	添 3.11-29	<p>3.11.2.2.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6号及び7号炉共用) 種類 : <u>5寸巻形</u> 容量 : 168m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : 1 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 146kW</p> <p>(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (6号及び7号炉共用) 種類 : <u>5寸巻形</u> 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : <u>16 (予備 1)</u> 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所 原動機出力 : 100kW</p>	<p>3.11.2.2.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) (6号及び7号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 168m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 1 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 160kW</p> <p>(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (6号及び7号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 4 (2/プラント) (予備 5) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 110kW</p>	<p>① (TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
42	3.11.2.2.2	添 3.11-28	<p>表 3.11-8 燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)に関する 重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 常設スプレイヘッド 【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源^{※1}</td> <td>防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給 設備を含 む)</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^{※2}</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 水源については「3.13 重大事故等の取束に必要となる水の供給設備 (設置許可基準規則第 56 条に対する設計方針を示す章)」で示す。 ※2: 主要設備を用いた使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷を緩和, 臨界防止及び放射線の遮蔽対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態 計装設備については「3.15 計装設備 (設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 常設スプレイヘッド 【常設】	附属設備	—	水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】	流路	ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】	注水先	使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】	電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	<p>表 3.11-8 燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)に関する 重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 常設スプレイヘッド 【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源^{※1}</td> <td>防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール 【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給 設備を含 む)</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^{※2}</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 水源については「3.13 重大事故等の取束に必要となる水の供給設備 (設置許可基準規則第 56 条に対する設計方針を示す章)」で示す。 ※2: 主要設備を用いた使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷緩和, 臨界防止及び放射線の遮蔽対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態 計装設備については「3.15 計装設備 (設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 常設スプレイヘッド 【常設】	附属設備	—	水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】	流路	ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】	注水先	使用済燃料プール 【常設】	電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	⑤
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 常設スプレイヘッド 【常設】																																				
附属設備	—																																				
水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】																																				
流路	ホース・接続口 【可搬】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】																																				
注水先	使用済燃料プール (サイフォン防止機能を含む) 【常設】																																				
電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 【可搬型】 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬型】 常設スプレイヘッド 【常設】																																				
附属設備	—																																				
水源 ^{※1}	防火水槽 【常設】 淡水貯水池 【常設】																																				
流路	ホース・接続口 【可搬型】 燃料プール代替注水系 配管・弁 【常設】																																				
注水先	使用済燃料プール 【常設】																																				
電源設備 (燃料補給 設備を含 む)	燃料補給設備 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備 ^{※2}	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
43	3.11.2.2.2	添 3.11-29	<p>3.11.2.2.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1級) (6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 168m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : 1 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 146kW</p> <p>(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力: 2.0MPa[gage] 最高使用温度: 60℃ 個数 : 16 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側 第二保管場所 原動機出力 : 100kW</p> <p>(3) 常設スプレイヘッド 最高使用温度: 66℃ 数量 : 1 取付箇所 : 原子炉建屋 地上4階</p> <p>なお, 水源については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (設置許可基準規則第56条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	<p>3.11.2.2.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 可搬型代替注水ポンプ (A-1級) (6号及び7号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 168m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 1 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 160kW</p> <p>(2) 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (6号及び7号炉共用) 種類 : ターボ形 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力: 2.0MPa 最高使用温度: 40℃ 個数 : 4 (2/プラント) (予備5) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 110kW</p> <p>(3) 常設スプレイヘッド 最高使用温度: 66℃ 数量 : 1 取付箇所 : 原子炉建屋 地上4階</p> <p>なお, 水源については「3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (設置許可基準規則第56条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	<p>① (TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-30	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管し、重大事故等時に原子炉建屋の接続口付近の屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-9に示す設計とする。 燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に保管し、重大事故等時に原子炉建屋の接続口付近の屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-9に示す設計とする。	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、屋外に設置している設備であることから、想定される重大事故等時における屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能が有効に発揮することができるよう、以下の表3.11-9に示す設計とする。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤
45	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-30	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の操作は、付属の操作スイッチにより、想定される重大事故等時において設置場所から可能な設計とする。風(台風)による荷重については、転倒しないことの確認を行っているが、詳細評価により転倒する結果となった場合は、転倒防止措置を講じる。積雪の影響については、適切に除雪する運用とする。また、降水及び凍結により機能を損なうことのないよう、防水対策が取られた可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を使用し、凍結のおそれがある場合は暖気運転を行い凍結対策とする。(54-3,54-4)	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、屋外で可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)の操作スイッチで操作可能な設計とする。また、風(台風)による荷重については、転倒しないことの確認を行っているが、詳細評価により転倒する結果となった場合は、転倒防止措置を講じる。積雪の影響については、適切に除雪する運用とする。降水及び凍結により機能を損なわないよう防水対策及び凍結対策を行う。(54-3-2,11~14)	⑤
46	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-32	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)については、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)付属の操作スイッチからのスイッチ操作で起動する設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)については、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)操作盤の操作スイッチからのスイッチ操作で起動する設計とする。	⑤
47	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-32	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、接続口まで屋外のアクセラートを通行してアクセス可能な設計とするともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は、接続口まで移動可能な車両設計とするともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。	⑤
48	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-33	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、表3.11-12に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に、機能・性能確認、弁動作試験、分解検査、外観検査が可能な設計とする。	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)は、表3.11-12に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に、機能・性能確認、弁動作試験、分解検査、外観検査が可能な設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-33	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)のホース及び常設スプレイヘッドは、発電用原子炉の運転中又は停止中に外観検査により機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。	ホース及び常設スプレイヘッドは、外観検査により機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。	⑤
50	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-33	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の常設スプレイヘッドは、発電用原子炉の運転中又は停止中に通気により、つまり等がないことの確認が可能な設計とする。(54-5)	常設スプレイヘッドは、通気により、つまり等がないこと、及び閉止栓を取り付けての通水により漏えいの確認が可能な設計とする。(54-5-2,3)	⑤
51	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-35	<p><使用済燃料プールへ注水する場合></p> <p>図 3.11-6 燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)のタイムチャート(1/2)*</p>	<p><使用済燃料プールへ注水する場合></p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
52	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-35	<p><使用済燃料プールヘスプレイする場合></p> <p>図 3.11-6 燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッド）の タイムチャート(2/2)*</p> <p>*: 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての 1. 11 で示すタイムチャート</p>	<p><使用済燃料プールヘスプレイする場合></p> <p>図 3.11-6 燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッド）によるタイムチャート*</p> <p>*: 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての 1. 11 で示すタイムチャート</p>	⑤
53	3.11.2.2.3 3.11.2.2.3.1	添 3.11-37	<p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、飛散物となって他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
54	3.11.2.2.4	添 3.11-38	<p>3.11.2.2.4 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針 (I) 容量(設置許可基準規則第43条第2項一) (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッダ)の常設スプレイヘッダは、流路として、燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッダ)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)が、第54条第1項及び第2項対応の場合に、必要な注水流量又はスプレイ量を発揮する為に必要な容量を有する設計としている。これらの詳細については、3.11.2.2.5項に記載のとおりである。</p>	—	⑤
55	3.11.2.2.4	添 3.11-39	<p>3) 設計基準事故対処設備との多様性(設置許可基準規則第43条第2項三) (i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性, 位置的分散, 悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッダ)の常設スプレイヘッダは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能, 使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、燃料プール冷却浄化系ポンプ, 残留熱除去系ポンプと表3.11-14で示すとおり位置的分散を図るとともに、可能な限りの多様性を備えた設計とする。</p>	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																													
56	3.11.2.2.4	添 3.11-40	<p>表 3.11-14 多様性又は多重性, 位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">重大事故等対応設備</th> </tr> <tr> <th>燃料プール冷却浄化系</th> <th>残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)</th> <th>残留熱除去系 (燃料プール注水モード)</th> <th colspan="2">燃料プール代替注水系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注水端</td> <td colspan="3">使用済燃料プールディフューザ</td> <td>可搬型スプレイヘッド</td> <td>常設スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>駆動用空気</td> <td colspan="3">不要</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td>潤滑油</td> <td colspan="3">不要 (内包油)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td colspan="2">残留熱除去系ポンプ</td> <td colspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び可搬型注水ポンプ (A-2 級)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋 地上 2 階</td> <td colspan="2">原子炉建屋 地下 3 階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>6 号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系 (7 号炉は不要)</td> <td colspan="3">原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源</td> <td colspan="2">使用済燃料プール</td> <td>サプレッション・チェンバ</td> <td colspan="2">代替淡水源 (淡水貯水池及び防火水槽)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉建屋 地上 4 階</td> <td>原子炉建屋 地下 3 階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動電源</td> <td colspan="3">非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原子炉建屋 地上 1 階</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準対象施設			重大事故等対応設備		燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)	残留熱除去系 (燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系		注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド	駆動用空気	不要			不要		潤滑油	不要 (内包油)			不要		ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び可搬型注水ポンプ (A-2 級)		原子炉建屋 地上 2 階	原子炉建屋 地下 3 階		屋外		冷却水	6 号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系 (7 号炉は不要)	原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系			不要	水源	使用済燃料プール		サプレッション・チェンバ	代替淡水源 (淡水貯水池及び防火水槽)		原子炉建屋 地上 4 階		原子炉建屋 地下 3 階	屋外		駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)			不要		原子炉建屋 地上 1 階			不要		<p>表 3.11-14 多様性又は多重性, 位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">重大事故等対応設備</th> </tr> <tr> <th>燃料プール冷却浄化系</th> <th>残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)</th> <th colspan="2">燃料プール代替注水系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注水端</td> <td colspan="2">使用済燃料プールディフューザ</td> <td>可搬型スプレイヘッド</td> <td>常設スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td>駆動用空気</td> <td>計装用圧縮空気系</td> <td>不要</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td>潤滑油</td> <td colspan="2">不要 (内包油)</td> <td colspan="2">不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> <td colspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び (A-2 級)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋 地上 2 階</td> <td>原子炉建屋 地下 3 階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>6 号炉は原子炉補機冷却</td> <td>原子炉補機冷却系</td> <td colspan="2">不要 (自滑水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源</td> <td colspan="2">使用済燃料プール</td> <td colspan="2">代替淡水源又は海水</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉建屋 地上 4 階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> <tr> <td>駆動電源</td> <td colspan="2">非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td colspan="2">エンジン</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">原子炉建屋の二次格納施設外 地上 1 階</td> <td colspan="2">屋外</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準対象施設		重大事故等対応設備		燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)	燃料プール代替注水系		注水端	使用済燃料プールディフューザ		可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド	駆動用空気	計装用圧縮空気系	不要	不要		潤滑油	不要 (内包油)		不要		ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び (A-2 級)		原子炉建屋 地上 2 階	原子炉建屋 地下 3 階	屋外		冷却水	6 号炉は原子炉補機冷却	原子炉補機冷却系	不要 (自滑水)		水源	使用済燃料プール		代替淡水源又は海水		原子炉建屋 地上 4 階		屋外		駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)		エンジン			原子炉建屋の二次格納施設外 地上 1 階		屋外		② (MUWC機能喪失)
項目	設計基準対象施設				重大事故等対応設備																																																																																																																													
	燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)	残留熱除去系 (燃料プール注水モード)	燃料プール代替注水系																																																																																																																														
注水端	使用済燃料プールディフューザ			可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド																																																																																																																													
駆動用空気	不要			不要																																																																																																																														
潤滑油	不要 (内包油)			不要																																																																																																																														
ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ		可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び可搬型注水ポンプ (A-2 級)																																																																																																																														
	原子炉建屋 地上 2 階	原子炉建屋 地下 3 階		屋外																																																																																																																														
冷却水	6 号炉は原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系 (7 号炉は不要)	原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系			不要																																																																																																																													
水源	使用済燃料プール		サプレッション・チェンバ	代替淡水源 (淡水貯水池及び防火水槽)																																																																																																																														
	原子炉建屋 地上 4 階		原子炉建屋 地下 3 階	屋外																																																																																																																														
駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)			不要																																																																																																																														
	原子炉建屋 地上 1 階			不要																																																																																																																														
項目	設計基準対象施設		重大事故等対応設備																																																																																																																															
	燃料プール冷却浄化系	残留熱除去系 (燃料プール冷却モード)	燃料プール代替注水系																																																																																																																															
注水端	使用済燃料プールディフューザ		可搬型スプレイヘッド	常設スプレイヘッド																																																																																																																														
駆動用空気	計装用圧縮空気系	不要	不要																																																																																																																															
潤滑油	不要 (内包油)		不要																																																																																																																															
ポンプ	燃料プール冷却浄化系ポンプ	残留熱除去系ポンプ	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級) 及び (A-2 級)																																																																																																																															
	原子炉建屋 地上 2 階	原子炉建屋 地下 3 階	屋外																																																																																																																															
冷却水	6 号炉は原子炉補機冷却	原子炉補機冷却系	不要 (自滑水)																																																																																																																															
水源	使用済燃料プール		代替淡水源又は海水																																																																																																																															
	原子炉建屋 地上 4 階		屋外																																																																																																																															
駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)		エンジン																																																																																																																															
	原子炉建屋の二次格納施設外 地上 1 階		屋外																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
57	3.11.2.2.5	添 3.11-41、42	<p>燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 第54条第1項及び第2項対応の場合に, 必要な注水流量又はスプレイ量を有する設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 使用済燃料貯蔵槽の冷却機能又は注水機能が喪失する事故シーケンスのうち, 使用済燃料プールの冷却機能又は注水機能が喪失することにより, 使用済燃料プール内の水の温度が上昇し, 蒸発により水位が低下する事故及びサイフォン現象等により使用済燃料プール内の水の小規模な喪失が発生し, 使用済燃料プールの水位が低下する事故において, 有効性が確認されている45m³/hで注水可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料プールに注水する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は, 使用済燃料プールに注水する場合の水源(淡水貯水池)と注水先(使用済燃料プール)の圧力差, 静水頭, 機器圧損, 配管, ホース及び弁類圧損を考慮し, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の組合せ又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)で注水流量45m³/h確保可能な設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 想定される重大事故等時において, 使用済燃料プール内燃料体等を冷却し, 放射線を遮蔽し, 及び臨界を防止するために必要な注水流量を有するものとして, 常設スプレイヘッドを使用する場合は, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)を1セット1台及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット3台, 又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット4台使用する。保有数は, 6号及び7号炉共用で可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の場合に4セット16台に加えて, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計17台, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)の場合に6号及び7号炉共用で1セット1台に加えて, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計2台を分散して保管する。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 使用済燃料貯蔵槽からの大量の水の漏えいその他の要因により当該使用済燃料貯蔵槽の水位が異常に低下した場合において, 有効性が確認されている132m³/hから147m³/hでスプレイ可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料プールにスプレイする場合の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)の揚程は, 使用済燃料プールにスプレイする場合の水源(淡水貯水池)とスプレイ先(使用済燃料プール)の圧力差, 静水頭, 機器圧損, 配管, ホース及び弁類圧損を考慮し, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の組合せでスプレイ量132 m³/hから147m³/h達成可能な設計とする。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 想定される重大事故等時において, 使用済燃料プール内燃料体等の損傷を緩和し, 及び臨界を防止するために必要なスプレイ流量を有するものとして, 常設スプレイヘッドを使用する場合は, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)を1セット1台及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を1セット3台使用する。保有数は6号及び7号炉共用で可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の場合に1セット3台に加えて, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計4台, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)の場合に6号及び7号炉共用で1セット1台に加えて, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計2台を分散して保管する。</p>	<p>燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は, 第54条第1項及び第2項対応の場合に, 必要な注水流量又はスプレイ量を有する設計とする。</p> <p>燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 第54条第1項対応の場合に, 必要な注水流量を有する設計とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
58	3.11.2.2.5	添 3.11-43	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の接続が困難な場合に備え, 燃料プール代替注水系(可搬型スプレイヘッド)を設ける。	—	⑤
59	3.11.2.2.5	添 3.11-43, 44	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 地震, 津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響, 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し, 燃料プール冷却浄化系ポンプ, 残留熱除去系ポンプと位置的分散を図り, 可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は, 発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)の複数箇所に分散して保管し, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)並びに5号炉東側第二保管場所の複数箇所に分散して保管する。	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は, 地震, 津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響, 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し, 燃料プール冷却浄化系ポンプ, 残留熱除去系ポンプと位置的分散を図り, 発電所敷地内の高台(大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所)に複数箇所に分散して保管する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤
60	3.11.2.2.5	添 3.11-44	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)の可搬型代替注水ポンプ(A-1級)は, 通常時は高台の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に分散して保管し, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 通常時は高台の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に分散して保管しており, 想定される重大事故等が発生した場合においても, 可搬型重大事故等対処設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう, 迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する設計とする。(『可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて』参照)	燃料プール代替注水系(常設スプレイヘッド)である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)は, 通常時は高台に保管しており, 想定される重大事故等が発生した場合においても, 可搬型重大事故等対処設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう, 迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する設計とする。(『可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて』参照)	①(TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
61	3.11.2.3 3.11.2.3.1	添 3.11-46	<p>燃料プール冷却浄化系は、燃料プール冷却浄化系ポンプ、燃料プール冷却浄化系熱交換器、電源設備(常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備)、計測制御装置及び、流路である燃料プール冷却浄化系の配管及び弁から構成される。</p> <p>本系統は使用済燃料プールの水を燃料プール冷却浄化系ポンプにより燃料プール冷却浄化系熱交換器等を経由して循環させることで、使用済燃料プールを冷却できる設計とする。</p> <p>燃料プール冷却浄化系で使用する代替原子炉補機冷却系は、代替原子炉補機冷却水ポンプ及び熱交換器を搭載した熱交換器ユニット、大容量送水車(熱交換器ユニット用)、電源設備(可搬型代替交流電源設備)、計測制御装置、流路である原子炉補機冷却系の配管及び弁、ホース、海水貯留堰、スクリーン室、取水路、及び燃料補給設備である軽油タンク、タンクローリ(4kL)等から構成される。</p> <p>熱交換器ユニットは、海水を冷却源としたプレート式熱交換器と代替原子炉補機冷却水ポンプで構成され、移動可能とするために熱交換器及び代替原子炉補機冷却水ポンプは車両に搭載する設計とする。</p> <p>大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、海を水源とし、熱交換器ユニットの熱交換器に送水することで、熱交換後の海水を海へ排水する。また、熱交換器ユニットの海水側配管及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)の異物混入による機能低下を防ぐために、代替原子炉補機冷却海水ストレーナを設置する。</p> <p>熱交換器ユニットと大容量送水車(熱交換器ユニット用)を含む海水側配管は、ホースを接続することで流路を構成できる設計とする。また、熱交換器ユニットの淡水側配管については、ホースを熱交換器ユニットとタービン建屋の接続口に接続することで流路を構成できる設計とする。</p> <p>代替原子炉補機冷却系の全体構成としては、熱交換器ユニットの代替原子炉補機冷却水ポンプにより、大容量送水車(熱交換器ユニット用)を用いて除熱された系統水を接続口を介して原子炉補機冷却系に送水し、燃料プール冷却浄化系熱交換器で熱交換を行う系統設計とする。熱交換後の系統水は、原子炉補機冷却系から接続口及びホースを介し、熱交換器ユニットに戻る構成とし、熱交換器で除熱された系統水は再び原子炉補機冷却系を通じて燃料プール冷却浄化系熱交換器に送水される。代替原子炉補機冷却系は、上記の循環冷却ラインを形成することで、系統水を除熱する。</p>	<p>燃料プール冷却浄化系は、重大事故等時に設計基準事故対処設備である原子炉補機冷却系の復旧ができず、使用済燃料プールの冷却機能が喪失した場合においても、代替原子炉補機冷却系を用いて、使用済燃料プール内に貯蔵する使用済燃料から発生する崩壊熱を除熱することを目的として設ける系統である。</p> <p>本系統は、使用済燃料を直接冷却する冷却水が流れる一次系、一次系の冷却水と熱交換後の熱を最終ヒートシンクとなる海水へ移送する代替原子炉補機冷却系から構成される。</p> <p>本系統の一次系は、電動ポンプ及び熱交換器等から構成され、使用済燃料プールからスキマせきを越えてスキマサージタンクに流出する冷却水を、電動ポンプにより熱交換器へ送水することで冷却し、再び使用済燃料プールへ戻す循環冷却ラインを形成する。</p> <p>代替原子炉補機冷却系は、熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)等から構成され、熱交換器ユニットの淡水側において、一次系と熱交換を行った系統水を熱交換器ユニットにより冷却及び送水し、再び一次系との熱交換を行う循環冷却ラインを形成し、熱交換器ユニットの海水側において、大容量送水車(熱交換器ユニット用)により海水を取水し、熱交換器ユニットに送水することで淡水側との熱交換を行い、熱交換後の系統水を海へ排水する。ここで、熱交換器ユニットの淡水側は、ホースを熱交換器ユニットとタービン建屋の接続口に接続することで流路を構成し、熱交換器ユニットの海水側は、熱交換器ユニット、大容量送水車(熱交換器ユニット用)等をホースで接続することで流路を構成する設計とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
62	3.11.2.3 3.11.2.3.1	添 3.11-46	燃料プール冷却浄化系で使用する代替原子炉補機冷却系は、熱交換器ユニットの淡水側において、燃料プール冷却浄化系熱交換器で熱交換を行った系統水を熱交換器ユニットにより冷却及び送水し、再び燃料プール冷却浄化系熱交換器で熱交換を行う循環冷却ラインを形成し、熱交換器ユニットの海水側において、大容量送水車(熱交換器ユニット用)により海水を取水し、熱交換器ユニットに送水することで淡水側との熱交換を行い、熱交換後の系統水を海へ排水する。	熱交換器ユニットの海水側において、大容量送水車(熱交換器ユニット用)により海水を取水し、熱交換器ユニットに送水することで淡水側との熱交換を行い、熱交換後の系統水を海へ排水する。	⑤
63	3.11.2.3 3.11.2.3.1	添 3.11-47	大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、ディーゼルエンジンにより駆動できる設計とし、燃料は燃料補給設備である軽油タンク及びタンクローリ(4ki)により補給できる設計とする。	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
64	3.11.2.3 3.11.2.3.1	添 3.11-50	<p>表 3.11-15 燃料プール冷却浄化系に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>水源^①</td> <td>非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備^② (燃料補給設備を含む。)</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^③</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】	附属設備	代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】	水源 ^①	非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】	流路	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】	注水先	使用済燃料プール【常設】	電源設備 ^② (燃料補給設備を含む。)	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】	計装設備 ^③	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】	<p>表 3.11-15 燃料プール冷却浄化系に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>水源^①</td> <td>使用済燃料プール【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】 海水貯留堰 スクリーン室 取水路</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>使用済燃料プール【常設】</td> </tr> <tr> <td>電源設備^② (燃料補給設備を含む。)</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン 発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二 ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び 第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備^③</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】	附属設備	代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】	水源 ^①	使用済燃料プール【常設】	流路	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】 海水貯留堰 スクリーン室 取水路	注水先	使用済燃料プール【常設】	電源設備 ^② (燃料補給設備を含む。)	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン 発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二 ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び 第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】	計装設備 ^③	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】	<p>②(第二ガスタービン発電機の自主設備化) ⑤</p>
設備区分	設備名																																				
主要設備	燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】																																				
附属設備	代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】																																				
水源 ^①	非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】																																				
流路	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】																																				
注水先	使用済燃料プール【常設】																																				
電源設備 ^② (燃料補給設備を含む。)	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】																																				
計装設備 ^③	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	燃料プール冷却浄化系ポンプ【常設】 燃料プール冷却浄化系 熱交換器【常設】 熱交換器ユニット【可搬】 大容量送水車(熱交換器ユニット用)【可搬】																																				
附属設備	代替原子炉補機冷却海水ストレーナ【可搬】																																				
水源 ^①	使用済燃料プール【常設】																																				
流路	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 配管・弁【常設】 燃料プール冷却浄化系 スキマサージタンク【常設】 燃料プール冷却浄化系 ディフューザ【常設】 ホース【可搬】 海水貯留堰 スクリーン室 取水路																																				
注水先	使用済燃料プール【常設】																																				
電源設備 ^② (燃料補給設備を含む。)	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン 発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二 ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び 第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】																																				
計装設備 ^③	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)【常設】																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	3.11.2.3.2	添 3.11-51	<p>(1) 燃料プール冷却浄化系ポンプ 種類 : うず巻形 (6号炉), ターボ形 (7号炉) 容量 : 250m³/h/台 全揚程 : 80m 最高使用圧力 : 1.57MPa[gage] 最高使用温度 : 66℃ 77℃ (重大事故等時における使用時の値) 個数 : 1 (予備1) 取付箇所 : 原子炉建屋 地上2階 原動機出力 : 90kW (6号炉), 110kW (7号炉)</p> <p>* : 6号炉は代替循環冷却系と同時に使用する場合を除く。</p> <p>(2) 燃料プール冷却浄化系 熱交換器 個数 : 2 伝熱容量 : 約 1.9MW/基 (海水温度 30℃において)</p> <p>(3) 熱交換器ユニット (6号及び7号炉共用) 個数 : 4式 (予備1) 最高使用圧力 : 淡水側 1.37MPa[gage]/海水側 1.4MPa[gage] 最高使用温度 : 淡水側 70 又は 90℃/海水側 80 又は 50℃ 淡水側 70 又は 90℃/海水側 80 又は 40℃ 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</p> <p>熱交換器 伝熱容量 : 約 23 MW/式 (海水温度 30℃において) 伝熱面積 : 約 8 m²/式 約 8 m²/式</p> <p>代替原子炉補機冷却水ポンプ 種類 : うず巻形 容量 : 300 m³/h/台 600 m³/h/台 揚程 : 75m 最高使用圧力 : 1.37MPa[gage] 最高使用温度 : 70℃ 原動機出力 : 110kW</p>	<p>(1) 燃料プール冷却浄化系ポンプ 種類 : うず巻形 (6号炉), ターボ形 (7号炉) 容量 : 250m³/h/台 全揚程 : 80m 最高使用圧力 : 1.56MPa[gage] 最高使用温度 : 66℃ 個数 : 1 (予備1) 取付箇所 : 原子炉建屋 地上2階 原動機出力 : 90kW (6号炉), 110kW (7号炉)</p> <p>(2) 燃料プール冷却浄化系 熱交換器 個数 : 2 伝熱容量 : 約 1.9MW/基 (海水温度 30℃において)</p> <p>(3) 熱交換器ユニット (6号及び7号炉共用) 容量 : 約 23 MW/式 (海水温度 30℃において) 伝熱面積 : 約 8 m²/式 約 8 m²/式 最高使用圧力 : 淡水側 1.37MPa[gage]/海水側 1.4MPa[gage] 最高使用温度 : 淡水側 70 又は 90℃/海水側 80 又は 50℃ 淡水側 70 又は 90℃/海水側 80 又は 40℃ 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 個数 : 3^{※1} 1^{※1} (予備1) ※1 6号及び7号炉の必要数はそれぞれ2とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
66	3.11.2.3.2	添 3.11-52	(4) 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) (6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 900m ³ /h/台 吐出圧力 : 1.25MPa[gage] 最高使用圧力 : 1.3MPa[gage] 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 4 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 蒸気側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : <input type="text"/> kW	(4) 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) (6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 900m ³ /h/台 吐出圧力 : 1.25MPa[gage] 最高使用圧力 : 1.3MPa[gage] 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 4 ^{※1} (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 蒸気側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機の出力 : <input type="text"/> kW ※1 6号及び7号炉の必要数はそれぞれ2とする。	⑤
67	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-53	燃料プール冷却浄化系ポンプの操作は、想定される重大事故等時において、中央制御室の操作スイッチから遠隔操作可能な設計とする。	燃料プール冷却浄化系ポンプの操作は、中央制御室の操作スイッチから遠隔操作可能な設計とする。	⑤
68	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-54	表3.11-16 想定する環境条件及び荷重条件 (燃料プール冷却浄化系ポンプ及び燃料プール冷却浄化系熱交換器)	表3.11-16 燃料プール冷却浄化系ポンプ及び熱交換器において想定する環境条件及び荷重条件	⑤
69	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-54	表3.11-17 想定する環境条件及び荷重条件 (熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用))	表3.11-17 熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)において想定する環境条件及び荷重条件	⑤
70	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-55	燃料プール冷却浄化系ポンプの起動は、中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。また、系統構成に必要な弁は、中央制御室の操作スイッチによる操作又は設置場所での手動操作が可能な設計とする。中央制御室の操作スイッチを操作するにあたり、運転員のアクセス性、操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また、操作対象については銘板をつけることで識別可能とし、運転員の操作及び監視性を考慮して確実に操作が可能な設計とする。	燃料プール冷却浄化系ポンプの起動は、中央制御室において、操作盤上での操作が可能な設計とする。また、系統構成に必要な弁操作は、中央制御室での操作が可能な設計とする。中央制御室の操作スイッチを操作するにあたり、運転員のアクセス性、操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また、操作対象については銘板をつけることで識別可能とし、運転員の操作及び監視性を考慮して確実に操作できる設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
71	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-55	代替原子炉補機冷系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は, タービン建屋外部に設置している接続口まで屋外のアクセスルートを通行してアクセス可能な設計とするとともに, 設置場所であるタービン建屋脇にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。ホースの接続作業に当たっては, 特殊な工具, 及び技量は必要とせず, 簡便な結合金具による接続方式及びフランジ接続方式並びに一般的な工具を使用することにより, 確実に接続が可能な設計とする。	代替原子炉補機冷系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は, タービン建屋外部に設置している接続口まで車両による運搬が可能な設計とする。また, 設置場所であるタービン建屋脇にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。ホースの接続作業にあたっては, 特殊な工具, 及び技量は必要とせず, 簡便な結合金具による接続方式及びフランジ接続方式並びに一般的な工具を使用することにより, 確実に接続が可能な設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																
72	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-56	<p>表 3.11-18 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)</td><td>起動・停止</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)</td><td>起動・停止</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上2階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上2階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>熱交換器ユニット</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>代替原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>大容量送水車(熱交換器ユニット用)</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>熱交換器ユニット流量調整弁</td><td>弁閉→弁開</td><td>熱交換器ユニット内</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>代替冷却水供給止め弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>タービン建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>代替冷却水戻り止め弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>タービン建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>常用冷却水供給側分離弁(A)</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>常用冷却水戻り側分離弁(A)</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁</td><td>弁開→弁調整開</td><td>原子炉建屋地上中3階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(6号炉の)</td><td>弁開→弁調整開</td><td>原子炉建屋地上中3階</td><td>手動操作</td></tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作	熱交換器ユニット	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	代替原子炉補機冷却水ポンプ	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	熱交換器ユニット流量調整弁	弁閉→弁開	熱交換器ユニット内	手動操作	代替冷却水供給止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作	代替冷却水戻り止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作	残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	常用冷却水供給側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	常用冷却水戻り側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作	格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階	手動操作	格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(6号炉の)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階	手動操作	<p>表 3.11-18 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)</td><td>起動・停止</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)</td><td>起動・停止</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上2階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上2階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>熱交換器ユニット</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>代替原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>大容量送水車(熱交換器ユニット用)</td><td>起動・停止</td><td>タービン建屋脇</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>熱交換器ユニット流量調整弁</td><td>弁閉→弁開</td><td>熱交換器ユニット内</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>代替冷却水供給止め弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>タービン建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>代替冷却水戻り止め弁(A)</td><td>弁閉→弁開</td><td>タービン建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁</td><td>弁閉→弁開</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>常用冷却水供給側分離弁(A)</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>常用冷却水戻り側分離弁(A)</td><td>弁開→弁閉</td><td>中央制御室</td><td>スイッチ操作</td></tr> <tr><td>可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁</td><td>弁開→弁閉</td><td>原子炉建屋地上1階</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁</td><td>弁開→弁調整開</td><td>原子炉建屋地上中3階(6号炉)</td><td>手動操作</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(7号炉)</td><td></td><td>原子炉建屋地上中4階(7号炉)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作	熱交換器ユニット	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	代替原子炉補機冷却水ポンプ	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作	熱交換器ユニット流量調整弁	弁閉→弁開	熱交換器ユニット内	手動操作	代替冷却水供給止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作	代替冷却水戻り止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作	残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作	常用冷却水供給側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	常用冷却水戻り側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作	可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作	格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階(6号炉)	手動操作	格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(7号炉)		原子炉建屋地上中4階(7号炉)		⑤
			機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																																																																																																																																																															
燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																																																																																		
熱交換器ユニット	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
代替原子炉補機冷却水ポンプ	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
大容量送水車(熱交換器ユニット用)	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
熱交換器ユニット流量調整弁	弁閉→弁開	熱交換器ユニット内	手動操作																																																																																																																																																																																		
代替冷却水供給止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
代替冷却水戻り止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
常用冷却水供給側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
常用冷却水戻り側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階	手動操作																																																																																																																																																																																		
格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(6号炉の)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階	手動操作																																																																																																																																																																																		
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)	起動・停止	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第一入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器第二入口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口弁	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(A)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器バイパス弁(B)	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																																																																																		
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																																																																																		
熱交換器ユニット	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
代替原子炉補機冷却水ポンプ	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
大容量送水車(熱交換器ユニット用)	起動・停止	タービン建屋脇	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
熱交換器ユニット流量調整弁	弁閉→弁開	熱交換器ユニット内	手動操作																																																																																																																																																																																		
代替冷却水供給止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
代替冷却水戻り止め弁(A)	弁閉→弁開	タービン建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁	弁閉→弁開	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
常用冷却水供給側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
常用冷却水戻り側分離弁(A)	弁開→弁閉	中央制御室	スイッチ操作																																																																																																																																																																																		
可燃性ガス濃度制御系室空調機(A)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作																																																																																																																																																																																		
格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上中3階(6号炉)	手動操作																																																																																																																																																																																		
格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(7号炉)		原子炉建屋地上中4階(7号炉)																																																																																																																																																																																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																							
73	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-58	<table border="1"> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>原子炉建屋地上1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>弁開→弁閉</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>弁開→弁調整開</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> </table>	可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作	格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上3階	手動操作	燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作	非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上3階	手動操作	残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地下3階	手動操作	高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地下3階	手動操作	高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地下3階	手動操作	原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作	原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作	原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作	原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	弁開→弁閉	コントロール建屋地下2階	手動操作	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	弁開→弁閉	コントロール建屋地下2階	手動操作	格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上3階	手動操作	残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地下3階	手動操作	<table border="1"> <tr> <td>非常用ガス処理系室空調機(A)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室空調機(A)出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(A)冷却水出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(A)メカニカルシール冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール浄化系ポンプ室空調機出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール浄化系ポンプ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ室空調機出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(A)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(D)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(A)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(D)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>サージタンク(A)換気空調補機非常用冷却水系側出口弁</td> <td>原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)</td> <td>原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>代替冷却水供給第二止め弁(B)</td> <td>タービン建屋地上1階</td> <td>タービン建屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>代替冷却水戻り第二止め弁(B)</td> <td>タービン建屋地上1階</td> <td>タービン建屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁</td> <td>原子炉建屋地下2階</td> <td>中央制御室</td> </tr> </table>	非常用ガス処理系室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	残留熱除去系ポンプ室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ(A)冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ(A)メカニカルシール冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	サブプレッションプール浄化系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	サブプレッションプール浄化系ポンプ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	原子炉隔離時冷却系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	原子炉補機冷却水系ポンプ(A)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却水系ポンプ(D)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	原子炉補機冷却海水ポンプ(A)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却海水ポンプ(D)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	サージタンク(A)換気空調補機非常用冷却水系側出口弁	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	代替冷却水供給第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	代替冷却水戻り第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁	原子炉建屋地下2階	中央制御室	⑤
可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上1階	手動操作																																																																																																																									
格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上3階	手動操作																																																																																																																									
燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																									
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																									
燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上2階	手動操作																																																																																																																									
非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地上3階	手動操作																																																																																																																									
残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁調整開	原子炉建屋地下3階	手動操作																																																																																																																									
高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地下3階	手動操作																																																																																																																									
高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	弁開→弁閉	原子炉建屋地下3階	手動操作																																																																																																																									
原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作																																																																																																																									
原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作																																																																																																																									
原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作																																																																																																																									
原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	弁開→弁閉	タービン建屋地下1階	手動操作																																																																																																																									
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	弁開→弁閉	コントロール建屋地下2階	手動操作																																																																																																																									
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	弁開→弁閉	コントロール建屋地下2階	手動操作																																																																																																																									
格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地上3階	手動操作																																																																																																																									
残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	弁開→弁調整開	原子炉建屋地下3階	手動操作																																																																																																																									
非常用ガス処理系室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																										
残留熱除去系ポンプ室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
残留熱除去系ポンプ(A)冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
残留熱除去系ポンプ(A)メカニカルシール冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
サブプレッションプール浄化系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
サブプレッションプール浄化系ポンプ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
原子炉隔離時冷却系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																										
原子炉補機冷却水系ポンプ(A)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																										
原子炉補機冷却水系ポンプ(D)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																										
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																										
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																										
原子炉補機冷却海水ポンプ(A)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																										
原子炉補機冷却海水ポンプ(D)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																										
サージタンク(A)換気空調補機非常用冷却水系側出口弁	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)																																																																																																																										
代替冷却水供給第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階																																																																																																																										
代替冷却水戻り第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階																																																																																																																										
残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁	原子炉建屋地下2階	中央制御室																																																																																																																										
74	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-59	燃料プール冷却浄化系は, 表3.11-19に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験, 弁動作試験, 分解検査, 外観検査が可能な設計とする。	燃料プール冷却浄化系は, 表3.11-19に示すように発電用原子炉の運転中に機能・性能試験と弁動作試験を, 発電用原子炉の停止中に機能・性能試験と分解検査, 外観検査が可能な設計とする。	⑤																																																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																													
75	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-59	燃料プール冷却浄化系ポンプは、発電用原子炉の 運転中又は停止中 にケーシングカバーを取り外して、ポンプ部品(主軸, 軸受, 羽根車等)の状態を確認する分解検査が可能な設計とする。	燃料プール冷却浄化系ポンプは、発電用原子炉の停止中にケーシングカバーを取り外して、ポンプ部品(主軸, 軸受, 羽根車等)の状態を確認する分解検査が可能な設計とする。	⑤																													
76	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-59	燃料プール冷却浄化系熱交換器は、発電用原子炉の 運転中又は停止中 の試験・検査として、鏡板を取り外すことで内部構成部品の状態を試験及び目視により確認する分解検査が可能な設計とする。	燃料プール冷却浄化系熱交換器は、発電用原子炉の停止中の試験・検査として、鏡板を取り外すことで内部構成部品の状態を試験及び目視により確認する分解検査が可能な設計とする。	⑤																													
77	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-59	<p>表 3.11-19 燃料プール冷却浄化系の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能, 漏えいの確認</td> </tr> <tr> <td>弁動作試験</td> <td>弁開閉動作の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>分解検査</td> <td>ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>ポンプ及び熱交換器外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認	弁動作試験	弁開閉動作の確認	運転中又は停止中	分解検査	ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認	外観検査	ポンプ及び熱交換器外観の確認	<p>表 3.11-19 燃料プール冷却浄化系の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能, 漏えいの確認</td> </tr> <tr> <td>弁動作試験</td> <td>弁開閉動作の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>運転性能, 漏えいの確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>外観検査</td> <td>ポンプ及び熱交換器外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認	弁動作試験	弁開閉動作の確認	停止中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認	分解検査	ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認	停止中	外観検査	ポンプ及び熱交換器外観の確認	⑤
発電用原子炉の状態	項目	内容																																
運転中又は停止中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認																																
	弁動作試験	弁開閉動作の確認																																
運転中又は停止中	分解検査	ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認																																
	外観検査	ポンプ及び熱交換器外観の確認																																
発電用原子炉の状態	項目	内容																																
運転中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認																																
	弁動作試験	弁開閉動作の確認																																
停止中	機能・性能試験	運転性能, 漏えいの確認																																
	分解検査	ポンプ及び熱交換器内部構成部品部品の表面状態を, 試験及び目視により確認																																
停止中	外観検査	ポンプ及び熱交換器外観の確認																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
78	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-61	<p>※1 炉心の著しい損傷が発生した場合において代替原子炉補機冷却系を設置する場合、作業時の並びによる影響を低減するため、緊急時対策要員を2班体制とし、交替して対応する。</p> <p>図 3.11-9 燃料プール冷却浄化系のタイムチャート*</p> <p>*:「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.11で示すタイムチャート(代替原子炉補機冷却系については代替循環冷却系使用時における原子炉補機冷却系による補機冷却水供給と同様の手順となることから1.5で示すタイムチャートを示す)</p>	<p>図 3.11-9 燃料プール冷却浄化系のタイムチャート*</p> <p>*:「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.11で示すタイムチャート(代替原子炉補機冷却系については代替循環冷却系使用時における原子炉補機冷却系による補機冷却水供給と同様の手順となることから1.5で示すタイムチャートを示す)</p>	⑤
79	3.11.2.2.1 3.11.2.3.3.1	添 3.11-62	燃料プール冷却浄化系ポンプ及び燃料プール冷却浄化系熱交換器は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	燃料プール冷却浄化系ポンプ及び熱交換器は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用可能な設計とする。	⑤
80	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-62	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニットと大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、通常時は代替冷却水供給止め弁及び代替冷却水戻り止め弁を表3.11-21で示すとおり閉運用しておくことで、接続先の系統と分離した状態で保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない運用とする。	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニットと大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、通常時は代替冷却水供給止め弁及び代替冷却水戻り止め弁を表3.11-21で示す通り閉運用しておくことで、接続先の系統と分離された状態で保管する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
81	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-62	<p>代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は, 治具や輪留めによる固定等を行うことで, 他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。 熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は, 飛散物となつて他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>なお, 熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は, 想定される重大事故等時において, 燃料プール冷却浄化系による使用済燃料プールの除熱と残留熱除去系による発電用原子炉若しくは原子炉格納容器内の除熱又は代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱を同時に使用するため, 各系統の必要な除熱量を同時に確保できる容量を有する設計とする。</p>	新規追加文書の為 記載なし	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後			変更前			変更理由
82	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-64	格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	原子炉建屋地上中3階	原子炉建屋地上中3階	表 3.11-22 操作対象機器設置場所			⑤
			格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上中3階	原子炉建屋地上中3階	機器名称	設置場所	操作場所	
			燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系過脱塩器第一入口弁	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			非常用ガス処理系室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	燃料プール冷却浄化系過脱塩器第二入口弁	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			残留熱除去系ポンプ室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	燃料プール冷却浄化系過脱塩器出口弁	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			残留熱除去系ポンプ(A)冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	燃料プール冷却浄化系過脱塩器バイパス弁(A)	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			残留熱除去系ポンプ(A)メカニカルシール冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	燃料プール冷却浄化系過脱塩器バイパス弁(B)	原子炉建屋地上2階	中央制御室	
			サブプレッションプール浄化系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	
			サブプレッションプール浄化系ポンプ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	
			原子炉隔離時冷却系ポンプ室空調機出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	熱交換器ユニット	タービン建屋脇	タービン建屋脇	
			原子炉補機冷却水系ポンプ(A)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	代替原子炉補機冷却水ポンプ	タービン建屋脇	タービン建屋脇	
			原子炉補機冷却水系ポンプ(D)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	タービン建屋脇	タービン建屋脇	
			換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	熱交換器ユニット流量調整弁	熱交換器ユニット内	熱交換器ユニット内	
			換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(C)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	代替冷却水供給止め弁(A)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	
			原子炉補機冷却海水ポンプ(A)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	代替冷却水戻り止め弁(A)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	
						残留熱除去系熱交換器(A)冷却水出口弁	原子炉建屋地下2階	中央制御室	
						常用冷却水供給側分離弁(A)	原子炉建屋地下2階	中央制御室	
						常用冷却水戻り側分離弁(A)	原子炉建屋地下2階	中央制御室	
			可燃性ガス濃度制御室空調機(A)出口弁	原子炉建屋地上1階	原子炉建屋地上1階				
			格納容器雰囲気モニタラック(A)出口弁	原子炉建屋地上中3階(6号炉)	原子炉建屋地上中3階(6号炉)				
				原子炉建屋地上中4階(7号炉)	原子炉建屋地上中4階(7号炉)				
			格納容器内雰囲気モニタ系(A)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上中3階	原子炉建屋地上中3階				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																														
83	3.11.2.3.3 3.11.2.3.3.1	添 3.11-65	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サージタンク(A)換気空調補機 非常用冷却水系側出口弁</td> <td>原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)</td> <td>原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>代替冷却水供給第二止め弁(B)</td> <td>タービン建屋地上1階</td> <td>タービン建屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>代替冷却水戻り第二止め弁(B)</td> <td>タービン建屋地上1階</td> <td>タービン建屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁</td> <td>原子炉建屋地下2階</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>常用冷却水供給側分離弁(B)</td> <td>原子炉建屋地下2階</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>常用冷却水戻り側分離弁(B)</td> <td>原子炉建屋地下2階</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上1階</td> <td>原子炉建屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	サージタンク(A)換気空調補機 非常用冷却水系側出口弁	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	代替冷却水供給第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	代替冷却水戻り第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階	残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁	原子炉建屋地下2階	中央制御室	常用冷却水供給側分離弁(B)	原子炉建屋地下2階	中央制御室	常用冷却水戻り側分離弁(B)	原子炉建屋地下2階	中央制御室	可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上1階	原子炉建屋地上1階	格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)</td> <td>原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> <td>原子炉建屋地上2階</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)</td> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>タービン建屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> <td>コントロール建屋地下2階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> <td>原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> </tbody> </table>	格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)	原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)	燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階	非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階	格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階	残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階	⑤
機器名称	設置場所	操作場所																																																																																																																																	
サージタンク(A)換気空調補機 非常用冷却水系側出口弁	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)	原子炉建屋地上4階(6号炉) 原子炉建屋地上2階(7号炉)																																																																																																																																	
代替冷却水供給第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階																																																																																																																																	
代替冷却水戻り第二止め弁(B)	タービン建屋地上1階	タービン建屋地上1階																																																																																																																																	
残留熱除去系熱交換器(B)冷却水出口弁	原子炉建屋地下2階	中央制御室																																																																																																																																	
常用冷却水供給側分離弁(B)	原子炉建屋地下2階	中央制御室																																																																																																																																	
常用冷却水戻り側分離弁(B)	原子炉建屋地下2階	中央制御室																																																																																																																																	
可燃性ガス濃度制御系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上1階	原子炉建屋地上1階																																																																																																																																	
格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																																	
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																																	
格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
格納容器内雰囲気モニタ系ラック(B)出口弁	原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)	原子炉建屋地上3階(6号炉) 原子炉建屋地上中4階(7号炉)																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)出口弁	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上2階	原子炉建屋地上2階																																																																																																																																	
非常用ガス処理系室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
高圧炉心注水系ポンプ(B)冷却器冷却水出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
高圧炉心注水系ポンプ室空調機(B)出口弁	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却水系ポンプ(B)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却水系ポンプ(E)吸込弁	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却海水ポンプ(B)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
原子炉補機冷却海水ポンプ(E)電動機軸受出口弁(7号炉のみ)	タービン建屋地下1階	タービン建屋地下1階																																																																																																																																	
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																																	
換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(D)冷却水温度調節弁後弁	コントロール建屋地下2階	コントロール建屋地下2階																																																																																																																																	
格納容器内雰囲気モニタ系(B)室空調機冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地上3階	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ(B)モータ軸受冷却器冷却水出口弁(6号炉のみ)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	
残留熱除去系ポンプ(B)冷却水出口	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																		
84	3.11.2.3.3.2	添 3.11-66	燃料プール冷却浄化系ポンプ及び燃料プール冷却浄化系熱交換器は、設計基準対象施設と兼用しており、設計基準対象施設としてのポンプ流量及び伝熱容量が、想定される重大事故等時において、使用済燃料プール内に貯蔵する使用済燃料から発生する崩壊熱を除去するために必要なポンプ流量及び伝熱容量に対して十分であるため、設計基準対象施設と同仕様で設計する。	燃料プール冷却浄化系熱交換器は、設計基準対象施設が有する使用済燃料プールの除熱機能が喪失した場合においても、代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニットから供給される冷却水を通水することにより、使用済燃料プールに保管されている燃料の崩壊熱を除去できる設計とする。この場合、燃料プール浄化系はポンプ1台で運転し、熱交換器1基に冷却水を通水することで除熱を行う設計とする。	⑤																																		
85	3.11.2.3.3.2	添 3.11-66	燃料プール冷却浄化系熱交換器の容量は、重大事故等対処設備として使用する場合における熱交換量が使用済燃料プール水温約77℃の場合において約2.6MWであるが、重大事故等対処設備として想定する条件での必要伝熱面積に対して、設計基準対象施設として想定する条件での必要伝熱面積が大きいことから、設計基準対象施設としての海水温度30℃、使用済燃料プール水温52℃の場合の熱交換量約1.9MWとする。	設計熱交換量は使用済燃料プール水温が52℃の場合において約1.9MWであるが、重大事故等対処設備として使用する場合における熱交換量は、使用済燃料プール水温が約77℃の場合において約2.6MWである。使用済燃料プールに保管されている燃料が有する崩壊熱量は、有効性評価のシナリオにおいて想定しているものと同様に、保管期間が最も短いもので原子炉からの取り出し後70日が経過した燃料が存在する場合の崩壊熱量である約2.6MWとする。崩壊熱量は、時間の経過により漸減していくことから、燃料プール冷却浄化系熱交換器は、重大事故時において使用済燃料プールに保管されている燃料の崩壊熱を除去できる容量を有している。	⑤																																		
86	3.11.2.3.3.2	添 3.11-67	<p>表 3.11-23 多様性又は多重性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ポンプ</td> <td>残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋2階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱交換器</td> <td>残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)</td> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋2階</td> </tr> <tr> <td>駆動電源</td> <td>非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td>常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故対処設備	重大事故対処設備	ポンプ	残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階	熱交換器	残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階	駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機)	<p>表 3.11-23 燃料プール冷却浄化系ポンプ及び熱交換器の多様性又は多重性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ</td> <td>残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋2階</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)</td> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> <td>原子炉建屋2階</td> </tr> <tr> <td>駆動方式</td> <td>非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td>常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故対処設備	重大事故対処設備	ポンプ	残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)	設置場所	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階	熱交換器	残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)	設置場所	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階	駆動方式	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)	②(第二ガスタービン発電機の自主設備化)
項目	設計基準事故対処設備	重大事故対処設備																																					
ポンプ	残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)																																					
	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階																																					
熱交換器	残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)																																					
	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階																																					
駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機)																																					
項目	設計基準事故対処設備	重大事故対処設備																																					
ポンプ	残留熱除去系ポンプ (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系ポンプ (A) (B)																																					
設置場所	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階																																					
熱交換器	残留熱除去系熱交換器 (A) (B) (C)	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A) (B)																																					
設置場所	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋2階																																					
駆動方式	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
87	3.11.2.3.3.2	添 3.11-67、68	燃料プール冷却浄化系で使用する代替原子炉補機冷却系は、原子炉補機冷却系と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、原子炉補機冷却系の海水系に対して独立性を有するとともに、熱交換器ユニットから原子炉補機冷却系配管との合流点までの系統について、原子炉補機冷却系に対して独立性を有する設計とする。	代替原子炉補機冷却系の常設部である熱交換器ユニット接続口から原子炉補機冷却系に繋がるまでの弁及び配管は、共通要因によって設計基準事故対処設備である原子炉補機冷却系と同時に機能が損なわれることを防止するために、可搬型重大事故等対処設備として熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)を設置し、その多重性又は多様性、位置的分散については「(7)設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性(設置許可基準規則第43条第3項七)」の適合性で示す。	⑤
88	3.11.2.3.3.3	添 3.11-69	燃料プール冷却浄化系で使用する代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、使用済燃料プールの冷却機能が喪失した場合にあって、燃料プール冷却浄化系ポンプが起動可能な状況において、燃料プール冷却浄化系熱交換器の冷却水として、燃料プール冷却浄化系熱交換器等で発生した熱を除去するために必要な伝熱容量及びポンプ流量を有する熱交換器ユニット1セット1式と大容量送水車(熱交換器ユニット用)1セット1台を使用する。	代替原子炉補機冷却系の可搬設備である熱交換器ユニットと大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、原子炉補機冷却系の復旧ができず、使用済燃料プールの冷却機能が喪失した場合にあって、燃料プール冷却浄化系ポンプが起動可能な状況において、燃料プール冷却浄化系熱交換器の冷却水として、使用済燃料プール内に貯蔵する使用済燃料から発生する崩壊熱を除去するために必要な除熱量とポンプ流量を有する設計とする。	⑤
89	3.11.2.3.3.3	添 3.11-69	熱交換器ユニットの容量は熱交換容量約23MWとして、大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量は900m ³ /hとして設計し、有効性評価「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」のシナリオにおいて代替原子炉補機冷却系を用いて残留熱除去系によるサプレッション・チェンバ・プール水冷却モード運転を行った場合、有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)代替循環冷却系を使用する場合」のシナリオにおいて代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水及び格納容器スプレイの同時運転を行った場合、又は有効性評価「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」のシナリオにおいて代替循環冷却系による原子炉格納容器下部への注水及び格納容器スプレイの同時運転を行った場合に、同時に代替原子炉補機冷却系を用いて燃料プール冷却浄化系による使用済燃料プールの冷却を行った場合の冷却効果を確保可能な設計とする。	熱交換器ユニットの容量は、熱交換容量約23MWとして設計し、代替原子炉補機冷却系を使用する有効性評価「崩壊熱除去機能喪失(取水機能喪失)」のシナリオで事故発生20時間後に代替原子炉補機冷却系を用いた燃料プール冷却浄化系の運転により冷却効果を確保可能な設計とする。 大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量は、流量900m ³ /hとして設計し、代替原子炉補機冷却系を使用する有効性評価「崩壊熱除去機能喪失(取水機能喪失)」のシナリオで、事故発生20時間後に代替原子炉補機冷却系を用いた燃料プール冷却浄化系の運転により冷却効果を確保可能な設計とする。	⑤
90	3.11.2.3.3.3	添 3.11-69	また、熱交換器ユニットの保有数は、6号及び7号炉共用で4セット4式に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1式(6号及び7号炉共用)の合計5式を保管する。大容量送水車(熱交換器ユニット用)の保有数は、6号及び7号炉共用で4セット4台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計5台を保管する。	大容量送水車(熱交換器ユニット用)は1セット1台として使用する。保有数は1プラントあたり1セット1台で6号及び7号炉共用で4セット4台と、故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして1台(共用)の合計5台を分散して保管する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
91	3.11.2.3.3.3	添 3.11-70	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニットの接続箇所である接続口は、重大事故等時の環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災の影響により接続できなくなることを防止するため、接続口をそれぞれ互いに異なる位置的分散された複数の場所に設ける設計とする。具体的には原子炉補機冷却系A系に接続する接続口と、原子炉補機冷却系B系に接続する接続口をそれぞれ設けることとし、6号炉についてはタービン建屋北側屋外に1箇所、タービン建屋西側屋外に1箇所に設置し合計2箇所設置することで共通要因によって接続できなくなることを防止する設計とする。 7号炉については、タービン建屋西側屋外に1箇所、タービン建屋南側屋外に1箇所設置し、合計2箇所設置することで共通要因によって接続できなくなることを防止する設計とする。	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニットの接続箇所である接続口は、重大事故等時の環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災の影響により接続できなくなることを防止するため、接続口をそれぞれ互いに異なる位置的分散された複数の場所に設ける設計とする。具体的には原子炉補機冷却系A系に接続する接続口と、原子炉補機冷却系B系に接続する接続口をそれぞれ設けることとし、6号炉についてはタービン建屋北側屋外に1箇所、タービン建屋西側屋外に1箇所、7号炉については、タービン建屋西側屋外に1箇所、タービン建屋南側屋外に1箇所設置し、位置的分散を図っている。	⑤
92	3.11.2.3.3.3	添 3.11-71	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、炉心損傷後の格納容器ベントを実施していない状況で屋外使用する設備であり、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても作業への影響はないと想定しているが、仮に線量が高い場合は線源からの離隔距離をとることにより、これら設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。また、現場での接続作業に当たって、簡便な結合金具による接続方式及びフランジ接続方式により、確実に速やかに接続が可能な設計とする。	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、炉心損傷前の状況で屋外に設置する設備であり、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても、線源からの離隔距離をとることにより、これら設備の設置及び常設設備との接続が可能な設計とする。また、現場での接続作業に当たって、簡便な結合金具による接続方式及びフランジ接続方式により、確実に速やかに接続が可能な設計とする。	⑤
93	3.11.2.3.3.3	添 3.11-71	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、通常時は高台にある荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に分散して保管しており、想定される重大事故等が発生した場合においても、保管場所から接続場所までの運搬経路について、設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する。(『可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて』参照)	代替原子炉補機冷却系の熱交換器ユニット及び大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し、原子炉補機冷却系中間ループ循環ポンプ及び格納容器圧力逃がし装置及び耐圧強化ベント系と位置的分散を図り、発電所敷地内の高台にある荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所の複数の箇所に分散して保管する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																												
94	3.11.2.3.3.3	添 3.11-73	<p>表 3.11-24 多様性又は独立性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">設計基準事故 対処設備</th> </tr> <tr> <th>原子炉補機冷却系</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ポンプ (淡水)</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)</td> </tr> <tr> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポンプ (海水)</td> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>大容量送水車 (熱交換器ユニット用)</td> </tr> <tr> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱交換器</td> <td>原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td>熱交換器ユニット (熱交換器)</td> </tr> <tr> <td>タービン建屋地下1階</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンク</td> <td>海水</td> <td>海水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動電源</td> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td>不要 (大容量送水車 (熱交換器ユニット))</td> <td>可搬型代替交流電源設備(電源車) (熱交換器ユニット(代替原子炉補機冷却水ポンプ))</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地上1階</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故 対処設備		原子炉補機冷却系	重大事故等対処設備	ポンプ (淡水)	原子炉補機冷却水ポンプ	熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)	タービン建屋地下1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	ポンプ (海水)	原子炉補機冷却海水ポンプ	大容量送水車 (熱交換器ユニット用)	タービン建屋地下1階	屋外	熱交換器	原子炉補機冷却水系熱交換器	熱交換器ユニット (熱交換器)	タービン建屋地下1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	最終ヒートシンク	海水	海水	駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	不要 (大容量送水車 (熱交換器ユニット))	可搬型代替交流電源設備(電源車) (熱交換器ユニット(代替原子炉補機冷却水ポンプ))	原子炉建屋地上1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	<p>表 3.11-24 代替原子炉補機冷却系の多様性又は独立性、位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">設計基準事故 対処設備</th> </tr> <tr> <th>原子炉補機冷却系</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ポンプ (淡水)</td> <td>原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ</td> <td>熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>タービン建屋</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (海水)</td> <td>原子炉補機冷却系海水ポンプ</td> <td>大容量送水車 (熱交換器ユニット用)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>タービン建屋</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>原子炉補機冷却系熱交換器</td> <td>熱交換器ユニット (熱交換器)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>タービン建屋</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンク</td> <td>海水</td> <td>海水</td> </tr> <tr> <td>駆動方式</td> <td>非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)</td> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車)</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>原子炉建屋</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故 対処設備		原子炉補機冷却系	重大事故等対処設備	ポンプ (淡水)	原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ	熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)	設置場所	タービン建屋	ポンプ (海水)	原子炉補機冷却系海水ポンプ	大容量送水車 (熱交換器ユニット用)	設置場所	タービン建屋	屋外	熱交換器	原子炉補機冷却系熱交換器	熱交換器ユニット (熱交換器)	設置場所	タービン建屋	屋外	最終ヒートシンク	海水	海水	駆動方式	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	可搬型代替交流電源設備 (電源車)	設置場所	原子炉建屋	屋外	⑤
項目	設計基準事故 対処設備																																																																
	原子炉補機冷却系	重大事故等対処設備																																																															
ポンプ (淡水)	原子炉補機冷却水ポンプ	熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)																																																															
	タービン建屋地下1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所																																																															
ポンプ (海水)	原子炉補機冷却海水ポンプ	大容量送水車 (熱交換器ユニット用)																																																															
	タービン建屋地下1階	屋外																																																															
熱交換器	原子炉補機冷却水系熱交換器	熱交換器ユニット (熱交換器)																																																															
	タービン建屋地下1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所																																																															
最終ヒートシンク	海水	海水																																																															
駆動電源	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	不要 (大容量送水車 (熱交換器ユニット))	可搬型代替交流電源設備(電源車) (熱交換器ユニット(代替原子炉補機冷却水ポンプ))																																																														
		原子炉建屋地上1階	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所																																																														
項目	設計基準事故 対処設備																																																																
	原子炉補機冷却系	重大事故等対処設備																																																															
ポンプ (淡水)	原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ	熱交換器ユニット (代替原子炉補機冷却水ポンプ)																																																															
	設置場所	タービン建屋																																																															
ポンプ (海水)	原子炉補機冷却系海水ポンプ	大容量送水車 (熱交換器ユニット用)																																																															
設置場所	タービン建屋	屋外																																																															
熱交換器	原子炉補機冷却系熱交換器	熱交換器ユニット (熱交換器)																																																															
設置場所	タービン建屋	屋外																																																															
最終ヒートシンク	海水	海水																																																															
駆動方式	非常用交流電源設備 (非常用ディーゼル発電機)	可搬型代替交流電源設備 (電源車)																																																															
設置場所	原子炉建屋	屋外																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
95	3.11.2.4 3.11.2.4.1	添 3.11-74	<p>表 3.11-25 使用済燃料プール監視設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{*1}</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 可搬型直流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 (次頁に続く) 上記所内蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下 備を使用する。 常設代替交流電源設備</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	附属設備	—	水源	—	流路	—	注水先	—	電源設備 ^{*1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 可搬型直流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 (次頁に続く) 上記所内蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下 備を使用する。 常設代替交流電源設備	<p>表 3.11-25 使用済燃料プール監視設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{*1}</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】及び第二ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】及び第二ガスター ビン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】及び第二ガ スタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)	附属設備	—	水源	—	流路	—	注水先	—	電源設備 ^{*1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】及び第二ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】及び第二ガスター ビン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】及び第二ガ スタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】	<p>②(第二ガスタービン発電機の自主設備化)</p>
設備区分	設備名																																
主要設備	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																
附属設備	—																																
水源	—																																
流路	—																																
注水先	—																																
電源設備 ^{*1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 可搬型直流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】 (次頁に続く) 上記所内蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下 備を使用する。 常設代替交流電源設備																																
設備区分	設備名																																
主要設備	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) 【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 【常設】を含む)																																
附属設備	—																																
水源	—																																
流路	—																																
注水先	—																																
電源設備 ^{*1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機 【常設】及び第二ガスタービン発電機 【常設】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (16kL) 【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 【常設】及び第二ガスター ビン発電機用燃料タンク 【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】及び第二ガ スタービン発電機用燃料移送ポンプ 【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車 【可搬】 軽油タンク 【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】 所内蓄電式直流電源設備 直流 125V 蓄電池 A 【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池 【常設】 直流 125V 充電器 A 【常設】 直流 125V 充電器 A-2 【常設】 AM 用直流 125V 充電器 【常設】																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
96	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-76	<p>図 3.11-10 6号炉 使用済燃料プール監視設備の系統概要図</p>	<p>図 3.11-10 6号炉 使用済燃料プール監視設備の全体系統図</p>	⑤
97	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-76	<p>図 3.11-11 7号炉 使用済燃料プール監視設備の系統概要図</p>	<p>図 3.11-11 7号炉 使用済燃料プール監視設備の全体系統図</p>	⑤
98	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-79	<p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラは, 発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に機能・性能の確認が可能な設計とする。 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置は, 発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に機能・性能が可能な設計とする。</p>	<p>使用済燃料貯蔵プール監視カメラは, 発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に機能・性能の確認として, 表示の確認及び外観検査が可能な設計とする。 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置は, 発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に機能・性能の確認として, 動作の確認, 外観検査が可能な設計とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
99	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-79	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域及びSA)は、発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に 模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)及び校正が可能な設計とする。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域及びSA)は、発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に機能・性能検査、絶縁抵抗測定、計器校正が可能な設計とする。なお、使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域及びSA)の試験として、温度の1点確認及び絶縁抵抗を測定し健全性の確認を行う。	⑤
100	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-79	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)は、発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に 模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)及び校正が可能な設計とする。	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)は、発電用原子炉の運転中又は停止中(計器を除外可能な期間)に特性検査、線源校正、計器校正が可能なように、模擬入力による校正又は線源校正ができる設計とする。なお、放射線モニタは、線源校正を実施し基準線量当量率に対する検出器の特性の確認を行う。	⑤
101	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-80	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)及び使用済燃料貯蔵プール監視カメラは、 想定される重大事故等時において他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)及び使用済燃料貯蔵プール監視カメラは、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。	⑤
102	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-80	なお、使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置の弁及び 付属の操作スイッチによる起動操作は、速やかに実施可能な設計とする。 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置の弁及び 付属の操作スイッチによる起動操作に要する時間を、図3.11-12に示す。	なお、使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置の弁操作及び起動操作は、 すみやかに実施可能な設計とする。 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置の弁操作及び起動操作に要する時間を、図3.11-12に示す。	⑤
103	3.11.2.4.3 3.11.2.4.3.1	添 3.11-80	 <p>図 3.11-12 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置のタイムチャート*</p>	 <p>図 3.11-12 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置のタイムチャート*</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について

章/項番号 : 3.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備

<p>【変更理由の類型化】</p> <p>①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正</p> <p>④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化</p>

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	3.12.1	添 3.12-2	なお, 原子炉建屋放水設備(大気への放射性物質の拡散抑制)は, 車両設計等による可搬設備にすることで, 設置場所を任意に設定し, 複数の方向から原子炉建屋に向けて放水できる設計とする。また, 原子炉建屋放水設備(大気への放射性物質の拡散抑制)は, 6号及び7号炉共用で1セット以上確保する。	なお, 放水に必要な設備(大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)及び放水砲)は, 車両設計等による可搬設備にすることで, 複数方向から放水可能な設計とする。また, 放水に必要な設備は, 6号及び7号炉共用で1セット以上確保する。	⑤
2	3.12.1	添 3.12-2	なお, 原子炉建屋放水設備(航空機燃料火災への泡消火)は, 車両設計等による可搬設備にすることで, 設置場所を任意に設定し, 複数の方向から原子炉建屋に向けて放水できる設計とする。また, 原子炉建屋放水設備(航空機燃料火災への泡消火)は, 6号及び7号炉共用で1セット以上確保する。	なお, 放水に必要な設備(大容量送水車(原子炉建屋放水設備用), 放水砲, 泡原液混合装置及び泡原液搬送車)は, 車両設計等による可搬設備にすることで, 複数方向から放水可能な設計とする。また, 放水に必要な設備は, 6号及び7号炉共用で1セット以上確保する。	⑤
3	3.12.1	添 3.12-3	なお, 大気への放射性物質の拡散を抑制するための自主対策設備として, 以下を整備する。 (4) 原子炉建屋放水設備を使用する際の監視設備 大気への放射性物質の拡散を抑制するため, 原子炉建屋放水設備により原子炉建屋に向けて放水する際に, 原子炉建屋から漏えいする放射性物質又は放射性物質とともに放出される水蒸気等の熱源を監視するため, 以下の設備を設置及び保管する。 ・ガンマカメラ ・サーモカメラ	—	②(原子炉建屋から漏えいする放射性物質等を監視するため, 監視設備を自主的に配備することとした)
4	3.12.2.1.1.1	添 3.12-4	ホースにより海を水源とする大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)と放水砲を接続することにより, 原子炉建屋に向けて放水する。また, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)及び放水砲は, 設置場所を任意に設定し, 複数の方向から放水できる設計とする。本系統は, 現場においてホース等を敷設した後, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の付属の操作スイッチにより, 設置場所で操作を行うものである。なお, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の燃料は, 燃料供給設備である軽油タンク及びタンクローリ(4kL)により補給できる設計とする。	ホースにより海を水源とする大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)と放水砲を接続することにより, 原子炉建屋屋上へ放水する。また, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)及び放水砲は, 設置場所を任意に設定でき, 複数の方向から放水可能な設計とする。本系統は, 現場においてホース等を敷設した後, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)操作盤の操作スイッチにより, 現場での手動操作によって運転を行うものである。なお, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の燃料は, 軽油タンクからタンクローリ(4kL)を用いて補給する。	⑤
5	3.12.2.1.1.2	添 3.12-4	放射性物質吸着材は, 6号及び7号炉に放水した汚染水が通過する際に放射性物質を吸着できるよう, 6号及び7号炉の雨水排水路集水樹2箇所に優先的に設置し, 最終的に, 5号炉雨水排水路集水樹1箇所及びフラップゲート入口3箇所の合計6箇所に設置する。 その後, 汚濁防止膜は, 汚染水が発電所から海洋に流出する4箇所(北放水口1箇所及び取水口3箇所)に小型船舶(汚濁防止膜設置用)を用いて設置する。	放射性物質吸着材は, 6号及び7号炉に放水した汚染水が流れ込む6号及び7号炉近傍の構内雨水排水路の集水樹2箇所を優先的に設置し, 最終的に合計6箇所設置する。 その後, 汚濁防止膜を放水によって放射性物質を取り込んだ汚染水が発電所から海洋に流出するルートである北放水口1箇所及び取水口3箇所の計4箇所に小型船舶(汚濁防止膜設置用)を用いて設置する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
6	3.12.2.1.1.3	添 3.12-4	ホースにより海を水源とする大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)と放水砲を接続し, 泡消火薬剤と混合しながら原子炉建屋周辺へ放水する。本系統は, 現場においてホース等を敷設した後, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の付属の操作スイッチにより, 設置場所で操作を行うものである。	放水砲は, ホースにより海を水源とする大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)と接続し, 泡消火薬剤と混合しながら原子炉建屋周辺へ放水する。本系統は, 現場においてホース等を敷設した後, 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)操作盤の操作スイッチにより, 現場での手動操作によって運転を行うものである。	⑤
7	3.12.2.1.2	添 3.12-9	(5) 泡原液混合装置(6号及び7号炉共用) 種類 : 可搬型ノズル 最高使用圧力 : 1.3MPa[gage] 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 1(予備1) 使用箇所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所又は大湊側高台保管場所 (6) 泡原液搬送車(6号及び7号炉共用) 種類 : 架装式 容量 : 4,000L 最高使用圧力 : 0.02MPa[gage] 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 1(予備1) 使用箇所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所又は大湊側高台保管場所	(5) 泡原液混合装置(6号及び7号炉共用) 種類 : 可搬型ノズル 最高使用圧力 : 1.3MPa[gage] 最高使用温度 : 40℃ 個数 : 1(予備1) 使用箇所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所又は大湊側高台保管場所 (6) 泡原液搬送車(6号及び7号炉共用) 種類 : 架装式 容量 : 4,000L 最高使用圧力 : 0.03MPa[gage] 最高使用温度 : 120℃ 個数 : 1(予備1) 使用箇所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所又は大湊側高台保管場所	③(試験結果及び他設備との整合を図るための修正)
8	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-11	放射性物質吸着材及び汚濁防止膜は, 車両により屋外のアクセスルートを通行し, 運搬又は移動ができるとともに, 容易に設置できる設計とする。汚濁防止膜は, 設置する際に, 小型船舶(汚濁防止膜設置用)を使用する。小型船舶(汚濁防止膜設置用)は, 車両により屋外のアクセスルートを通行し, 運搬できる設計とし, 容易に操縦できる設計とする。	放射性物質吸着材及び汚濁防止膜は, 車両により運搬, 移動ができるとともに, 容易に設置できる設計とする。汚濁防止膜は, 設置する際に, 小型船舶(汚濁防止膜設置用)を使用する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由						
9	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-12	表3.12-3 操作対象機器				⑤				
			機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法		機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法
			大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	現場設置 起動・停止	設置場所(取水箇所付近)	設置場所まで移動 スイッチ操作		大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	現場設置 起動・停止	設置場所(取水箇所付近)	設置場所まで移動 スイッチ操作
			放水砲	現場設置 放水方向の変更	屋外設置位置	設置場所まで移動 手動操作		放水砲	放水方向の変更	屋外設置位置	手動操作
			泡原液混合装置	ホース接続	屋外設置位置	人力接続		泡原液混合装置	ホース接続	屋外設置位置	人力接続
			泡原液搬送車	現場設置	屋外設置位置	設置場所まで移動		泡原液搬送車	現場設置	屋外設置位置	設置場所まで移動
			ホース	ホース接続	屋外設置位置	人力接続		ホース	ホース接続	屋外設置位置	人力接続
			放射性物質吸着材	現場設置	集水柵(排水路) フラップゲート	人力及びユニック 車にて設置		放射性物質吸着材	現場設置	集水柵(排水路) フラップゲート	人力及びユニック にて設置
			汚濁防止膜	現場設置	取水口又は放水口	人力及び小型船舶 (汚濁防止膜設置 用)にて設置		汚濁防止膜	現場固定	取水口又は放水口	人力及び小型船舶 (汚濁防止膜設置 用)にて接続

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
10	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-12	<p>図3.12-5 大気への放射性物質の拡散抑制のタイムチャート※</p>	<p>図3.12-5 大気への放射性物質の拡散抑制のタイムチャート※</p>	⑤
11	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-12	<p>図3.12-6 海洋への放射性物質の拡散抑制(放射性物質吸着材)のタイムチャート※</p>	<p>図3.12-6 海洋への放射性物質の拡散抑制(放射性物質吸着材)のタイムチャート※</p>	⑤
12	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-13	<p>図3.12-7 海洋への放射性物質の拡散抑制(汚濁防止膜)のタイムチャート※</p>	<p>図3.12-7 海洋への放射性物質の拡散抑制(汚濁防止膜)のタイムチャート※</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
13	3.12.2.1.3.1(2)	添 3.12-13			⑤
14	3.12.2.1.3.1(6)	添 3.12-16	<p>図3.12-8 航空機衝突による航空機燃料火災時の手順のタイムチャート※ 放射性物質吸着材、汚濁防止膜及び小型船舶(汚濁防止膜設置用)を設置する際は、放射線量を確認して、適切な放射線対策に基づき作業安全を確保した上で作業を実施する。</p>	<p>図3.12-8 航空機衝突による航空機燃料火災時の手順のタイムチャート※ 放射性物質吸着材及び汚濁防止膜を設置する際は、放射線量を確認して、適切な放射線対策に基づき作業安全確保を確認した上で作業を実施する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																			
15	3.12.2.1.3.1(6)	添 3.12-16	<p align="center">表3.12-8 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）</td> <td>屋外設置位置（取水箇所付近）</td> <td>屋外設置位置（取水箇所付近）</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>泡原液混合装置</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材</td> <td>集水樹（排水路） フラップゲート</td> <td>集水樹（排水路） フラップゲート</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> <td>取水口又は放水口</td> <td>取水口又は放水口</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（汚濁防止膜設置用）</td> <td>取水口又は放水口</td> <td>取水口又は放水口</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）	屋外設置位置（取水箇所付近）	屋外設置位置（取水箇所付近）	放水砲	屋外設置位置	屋外設置位置	泡原液混合装置	屋外設置位置	屋外設置位置	泡原液搬送車	屋外設置位置	屋外設置位置	ホース	屋外設置位置	屋外設置位置	放射性物質吸着材	集水樹（排水路） フラップゲート	集水樹（排水路） フラップゲート	汚濁防止膜	取水口又は放水口	取水口又は放水口	小型船舶（汚濁防止膜設置用）	取水口又は放水口	取水口又は放水口	<p align="center">表3.12-8 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）</td> <td>屋外設置位置（取水箇所付近）</td> <td>屋外設置位置（取水箇所付近）</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>泡原液混合装置</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材</td> <td>集水樹（排水路） フラップゲート</td> <td>集水樹（排水路） フラップゲート</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> <td>取水口又は放水口</td> <td>取水口又は放水口</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）	屋外設置位置（取水箇所付近）	屋外設置位置（取水箇所付近）	放水砲	屋外設置位置	屋外設置位置	泡原液混合装置	屋外設置位置	屋外設置位置	泡原液搬送車	屋外設置位置	屋外設置位置	ホース	屋外設置位置	屋外設置位置	放射性物質吸着材	集水樹（排水路） フラップゲート	集水樹（排水路） フラップゲート	汚濁防止膜	取水口又は放水口	取水口又は放水口	⑤
機器名称	設置場所	操作場所																																																						
大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）	屋外設置位置（取水箇所付近）	屋外設置位置（取水箇所付近）																																																						
放水砲	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
泡原液混合装置	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
泡原液搬送車	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
ホース	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
放射性物質吸着材	集水樹（排水路） フラップゲート	集水樹（排水路） フラップゲート																																																						
汚濁防止膜	取水口又は放水口	取水口又は放水口																																																						
小型船舶（汚濁防止膜設置用）	取水口又は放水口	取水口又は放水口																																																						
機器名称	設置場所	操作場所																																																						
大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）	屋外設置位置（取水箇所付近）	屋外設置位置（取水箇所付近）																																																						
放水砲	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
泡原液混合装置	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
泡原液搬送車	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
ホース	屋外設置位置	屋外設置位置																																																						
放射性物質吸着材	集水樹（排水路） フラップゲート	集水樹（排水路） フラップゲート																																																						
汚濁防止膜	取水口又は放水口	取水口又は放水口																																																						
16	3.12.2.1.3.2(4)	添 3.12-18	<p>発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(大気への放射性物質の拡散抑制、海洋への放射性物質の拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火)は、想定される重大事故等が発生した場合においても、設置が可能な設計とする。なお、大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)、放水砲、泡原液混合装置、泡原液搬送車、放射性物質吸着材及び汚濁防止膜の設置は、原子炉格納容器の破損又は使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷に至る前に着手することとしていること、また、汚濁防止膜及び小型船舶(汚濁防止膜設置用)は、原子炉建屋等から離隔がとれている放水口等に設置することとしていることから、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても作業への影響は軽微であると想定しているが、仮に線量が高い場合は、移動又は運搬することで線源から離隔をとること、放射線を測定し線量が低い位置に配置すること、若しくは放射線量に応じて適切な放射線対策に基づき作業安全を確保した上で作業を実施することによって、設置及び接続可能な設計とする。また、大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)、放水砲、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、特殊な技量を必要とせず、差込式結合金具を車載するスパナで締付け等簡便な接続方式で、確実に速やかにホースと接続が可能である。</p>	<p>想定される重大事故等が発生した場合においても、当該設備の設置が可能な設計とする。なお、大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)、放水砲、泡原液混合装置、泡原液搬送車、放射性物質吸着材及び汚濁防止膜の設置は、原子炉格納容器の破損又は使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷に至る前に着手することとしていること、また、汚濁防止膜は、原子炉建屋等から離隔がとれている放水口等に設置することとしていることから、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても作業への影響は軽微であると想定しているが、仮に線量が高い場合は、移動又は運搬することで、線源から離隔をとること、又は放射線量を測定し線量が低い位置に配置すること、若しくは放射線量に応じて適切な放射線対策に基づき作業安全確保を確認した上で作業を実施することによって、設置及び接続可能な設計とする。また、現場での接続作業にあたっては、特殊な技量を必要とせず、差込式結合金具を車載するスパナで締付け等簡便な接続方式により、確実に速やかに接続が可能である。</p>	⑤																																																			
17	3.12.2.1.3.2(5)	添 3.12-19	<p>発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(大気への放射性物質の拡散抑制、海洋への放射性物質の拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火)は、原子炉建屋、タービン建屋及び廃棄物処理建屋から離れた荒浜側高台保管場所又は大濠側高台保管場所に保管できる設計とする。</p>	<p>工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(大気への放射性物質の拡散抑制、海洋への放射性物質の拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火)は、設計基準事故対処設備の安全機能及び使用済燃料プールの冷却機能若しくは注水機能と同時にその機能が損なわれないよう、安全機能等を有する設備と位置的分散を図るため、荒浜側高台保管場所又は大濠側高台保管場所に保管する。</p>	⑤																																																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	3.12.3.1	添 3.12-20	<p>3.12.3.1 原子炉建屋放水設備を使用する際の監視設備</p> <p>3.12.3.1.1 設備概要</p> <p>3.12.1(4)に示した設備は, 大気への放射性物質の拡散を抑制するため, 原子炉建屋放水設備により原子炉建屋に向けて放水する際に, 原子炉建屋から漏えいする放射性物質又は放射性物質とともに放出される水蒸気等の熱源を監視する。なお, 本設備は事業者の自主的な取り組みで設置するものである。</p>	—	②(原子炉建屋から漏えいする放射性物質等を監視するため, 監視設備を自主的に配備することとした)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
 章/項番号: 3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	3.13.1	添 3.13-2	削除	また, 重大事故等対処設備(設計基準拡張)である原子炉隔離時冷却系と高圧炉心注水系は, 水源として復水貯蔵槽とサブプレッション・チェンバを使用し, 残留熱除去系(低圧注水モード)と残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)及び残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)は, 水源としてサブプレッション・チェンバを使用する。	⑤
2	3.13.1	添 3.13-2	重大事故等の収束に必要な水源である復水貯蔵槽, サブプレッション・チェンバ及び複数の代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)並びに海について, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級), 大容量送水車(海水取水用)及びホース等を用いることにより移送手段及び移送ルートを確認し, いずれの水源からでも水を供給することができる設計とする。復水貯蔵槽への水の供給については, 廃棄物処理建屋外壁の接続口から供給できる設計とする。	重大事故等の収束に必要な水源である復水貯蔵槽, 及び複数の代替淡水源である防火水槽及び淡水貯水池並びに海水について, 可搬型ポンプやホース等を用いることにより移送手段及び移送ルートを確認し, いずれの水源からでも水を供給することが出来る設計とする。復水貯蔵槽への供給については, 廃棄物処理建屋外壁の復水貯蔵槽への接続口から供給出来る設計とする。	⑤
3	3.13.1	添 3.13-2	防火水槽を水源とした各種注水時において, 淡水タンクが健全な場合には, 淡水タンクから防火水槽へホース等を使用して水を供給できる設計とする。	防火水槽を水源とした各種注水時において, 淡水タンク(純水タンク, 又は過水タンク)が健全な場合には, 淡水タンクから防火水槽へホース等を使用して水を供給できる設計とする。	②(水源の運用変更に伴う削除)
4	3.13.1	添 3.13-3	(5) ホース及び水頭差を利用した淡水送水手段の整備 水源として淡水貯水池を使用する場合, 予め敷設しているホースが健全であることが確認できた場合には, ホース及び水頭差を利用し, 淡水貯水池の淡水を6号及び7号炉近傍まで送水できる設計とする。	-	②(水源の運用変更に伴う追加)
5	3.13.2.1.1	添 3.13-4	設計基準事故の収束に必要な水源とは別に, 重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保する。	-	⑤
6	3.13.2.1.1	添 3.13-4	重大事故等の収束に必要な水源として, 復水貯蔵槽, サブプレッション・チェンバ及びほう酸水注入系貯蔵タンクを設置する。また, これら重大事故等の収束に必要な水源とは別に, 代替淡水源として淡水貯水池及び防火水槽を設置する。	重大事故等の収束に必要な水源として, 復水貯蔵槽, サブプレッション・チェンバ及びほう酸水注入系貯蔵タンクを設置する。	⑤
7	3.13.2.1.1	添 3.13-4	復水貯蔵槽は, 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である高圧代替注水系, 低圧代替注水系(常設), 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)及び格納容器下部注水系(常設)並びに重大事故等対処設備(設計基準拡張)である原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心注水系の水源として使用する。	復水貯蔵槽は, 高圧代替注水系の高圧代替注水系ポンプ, 及び低圧代替注水系(常設), 代替格納容器スプレイ冷却系, 格納容器下部注水系(常設)の復水移送ポンプの水源として使用する。サブプレッション・チェンバのプール水は, 代替循環冷却の復水移送ポンプの水源として使用する。	①(TBP対応の設備追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

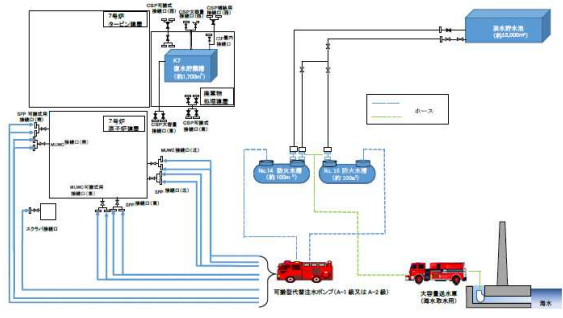
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
8	3.13.2.1.1	添 3.13-4	サブプレッション・チェンバは、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である代替循環冷却系並びに重大事故等対処設備(設計基準拡張)である原子炉隔離時冷却系, 高圧炉心注水系, 残留熱除去系(低圧注水モード), 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)及び残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)の水源として使用する。	サブプレッション・チェンバのプール水は, 代替循環冷却の復水移送ポンプの水源として使用する。	⑤
9	3.13.2.1.1	添 3.13-4	ほう酸水注入系貯蔵タンクは, 原子炉圧力容器への注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段であるほう酸水注入系の水源として使用する。	ほう酸水注入系貯蔵タンクは, ほう酸水注入系のほう酸水注入系ポンプの水源として使用する。	⑤
10	3.13.2.1.1	添 3.13-4	代替淡水源である淡水貯水池及び防火水槽は, 復水貯蔵槽へ水を供給するための水源であるとともに, 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である低圧代替注水系(可搬型), 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)及び格納容器下部注水系(可搬型)の水源として, また, 使用済燃料プールの冷却又は注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である燃料プール代替注水系の水源として使用する。	防火水槽及び淡水貯水池は, 復水貯蔵槽へ水を供給するための水源であるとともに, 低圧代替注水系(可搬型), 格納容器下部注水系(可搬型), 燃料プール代替注水系(可搬型)及び格納容器圧力逃がし装置への供給の可搬型代替注水ポンプ(A-1級若しくはA-2級)の水源として使用する。	①(TBP対応の設備追加) ⑤
11	3.13.2.1.1	添 3.13-4	海は, 淡水が枯渇した場合に, 復水貯蔵槽へ水を供給するための水源であるとともに, 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である低圧代替注水系(可搬型), 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型), 格納容器下部注水系(可搬型)の水源として, また, 使用済燃料プールの冷却又は注水に使用する設計基準事故対処設備が機能喪失した場合の代替手段である燃料プール代替注水系の水源として利用する。また, 代替原子炉補機冷却系の大容量送水車(熱交換器ユニット用)及び原子炉建屋放水設備である大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の水源としても利用する。	海水は, 代替原子炉補機冷却系の大容量送水車(熱交換器ユニット用), 及び工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備である大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)の水源として使用する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
12	3.13.2.1.1	添 3.13-4.5	上記に示す各系統の詳細は, 3.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備(設置許可基準規則第44条に対する設計方針を示す章), 3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第45条に対する設計方針を示す章), 3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章), 3.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備(設置許可基準規則第48条に対する設計方針を示す章), 3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章), 3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章), 3.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章), 3.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備(設置許可基準規則第54条に対する設計方針を示す章)及び3.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(設置許可基準規則第55条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	-	⑤
13	3.13.2.1.1	添 3.13-5	また, 重大事故等の収束に必要な水源に係る系統概要図を図3.13-1~16に示す。	また, 本系統に係る系統概要図を図3.13-1~9に示す。	⑤
14	3.13.2.1.1	添 3.13-6	削除		②(水源の運用変更に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	3.13.2.1.1	添 3.13-6	削除		②(水源の運用変更に伴う変更)
16	3.13.2.1.1	添 3.13-7		<p>計測制御設備については「3.15 計装設備 (設置許可基準規則 第58条に対する設計方針を示す章)」で示す</p>	②45条の図変更に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
17	3.13.2.1.1	添 3.13-8		<p>計測制御設備については「3.15 計装設備（設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章）」で示す</p>	②(第二GTG自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	3.13.2.1.1	添 3.13-9		-	②(第二GTG自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
20	3.13.2.1.1	添 3.13-11			②(第二GTG自主化)

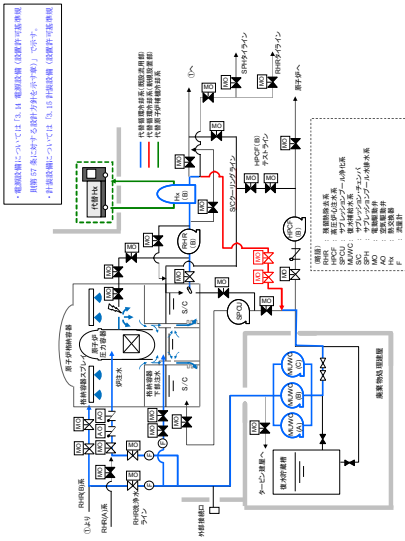
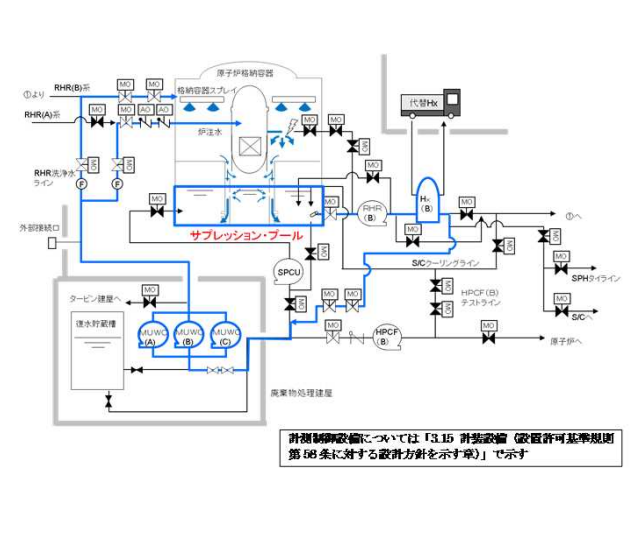
まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	3.13.2.1.1	添 3.13-12	<p>凡例: — 従前機種維持/新機種追加 (実機) / 従前機種維持/新機種追加 (設備) - - - 従前機種維持/新機種追加 (可機種別) 設備追加による変更:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電機設備については「3.14 電機設備 (設備許可基準規 則第 57 条に対する設計方針を示す表)」で示す。 ・計装設備については「3.15 計装設備 (設備許可基準規 則第 57 条に対する設計方針を示す表)」で示す。 	-	① (TBP対応に伴う設備の追加) ② (第二GTG自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
22	3.13.2.1.1	添 3.13-13	 <p>※ 変更箇所については、3.13 第3図設備（設備許容範囲） 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 ※ 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13</p>	 <p>※ 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 ※ 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13 添3.13-13</p>	<p>②50条の図変更に伴う修正</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
23	3.13.2.1.1	添 3.13-14			②(第二GTG自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	3.13.2.1.1	添 3.13-15	<p>図例： 黒線：補助器下位系統（原動機） 赤線：補助器下位系統（発電機） 青線：電気系統の設備</p> <p>＜電気設備の追加＞ ・補助器下位系統の発電機 ・補助器下位系統の電動機</p> <p>＜電気設備の変更＞ ・補助器下位系統の電動機</p> <p>・電気設備については、図 3.14「電気設備（設備許可基準適用）」で示す。 ・計測設備については、図 3.15「計測設備（設備許可基準適用）」</p>	-	②(第二GTG自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

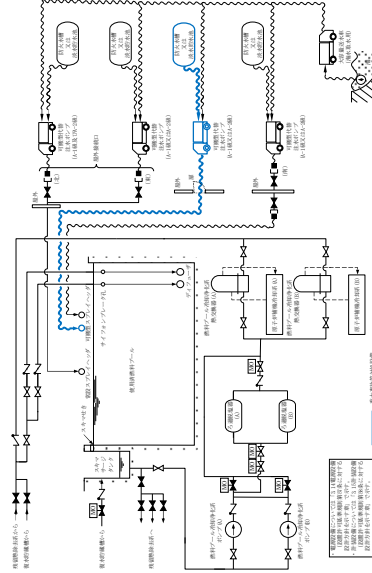
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
25	3.13.2.1.1	添 3.13-16		-	②54条の図変更に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
26	3.13.2.1.1	添 3.13-17		-	②54条の図変更に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	3.13.2.1.1	添 3.13-18		-	②54条の図変更に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
28	3.13.2.1.1	添 3.13-19		-	②54条の図変更に伴う修正
29	3.13.2.1.1	添 3.13-20	<p>電源設備については「3.14 電源設備（設置許可 基準規程第 57 条に対する設計方針を示す等）」 で示す。</p>		②55条の図変更に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由												
30	3.13.2.1.1	添 3.13-20			②55条の図変更に伴う修正												
31	3.13.2.1.4.1	添 3.13-24	<p>復水貯蔵槽を水源とする高压代替注水系, 低压代替注水系(常設), 代替格納容器スレイ冷却系(常設)及び格納容器下部注水系(常設)の操作性については、「3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高压時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第45条に対する設計方針を示す章)」、「3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低压時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章)」、「3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章)」及び「3.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章)」に記載する。</p>	<p>重大事故等の収束に必要な水源である復水貯蔵槽の保有水を十分に確保するため, 復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁及び, 復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁を現場にて操作する設計であるが, 原子炉格納容器ベントを実施する前に行う作業であるため, 想定される重大事故時等の環境下においても, 確実に操作, 作業をすることが可能である。 表3.13-3に操作対象機器を示す。 この操作にあたり, 運転員のアクセス性, 操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また操作対象については銘板をつけることで識別可能とし, 運転員の操作及び監視性を考慮して確実に操作できる設計とする。</p>	⑤												
32	3.13.2.1.4.1	添 3.13-24	<p>サブプレッション・チェンバを水源とする代替循環冷却系の操作性については、「3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章)」に記載する。</p>	<p>サブプレッション・チェンバのプール水を確保するための操作は不要な設計とする。</p>	⑤												
33	3.13.2.1.4.1	添 3.13-24	削除	<p>表3.13-3 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁</td> <td>弁閉→弁開</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁</td> <td>弁閉→弁開</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> <td>手動操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁	弁閉→弁開	廃棄物処理建屋地下3階	手動操作	復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁	弁閉→弁開	廃棄物処理建屋地下3階	手動操作	⑤56条では対象外な記載な為削除
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法														
復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁	弁閉→弁開	廃棄物処理建屋地下3階	手動操作														
復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁	弁閉→弁開	廃棄物処理建屋地下3階	手動操作														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																						
34	3.13.2.1.4.1	添 3.13-24	復水貯蔵槽は, 表3.13-3に示すように発電用原子炉の停止中に, 上部に設置しているハッチを開放し水中カメラにより内部の確認が可能な設計とする。 また, 漏えいの有無の確認が可能な設計とする。発電用原子炉の運転中には漏えい目視箱により漏えいのないことの確認が可能な設計とする。	復水貯蔵槽は, 表3.13-4に示すように発電用原子炉の停止中に外観点検が可能である。上部に設置しているハッチを開放し, 異常の有無を水中カメラにて確認を行うことが可能な設計とする。また発電用原子炉の運転中には漏えい目視箱により漏えいのないことを確認を行うことができる設計とする。	⑤																						
35	3.13.2.1.4.1	添 3.13-24	サブプレッション・チェンバは, 表3.13-4に示すように発電用原子炉の停止中に, 内部の確認が可能な設計とする。また, 気密性能の確認として, 全体漏えい率試験が可能な設計とする。 発電用原子炉の運転中には中央制御室にて24時間に1回の頻度で水位の確認により漏えいの有無の確認が可能な設計とする。	サブプレッション・チェンバは, 表3.13-5に示すように発電用原子炉の停止中に目視点検にて異常の有無を確認を行うことができる設計とする。また発電用原子炉の運転中には中央制御室にて24時間に1回の頻度で水位の確認により異常のないことの確認を行える設計とする。	⑤																						
36	3.13.2.1.4.1	添 3.13-25	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>停止中</td> <td>外観検査</td> <td>水中カメラにより内部を確認 漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> <td>異常監視</td> <td>漏えい目視箱により漏えいのないことを確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	停止中	外観検査	水中カメラにより内部を確認 漏えいの有無の確認	運転中	異常監視	漏えい目視箱により漏えいのないことを確認	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>停止中</td> <td>外観検査</td> <td>水中カメラにより異常の有無を確認</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> <td>異常監視</td> <td>漏えい目視箱により漏えいのないことを確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	停止中	外観検査	水中カメラにより異常の有無を確認	運転中	異常監視	漏えい目視箱により漏えいのないことを確認	⑤				
発電用原子炉の状態	項目	内容																									
停止中	外観検査	水中カメラにより内部を確認 漏えいの有無の確認																									
運転中	異常監視	漏えい目視箱により漏えいのないことを確認																									
発電用原子炉の状態	項目	内容																									
停止中	外観検査	水中カメラにより異常の有無を確認																									
運転中	異常監視	漏えい目視箱により漏えいのないことを確認																									
37	3.13.2.1.4.1	添 3.13-25	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>外観検査</td> <td>目視により内部を確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>全体漏えい率試験により気密性能を確認</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> <td>異常監視</td> <td>水位の監視により漏えいのないことを確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	停止中	外観検査	目視により内部を確認	機能・性能試験	全体漏えい率試験により気密性能を確認	運転中	異常監視	水位の監視により漏えいのないことを確認	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>外観検査</td> <td>サブプレッション・チェンバの内面については目視により異常の有無を確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>原子炉格納容器全体漏えい率試験により漏えいのないことを確認</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> <td>異常監視</td> <td>水位の監視により異常のないことの確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	停止中	外観検査	サブプレッション・チェンバの内面については目視により異常の有無を確認	機能・性能試験	原子炉格納容器全体漏えい率試験により漏えいのないことを確認	運転中	異常監視	水位の監視により異常のないことの確認	⑤
発電用原子炉の状態	項目	内容																									
停止中	外観検査	目視により内部を確認																									
	機能・性能試験	全体漏えい率試験により気密性能を確認																									
運転中	異常監視	水位の監視により漏えいのないことを確認																									
発電用原子炉の状態	項目	内容																									
停止中	外観検査	サブプレッション・チェンバの内面については目視により異常の有無を確認																									
	機能・性能試験	原子炉格納容器全体漏えい率試験により漏えいのないことを確認																									
運転中	異常監視	水位の監視により異常のないことの確認																									
38	3.13.2.1.4.1	添 3.13-25	復水貯蔵槽を水源とする高圧代替注水系, 低圧代替注水系(常設), 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)及び格納容器下部注水系(常設)の切り替えの容易性については, 「3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第45条に対する設計方針を示す章)」、「3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章)」、「3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章)」及び「3.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	復水貯蔵槽を水源として利用する際には, 復水貯蔵槽の中部(常用ライン)と下部(非常用ライン)の2通りのラインがあるが, 通常運転時は中部(常用ライン)を使用しているため, 長期的な確保として復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁及び, 復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁の開操作を行い, 下部(非常用ライン)に切り替える。 ただし, 復水貯蔵槽を水源として利用する復水移送ポンプの起動当初は復水貯蔵槽水位は確保されているため, 本切り替え操作は原子炉格納容器や原子炉圧力容器への注水が開始された後に実施することとする。	⑤																						
39	3.13.2.1.4.1	添 3.13-25	サブプレッション・チェンバを水源とする代替循環冷却系の切り替えの容易性については, 「3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	サブプレッション・チェンバのプール水を水源とする際には切り替え操作は不要である。	⑤																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由									
40	3.13.2.1.4.1	添 3.13-26	復水貯蔵槽及びサブプレッション・チェンバは、 重大事故等時に弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。	復水貯蔵槽及びサブプレッション・チェンバのプール水は、設計基準対処施設として使用する場合と同じ系統構成で、想定される重大事故等時に水源として使用することにより、他の設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。	⑤									
41	3.13.2.1.4.1	添 3.13-26	復水貯蔵槽を水源とする高圧代替注水系、低圧代替注水系(常設)、代替格納容器スプレイ冷却系(常設)及び格納容器下部注水系(常設)の系統構成に操作が必要な機器の設置場所、操作場所については、「3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第45条に対する設計方針を示す章)」、「3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章)」、「3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章)」及び「3.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	表3.13-6の操作対象機器に示すとおり、復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁及び、復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁は、廃棄物処理建屋地下3階での操作となり、原子炉建屋外であるため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。	⑤									
42	3.13.2.1.4.1	添 3.13-26	サブプレッション・チェンバを水源とする代替循環冷却系の系統構成に操作が必要な機器の設置場所、操作場所については、「3.7 原子炉格納容器の過圧破壊を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	サブプレッション・チェンバのプール水を水源とするための操作は不要である。	⑤									
43	3.13.2.1.4.1	添 3.13-26	削除	<p style="text-align: center;">表 3.13-6 操作対象機器設置場所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁	廃棄物処理建屋地下3階	廃棄物処理建屋地下3階	復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁	廃棄物処理建屋地下3階	廃棄物処理建屋地下3階	⑤56条では対象外な記載な為削除
機器名称	設置場所	操作場所												
復水補給水系常/非常用連絡管1次止め弁	廃棄物処理建屋地下3階	廃棄物処理建屋地下3階												
復水補給水系常/非常用連絡管2次止め弁	廃棄物処理建屋地下3階	廃棄物処理建屋地下3階												
44	3.13.2.1.4.2	添 3.13-27	復水貯蔵槽は、設計基準対象施設と兼用しており、設計基準対象施設としての容量が、代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)又は海水を利用するまでの間に必要な容量を有しているため、設計基準対象施設と同仕様で設計する。	-	⑤									
45	3.13.2.1.4.2	添 3.13-27	復水貯蔵槽の水量が最も少なくなる事故シーケンスは、 重大事故等対策の有効性評価で想定する各事故シーケンスのうち、高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱、原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用及び溶融炉心・コンクリート相互作用である。これらは、過渡事象を起因事象とし、かつ、発電用原子炉への全ての注水機能が確保できないとして、炉心損傷を進展させた場合について評価する事故シーケンスである。当該事故シーケンスにおいて、淡水の使用量は号炉あたり7日間で約2,700m³であり、復水貯蔵槽の貯水量約1,700m³/号炉が枯渇するのは事象発生から約14時間後程度であり、事象発生12時間後に代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽)又は海水を供給するまでの間、重大事故等の収束に必要な、十分な容量を有する設計とする。	重大事故等対策の有効性評価で想定する各事故シーケンスのうち、復水貯蔵槽の水量が最も少なくなる事故シーケンスは、高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱(DCH)、原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用(FCI)及び溶融炉心・コンクリート相互作用(MCCI)である。これらは、過渡事象を起因事象とし、かつ、原子炉への全ての注水機能が確保できないとして、炉心損傷を進展させた場合について評価する事故シーケンスである。当該事故シーケンスにおいて、淡水の使用量は号炉あたり7日間で約2,600m ³ であり、復水貯蔵槽の貯水量約1,700m ³ /号炉が枯渇するのは事象発生から約14時間後程度であり、事象発生12時間後に代替淡水源又は、海水を供給することで、十分な容量を有する設計とする。	④(有効性評価の変更に伴う変更)									

まとめ資料変更箇所リスト

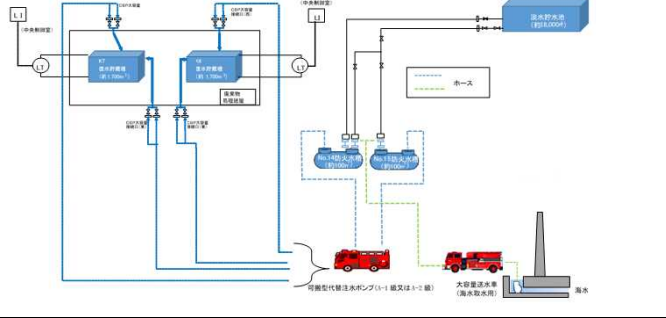
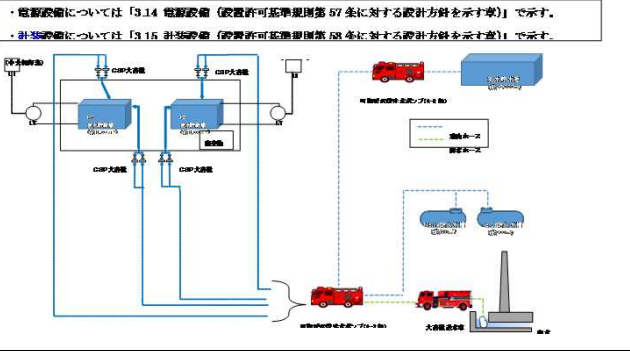
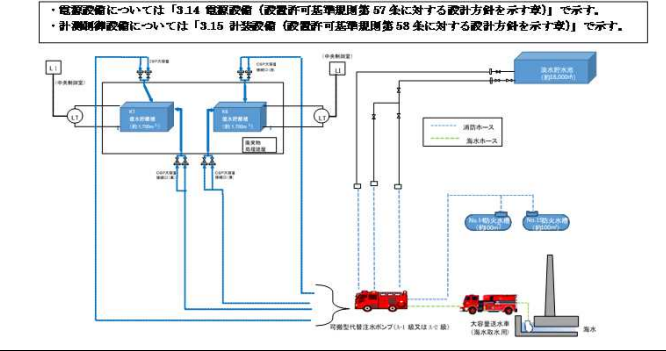
【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	3.13.2.1.4.2	添 3.13-27	サプレッション・チェンバは、設計基準対象施設と兼用しており、設計基準対象施設としての保有水量による水頭が、代替循環冷却系で使用する復水移送ポンプの必要有効吸込水頭に対して十分であるため、設計基準対象施設と同仕様で設計する。	サプレッション・チェンバのプール水を水源として利用する代替循環冷却においては、サプレッション・チェンバのプール水を復水移送ポンプを利用し循環させる系統構成である。そのため、サプレッション・チェンバのプール水は、復水移送ポンプのNPSH評価を満足するために必要な水位(T.M.S.L-1200)に対して十分な容量を有する設計とする。	⑤
47	3.13.2.1.4.2	添 3.13-28	復水貯蔵槽を水源とする高圧代替注水系、低圧代替注水系(常設)、代替格納容器スプレイ冷却系(常設)及び格納容器下部注水系(常設)の多様性については、「3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第45条に対する設計方針を示す章)」、「3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章)」、「3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章)」及び「3.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	重大事故等対処設備の低圧代替注水系等の水源である復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋にあり、原子炉建屋にある設計基準事故対処設備の水源であるサプレッション・チェンバと位置的分散を図ることで同時に機能が損なわれない設計とする。	⑤
48	3.13.2.1.4.2	添 3.13-28	サプレッション・チェンバを水源とする代替循環冷却系の多様性については、「3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章)」に記載する。	重大事故等対処設備の代替循環冷却の水源であるサプレッション・チェンバは、格納容器圧力逃がし装置の水源として使用する淡水貯水池・防火水槽と位置的分散を図ることで同時に機能が損なわれない設計とする。	⑤
49	3.13.2.2.1	添 3.13-29	復水貯蔵槽へ海水を供給する設備は、大容量送水車(海水取水用)及びホース等で構成する。復水貯蔵槽への海水の供給は、非常用取水設備の海水貯留堰、スクリーン室及び取水路より大容量送水車(海水取水用)、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、ホース及び建屋外壁の接続口を用いて供給する。	—	⑤
50	3.13.2.2.1	添 3.13-29	また、各系統へ海水を供給する設備は、大容量送水車(海水取水用)及びホース等で構成する。各系統への海水の供給は、非常用取水設備の海水貯留堰、スクリーン室及び取水路より大容量送水車(海水取水用)及びホースを用いて供給する。	—	⑤
51	3.13.2.2.1	添 3.13-29	削除	また、防火水槽への水の供給については、淡水貯水池よりホースを用いて供給する。なお、防火水槽への海水の供給、及び代替原子炉補機冷却系への海水の供給については、取水路(海水貯留堰、スクリーン室)より大容量送水車(海水取水用)及びホースを用いて供給する。	②(水源の運用変更に伴う削除)
52	3.13.2.2.1	添 3.13-29	なお、復水貯蔵槽への水の供給設備で使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、低圧代替注水系(可搬型)、代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)、格納容器下部注水系(可搬型)及び燃料プール代替注水系と兼用する。	なお、水源への水の供給設備で使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、低圧代替注水系(可搬型)、格納容器圧力逃がし装置への供給、格納容器下部注水系(可搬型)及び燃料プール代替注水系と兼用する。	①(TBP対応に伴う設備の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	3.13.2.2.1	添 3.13-29	削除	また, 注水先への注水設備としても同様に, 津波の影響を受けない高台に保管している可搬型代替注水ポンプ(A-1級, 及びA-2級)とホースで構成する。	②(水源の運用変更に伴う削除)
54	3.13.2.2.1	添 3.13-30	削除	図3.13-9 系統概要図(防火水槽経由の場合の水源への水の移送設備) 	②(水源の運用変更に伴う削除)
55	3.13.2.2.1	添 3.13-30	<p>・電源設備については「3.14 電源設備 (設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す章)」で示す。 ・計装設備については「3.15 計装設備 (設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> 	<p>・電源設備については「3.14 電源設備 (設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す章)」で示す。 ・計装設備については「3.15 計装設備 (設置許可基準規則第 58 条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> 	②(水源の運用変更に伴う変更)
56	3.13.2.2.1	添 3.13-30	図3.13-17 復水貯蔵槽への水の供給 系統概要図	図3.13-10 系統概要図(直接送水の場合の水源への水の移送設備)	②(水源の運用変更に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
57	3.13.2.2.1	添 3.13-31	<p>表 3.13-5 水の移送設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>代替淡水源 防火水槽【常設】 淡水貯水池【常設】 代替水源 海 非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給設備を含む) *1</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備*2</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA) 【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】	附属設備	—	水源	代替淡水源 防火水槽【常設】 淡水貯水池【常設】 代替水源 海 非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】	流路	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】	注水先	—	電源設備 (燃料補給設備を含む) *1	燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備*2	復水貯蔵槽水位 (SA) 【常設】	<p>表 3.13-7 水の移送設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路[海水取水箇所]【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備 (燃料補給設備を含む) *1</td> <td>燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備*2</td> <td>復水貯蔵槽水位 (S A) 【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】	附属設備	—	水源	—	流路	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路[海水取水箇所]【常設】	注水先	—	電源設備 (燃料補給設備を含む) *1	燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】	計装設備*2	復水貯蔵槽水位 (S A) 【常設】	⑤
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】																																				
附属設備	—																																				
水源	代替淡水源 防火水槽【常設】 淡水貯水池【常設】 代替水源 海 非常用取水設備 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路【常設】																																				
流路	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】																																				
注水先	—																																				
電源設備 (燃料補給設備を含む) *1	燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備*2	復水貯蔵槽水位 (SA) 【常設】																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 【可搬】 大容量送水車(海水取水用) 【可搬】																																				
附属設備	—																																				
水源	—																																				
流路	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) ホース・接続口【可搬】 CSP 外部補給配管・弁【常設】 大容量送水車(海水取水用) ホース【可搬】 海水貯留堰【常設】 スクリーン室【常設】 取水路[海水取水箇所]【常設】																																				
注水先	—																																				
電源設備 (燃料補給設備を含む) *1	燃料補給設備 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL) 【可搬】																																				
計装設備*2	復水貯蔵槽水位 (S A) 【常設】																																				
58	3.13.2.2.2	添 3.13-32	<p>(1)可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6号及び7号炉共用)</p> <p>種類 : うず巻形 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa[gage] 最高使用圧力 : 2.0MPa[gage] 最高使用温度 : 60°C 個数 : 16(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所 原動機出力 : 100kW</p>	<p>(1)可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6号及び7号炉共用)</p> <p>種類 : ターボ形 容量 : 120m³/h/台 吐出圧力 : 0.85MPa 最高使用圧力 : 1.76MPa 最高使用温度 : 40°C 個数 : 12(6/プラント)(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : 約110kW</p>	①(TBP対応に伴う保管場所の追加及び台数の変更)																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
59	3.13.2.2.2	添 3.13-32	(2)大容量送水車(海水取水用) (6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 900m ³ /h/台 吐出圧力 : 1.25MPa[gage] 最高使用圧力 : 1.3MPa[gage] 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 2 (予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 原動機出力 : <input type="text"/> kW	(2)大容量送水車(海水取水用)(6号及び7号炉共用) 種類 : うず巻形 容量 : 900m ³ /h/台 吐出圧力 : 1.25MPa 最高使用圧力 : 1.30MPa 最高使用温度 : 60℃ 個数 : 1(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所又は大湊側高台保管場所 原動機出力 : <input type="text"/> kW	②(大容量送水車の2n設備化)
60	3.13.2.2.2	添 3.13-32	なお、電源設備については、「3.14 電源設備(設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」、計装設備については「3.15 計装設備(設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章)」で示す。	なお、注水先への注水設備については、3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備(設置許可基準規則第47条に対する設計方針を示す章)、3.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備(設置許可基準規則第48条に対する設計方針を示す章)、3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備(設置許可基準規則第49条に対する設計方針を示す章)、3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(設置許可基準規則第50条に対する設計方針を示す章)、3.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備(設置許可基準規則第51条に対する設計方針を示す章)、3.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備(設置許可基準規則第54条に対する設計方針を示す章)」、電源設備については、「3.14 電源設備(設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」、計測制御設備については「3.15 計装設備(設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章)」で示す。	⑤73の部分に各設備の誘導を追加した為、文言削除
61	3.13.2.2.3.1	添 3.13-33	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に保管し、重大事故時に屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、以下の表3.13-6に示す設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、大容量送水車(海水取水用)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管し、重大事故時に各水源付近の屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、以下の表3.13-8に示す設計とする。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)
62	3.13.2.2.3.1	添 3.13-33	大容量送水車(海水取水用)は、屋外の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に保管し、重大事故時に屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、以下の表3.13-6に示す設計とする。	-	⑤
63	3.13.2.2.3.1	添 3.13-35	復水貯蔵槽へ水を供給するための操作に必要な機器及び操作に必要な弁を表3.13-7に示す。このうち、CSP外部注水ライン東側注入弁(A)及びCSP外部注水ライン東側注入弁(B)並びにCSP外部注水ライン西側注入弁(A)及びCSP外部注水ライン西側注入弁(B)については、接続口が設置されている屋外の場所から手動操作で弁を開閉することが可能な設計とする。	-	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
64	3.13.2.2.3.1	添 3.13-35	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)及び大容量送水車(海水取水用)は、 車両として屋外のアクセスルート を通行して アクセス可能な設計 するとともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)及び大容量送水車(海水取水用)は、接続口まで屋外のアクセスルートを通行して移動可能な設計するとともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。	⑤
65	3.13.2.2.3.1	添 3.13-35	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を接続する接続口とホースの接続作業に 当たっては 、特殊な工具及び技量は必要とせず、簡便な結合金具による接続方式並びに一般的な工具を使用することにより、 確実に接続が可能な設計 とする。	ホースの接続作業にあたっては、特殊な工具、及び技量は必要とせず、簡便な結合金具による接続方式並びに一般的な工具を使用することにより、 確実に接続が可能な設計 とする。	⑤
66	3.13.2.2.3.1	添 3.13-35	大容量送水車(海水取水用)と可搬型代替注水ポンプ(A-2級)とのホースの接続作業に 当たっては 、簡便な接続とし、接続治具を用いてホースを 確実に接続できる設計 とする。	-	⑤
67	3.13.2.2.3.1	添 3.13-35	大容量送水車(海水取水用)と各系統との接続は、簡便な接続とし、 接続治具を用いてホースを確実に接続できる設計 とする。	-	⑤
68	3.13.2.2.3.1	添 3.13-37	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、表3.13-8に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に分解又は取替え、車両としての運転状態の確認及び 外観の確認 が可能な設計とする。また、発電用原子炉の運転中又は停止中に、淡水貯水池を水源とし、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、仮設流量計、ホースの系統構成で淡水貯水池へ送水する試験を行うテストラインを設けることで 他系統と独立した試験系統 で機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な系統設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、表3.13-10に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に分解又は取替え、車両としての運転状態の確認が可能な設計とする。また、発電用原子炉の運転中又は停止中に、淡水貯水池を水源とし、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、仮設流量計、ホースの系統構成で淡水貯水池へ送水する試験を行うテストラインを設けることで機能、性能及び漏えいの有無の確認が可能な系統設計とする。	⑤
69	3.13.2.2.3.1	添 3.13-37	大容量送水車(海水取水用)は、表3.13-9に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に分解又は取替え、車両としての運転状態の確認及び 外観の確認 が可能な設計とする。また、発電用原子炉の運転中又は停止中に、淡水貯水池を水源とし、大容量送水車(海水取水用)、仮設流量計、ホースの系統構成で淡水貯水池へ送水する試験を行うテストラインを設けることで 他系統と独立した試験系統 で機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な系統設計とする。	大容量送水車(海水取水用)は、表3.13-11に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に分解又は取替え、車両としての運転状態の確認が可能な設計とする。また、発電用原子炉の運転中又は停止中に、淡水貯水池を水源とし、大容量送水車、仮設流量計、ホースの系統構成で淡水貯水池へ送水する試験を行うテストラインを設けることで機能、性能及び漏えいの有無の確認が可能な系統設計とする。	⑤
70	3.13.2.2.3.1	添 3.13-37	なお、接続口から復水補給水系主配管までのラインについては、上記の試験に加えて、発電用原子炉の運転中及び停止中に各接続口の 弁動作試験を実施 することで 弁開閉動作の確認 が可能な設計とする。	なお、接続口から復水補給水系主配管までのラインについて、上記の試験に加えて、発電用原子炉の運転中及び停止中に各接続口付属の弁が、開閉動作可能な構成とすることで 弁動作試験 が可能な設計とする。	⑤
71	3.13.2.2.3.1	添 3.13-39	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による 代替淡水源(淡水貯水池及び防火水槽) から復水貯蔵槽への 淡水の供給 並びに大容量送水車(海水取水用)及び 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から復水貯蔵槽への海水の供給 に必要な資機材の移動、設置、起動操作については図3.13-18~20で示すタイムチャートの とおり速やかに切り替える ことが可能である。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給、淡水貯水池から防火水槽又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)への送水、大容量送水車(海水取水用)による防火水槽への供給に必要な資機材の移動、設置、起動操作については図3.13-10~12で示すタイムチャートの 通り速やかに切り替える ことが可能である。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
72	3.13.2.2.3.1	添 3.13-39			②(水源の運用変更に伴う変更)
73	3.13.2.2.3.1	添 3.13-39	図3.13-18 淡水貯水池を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給 タイムチャート*	図3.13-11 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給のタイムチャート(1/2)*	②(水源の運用変更に伴う変更)
74	3.13.2.2.3.1	添 3.13-39			②(水源の運用変更に伴う変更)
75	3.13.2.2.3.1	添 3.13-39	図3.13-19 防火水槽を水源とした可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給 タイムチャート*	図3.13-12 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給のタイムチャート(2/2)*	②(水源の運用変更に伴う変更)
76	3.13.2.2.3.1	添 3.13-40		図3.13-13 大容量送水車(海水取水用)による防火水槽への供給のタイムチャート	②(水源の運用変更に伴う変更)
77	3.13.2.2.3.1	添 3.13-40	図3.13-20 海を水源とした大容量送水車(海水取水用)及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による復水貯蔵槽への供給のタイムチャート*		②(水源の運用変更に伴う変更)
78	3.13.2.2.3.1	添 3.13-40	削除		②(水源の運用変更に伴う削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
79	3.13.2.2.3.1	添 3.13-40	削除	図3.13-14 淡水貯水池から防火水槽への供給のタイムチャート*	②(水源の運用変更に伴う削除)
80	3.13.2.2.3.1	添 3.13-41	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)及び大容量送水車(海水取水用)は、通常時は接続先の系統と分離して保管し、 重大事故等時に接続、弁操作等により 、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、大容量送水車(海水取水用)は、通常時は接続先の系統と分離された状態で保管し、他の設備に悪影響を及ぼさない運用とする。 水源への供給を行う場合は、弁操作によって、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	⑤
81	3.13.2.2.3.1	添 3.13-41	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、放射性物質を含む系統と含まない系統を区分するため、 通常時に接続口を、弁により隔離する設計とする。	放射性物質を含む系統と含まない系統を区分するため、接続口は、全閉隔離する設計とする。	⑤
82	3.13.2.2.3.1	添 3.13-41	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)及び大容量送水車(海水取水用)は、 治具や輪留めによる固定等をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	-	⑤
83	3.13.2.2.3.1	添 3.13-41	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)及び大容量送水車(海水取水用)は、 飛散物となって他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	-	⑤
84	3.13.2.2.3.1	添 3.13-41	復水貯蔵槽への水の供給のために 操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.13-10に示す。可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、大容量送水車(海水取水用)、ホース、CSP外部注水ライン東側注入弁(A)及びCSP外部注水ライン東側注入弁(B)並びにCSP外部注水ライン西側注入弁(A)及びCSP外部注水ライン西側注入弁(B)は全て屋外にあるため、操作位置及び作業位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため、操作が可能である。	水を供給するための操作が必要な機器は表3.13-12に示すとおり全て屋外に設置されており、これらは原子炉格納容器ベントを実施していない状況で屋外で使用する設備で、想定される重大事故等が発生した場合における放射線量が高くなるおそれが少ないため、操作を行うことが可能である。	⑤
85	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	復水貯蔵槽への水の供給のために使用する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量は、運転中の 発電用 原子炉における重大事故シーケンスのうち、水使用の観点から厳しい有効性シナリオとなる 雰囲気気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損)(代替循環冷却系を使用しない場合)に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付書類十)において、有効性が確認されている復水貯蔵槽への供給流量130m ³ /hを満足する設計とする。	復水貯蔵槽への供給として使用する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量は、運転中の原子炉における重大事故シーケンスのうち、水使用の観点から厳しい有効性シナリオとなる格納容器過圧・過温破損シナリオ(代替循環冷却を使用しない場合)に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付書類十)において、有効性が確認されている復水貯蔵槽への供給流量130m ³ /hを満足する設計とする。	⑤
86	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	復水貯蔵槽への海水の供給のために 使用する場合の 大容量送水車(海水取水用)の容量は、運転中の 発電用 原子炉における重大事故シーケンスのうち、水使用の観点から厳しい有効性シナリオとなる 雰囲気気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損)(代替循環冷却を使用しない場合)に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付書類十)において、有効性が確認されている可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いた復水貯蔵槽への供給流量130m ³ /hを満足する設計とする。	大容量送水車(海水取水用)の容量は、運転中の原子炉における重大事故シーケンスのうち、水使用の観点から厳しい有効性シナリオとなる格納容器過圧・過温破損シナリオ(代替循環冷却を使用しない場合)に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付書類十)において、有効性が確認されている可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いた復水貯蔵槽への供給流量130m ³ /hを満足する設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
87	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	また、復水貯蔵槽への水の供給のために使用する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は、水源と供給先の圧力差(大気開放である淡水貯水池又は防火水槽と復水貯蔵槽の圧力差)、静水頭、配管やホース及び弁類の圧損を基に設定する。	また、復水貯蔵槽へ供給する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は、水源と供給先の圧力差(大気開放である防火水槽又は淡水貯水池と復水貯蔵槽の圧力差)、静水頭、配管やホース及び弁類の圧損を基に設定する。	⑤
88	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	復水貯蔵槽への海水の供給のために使用する場合の大容量送水車(海水取水用)の揚程は、水源と供給先の圧力差(海と可搬型代替注水ポンプ(A-2級)吸込口の圧力差)、静水頭、配管やホース及び弁類の圧損を基に設定する。	大容量送水車(海水取水用)の揚程は、水源と供給先の圧力差(海と防火水槽又は可搬型代替注水ポンプ(A-2級)吸込口の圧力差)、静水頭、配管やホース及び弁類の圧損を基に設定する。	⑤
89	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、重大事故等時において、復水貯蔵槽への水の供給に必要な流量を確保できる容量を有するものを1セット4台使用する。保有数は1プラントあたり2セット8台で、6号及び7号炉共用で4セット16台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計17台を分散して保管する。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、重大事故時において、復水貯蔵槽への供給に必要な流量を確保できる容量を有するものを1セット3台使用する。保有数は1プラントあたり2セット6台で、6号及び7号炉共用で4セット12台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計13台を分散して保管する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)
90	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	大容量送水車(海水取水用)は、重大事故時において、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)への供給に必要な流量を確保できる容量を有するものを6号及び7号炉共用で1セット1台使用する。保有数は6号及び7号炉共用で2セット2台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計3台を分散して保管する。	大容量送水車(海水取水用)は、重大事故時において、防火水槽及び淡水貯水池への供給に必要な流量を確保できる容量を有するものを6号及び7号炉共用で1セット1台使用する。保有数は6号及び7号炉共用で1セット1台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計2台を分散して保管する。	②(大容量送水車の2n設備化)
91	3.13.2.2.3.2	添 3.13-44	復水貯蔵槽への水の供給に用いる可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の接続箇所は、低圧代替注水系(可搬型)、代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)、格納容器下部注水系(可搬型)及び燃料プール代替注水系にも使用することができるよう、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から来るホースと接続口について、簡便な接続方式である結合金具にすることに加え、接続口の口径を75A又は65Aに統一し、75A/65Aの接続治具を配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。また、6号及び7号炉が相互に使用することができるよう、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から来るホースと接続口について、ホースと接続口を簡便な接続方式である結合金具にすることに加え、接続口の口径を75A又は65Aに統一し、75A/65Aの接続治具を配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。	復水貯蔵槽への供給に用いる可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の接続箇所は、低圧代替注水系(可搬型)、格納容器下部注水系(可搬型)にも使用することができるよう、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から来るホースと接続口について、簡便な接続方式である結合金具にすることに加え、接続口の口径を75A又は65Aに統一し、75A/65Aのレデューサを配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。また、6号及び7号炉が相互に使用することができるよう、ホースと接続口を簡便な接続方式である結合金具にすることに加え、接続口の口径を75A又は65Aに統一し、75A/65Aのレデューサを配備しておくことで確実に接続ができる設計とする。	①(TBP対応に伴う設備の追加)
92	3.13.2.2.3.2	添 3.13-44	大容量送水車(海水取水用)と可搬型代替注水ポンプ(A-2級)との接続は、簡便な接続とし、接続治具を用いてホースを確実に接続できる設計とする。	なお、可搬設備どうしの接続である防火水槽への海水の供給に用いる大容量送水車(海水取水用)の接続箇所は、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)から来るホースの接続口と口径を統一しかつ簡便な接続方式とすることで、確実に接続ができる設計とする。また淡水貯水池の接続口についても、防火水槽から来るホースの接続口と口径を統一しかつ簡便な接続方式とすることで、確実に接続ができる設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
93	3.13.2.2.3.2	添 3.13-44	大容量送水車(海水取水用)と各系統との接続は, 簡便な接続とし, 接続治具を用いてホースを確実に接続できる設計とする。	—	⑤
94	3.13.2.2.3.2	添 3.13-45	6号及び7号炉については, 接続口から復水補給水系配管まで鋼製配管でつながる「CSP大容量注水接続口(東)」を廃棄物処理建屋東側に1箇所, 「CSP大容量注水接続口(西)」を廃棄物処理建屋西側に1箇所設置し, 合計2箇所設置することで共通要因によって接続できなくなることを防止する設計とする。	6号及び7号炉については, 復水補給水系配管まで鋼製配管でつながる接続口を廃棄物処理建屋東側に1箇所, 廃棄物処理建屋西側に1箇所設置することで共通要因によって接続することができなくなることを防止する設計とする。	⑤
95	3.13.2.2.3.2	添 3.13-45	また, 復水貯蔵槽への水の供給に用いる接続箇所と可搬型代替注水ポンプ(A-2級)のホース接続作業にあたっては, 簡便な結合金具による接続方式にすることに加え, 接続口の口径を75A又は65Aに統一し, 75A/65Aの接続治具を配備しておくことで確実に速やかに接続が可能な設計とする。	また, 現場でのホース接続作業にあたっては, 簡便な接続金具による接続方式により, 確実に速やかに接続が可能な設計とする。	⑤
96	3.13.2.2.3.2	添 3.13-45	大容量送水車(海水取水用)と可搬型代替注水ポンプ(A-2級)との接続は, 簡便な接続とし, 接続治具を用いてホースを確実に接続できる設計とする。	—	⑤
97	3.13.2.2.3.2	添 3.13-45	大容量送水車(海水取水用)と各系統との接続は, 簡便な接続とし, 接続治具を用いてホースを確実に接続できる設計とする。	—	⑤
98	3.13.2.2.3.2	添 3.13-46	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 地震, 津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響, 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し, 発電所敷地内の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に分散して保管する。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級), 大容量送水車(海水取水用)は, 地震, 津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響, 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し, 原子炉格納容器内にあるサブプレッション・チェンバと位置的分散を図り, 発電所敷地内の高台の大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所に分散して保管する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)
99	3.13.2.2.3.2	添 3.13-46	大容量送水車(海水取水用)は, 地震, 津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響, 設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し, 発電所敷地内の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に分散して保管する。	—	⑤
100	3.13.2.2.3.2	添 3.13-46	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 通常時は高台の荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に分散して保管しており, 想定される重大事故等が発生した場合においても, 保管場所から接続場所までの運搬経路について, 設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう, 迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級), 大容量送水車(海水取水用)は, 通常時は高台に保管しており, 想定される重大事故等が発生した場合においても, 保管場所から接続場所までの運搬経路について, 設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう, 迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
101	3.13.2.2.3.2	添 3.13-46	大容量送水車(海水取水用)は, 通常時は荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に分散して保管しており, 想定される重大事故等が発生した場合においても, 保管場所から接続場所までの運搬経路について, 設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう, 迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確認する。	—	⑤
102	3.13.2.2.3.2	添 3.13-47	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 共通要因によって, 設計基準事故対処設備の安全機能, 使用済燃料プールの冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう, 発電所敷地内の高台の大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所に分散して配置する設計とする。	可搬型代替注水ポンプ(A-2級), 大容量送水車(海水取水用)は, 共通要因によって, 原子炉格納容器内にある常設重大事故緩和設備であるサブプレッション・チェンバと同時に機能が損なわれるおそれがないよう, 原子炉格納容器と位置的分散を図り, 発電所敷地内の高台の大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所に分散して配置する設計とする。また, 水を供給する必要のない設計基準事故対処設備の水源であるサブプレッション・チェンバと多様性を持った設計とする。	①(TBP対応に伴う保管場所の追加)
103	3.13.2.2.3.2	添 3.13-47	大容量送水車(海水取水用)は, 共通要因によって, 設計基準事故対処設備の安全機能, 使用済燃料プールの冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故等対処設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう, 発電所敷地内の大湊側高台保管場所及び荒浜側高台保管場所に分散して配置する設計とする。	—	⑤
104	3.13.3.3	添 3.13-48	3.13.3.3 ホース及び水頭差を利用した淡水送水手段の整備 3.13.3.3.1 設備概要 水源として淡水貯水池を使用する場合, 予め敷設しているホースが健全であることが確認できた場合には, ホース及び水頭差を利用し, 淡水貯水池の淡水を6号及び7号炉近傍まで送水できる設計とする。	—	②(水源の運用変更に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																											
105	3.13.4.1	添 3.13-49	<table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>主要水源を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>注水先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">復水貯蔵槽</td> <td>45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>47条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">サブプレッション・チェンバ</td> <td>45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>47条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ほう酸水注入系貯蔵タンク</td> <td>44条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </tbody> </table>	水源	関係条文	主要水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先	復水貯蔵槽	45条	<table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	47条	<table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	49条	<table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器	51条	<table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器	サブプレッション・チェンバ	45条	<table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	47条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	49条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器	50条	<table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器	原子炉压力容器 原子炉格納容器	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	45条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	51条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	<p>表 3.13-13 主要水源を利用する重大事故等対処設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>主要水源を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>注水先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">復水貯蔵槽</td> <td rowspan="3">45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>47条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">サブプレッション・チェンバ</td> <td rowspan="2">45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>47条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸水注入系貯蔵タンク</td> <td>44条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>45条</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table> </td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </tbody> </table>	水源	関係条文	主要水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先	復水貯蔵槽	45条	<table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	47条	<table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	49条	<table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器	51条	<table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器	サブプレッション・チェンバ	45条	<table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	47条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	50条	<table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器	原子炉压力容器 原子炉格納容器	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	45条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器	⑤
水源	関係条文	主要水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先																																																																																																																																																													
復水貯蔵槽	45条	<table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ		原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																			
	高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	47条	<table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
49条	<table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器																																																																																																																																																											
代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
51条	<table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器																																																																																																																																																											
格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
サブプレッション・チェンバ	45条	<table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																							
	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	47条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
	残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	49条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器																																																																																																																																																							
残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
50条	<table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器	原子炉压力容器 原子炉格納容器																																																																																																																																																											
代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器																																																																																																																																																														
ほう酸水注入系貯蔵タンク	44条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	45条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																														
51条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																											
ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																														
水源	関係条文	主要水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先																																																																																																																																																													
復水貯蔵槽	45条	<table border="1"> <tr> <td>高压代替注水系</td> <td>高压代替注水ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																				
		高压代替注水系	高压代替注水ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																												
		原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																												
	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
	47条	<table border="1"> <tr> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
	低压代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
49条	<table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器																																																																																																																																																											
代替格納容器スプレイ冷却系	復水移送ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
51条	<table border="1"> <tr> <td>格納容器下部注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> </table>	格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器	原子炉格納容器																																																																																																																																																											
格納容器下部注水系 (常設)	復水移送ポンプ	原子炉格納容器																																																																																																																																																														
サブプレッション・チェンバ	45条	<table border="1"> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系</td> <td>高压炉心注水系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																							
		原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																												
	高压炉心注水系	高压炉心注水系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
47条	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 (低压注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																											
残留熱除去系 (低压注水モード)	残留熱除去系 (低压注水モード) ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																														
50条	<table border="1"> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td>原子炉压力容器 原子炉格納容器</td> </tr> </table>	代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器	原子炉压力容器 原子炉格納容器																																																																																																																																																											
代替循環冷却系	復水移送ポンプ	原子炉压力容器 原子炉格納容器																																																																																																																																																														
ほう酸水注入系貯蔵タンク	44条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																										
	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																													
45条	<table border="1"> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> </table>	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器	原子炉压力容器																																																																																																																																																											
ほう酸水注入系	ほう酸水注入系ポンプ	原子炉压力容器																																																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																								
106	3.13.4.2	添 3.13-50	<p>表 3.13-12 代替淡水源を利用する重大事故等対処設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>注水先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">防火水槽</td> <td>47条</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>復水 貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">淡水貯水池</td> <td>47条</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 格納容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>復水 貯蔵槽</td> </tr> </tbody> </table>	水源	関係条文	代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先	防火水槽	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	49条	代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽	淡水貯水池	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	49条	代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽	<p>表 3.13-14 代替淡水源を利用する重大事故等対処設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>注水先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">防火水槽</td> <td>47条</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>48条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 格納容器</td> </tr> <tr> <td>52条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>復水 貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">淡水貯水池</td> <td>47条</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 圧力容器</td> </tr> <tr> <td>48条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水系 (可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>原子炉 格納容器</td> </tr> <tr> <td>52条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>フィルタ 装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</td> <td>復水 貯蔵槽</td> </tr> </tbody> </table>	水源	関係条文	代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先	防火水槽	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	48条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	50条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器	52条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽	淡水貯水池	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器	48条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	50条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器	52条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽	①(TBP対応に伴う設備の追加)
			水源	関係条文	代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先																																																																																																																							
防火水槽	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	49条	代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器																																																																																																																									
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽																																																																																																																									
淡水貯水池	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	49条	代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器																																																																																																																									
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽																																																																																																																									
水源	関係条文	代替淡水源を利用する重大事故等対処設備*	注水先																																																																																																																										
防火水槽	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	48条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	50条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器																																																																																																																									
	52条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽																																																																																																																									
淡水貯水池	47条	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 圧力容器																																																																																																																									
	48条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	50条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	51条	格納容器下部注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	原子炉 格納容器																																																																																																																									
	52条	格納容器圧力逃がし装置	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	フィルタ 装置																																																																																																																									
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	使用済燃料プール																																																																																																																									
	56条	水の移送設備	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	復水 貯蔵槽																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
107	3.13.4.3	添 3.13-51	<table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>海を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>移送先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">海</td> <td>47条</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>48条</td> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>大容量送水車(熱交換器ユニット用)</td> <td>熱交換器ユニット</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>大容量送水車(熱交換器ユニット用)</td> <td>熱交換器ユニット</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水系(可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>54条</td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td>55条</td> <td>原子炉建屋放水設備</td> <td>大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>大容量送水車(海水取水用)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> </tr> </tbody> </table>	水源	関係条文	海を利用する重大事故等対処設備*	移送先	海	47条	低圧代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉压力容器	48条	代替原子炉補機冷却系	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	熱交換器ユニット	49条	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉压力容器	50条	代替原子炉補機冷却系	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	熱交換器ユニット	51条	格納容器下部注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉格納容器	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	使用済燃料プール	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	使用済燃料プール	55条	原子炉建屋放水設備	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	-	56条	水の移送設備	大容量送水車(海水取水用)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	<p>表 3.13-15 海を利用する重大事故等対処設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水源</th> <th>関係条文</th> <th>海を利用する重大事故等対処設備*</th> <th>注水先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">海</td> <td>55条</td> <td>拡散抑制</td> <td>大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水の移送設備</td> <td>大容量送水車(海水取水用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>防火水槽 / 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</p>	水源	関係条文	海を利用する重大事故等対処設備*	注水先	海	55条	拡散抑制	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	56条	水の移送設備	大容量送水車(海水取水用)	⑤
水源	関係条文	海を利用する重大事故等対処設備*	移送先																																																						
海	47条	低圧代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉压力容器																																																					
	48条	代替原子炉補機冷却系	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	熱交換器ユニット																																																					
	49条	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉压力容器																																																					
	50条	代替原子炉補機冷却系	大容量送水車(熱交換器ユニット用)	熱交換器ユニット																																																					
	51条	格納容器下部注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	原子炉格納容器																																																					
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	使用済燃料プール																																																					
	54条	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	使用済燃料プール																																																					
	55条	原子炉建屋放水設備	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	-																																																					
56条	水の移送設備	大容量送水車(海水取水用)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)																																																						
水源	関係条文	海を利用する重大事故等対処設備*	注水先																																																						
海	55条	拡散抑制	大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)																																																						
	56条	水の移送設備	大容量送水車(海水取水用)																																																						
108	3.13.2.2.3.2	添 3.13-43	代替水源からの移送ホースは、複数ルートを考慮してそれぞれのルートに必要なホースの長さを満足する数量の合計に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップを考慮した数量を分散して保管する。	-	⑤																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
 章/項番号: 3.14 電源設備

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	全般	全般	図3.14-1~4 図3.14-10~13 図3.14-24~25 図3.14-31~32 図3.14-34 (交流単線結線図にて, 緊急用断路器のタイラインは「切」状態)	図3.14-1~4 図3.14-10~13 図3.14-28~29 図3.14-35 図3.14-37 (交流単線結線図にて, 緊急用断路器のタイラインは「入」状態)	② (第一ガスタービン発電機のタイライン運用変更を反映)
2	全般	全般	図3.14-16~21 図3.14-26~27 図3.14-41~42 (直流単線結線図にて, 「代替格納容器圧力逃がし装置」を削除)	図3.14-20~25 図3.14-30~31 図3.14-44~45 (直流単線結線図にて, 「代替格納容器圧力逃がし装置」を記載)	② (代替格納容器圧力逃がし装置削除等を反映)
3	全般	全般	図3.14-12~13 図3.14-26~27 (第二ガスタービン発電機の記載なし)	図3.14-12~15 図3.14-26~27 (第二ガスタービン発電機の記載あり)	② (第二ガスタービン発電機の扱いを反映)
4	全般	全般	図3.14-7~9 図3.14-14~15 図3.14-22~23 図3.14-28~30 図3.14-33 図3.14-37~38 図3.14-46~47 (切替えの容易性の項で示しているタイムチャート)	図3.14-7~9 図3.14-16~19 図3.14-26~27 図3.14-32~34 図3.14-36 図3.14-40~41 図3.14-48~51 (切替えの容易性の項で示しているタイムチャート)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
5	3.14.2.1.1	添3.14-14	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用動力変圧器 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備 (補助) ※1</td> <td>M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 第一 GTG 発電機電圧【常設】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】	電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用動力変圧器 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】	計装設備 (補助) ※1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 第一 GTG 発電機電圧【常設】	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第二電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第二電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>—</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】	交流電路	電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第二電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第二電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】	直流電路	—	<p>① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化) ⑤</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】																												
電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用動力変圧器 ～AM 用 MCC 電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】																												
計装設備 (補助) ※1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 第一 GTG 発電機電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (4kL)【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】																												
交流電路	電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線 C 系及び D 系第二電路 (電源車～動力変圧器 C 系電路【可搬】) (動力変圧器 C 系 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～AM 用 MCC 第二電路 (電源車～AM 用動力変圧器電路【可搬】) (AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路【常設】) 電源車～代替原子炉補機冷却系電路【可搬】																												
直流電路	—																												
6	3.14.2.1.2	添3.14-15	<p>(2) 軽油タンク(6号及び7号炉共用)</p> <p>種類 : たて置円筒形 容量 : 約550kL/基 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 66°C 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 屋外(6号及び7号炉原子炉建屋東側)</p>	<p>(2) 軽油タンク(6号及び7号炉共用)</p> <p>容量 : 約560kL/基 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 原子炉建屋東側の屋外</p>	<p>⑤</p>																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
7	3.14.2.1.2	添3.14-15	(3) タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 :約4.0kL/台 最高使用圧力 :24kPa[gage] 最高使用温度 :40°C 個数 :3(予備1) 設置場所 :屋外 保管場所 :荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 並びに5号炉東側第二保管場所	(3)タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 :約4.0kL/台 個数 :3(予備1) 使用場所 :原子炉建屋電源車第一設置場所及び第二設置場所, タービン建屋電源車第一設置場所及び第二設置場所, 原子炉建屋東側の屋外 保管場所 :荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	⑤
8	3.14.2.1.5	添3.14-33	可搬型代替交流電源設備の軽油タンクは、重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約480kLを上回る、容量約550kLを有する設計とする。	可搬型代替交流電源設備の軽油タンクは、重大事故等対策の有効性評価上、重大事故等対処設備の燃料消費が最大となる事故シナリオ(取水機能喪失等)において、その機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が7日間連続運転する場合に必要な燃料量約470kLを上回る、容量約560kLを有する設計とする。	⑤
9	3.14.2.1.6	添3.14-36	電源車は、想定される重大事故等時において、最低限必要な交流設備に電力を供給できる容量を有するものを1セット2台使用する。保有数は、6号及び7号炉共用で4セット8台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計9台を保管する。 具体的には、電源車は、常設代替交流電源設備が使用できる場合、残留熱除去系の除熱のため代替原子炉補機冷却系に電源供給する。電源車から代替原子炉補機冷却系を受電する場合は、電源車から負荷に直接接続する設備であることから、必要台数1セットに加えて予備を配備する。代替原子炉補機冷却系1基に対し、必要となる負荷は、最大負荷約441kW(その1)、約710kW(その2)及び連続最大負荷約221kW(その1)、約201kW(その2)のため、力率を考慮して、500kVA/台の電源車が2台必要となる。なお、燃料補給時には電源車を交互に停止して燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。	可搬型代替交流電源設備の電源車は、常設代替交流電源設備が使用できる場合、残留熱除去系の除熱のため代替原子炉補機冷却系に電源供給する。電源車から代替原子炉補機冷却系を受電する場合は、電源車から負荷に直接接続する設備であることから、必要台数1セットに加えて予備を配備する。代替原子炉補機冷却系1基に対し、必要となる負荷は、最大負荷327.7kW(6号炉)、322.4kW(7号炉)及び連続最大負荷約221kW(6号炉)、151kW(7号炉)のため、力率を考慮して、500kVA/台の電源車が1台必要となる。なお、燃料補給時には2台を同時に使用し交互に燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。	② (詳細設計の進捗を反映)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
10	3.14.2.1.6	添3.14-36	電源車は、常設代替交流電源設備が使用できない場合、低圧代替注水系に関連する設備に電源供給する。電源車から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を受電する場合は、原子炉建屋外から電力を供給する可搬型代替交流電源設備に該当するため、必要設備を2セットに加えて予備を配備する。必要となる負荷は、最大負荷約734kW(6号炉)、約754kW(7号炉)及び連続最大負荷約699kW(6号炉)、約728kW(7号炉)である。6号及び7号炉の各号炉とも500kVA/台の電源車が2台必要である。	電源車は、常設代替交流電源設備が使用できない場合、低圧代替注水系に関連する設備に電源供給する。電源車から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を受電する場合は、原子炉建屋外から電力を供給する可搬型代替交流電源設備に該当するため、必要設備を2セットに加えて予備を配備する。必要となる負荷は、最大負荷710kW(6号炉)、725kW(7号炉)及び連続最大負荷約619kW(6号炉)、643kW(7号炉)である。6号及び7号炉の各号炉とも500kVA/台の電源車が2台必要である。なお、燃料補給時には連続運転の必要がない負荷を一時的に切り離し、電源車を交互に停止して燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。	② (詳細設計の進捗を反映)
11	3.14.2.1.6	添3.14-37	可搬型代替交流電源設備のタンクローリ(4kL)は、想定される重大事故等時において、その機能を発揮することが必要な重大事故等対処設備に、燃料を補給できる容量を有する設計とする。 容量としては重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される電源車、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、モニタリング・ポスト用発電機、大容量送水車(熱交換器ユニット用)、大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)、大容量送水車(海水取水用)、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備の連続運転が可能な燃料を、それぞれ電源車、可搬型代替注水ポンプ(A-1級)、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、モニタリング・ポスト用発電機、大容量送水車(熱交換器ユニット用)、大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)、大容量送水車(海水取水用)、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備に供給できる容量を有するものを1セット3台使用する。保有数は6号及び7号炉共用で1セット3台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計4台を分散して保管する。	可搬型代替交流電源設備のタンクローリ(4kL)は重大事故等対策の有効性評価上、重大事故等対処設備の燃料消費が最大となる事故シナリオ(取水機能喪失等)において、その機能を発揮することを要求される電源車、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)、モニタリング・ポスト用発電機、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備に対し、台数3台、容量約4.0kL/台を設けることで2時間に1回の燃料補給が可能になることから、台数3台、容量約4.0kL/台を設ける設計とする。加えて予備1台を有する設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
12	3.14.2.1.6	添3.14-41	可搬型代替交流電源設備の電源車は、建屋貫通の接続口にてケーブルを通線した後スリップオン接続又はボルト・ネジ接続すること、 一般的な工具を用いてケーブルを確実に接続できる設計とすること、確実な接続ができるよう足場を設ける設計とすること 、及び接続状態を目視で確認できることから、 確実な接続が可能な設計とする。6号及び7号炉において相互に使用することができるよう6号及び7号炉同一形状のスリップオン又は端子により接続を行う設計とする。 電源車ケーブルは充電部が露出する場合に養生することにより3相間の絶縁を確保する設計とする。	可搬型代替交流電源設備の電源車は、建屋貫通の接続口にてケーブルを通線した後スリップオン接続又はボルト・ネジ接続すること、及び接続状態を目視で確認できることから、 確実な接続が可能な設計とする。 6号炉及び7号炉において相互に使用することができるよう6号炉及び7号炉同一形状のスリップオン又は端子により接続を行う設計とする。電源車ケーブルは充電部が露出する場合に養生することにより3相間の絶縁を確保する設計とする。	⑤																								
13	3.14.2.2.1	添3.14-54	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>第一ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備（補助）^{*1}</td> <td>M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】	電路	第一ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路【常設】	計装設備（補助） ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>第一ガスタービン発電機【常設】 及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機^{*1} ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機^{*1} ～AM用MCC電路【常設】 非常用ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線電路（設計基準拡張）【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	第一ガスタービン発電機【常設】 及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】	交流電路	第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ^{*1} ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ^{*1} ～AM用MCC電路【常設】 非常用ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線電路（設計基準拡張）【常設】	直流電路	—	<p>① （手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化） ⑤</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】																												
電路	第一ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路【常設】																												
計装設備（補助） ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	第一ガスタービン発電機【常設】 及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】 及び第二ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁【常設】																												
交流電路	第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ^{*1} ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ^{*1} ～AM用MCC電路【常設】 非常用ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線電路（設計基準拡張）【常設】																												
直流電路	—																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
14	3.14.2.2.2	添3.14-55	(1) 第一ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) ガスタービン 台数 : 2 使用燃料 : 軽油 出力 : 約3,600kW/台 発電機 台数 : 2 種類 : 同期発電機 容量 : 約4,500kVA/台 (連続定格: 約3,687.5kVA) 力率 : 0.8 電圧 : 6.9kV 周波数 : 50Hz 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	(1)第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 (i)第一ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) ガスタービン 個数 : 1(予備1) 使用燃料 : 軽油 出力 : 約3,600kW/台 発電機 個数 : 1(予備1) 種類 : 横軸回転界磁3相同期発電機 容量 : 約4,500kVA/台 (連続定格: 約3,687.5kVA) 力率 : 0.8 電圧 : 6.9kV 周波数 : 50Hz 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	② (第一ガスタービン発電機のタイライン運用変更を反映) ⑤
15	3.14.2.2.2	添3.14-55	(2) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 種類 : たて置円筒形 容量 : 約550kL/基 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 66°C 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 屋外(6号及び7号炉原子炉建屋東側)	(2)軽油タンク(6号炉及び7号炉共用) 容量 : 約560kL/基 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 原子炉建屋東側の屋外	⑤
16	3.14.2.2.2	添3.14-55	(3) タンクローリ(16kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約16kL/台 最高使用圧力 : 24kPa[gage] 最高使用温度 : 40°C 個数 : 1(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	(3)タンクローリ(16kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約16kL/台 個数 : 1 使用場所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の屋外, 原子炉建屋東側の屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所	② (タンクローリ(16kL)の予備追加) ⑤
17	3.14.2.2.2	添3.14-56	(4) 第一ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用) 種類 : 横置円筒形 容量 : 約50kL/基 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 66°C 個数 : 2 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	(4)第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク (i)第一ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用) 個数 : 1(予備1) 容量 : 約50kL/基 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
18	3.14.2.2.2	添3.14-56	(5) 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ(6号及び7号炉共用) 種類 : スクリュー式 個数 : 2 容量 : 約3.0m ³ /h/台 全揚程 : 約50m 最高使用圧力 : 0.95MPa[gage] 最高使用温度 : 66℃ 原動機出力 : 約1.5kW/台 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	(5) 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ (i) 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ(6号及び7号炉共用) 種類 : スクリュー型 個数 : 1(予備1) 容量 : 約3.0m ³ /h/台 揚程 : 約50m 原動機出力 : 約1.5kW/台 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	⑤																																
19	3.14.2.2.4	添3.14-65	(ii)適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。 常設代替交流電源設備で、操作が必要な第一ガスタービン発電機用燃料タンク燃料補給元弁、軽油タンク出口弁、タンクローリ(16kL)付ポンプ、第一ガスタービン発電機、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備の各遮断器、断路器については、 現場又は中央制御室 で容易に操作可能な設計とする。表3.14-38～41に操作対象機器の操作場所を示す。 (57-2, 57-3)	(ii)適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性について」に示す。 常設代替交流電源設備で、操作が必要な第一ガスタービン発電機用燃料タンク燃料補給元弁又は第二ガスタービン発電機用燃料タンク燃料補給元弁、軽油タンク出口弁、タンクローリ(16kL)付ポンプ、第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備の各遮断器、断路器については、現場で容易に操作可能な設計とする。表3.14-38～44に操作対象機器の操作場所を示す。 (57-2-2.5～7.9, 13～21, 30～31, 36～37, 42～46, 57-3-6～12, 57-11)	② (第一ガスタービン発電機操作場所変更を反映)																																
20	3.14.2.2.4	添3.14-65	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一ガスタービン発電機</td> <td>停止 → 運転</td> <td>中央制御室</td> <td>ボタン操作</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)</td> <td>切 → 入</td> <td>原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)</td> <td>切 → 入</td> <td>原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	第一ガスタービン発電機	停止 → 運転	中央制御室	ボタン操作	非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階	スイッチ操作	非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階	スイッチ操作	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一ガスタービン発電機</td> <td>停止 → 運転</td> <td>7号炉タービン建屋南側の屋外</td> <td>ボタン操作</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)</td> <td>切 → 入</td> <td>原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)</td> <td>切 → 入</td> <td>原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	第一ガスタービン発電機	停止 → 運転	7号炉タービン建屋南側の屋外	ボタン操作	非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階	スイッチ操作	非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階	スイッチ操作	② (第一ガスタービン発電機操作場所変更を反映)
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																		
第一ガスタービン発電機	停止 → 運転	中央制御室	ボタン操作																																		
非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階	スイッチ操作																																		
非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋内の原子炉区域外の地下1階	スイッチ操作																																		
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																		
第一ガスタービン発電機	停止 → 運転	7号炉タービン建屋南側の屋外	ボタン操作																																		
非常用高圧母線 C 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階	スイッチ操作																																		
非常用高圧母線 D 系遮断器 (緊急用電源切替箱接続装置側)	切 → 入	原子炉建屋の二次格納施設外の地下1階	スイッチ操作																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
21	3.14.2.2.4	添3.14-66	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一ガスタービン発電機</td> <td>停止→運転</td> <td>中央制御室</td> <td>ボタン操作</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)</td> <td>入→切</td> <td>コントロール建屋内地上2階</td> <td>断路器操作</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)</td> <td>切→入</td> <td>コントロール建屋内地上2階</td> <td>断路器操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	第一ガスタービン発電機	停止→運転	中央制御室	ボタン操作	緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)	入→切	コントロール建屋内地上2階	断路器操作	緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)	切→入	コントロール建屋内地上2階	断路器操作	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一ガスタービン発電機</td> <td>停止→運転</td> <td>7号炉タービン建屋南側の屋外</td> <td>ボタン操作</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)</td> <td>入→切</td> <td>コントロール建屋内地上2階</td> <td>断路器操作</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)</td> <td>切→入</td> <td>コントロール建屋内地上2階</td> <td>断路器操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	第一ガスタービン発電機	停止→運転	7号炉タービン建屋南側の屋外	ボタン操作	緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)	入→切	コントロール建屋内地上2階	断路器操作	緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)	切→入	コントロール建屋内地上2階	断路器操作	② (第一ガスタービン発電機操作場所変更を反映)
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																		
第一ガスタービン発電機	停止→運転	中央制御室	ボタン操作																																		
緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)	入→切	コントロール建屋内地上2階	断路器操作																																		
緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)	切→入	コントロール建屋内地上2階	断路器操作																																		
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																		
第一ガスタービン発電機	停止→運転	7号炉タービン建屋南側の屋外	ボタン操作																																		
緊急用電源切替箱断路器 (非常用所内電気設備側)	入→切	コントロール建屋内地上2階	断路器操作																																		
緊急用電源切替箱断路器 (代替所内電気設備側)	切→入	コントロール建屋内地上2階	断路器操作																																		
22	3.14.2.2.4	添3.14-67	<p>a) 第一ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機は、中央制御室の操作盤でのボタン操作であること、及び第一ガスタービン発電機の運転状態を表示灯及び計器で確認できることから、確実な操作が可能な設計とする。 中央制御室の操作盤は、誤操作防止のために名称を明記することで操作者の操作、監視性を考慮しており、かつ、十分な操作空間を確保し、容易に操作可能とする。 (57-2, 57-3)</p>	<p>a) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機は、屋外に設置し現場操作パネルでのボタン操作であること、及び第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機の運転状態を操作パネルの表示灯及び計器で確認できることから、確実な操作が可能な設計とする。 なお、第一ガスタービン発電機近傍には、7号炉代替原子炉補機冷却系の接続口が存在するが、周辺に十分な操作空間を確保し、容易に操作可能とする。 現場操作パネルは、誤操作防止のために名称を明記することで操作者の操作、監視性を考慮しており、かつ十分な操作空間を確保し、容易に操作可能とする。 (57-2-14~15)</p>	② (第一ガスタービン発電機操作場所変更を反映)																																
23	3.14.2.2.4	添3.14-78	<p>常設代替交流電源設備の系統構成に操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.14-48に示す。これらの操作場所は、想定される事故時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、現場又は中央制御室で操作可能な設計とする。 (57-2)</p>	<p>常設代替交流電源設備の系統構成に操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.14-51に示す。これらの操作場所は、想定される事故時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、設置場所で操作可能な設計とする。 (57-2-2,5~7,9,13~21,30~31,36~37,42~46, 57-11)</p>	② (第一ガスタービン発電機操作場所変更を反映)																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	3.14.2.2.5	添3.14-80	a) 第一ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機は、想定される重大事故等時において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために、6号炉で必要となる最大負荷約1992kW及び連続最大負荷約1649kW、及び7号炉で必要となる最大負荷約1999kW及び連続最大負荷約1615kWよりも十分な余裕を有する最大容量約3,600kW・連続定格：約2,950kW(力率0.8において約4,500kVA・連続定格約3,687.5kVA)を有する設計とする。 (57-5)	a) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機は、6号炉・7号炉合計し必要となる最大負荷2,636kW及び連続最大負荷2,342kWよりも十分な余裕を有する最大容量3,600kW・連続定格：2,950kW(力率0.8において4,500kVA・連続定格3,687.5kVA)を有する設計とする。 (57-5-8~9)	② (詳細設計の進捗を反映)
25	3.14.2.2.5	添3.14-80	b) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の軽油タンクは、重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約480kLを上回る、容量約550kLを有する設計とする。 (57-5)	b) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の軽油タンクは、重大事故等対策の有効性評価上、重大事故等対処設備の燃料消費が最大となる事故シナリオ(取水機能喪失等)において、その機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が7日間連続運転する場合に必要な燃料量約470kLを上回る、容量約560kLを有する設計とする。 (57-5-3~4)	⑤
26	3.14.2.2.5	添3.14-80	d) 第一ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機用燃料タンクは、タンクローリ(16kL)にて燃料補給を実施するプラント被災後12時間までの間、第一ガスタービン発電機に燃料補給可能な容量約20kL/基に余裕を持った、容量約50kL/基を有する設計とする。 (57-5)	d) 第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機用燃料タンクは、タンクローリ(16kL)にて燃料補給を実施するプラント被災後12時間までの間、第一ガスタービン発電機に燃料補給可能な容量21kL/基に余裕を持った、容量約50kL/基を有する設計とする。同様に、第二ガスタービン発電機用燃料タンクは、タンクローリ(16kL)にて燃料補給を実施するプラント被災後12時間までの間、第二ガスタービン発電機に燃料補給可能な容量21kL/基に余裕を持った、容量約50kL/基を有する設計とする。 (57-5-11)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	3.14.2.2.5	添3.14-81	<p>a) 第一ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機は、共用により第一ガスタービン発電機から自号炉だけでなく他号炉にも電力の供給が可能となり、安全性の向上を図れることから、6号及び7号炉で共用する設計とする。第一ガスタービン発電機は、共用により悪影響を及ぼさないよう、6号及び7号炉を断路器により系統を隔離して使用する設計とする。 (57-13)</p>	<p>a) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機は、6号及び7号炉の必要負荷を同時に運転したとしても余裕を持った設計としており、共用により自号炉だけでなく他号炉を含めた容量で使用可能とし、かつ操作に必要な時間及び要員を減少させることで、安全性の向上を図れることから、6号及び7号炉で共用する設計とする。なお、第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機は他の施設とは独立した屋外設備であることから、悪影響は及ぼさない。 なお、点検等を考慮した予備機も設置しており、構成上は2基の第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機から2基の発電用原子炉施設にそれぞれ給電することも可能であるが、過剰な供給力となり、消費する燃料の増加も見込まれることから、1基の第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機から2基の発電用原子炉施設に給電する構成とすることで、安全に資する設計とする。</p>	<p>② (第一ガスタービン発電機のタイライン運用変更を反映)</p>
28	3.14.2.2.6	添3.14-85	<p>c) タンクローリ(16kL)(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備のタンクローリ(16kL)は、想定される重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される第一ガスタービン発電機の連続運転が可能な燃料を、第一ガスタービン発電機用燃料タンクに供給できる台数1台、容量約16kL/台を有する設計とする。加えて予備1台を有する設計とする。 (57-5, 57-11)</p>	<p>c) タンクローリ(16kL)(6号及び7号炉共用) 常設代替交流電源設備のタンクローリ(16kL)は、重大事故等対策の有効性評価上、重大事故等対処設備の燃料消費が最大となる事故シナリオ(取水機能喪失等)において、その機能を発揮することを要求される第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機の連続運転が可能な燃料を、それぞれ第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第二ガスタービン発電機用燃料タンクに、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機の連続運転が可能な燃料を免震重要棟内緊急時対策所用地下貯油タンクに供給できる台数1台、容量約16kL/台、を有する設計とする。 (57-5-14~15)</p>	<p>② (タンクローリ(16kL)の予備追加)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
29	3.14.2.3.1	添3.14-95	<p>表 3.14-52 所内蓄電式直流電源設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備（補助）※1</td> <td>M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】 直流 125V 主母線盤 A 電圧【常設】 直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧【常設】</td> </tr> </table> <p>※1：重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p>	設備区分	設備名	主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	電路	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】	計装設備（補助）※1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】 直流 125V 主母線盤 A 電圧【常設】 直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧【常設】	<p>表 3.14-55 所内蓄電式直流電源設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	交流電路	—	直流電路	直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】	<p>① （手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化） ⑤</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
電路	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】																												
計装設備（補助）※1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】 直流 125V 主母線盤 A 電圧【常設】 直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
交流電路	—																												
直流電路	直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流母線電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】																												
30	3.14.2.3.1	添3.14-95	<p>表 3.14-53 常設代替直流電源設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備（補助）※1</td> <td>P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】</td> </tr> </table> <p>※1：重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p>	設備区分	設備名	主要設備	AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	電路	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】	計装設備（補助）※1	P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】	<p>表 3.14-56 常設代替直流電源設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	交流電路	—	直流電路	AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】	<p>① （手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化） ⑤</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
電路	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器～直流母線電路【常設】																												
計装設備（補助）※1	P/C C-1 電圧【常設】 P/C D-1 電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	AM 用直流 125V 蓄電池【常設】 AM 用直流 125V 充電器【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
交流電路	—																												
直流電路	AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 主母線盤（6号炉）電路【常設】 AM 用直流 125V 蓄電池～AM 用直流 125V 充電器盤内蔵の母線（7号炉）電路【常設】																												
31	3.14.2.3.4	添3.14-111	<p>d) 直流125V充電器A 所内蓄電式直流電源設備の直流125V充電器Aは操作不要である。</p>	<p>d) 直流125V充電器A 所内蓄電式直流電源設備の直流125V充電器Aは、系統の運転状態を表示及び計器で確認できることから、確実な操作が可能な設計とする。</p>	⑤																								
32	3.14.2.3.4	添3.14-111	<p>e) 直流125V充電器A-2 所内蓄電式直流電源設備の直流125V充電器A-2は操作不要である。</p>	<p>e) 直流125V充電器A-2 所内蓄電式直流電源設備の直流125V充電器A-2は、系統の運転状態を表示及び計器で確認できることから、確実な操作が可能な設計とする。</p>	⑤																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
33	3.14.2.3.4	添3.14-111	f)AM用直流125V充電器 所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備のAM用直流125V充電器は操作不要である。	f)AM用直流125V充電器 所内蓄電式直流電源設備(常設代替直流電源設備を含む)のAM用直流125V充電器は、系統の運転状態を表示及び計器で確認できることから、確実な操作が可能な設計とする。	⑤
34	3.14	添3.14-123	3.14.2.4.1 設備概要 本系統は代替所内電気設備から受電した交流電源を直流電源に変換する「AM用直流125V充電器」、代替所内電気設備に電源供給を行う可搬型代替交流電源設備である「電源車」、「軽油タンク」及び「タンクローリ(4kL)」、代替所内電気設備として回路を構成する「緊急用電源切替箱断路器」、「緊急用電源切替箱接続装置」、「AM用動力変圧器」、「AM用MCC」及び常設代替直流電源設備である「AM用直流125V蓄電池」で構成する。可搬型直流電源設備は、電源車を代替所内電気設備及びAM用直流125V充電器を經由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。本系統全体の概要図を図3.14-24～27に、本系統に属する重大事故等対処設備を表3.14-78に示す。	3.14.2.4.1 設備概要 本系統は代替所内電気設備から受電した交流電源を直流電源に変換する「AM用直流125V充電器」、代替所内電気設備に電源供給を行う可搬型代替交流電源設備である「電源車」、「軽油タンク」及び「タンクローリ(4kL)」、代替所内電気設備として回路を構成する「緊急用電源切替箱断路器」、「緊急用電源切替箱接続装置」、「AM用動力変圧器」、「AM用MCC」及び常設代替直流電源設備である「AM用直流125V蓄電池」で構成する。本系統全体の概要図を図3.14-28～31に、本系統に属する重大事故等対処設備を表3.14-81に示す。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
35	3.14	添3.14-128	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路【常設】) 電源車～AM用動力変圧器 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～直流母線電路【常設】)</td> </tr> <tr> <td>計装設備(補助)^{※1}</td> <td>直流125V主母線盤A電圧【常設】 直流125V充電器盤A-2蓄電池電圧【常設】 AM用直流125V充電器盤蓄電池電圧【常設】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】	電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路【常設】) 電源車～AM用動力変圧器 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～直流母線電路【常設】)	計装設備(補助) ^{※1}	直流125V主母線盤A電圧【常設】 直流125V充電器盤A-2蓄電池電圧【常設】 AM用直流125V充電器盤蓄電池電圧【常設】	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】 緊急用電源接続箱接続装置～AM用直流125V充電器電路【常設】 電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】 AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>AM用直流125V充電器～AM用直流125V主母線盤(6号炉)電路【常設】 AM用直流125V蓄電池～AM用直流125V充電器盤内蔵の母線(7号炉)電路【常設】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】	附属設備	—	燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】	交流電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】 緊急用電源接続箱接続装置～AM用直流125V充電器電路【常設】 電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】 AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器電路【常設】	直流電路	AM用直流125V充電器～AM用直流125V主母線盤(6号炉)電路【常設】 AM用直流125V蓄電池～AM用直流125V充電器盤内蔵の母線(7号炉)電路【常設】	<p>① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化) ⑤</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク出口ノズル・弁【常設】 ホース【可搬】																												
電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路【常設】) 電源車～AM用動力変圧器 ～AM用直流125V蓄電池及び充電器 ～直流母線電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～直流母線電路【常設】)																												
計装設備(補助) ^{※1}	直流125V主母線盤A電圧【常設】 直流125V充電器盤A-2蓄電池電圧【常設】 AM用直流125V充電器盤蓄電池電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	電源車【可搬】 AM用直流125V充電器【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(4kL)【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	軽油タンク予備ノズル・弁【常設】																												
交流電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】 緊急用電源接続箱接続装置～AM用直流125V充電器電路【常設】 電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】 AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器電路【常設】																												
直流電路	AM用直流125V充電器～AM用直流125V主母線盤(6号炉)電路【常設】 AM用直流125V蓄電池～AM用直流125V充電器盤内蔵の母線(7号炉)電路【常設】																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
36	3.14	添3.14-129	<p>(3) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 種類 : 立て置円筒形 容量 : 約550kL/基 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 66°C 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 屋外(6号及び7号炉原子炉建屋東側)</p> <p>(4) タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約4.0kL/台 最高使用圧力 : 24kPa[gage] 最高使用温度 : 40°C 個数 : 3(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 並びに5号炉東側第二保管場所</p>	<p>(3) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 容量 : 約560kL/基 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 原子炉建屋東側の屋外</p> <p>(4) タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約4.0kL/台 個数 : 3(予備1) 使用場所 : 原子炉建屋東側の屋外、原子炉建屋電源車第一設置場所及び第二設置場所 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</p>	⑤
37	3.14	添3.14-148	<p>c) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 可搬型直流電源設備の軽油タンクは、重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約480kLを上回る、容量約550kLを有する設計とする。 (57-5)</p>	<p>c) 軽油タンク(6号及び7号炉共用) 可搬型直流電源設備の軽油タンクは、重大事故等対策の有効性評価上、重大事故等対処設備の燃料消費が最大となる事故シナリオ(取水機能喪失等)において、その機能を発揮することを要求される重大事故等対処設備が7日間連続運転する場合に必要な燃料量約470kLを上回る、容量約560kLを有する設計とする。 (57-5-3~4)</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
38	3.14	添3.14-151	<p>a) 電源車(6号及び7号炉共用) 可搬型直流電源設備の電源車は、想定される重大事故等において、最低限必要な交流設備に電力を供給できる容量を有するものを1セット2台使用する。保有数は、6号及び7号炉共用で4セット8台に加えて、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(6号及び7号炉共用)の合計9台を保管する。 具体的には、電源車は、常設代替交流電源設備が使用できる場合、残留熱除去系の除熱のため代替原子炉補機冷却系に電源供給する。電源車から代替原子炉補機冷却系を受電する場合は、電源車から負荷に直接接続する設備であることから、必要台数1セットに加えて予備を配備する。代替原子炉補機冷却系1基に対し、必要となる負荷は、最大負荷約441kW(その1)、約710kW(その2)及び連続最大負荷約221kW(その1)、約201kW(その2)のため、力率を考慮して、500kVA/台の電源車が2台必要となる。なお、燃料補給時には電源車を交互に停止して燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。 電源車は、常設代替交流電源設備が使用できない場合、低圧代替注水系に関連する設備に電源供給する。電源車から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を受電する場合は、原子炉建屋外から電力を供給する可搬型代替交流電源設備に該当するため、必要設備を2セットに加えて予備を配備する。必要となる負荷は、最大負荷約734kW(6号炉)、約754kW(7号炉)及び連続最大負荷約699kW(6号炉)、約728kW(7号炉)である。6号及び7号炉の各号炉とも500kVA/台の電源車を2台必要である。なお、燃料補給時には連続運転の必要がない負荷を一時的に切り離し、電源車を交互に停止して燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。</p>	<p>a) 電源車(6号及び7号炉共用) 可搬型直流電源設備の電源車は、常設代替交流電源設備が使用できる場合、残留熱除去系の除熱のため代替原子炉補機冷却系に電源供給する。電源車から代替原子炉補機冷却系を受電する場合は、電源車から負荷に直接接続する設備であることから、必要台数1セットに加えて予備を配備する。代替原子炉補機冷却系1基に対し、必要となる負荷は、最大負荷327.7kW(6号炉)、322.4kW(7号炉)及び連続最大負荷約221kW(6号炉)、151kW(7号炉)のため、力率を考慮して、500kVA/台の電源車を1台必要となる。なお、燃料補給時には2台を同時に使用し交互に燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。 電源車は、常設代替交流電源設備が使用できない場合、低圧代替注水系に関連する設備に電源供給する。電源車から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を受電する場合は、原子炉建屋外から電力を供給する可搬型代替交流電源設備に該当するため、必要設備を2セットに加えて予備を配備する。必要となる負荷は、最大負荷710kW(6号炉)、725kW(7号炉)及び連続最大負荷約619kW(6号炉)、643kW(7号炉)である。6号及び7号炉の各号炉とも500kVA/台の電源車を2台必要である。なお、燃料補給時には連続運転の必要がない負荷を一時的に切り離し、電源車を交互に停止して燃料補給を行うことで停電を伴う必要が無く、電源供給を継続することが可能な設計とする。</p>	<p>② (詳細設計の進捗を反映)</p>
39	3.14.2.5.1	添3.14-161	<p>号炉間電力融通電気設備は、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合、号炉間電力融通ケーブル(常設)又は号炉間電力融通ケーブル(可搬型)を用いて他号炉の緊急用電源切替箱断路器から自号炉の非常用高圧母線C系又はD系までの電路を構築し、他号炉から電源を供給することにより、重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止することを目的として設置するものである。</p>	<p>号炉間電力融通電気設備は、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合、号炉間電力融通ケーブルを用いて他号炉の緊急用電源切替箱断路器から自号炉の非常用高圧母線C系又はD系までの電路を構築し、他号炉から電源を供給することにより、重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止することを目的として設置するものである。</p>	<p>② (号炉間電力融通電気設備の変更を反映)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
40	3.14.2.5.1	添3.14-161	号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル(常設)を1式、号炉間電力融通ケーブル(可搬型)を1式配備している。常設と可搬型のどちらか一方を特定せずに、使用できる号炉間融通ケーブルを示す場合には「号炉間電力融通ケーブル」と表記する。常設と可搬型を区別する必要がある場合は、それぞれ「号炉間電力融通ケーブル(常設)」、「号炉間電力融通ケーブル(可搬型)」と表記する。号炉間電力融通ケーブル(常設)は、あらかじめ号炉間にケーブルを敷設し、端部をケーブルの収納盤に収納して使用する際に6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、他号炉の電源設備から非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。号炉間電力融通ケーブル(可搬型)は、号炉間電力融通ケーブル(常設)が使用できない場合の予備ケーブルとして保管し、使用する際には運搬して敷設し、6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、他号炉の電源設備から非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。	本系統は、号炉間電力融通ケーブルを他号炉の緊急用電源切替箱断路器及び自号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動接続し、他号炉から交流電源の供給を行うことにより、自号炉の非常用高圧母線C系又は非常用高圧母線D系を受電する。 号炉間電力融通ケーブルは、常設の号炉間電力融通ケーブルを1式、可搬型の号炉間電力融通ケーブルを1式配備している。常設と可搬型のどちらか一方を特定せずに、使用できる号炉間融通ケーブルを示す場合には「号炉間電力融通ケーブル」と表記する。常設と可搬型を区別する必要がある場合は、それぞれ「号炉間電力融通ケーブル【常設】」、「号炉間電力融通ケーブル【可搬】」と表記する。	② (号炉間電力融通電気設備の変更を反映)																								
41	3.14.2.5.1	添3.14-164	<p>表 3.14-99 号炉間電力融通電気設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>号炉間電力融通ケーブル (常設) 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>号炉間電力融通ケーブル (常設) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～緊急用電源切替箱断路器電路 【可搬】 (緊急用電源切替箱断路器 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】)</td> </tr> <tr> <td>計装設備 (補助) ※1</td> <td>M/C C 電圧 【常設】 M/C D 電圧 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 第一 GTG 発電機電圧 【常設】</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p>	設備区分	設備名	主要設備	号炉間電力融通ケーブル (常設) 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) 【可搬】	附属設備	—	燃料流路	—	電路	号炉間電力融通ケーブル (常設) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～緊急用電源切替箱断路器電路 【可搬】 (緊急用電源切替箱断路器 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】)	計装設備 (補助) ※1	M/C C 電圧 【常設】 M/C D 電圧 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 第一 GTG 発電機電圧 【常設】	<p>表 3.14-102 号炉間電力融通電気設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>号炉間電力融通ケーブル 【常設】 号炉間電力融通ケーブル 【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>号炉間電力融通ケーブル～非常用高圧母線 C 系 及び非常用高圧母線 D 系電路 【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	号炉間電力融通ケーブル 【常設】 号炉間電力融通ケーブル 【可搬】	附属設備	—	燃料流路	—	交流電路	号炉間電力融通ケーブル～非常用高圧母線 C 系 及び非常用高圧母線 D 系電路 【常設】	直流電路	—	① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化) ⑤
設備区分	設備名																												
主要設備	号炉間電力融通ケーブル (常設) 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) 【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
電路	号炉間電力融通ケーブル (常設) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】 号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 (号炉間電力融通ケーブル (可搬型) ～緊急用電源切替箱断路器電路 【可搬】 (緊急用電源切替箱断路器 ～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路 【常設】)																												
計装設備 (補助) ※1	M/C C 電圧 【常設】 M/C D 電圧 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電圧 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機電力 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(A) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 非常用 D/G(B) 発電機周波数 (他号炉) 【常設】 第一 GTG 発電機電圧 【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	号炉間電力融通ケーブル 【常設】 号炉間電力融通ケーブル 【可搬】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
交流電路	号炉間電力融通ケーブル～非常用高圧母線 C 系 及び非常用高圧母線 D 系電路 【常設】																												
直流電路	—																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
42	3.14.2.5.2	添3.14-165	<p>(1)号炉間電力融通ケーブル(常設)(6号及び7号炉共用) 個数 : 1式 種類 : 6,600V架橋ポリエチレン絶縁難燃性ビニルシースケーブル サイズ : 150mm² 全長 : 約25m 取付箇所 : コントロール建屋地上2階</p> <p>(2)号炉間電力融通ケーブル(可搬型)(6号及び7号炉共用) 個数 : 1式 種類 : 6,600V架橋ポリエチレン絶縁難燃性ビニルシースケーブル サイズ : 150mm² 全長 : 約25m 設置場所 : コントロール建屋地上2階 保管場所 : 荒浜側高台保管場所</p>	<p>(1)号炉間電力融通ケーブル(6号及び7号炉共用) 個数 : 1式(予備1式) 種類 : 6,600V架橋ポリエチレン絶縁耐熱難燃性ビニルシースケーブル サイズ : 150mm² 全長 : 約20m 取付箇所 : 号炉間電力融通ケーブル【常設】 : コントロール建屋2階(1式) 号炉間電力融通ケーブル【可搬】 : 荒浜側常設代替交流電源設備設置場所地上1階(1式)</p>	② (号炉間電力融通電気設備の変更を反映)																												
43	3.14.2.5.3	添3.14-166	<p>表 3.14-100 想定する環境条件及び荷重条件 (号炉間電力融通ケーブル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)	風(台風)・積雪	コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表 3.14-103 想定する環境条件及び荷重条件 (号炉間電力融通ケーブル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)	風(台風)・積雪	コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	② (号炉間電力融通電気設備の変更を反映)
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)																																
風(台風)・積雪	コントロール建屋内及び荒浜側高台保管場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す)																																
風(台風)・積雪	コントロール建屋内及び荒浜側常設代替交流電源設備設置場所の建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
44	3.14.2.5.3	添3.14-171	号炉間電力融通ケーブル(可搬型)は治具による固定等を行うことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	—	② (号炉間電力融通電気設備の変更を反映)																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
45	3.14.2.5.3	添3.14-175	a)号炉間電力融通ケーブル(可搬型)(6号及び7号炉共用) 号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル(可搬型)は, 想定される重大事故等時において, 重大事故等対処時に必要な電力を融通可能なケーブルサイズ150mm ² を有するものを1式として使用する。保有数は, 号炉間電力融通ケーブル(常設)の故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1式(6号及び7号炉共用)を保管する。	a)号炉間電力融通ケーブル【可搬】(6号及び7号炉共用) 号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル【可搬】は, 重大事故等対処時に必要な電力を融通可能なケーブルサイズ150mm ² を有する設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
46	3.14.2.6.1	添3.14-185	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計装設備(補助)^{*1}</td> <td>M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 P/C C-1電圧【常設】 P/C D-1電圧【常設】 第一GTG発電機電圧【常設】 電源車電圧【可搬】 電源車周波数【可搬】</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	電路	—	計装設備(補助) ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 P/C C-1電圧【常設】 P/C D-1電圧【常設】 第一GTG発電機電圧【常設】 電源車電圧【可搬】 電源車周波数【可搬】	<table border="1"> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>主要設備</td> <td>緊急用高圧母線【常設】 緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>電源車～非常用高圧母線C系及びD系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線C系及びD系第二電路 (電源車～動力変圧器C系電路【可搬】) (動力変圧器C系 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～AM用MCC第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路【常設】) 電源車～AM用MCC第二電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～AM用MCC電路【常設】) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路^{*1} 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路^{*1}</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>—</td> </tr> </table>	設備区分	設備名	主要設備	緊急用高圧母線【常設】 緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	交流電路	電源車～非常用高圧母線C系及びD系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線C系及びD系第二電路 (電源車～動力変圧器C系電路【可搬】) (動力変圧器C系 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～AM用MCC第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路【常設】) 電源車～AM用MCC第二電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～AM用MCC電路【常設】) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路 ^{*1} 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路 ^{*1}	直流電路	—	<p>① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化)</p>
設備区分	設備名																												
主要設備	緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
電路	—																												
計装設備(補助) ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 P/C C-1電圧【常設】 P/C D-1電圧【常設】 第一GTG発電機電圧【常設】 電源車電圧【可搬】 電源車周波数【可搬】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	緊急用高圧母線【常設】 緊急用断路器【常設】 緊急用電源切替箱断路器【常設】 緊急用電源切替箱接続装置【常設】 AM用動力変圧器【常設】 AM用MCC【常設】 AM用切替盤【常設】 AM用操作盤【常設】 非常用高圧母線C系【常設】 非常用高圧母線D系【常設】																												
附属設備	—																												
燃料流路	—																												
交流電路	電源車～非常用高圧母線C系及びD系第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～非常用高圧母線C系及びD系第二電路 (電源車～動力変圧器C系電路【可搬】) (動力変圧器C系 ～非常用高圧母線C系及びD系電路【常設】) 電源車～AM用MCC第一電路 (電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路【可搬】) (緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路【常設】) 電源車～AM用MCC第二電路 (電源車～AM用動力変圧器電路【可搬】) (AM用動力変圧器～AM用MCC電路【常設】) 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～非常用高圧母線C系及びD系電路 ^{*1} 第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機 ～AM用MCC電路 ^{*1}																												
直流電路	—																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	3.14.2.6.2	添3.14-186	(1) 緊急用断路器(6号及び7号炉共用) 電圧 : 6.9kV 定格電流 : 約600A 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	(2) 緊急用断路器(6号及び7号炉共用) 電圧 : 6.9kV 定格電流 : 約1,200A 取付箇所 : 7号炉タービン建屋南側の屋外	② (詳細設計の進捗を反映)
48	3.14.2.6.6	添3.14-214	a) 緊急用断路器(6号及び7号炉共用) 代替所内電気設備の緊急用断路器は、第一ガスタービン発電機1基が接続可能であることから、第一ガスタービン発電機1基の定格電流である377Aに対し、十分余裕を有する定格電流である約600Aを有する設計とする。 (57-5)	a) 緊急用断路器(6号及び7号炉共用) 代替所内電気設備の緊急用断路器は、第一ガスタービン発電機1基が接続可能であることから、第一ガスタービン発電機1基の定格電流である377Aに対し、十分余裕を有する定格電流である約1,200Aを有する設計とする。 (57-5-23)	② (詳細設計の進捗を反映)
49	3.14.2.6.6	添3.14-214	b) 緊急用電源切替箱断路器 代替所内電気設備の緊急用電源切替箱断路器は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,649kWを通电する容量173Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約600Aを有する設計とする。 (57-5)	c) 緊急用電源切替箱断路器 代替所内電気設備の緊急用電源切替箱断路器は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,183kWを通电する容量99Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約600Aを有する設計とする。 (57-5-22)	② (詳細設計の進捗を反映)
50	3.14.2.6.6	添3.14-214	c) 緊急用電源切替箱接続装置 代替所内電気設備の緊急用電源切替箱接続装置は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,649kWを通电する容量173Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約1,200Aを有する設計とする。 (57-5)	d) 緊急用電源切替箱接続装置 代替所内電気設備の緊急用電源切替箱接続装置は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,183kWを通电する容量99Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約600Aを有する設計とする。 (57-5-24)	② (詳細設計の進捗を反映)
51	3.14.2.6.6	添3.14-214	d) 非常用高圧母線C系 代替所内電気設備の非常用高圧母線C系は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,649kWを通电する容量173Aに十分な余裕を考慮した設計とする。なお、非常用高圧母線C系は、非常用ディーゼル発電機1基分の定格電流523Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約1,200Aを有する設計とする。 (57-5)	e) 非常用高圧母線C系 代替所内電気設備の非常用高圧母線C系は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,183kWを通电する容量99Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約1,200Aを有する設計とする。 (57-5-25)	② (詳細設計の進捗を反映)
52	3.14.2.6.6	添3.14-215	e) 非常用高圧母線D系 代替所内電気設備の非常用高圧母線D系は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,649kWを通电する容量173Aに十分な余裕を考慮した設計とする。なお、非常用高圧母線D系は、非常用ディーゼル発電機1基分の定格電流523Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約1,200Aを有する設計とする。 (57-5)	f) 非常用高圧母線D系 代替所内電気設備の非常用高圧母線D系は、設計基準事故対処設備の電源(全交流動力電源喪失)が喪失した場合、重大事故等に対処するために必要な1,183kWを通电する容量99Aに十分な余裕を考慮し、定格電流約1,200Aを有する設計とする。 (57-5-25)	② (詳細設計の進捗を反映)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
53	3.14.3.1.1	添3.14-221	非常用交流電源設備は, 重大事故等時にATWS緩和設備(代替制御棒挿入機能), ATWS緩和設備(代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能), ほう酸水注入系, 高圧炉心注水系, 代替自動減圧ロジック(代替自動減圧機能), 低圧代替注水系(常設), 低圧代替注水系(可搬型), 残留熱除去系(低圧注水モード), 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード), 原子炉補機冷却系, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設), 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型), 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード), 残留熱除去系(サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード), 計装設備及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。	-	⑤																								
54	3.14.3.1.1	添3.14-224	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備(補助)^{*1}</td> <td>M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 M/C E電圧【常設】</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】	附属設備	-	燃料流路	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁【常設】	電路	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】	計装設備(補助) ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 M/C E電圧【常設】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>非常用ディーゼル発電機燃料供給系配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】	附属設備	-	燃料流路	非常用ディーゼル発電機燃料供給系配管・弁【常設】	交流電路	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】	直流電路	-	① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化)
設備区分	設備名																												
主要設備	非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】																												
附属設備	-																												
燃料流路	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁【常設】																												
電路	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】																												
計装設備(補助) ^{*1}	M/C C電圧【常設】 M/C D電圧【常設】 M/C E電圧【常設】																												
設備区分	設備名																												
主要設備	非常用ディーゼル発電機【常設】 燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 燃料ディタンク【常設】																												
附属設備	-																												
燃料流路	非常用ディーゼル発電機燃料供給系配管・弁【常設】																												
交流電路	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路【常設】																												
直流電路	-																												
55	3.14.3.1.2	添3.14-225	<p>(3) 軽油タンク</p> <p>種類 : たて置円筒形 容量 : 約550kL/基 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 66°C 個数 : 2 取付箇所 : 屋外(原子炉建屋東側)</p>	<p>(3)軽油タンク(6号及び7号炉共用)</p> <p>容量 : 約560kL/基 個数 : 1(予備3) 取付箇所 : 原子炉建屋東側の屋外</p>	⑤																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																						
56	3.14.3.1.2	添3.14-225	<p>(4) 燃料ディタンク</p> <p>種類 : たて置円筒形 容量 : 約18m³/個 最高使用圧力 : 静水頭 最高使用温度 : 50℃ 個数 : 3 取付箇所 : 原子炉建屋内の原子炉区域外地上3階</p>	<p>(4)燃料ディタンク</p> <p>容量 : 約3.0m³/h 個数 : 3(ディーゼル機関1台につき1) 取付箇所 : 原子炉建屋の二次格納施設外地上3階</p>	⑤																						
57	3.14.3.2.1	添3.14-234	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td> 直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】 </td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td> 直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 B～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 C～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 D～直流母線電路【常設】 </td> </tr> <tr> <td>計装設備 (補助) *1</td> <td> M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 M/C E 電圧【常設】 </td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】	附属設備	—	燃料流路	—	電路	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 B～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 C～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 D～直流母線電路【常設】	計装設備 (補助) *1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 M/C E 電圧【常設】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td> 直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】 </td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交流電路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>直流電路</td> <td> 直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤 A 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流 125V 主母線盤 A-2 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 B～直流 125V 主母線盤 B 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 C～直流 125V 主母線盤 C 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 D～直流 125V 主母線盤 D 電路【常設】 </td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】	附属設備	—	交流電路	—	直流電路	直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤 A 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流 125V 主母線盤 A-2 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 B～直流 125V 主母線盤 B 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 C～直流 125V 主母線盤 C 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 D～直流 125V 主母線盤 D 電路【常設】	① (手順の判断基準に用いる計装設備のSA設備化)
設備区分	設備名																										
主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】																										
附属設備	—																										
燃料流路	—																										
電路	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 B～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 C～直流母線電路【常設】 直流 125V 蓄電池及び充電器 D～直流母線電路【常設】																										
計装設備 (補助) *1	M/C C 電圧【常設】 M/C D 電圧【常設】 M/C E 電圧【常設】																										
設備区分	設備名																										
主要設備	直流 125V 蓄電池 A【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2【常設】 直流 125V 蓄電池 B【常設】 直流 125V 蓄電池 C【常設】 直流 125V 蓄電池 D【常設】 直流 125V 充電器 A【常設】 直流 125V 充電器 A-2【常設】 直流 125V 充電器 B【常設】 直流 125V 充電器 C【常設】 直流 125V 充電器 D【常設】																										
附属設備	—																										
交流電路	—																										
直流電路	直流 125V 蓄電池 A～直流 125V 主母線盤 A 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 A-2～直流 125V 主母線盤 A-2 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 B～直流 125V 主母線盤 B 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 C～直流 125V 主母線盤 C 電路【常設】 直流 125V 蓄電池 D～直流 125V 主母線盤 D 電路【常設】																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																				
58	3.14.3.3.2	添3.14-242	(2) タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約4.0kL/台 最高使用圧力 : 24kPa[gage] 最高使用温度 : 40℃ 個数 : 3(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所 並びに5号炉東側第二保管場所	(2)タンクローリ(4kL)(6号及び7号炉共用) 容量 : 約4.0kL/台 最高使用圧力 : 24kPa[gage] 最高使用温度 : 40℃ 個数 : 3(予備1) 設置場所 : 屋外 保管場所 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	① (TBP対応に伴う保管場所の追加)																																				
59	3.14.3.3.3	添3.14-244	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>燃料補給設備</td> </tr> <tr> <td>共通要因</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>故障</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋内の原子炉区域外地上3階、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所、タンクローリ(16kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>火災</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。</td> </tr> <tr> <td>溢水</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故対処設備	重大事故等対処設備		非常用交流電源設備	燃料補給設備	共通要因	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。		故障	設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋内の原子炉区域外地上3階、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所、タンクローリ(16kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。		火災	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。		溢水	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>燃料補給設備</td> </tr> <tr> <td>共通要因</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>故障</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>火災</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。</td> </tr> <tr> <td>溢水</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計基準事故対処設備	重大事故等対処設備		非常用交流電源設備	燃料補給設備	共通要因	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。		故障	設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。		火災	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。		溢水	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。		① (TBP対応に伴う保管場所の追加) ⑤
項目	設計基準事故対処設備	重大事故等対処設備																																							
	非常用交流電源設備	燃料補給設備																																							
共通要因	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。																																								
故障	設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋内の原子炉区域外地上3階、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所並びに5号炉東側第二保管場所、タンクローリ(16kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。																																								
火災	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。																																								
溢水	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。																																								
項目	設計基準事故対処設備	重大事故等対処設備																																							
	非常用交流電源設備	燃料補給設備																																							
共通要因	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は耐震Sクラス設計とし、重大事故防止設備である燃料補給設備は基準地震動Ssで機能維持できる設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり故障することのない設計とする。																																								
故障	設計基準事故対処設備を設置する各設置場所(燃料ディタンク:原子炉建屋、燃料移送ポンプ:原子炉建屋東側軽油タンクエリアの屋外と、重大事故防止設備を保管する各保管場所(タンクローリ(4kL):荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所)は、ともに津波が到達しない位置とすることで、津波が共通要因となり故障することのない設計とする。																																								
火災	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、火災が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す)。																																								
溢水	設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備と、重大事故等対処設備である燃料補給設備は、溢水が共通要因となり故障することのない設計とする(「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す)。																																								
60	3.14.3.3.4.1	添3.14-251	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽油タンク出口弁</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	軽油タンク出口弁	屋外設置位置	屋外設置位置	-	⑤																														
機器名称	設置場所	操作場所																																							
軽油タンク出口弁	屋外設置位置	屋外設置位置																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由									
61	3.14.3.3.4.3	添3.14-255	<p>燃料補給設備の系統構成に操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.14-155に示す。</p> <p>このうち屋外で操作する燃料補給設備のタンクローリ(4kL)は、炉心損傷後の格納容器ベントを実施前に屋外で使用する設備であり、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても作業への影響はないと想定しているが、仮に線量が高い場合は線源からの離隔距離をとること、線量を測定し線量が低い位置に配置することにより、これら設備の設置及び常設設備との接続が可能である。</p> <p>また、格納容器ベント実施後は、格納容器ベント直後の操作が不要となるように運用し、線量を測定し線量が低い位置に配置することにより、これら設備の設置及び常設設備との接続が可能である。</p> <p>また、現場での接続作業に当たっては、簡便な専用金具による接続方式により、確実に速やかに接続が可能である。</p>	<p>燃料補給設備の操作が必要な機器は表3.14-151に示すとおり全て屋外に設置されており、炉心損傷後の原子炉格納容器ベントの実施前には周辺の放射線量が低いこと、また原子炉格納容器ベント実施後は、原子炉格納容器ベント直後の操作が不要となる様に運用することから、操作を行うことが可能である。</p>	⑤									
62	3.14.3.3.4.3	添3.14-255	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> <td>屋外設置位置</td> <td>屋外設置位置</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	タンクローリ (4kL)	屋外設置位置	屋外設置位置	ホース	屋外	屋外	-	⑤
機器名称	設置場所	操作場所												
タンクローリ (4kL)	屋外設置位置	屋外設置位置												
ホース	屋外	屋外												

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
章/項番号: 3.15 計装設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																				
1	3.15.1	添3.15-3	b. 計器電源喪失時に使用する設備 非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計測設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機)、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電式直流電源設備又は可搬型直流電源設備を使用する。	b. 計器電源喪失時に使用する設備 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合において、計測設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)、所内蓄電式直流電源設備、可搬型代替交流電源設備(電源車)及び可搬型直流電源設備を使用する。	②(第二ガスタービン発電機の自主化)																																																																																																																																																				
2	3.15.1	添3.15-3	常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機)、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電式直流電源設備及び可搬型直流電源設備については、「3.14 電源設備【57条】」に記載する。	常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)、所内蓄電式直流電源設備、可搬型代替交流電源設備(電源車)及び可搬型直流電源設備については、「3.14 電源設備【57条】」に記載する。	②(第二ガスタービン発電機の自主化)																																																																																																																																																				
3	3.15.2.1.1	添3.15-6	<p>表 3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主要設備</td><td>原子炉圧力容器温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位(広帯域)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位(燃料域)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>高圧代替注水系統流量【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統流量(RHR A系代替注水流量)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統流量(RHR B系代替注水流量)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統流量(格納容器下部注水流量)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウェル雰囲気温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力(D/W)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力(S/C)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器下部水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>起動領域モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>平均出力領域モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置入口圧力【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置水素濃度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】		原子炉圧力【常設】		原子炉圧力(SA)【常設】		原子炉水位(広帯域)【常設】		原子炉水位(燃料域)【常設】		原子炉水位(SA)【常設】		高圧代替注水系統流量【常設】		原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】		高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】		復水補給水系統流量(RHR A系代替注水流量)【常設】		復水補給水系統流量(RHR B系代替注水流量)【常設】		残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】		復水補給水系統流量(格納容器下部注水流量)【常設】		ドライウェル雰囲気温度【常設】		サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】		サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】		格納容器内圧力(D/W)【常設】		格納容器内圧力(S/C)【常設】		サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】		格納容器下部水位【常設】		格納容器内水素濃度【常設】		格納容器内水素濃度(SA)【常設】		格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】		格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】		起動領域モニタ【常設】		平均出力領域モニタ【常設】		復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】		フィルタ装置水位【常設】		フィルタ装置入口圧力【常設】		フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】		フィルタ装置水素濃度【常設】		フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】		フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】		耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】		残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】		残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】		原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】	<p>表 3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主要設備</td><td>原子炉圧力容器温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>高圧代替注水系統流量【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統流量(原子炉格納容器)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウェル雰囲気温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力(D/W)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力(S/C)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器下部水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度(SA)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>起動領域モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>平均出力領域モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置水位【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置入口圧力【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置水素濃度【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】</td></tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】		原子炉圧力【常設】		原子炉圧力(SA)【常設】		原子炉水位【常設】		原子炉水位(SA)【常設】		高圧代替注水系統流量【常設】		原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】		高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】		復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)【常設】		残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】		復水補給水系統流量(原子炉格納容器)【常設】		ドライウェル雰囲気温度【常設】		サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】		サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】		格納容器内圧力(D/W)【常設】		格納容器内圧力(S/C)【常設】		サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】		格納容器下部水位【常設】		格納容器内水素濃度【常設】		格納容器内水素濃度(SA)【常設】		格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】		格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】		起動領域モニタ【常設】		平均出力領域モニタ【常設】		復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】		フィルタ装置水位【常設】		フィルタ装置入口圧力【常設】		フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】		フィルタ装置水素濃度【常設】		フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】		フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】		耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】		残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】		残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】		原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】	⑤
設備区分	設備名																																																																																																																																																								
主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉圧力【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉圧力(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉水位(広帯域)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉水位(燃料域)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉水位(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	高圧代替注水系統流量【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統流量(RHR A系代替注水流量)【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統流量(RHR B系代替注水流量)【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統流量(格納容器下部注水流量)【常設】																																																																																																																																																								
	ドライウェル雰囲気温度【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内圧力(D/W)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内圧力(S/C)【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器下部水位【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内水素濃度【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内水素濃度(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】																																																																																																																																																								
	起動領域モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	平均出力領域モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置水位【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置入口圧力【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置水素濃度【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】																																																																																																																																																								
	耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
設備区分	設備名																																																																																																																																																								
主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉圧力【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉圧力(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉水位【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉水位(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	高圧代替注水系統流量【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	高圧炉心注水系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統流量(原子炉格納容器)【常設】																																																																																																																																																								
	ドライウェル雰囲気温度【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ気体温度【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内圧力(D/W)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内圧力(S/C)【常設】																																																																																																																																																								
	サブプレッション・チェンバ・プール水位【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器下部水位【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内水素濃度【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内水素濃度(SA)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)【常設】																																																																																																																																																								
	格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)【常設】																																																																																																																																																								
	起動領域モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	平均出力領域モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	復水補給水系統温度(代替循環冷却)【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置水位【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置入口圧力【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置水素濃度【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置金属フィルタ差圧【常設】																																																																																																																																																								
	フィルタ装置スクラバ水 pH【常設】																																																																																																																																																								
	耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器入口温度(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器出口温度(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								
	原子炉補機冷却水系統流量(設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由								
4	3.15.2.1.1	添3.15-7	<p>表 3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td> 原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 高压炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) 安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*2 可搬型計測器【可搬】 </td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 高压炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) 安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*2 可搬型計測器【可搬】	<p>表 3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td> 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) データ伝送装置【常設】 緊急時対策支援システム伝送装置【常設】 SPDS 表示装置【常設】 可搬型計測器【可搬】 </td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) データ伝送装置【常設】 緊急時対策支援システム伝送装置【常設】 SPDS 表示装置【常設】 可搬型計測器【可搬】	①(対象設備の追加)
設備区分	設備名												
主要設備	原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 高压炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) 安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*2 可搬型計測器【可搬】												
設備区分	設備名												
主要設備	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)【常設】 復水貯蔵槽水位 (SA)【常設】 復水移送ポンプ吐出圧力【常設】 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)【常設】 原子炉建屋水素濃度【常設】 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置【常設】 格納容器内酸素濃度【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)【常設】 使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)【常設】 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)【常設】 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ【常設】 (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置【常設】を含む) データ伝送装置【常設】 緊急時対策支援システム伝送装置【常設】 SPDS 表示装置【常設】 可搬型計測器【可搬】												
5	3.15.2.1.1	添3.15-7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電源設備*1</th> <th>常設代替交流電源設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 </td> </tr> </tbody> </table>	電源設備*1	常設代替交流電源設備		第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電源設備*1</th> <th>常設代替交流電源設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 </td> </tr> </tbody> </table>	電源設備*1	常設代替交流電源設備		第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	②(第二ガスタービン発電機の自主化)
電源設備*1	常設代替交流電源設備												
	第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】												
電源設備*1	常設代替交流電源設備												
	第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ (16kL)【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																			
6	3.15.2.1.2	添3.15-10	<p>表 3.15-2 主要設備の仕様 (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~350℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>弾性圧力検出器**</td> <td>0~10MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>弾性圧力検出器**</td> <td>0~1MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広管域)</td> <td>差圧式水位検出器**</td> <td>-3200~3500mm**</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>差圧式水位検出器**</td> <td>-4000~1300mm**</td> <td>2</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉水位 (SA)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器**</td> <td>-3200~3500mm**</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>-8000~3500mm**</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下2階</td> </tr> <tr> <td>原子炉降壓時冷却系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~1000m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (BHR A系代替注水流量)</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~200m³/h (6号炉) 0~150m³/h (7号炉)</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (BHR B系代替注水流量)</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~350m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~1500m³/h</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)</td> <td>差圧式流量検出器**</td> <td>0~150m³/h (6号炉) 0~100m³/h (7号炉)</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下2階</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル 雰囲気温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ氣體温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>弾性圧力検出器**</td> <td>0~1000kPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>弾性圧力検出器**</td> <td>0~980.7kPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地上1階</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	原子炉圧力容器温度	熱電対	0~350℃	2	原子炉格納容器内	原子炉圧力	弾性圧力検出器**	0~10MPa[gage]	3	原子炉降壓地下1階	原子炉圧力 (SA)	弾性圧力検出器**	0~1MPa[gage]	1	原子炉降壓地下1階	原子炉水位 (広管域)	差圧式水位検出器**	-3200~3500mm**	3	原子炉降壓地下1階	原子炉水位 (燃料域)	差圧式水位検出器**	-4000~1300mm**	2	原子炉降壓地下3階	原子炉水位 (SA)	差圧式水位検出器**	-3200~3500mm**	1	原子炉降壓地下1階	-8000~3500mm**	1	原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)	高圧代替注水系系統流量	差圧式流量検出器**	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下2階	原子炉降壓時冷却系系統流量	差圧式流量検出器**	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下3階	高圧炉心注水系系統流量	差圧式流量検出器**	0~1000m ³ /h	2	原子炉降壓地下3階	復水補給水系流量 (BHR A系代替注水流量)	差圧式流量検出器**	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下1階	復水補給水系流量 (BHR B系代替注水流量)	差圧式流量検出器**	0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)	残留熱除去系系統流量	差圧式流量検出器**	0~1500m ³ /h	3	原子炉降壓地下3階	復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)	差圧式流量検出器**	0~150m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下2階	ドライウエル 雰囲気温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ氣體温度	熱電対	0~300℃	1	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	測温抵抗体	0~200℃	3	原子炉格納容器内	格納容器内圧力 (D/W)	弾性圧力検出器**	0~1000kPa[abs]	1	原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)	格納容器内圧力 (S/C)	弾性圧力検出器**	0~980.7kPa[abs]	1	原子炉降壓地上1階	<p>表 3.15-2 計装設備の主要機器仕様 (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~350℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~10MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~10MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉水位</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器</td> <td>-3200~3500mm*</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>-4000~1300mm**</td> <td>2</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉水位 (SA)</td> <td rowspan="2">差圧式水位検出器</td> <td>-3200~3500mm**</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>-8000~3500mm**</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下2階</td> </tr> <tr> <td>原子炉降壓時冷却系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~1000m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)</td> <td rowspan="2">差圧式流量検出器</td> <td>0~200m³/h (6号炉) 0~150m³/h (7号炉)</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階</td> </tr> <tr> <td>0~350m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~1500m³/h</td> <td>3</td> <td>原子炉降壓地下3階</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">復水補給水系流量 (原子炉格納容器)</td> <td rowspan="2">差圧式流量検出器</td> <td>0~350m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>0~150m³/h (6号炉) ** 0~100m³/h (7号炉) **</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地下2階</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル 雰囲気温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ氣體温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~1000kPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~980.7kPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉降壓地上1階</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	原子炉圧力容器温度	熱電対	0~350℃	3	原子炉格納容器内	原子炉圧力	弾性圧力検出器	0~10MPa[gage]	3	原子炉降壓地下1階	原子炉圧力 (SA)	弾性圧力検出器	0~10MPa[gage]	1	原子炉降壓地下1階	原子炉水位	差圧式水位検出器	-3200~3500mm*	3	原子炉降壓地下1階	-4000~1300mm**	2	原子炉降壓地下3階	原子炉水位 (SA)	差圧式水位検出器	-3200~3500mm**	1	原子炉降壓地下1階	-8000~3500mm**	1	原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)	高圧代替注水系系統流量	差圧式流量検出器	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下2階	原子炉降壓時冷却系系統流量	差圧式流量検出器	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下3階	高圧炉心注水系系統流量	差圧式流量検出器	0~1000m ³ /h	2	原子炉降壓地下3階	復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)	差圧式流量検出器	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下1階	0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)	残留熱除去系系統流量	差圧式流量検出器	0~1500m ³ /h	3	原子炉降壓地下3階	復水補給水系流量 (原子炉格納容器)	差圧式流量検出器	0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)	0~150m ³ /h (6号炉) ** 0~100m ³ /h (7号炉) **	1	原子炉降壓地下2階	ドライウエル 雰囲気温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ氣體温度	熱電対	0~200℃	1	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	測温抵抗体	0~200℃	3	原子炉格納容器内	格納容器内圧力 (D/W)	弾性圧力検出器	0~1000kPa[abs]	1	原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)	格納容器内圧力 (S/C)	弾性圧力検出器	0~980.7kPa[abs]	1	原子炉降壓地上1階	②(計器多重化, 計測範囲拡大)
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力容器温度	熱電対	0~350℃	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力	弾性圧力検出器**	0~10MPa[gage]	3	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力 (SA)	弾性圧力検出器**	0~1MPa[gage]	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
原子炉水位 (広管域)	差圧式水位検出器**	-3200~3500mm**	3	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
原子炉水位 (燃料域)	差圧式水位検出器**	-4000~1300mm**	2	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
原子炉水位 (SA)	差圧式水位検出器**	-3200~3500mm**	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
		-8000~3500mm**	1	原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
高圧代替注水系系統流量	差圧式流量検出器**	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下2階																																																																																																																																																																																																				
原子炉降壓時冷却系系統流量	差圧式流量検出器**	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
高圧炉心注水系系統流量	差圧式流量検出器**	0~1000m ³ /h	2	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
復水補給水系流量 (BHR A系代替注水流量)	差圧式流量検出器**	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
復水補給水系流量 (BHR B系代替注水流量)	差圧式流量検出器**	0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
残留熱除去系系統流量	差圧式流量検出器**	0~1500m ³ /h	3	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)	差圧式流量検出器**	0~150m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下2階																																																																																																																																																																																																				
ドライウエル 雰囲気温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ氣體温度	熱電対	0~300℃	1	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水温度	測温抵抗体	0~200℃	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
格納容器内圧力 (D/W)	弾性圧力検出器**	0~1000kPa[abs]	1	原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
格納容器内圧力 (S/C)	弾性圧力検出器**	0~980.7kPa[abs]	1	原子炉降壓地上1階																																																																																																																																																																																																				
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力容器温度	熱電対	0~350℃	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力	弾性圧力検出器	0~10MPa[gage]	3	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
原子炉圧力 (SA)	弾性圧力検出器	0~10MPa[gage]	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
原子炉水位	差圧式水位検出器	-3200~3500mm*	3	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
		-4000~1300mm**	2	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
原子炉水位 (SA)	差圧式水位検出器	-3200~3500mm**	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
		-8000~3500mm**	1	原子炉降壓地下3階 (6号炉) 原子炉降壓地下2階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
高圧代替注水系系統流量	差圧式流量検出器	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下2階																																																																																																																																																																																																				
原子炉降壓時冷却系系統流量	差圧式流量検出器	0~300m ³ /h	1	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
高圧炉心注水系系統流量	差圧式流量検出器	0~1000m ³ /h	2	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)	差圧式流量検出器	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	1	原子炉降壓地下1階																																																																																																																																																																																																				
		0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
残留熱除去系系統流量	差圧式流量検出器	0~1500m ³ /h	3	原子炉降壓地下3階																																																																																																																																																																																																				
復水補給水系流量 (原子炉格納容器)	差圧式流量検出器	0~350m ³ /h	1	原子炉降壓地下1階 (6号炉) 原子炉降壓地上1階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
		0~150m ³ /h (6号炉) ** 0~100m ³ /h (7号炉) **	1	原子炉降壓地下2階																																																																																																																																																																																																				
ドライウエル 雰囲気温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ氣體温度	熱電対	0~200℃	1	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水温度	測温抵抗体	0~200℃	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																				
格納容器内圧力 (D/W)	弾性圧力検出器	0~1000kPa[abs]	1	原子炉降壓地上中3階 (6号炉) 原子炉降壓地上3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																																				
格納容器内圧力 (S/C)	弾性圧力検出器	0~980.7kPa[abs]	1	原子炉降壓地上1階																																																																																																																																																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																				
7	3.15.2.1.2	添3.15-11	<p>表 3.15-2 主要設備の仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>逆圧式水位検出器**</td> <td>-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **</td> <td>3</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>水素吸蔵材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ</td> <td>核分裂電離箱</td> <td>10⁻¹~10⁶α⁻¹ (1.0×10²~1.0×10⁶cm⁻²・s⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10²~2.0×10¹²cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>10</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>核分裂電離箱</td> <td>0~125% (1.2×10¹²~2.8×10¹⁴cm⁻²・s⁻¹) **</td> <td>4**</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>復水補給水温度 (代替循環冷却)</td> <td>熱電対</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位</td> <td>逆圧式水位検出器**</td> <td>0~6000mm</td> <td>2</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> <td>弾性圧力検出器**</td> <td>0~1MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> <td>逆圧式圧力検出器**</td> <td>0~50kPa</td> <td>2</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スタフバ水pH</td> <td>pH検出器</td> <td>pH0~14</td> <td>1</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>3</td> <td>原子伊藤屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>3</td> <td>原子伊藤屋地下2階 (6号炉) 原子伊藤屋地下3階 (7号炉)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	サブプレッション・チェンバ・プール水位	逆圧式水位検出器**	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **	1	原子伊藤屋地下3階	格納容器下部水位	電極式水位検出器	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **	3	原子伊藤格納容器内	格納容器内水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)	2	原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)	格納容器内水素濃度 (SA)	水素吸蔵材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤格納容器内	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上1階	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地下1階	起動領域モニタ	核分裂電離箱	10 ⁻¹ ~10 ⁶ α ⁻¹ (1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10 ² ~2.0×10 ¹² cm ⁻² ・s ⁻¹)	10	原子伊藤格納容器内	平均出力領域モニタ	核分裂電離箱	0~125% (1.2×10 ¹² ~2.8×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s ⁻¹) **	4**	原子伊藤格納容器内	復水補給水温度 (代替循環冷却)	熱電対	0~200℃	1	原子伊藤屋地下3階	フィルタ装置水位	逆圧式水位検出器**	0~6000mm	2	屋外	フィルタ装置入口圧力	弾性圧力検出器**	0~1MPa[gage]	1	原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)	フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上	フィルタ装置水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤屋地上3階	フィルタ装置金属フィルタ差圧	逆圧式圧力検出器**	0~50kPa	2	屋外	フィルタ装置スタフバ水pH	pH検出器	pH0~14	1	屋外	耐圧強化ベント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上4階	残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	3	原子伊藤屋地下3階	残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	3	原子伊藤屋地下2階 (6号炉) 原子伊藤屋地下3階 (7号炉)	<p>表 3.15-2 計装設備の主要機器仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>逆圧式水位検出器</td> <td>-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **</td> <td>3</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>水素吸蔵材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上1階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地下1階</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ</td> <td>核分裂電離箱</td> <td>10⁻¹~10⁶α⁻¹ (1.0×10²~1.0×10⁶cm⁻²・s⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10²~2.0×10¹²cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>10</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>核分裂電離箱</td> <td>0~125% (1.2×10¹²~2.8×10¹⁴cm⁻²・s⁻¹) **</td> <td>4**</td> <td>原子伊藤格納容器内</td> </tr> <tr> <td>復水補給水温度 (代替循環冷却)</td> <td>熱電対</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位</td> <td>逆圧式水位検出器</td> <td>0~6000mm</td> <td>2</td> <td>屋外 (フィルタベント遮蔽室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~1MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>屋外 (原子伊藤屋地上)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> <td>逆圧式圧力検出器</td> <td>0~50kPa</td> <td>1</td> <td>屋外(フィルタベント遮蔽室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スタフバ水pH</td> <td>pH検出器</td> <td>pH0~14</td> <td>1</td> <td>屋外(フィルタベント遮蔽室内)</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻²~10⁵Sv/h</td> <td>2</td> <td>原子伊藤屋地上4階</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	サブプレッション・チェンバ・プール水位	逆圧式水位検出器	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **	1	原子伊藤屋地下3階	格納容器下部水位	電極式水位検出器	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **	3	原子伊藤格納容器内	格納容器内水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)	2	原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)	格納容器内水素濃度 (SA)	水素吸蔵材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤格納容器内	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上1階	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地下1階	起動領域モニタ	核分裂電離箱	10 ⁻¹ ~10 ⁶ α ⁻¹ (1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10 ² ~2.0×10 ¹² cm ⁻² ・s ⁻¹)	10	原子伊藤格納容器内	平均出力領域モニタ	核分裂電離箱	0~125% (1.2×10 ¹² ~2.8×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s ⁻¹) **	4**	原子伊藤格納容器内	復水補給水温度 (代替循環冷却)	熱電対	0~200℃	1	原子伊藤屋地下3階	フィルタ装置水位	逆圧式水位検出器	0~6000mm	2	屋外 (フィルタベント遮蔽室内)	フィルタ装置入口圧力	弾性圧力検出器	0~1MPa[gage]	1	原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)	フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	屋外 (原子伊藤屋地上)	フィルタ装置水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤屋地上3階	フィルタ装置金属フィルタ差圧	逆圧式圧力検出器	0~50kPa	1	屋外(フィルタベント遮蔽室内)	フィルタ装置スタフバ水pH	pH検出器	pH0~14	1	屋外(フィルタベント遮蔽室内)	耐圧強化ベント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上4階	②(計器多重化)
			名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																		
			サブプレッション・チェンバ・プール水位	逆圧式水位検出器**	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **	1	原子伊藤屋地下3階																																																																																																																																																																																		
			格納容器下部水位	電極式水位検出器	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **	3	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																		
			格納容器内水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)	2	原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																		
			格納容器内水素濃度 (SA)	水素吸蔵材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																		
			格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上1階																																																																																																																																																																																		
			格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地下1階																																																																																																																																																																																		
			起動領域モニタ	核分裂電離箱	10 ⁻¹ ~10 ⁶ α ⁻¹ (1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10 ² ~2.0×10 ¹² cm ⁻² ・s ⁻¹)	10	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																		
			平均出力領域モニタ	核分裂電離箱	0~125% (1.2×10 ¹² ~2.8×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s ⁻¹) **	4**	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																		
			復水補給水温度 (代替循環冷却)	熱電対	0~200℃	1	原子伊藤屋地下3階																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置水位	逆圧式水位検出器**	0~6000mm	2	屋外																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置入口圧力	弾性圧力検出器**	0~1MPa[gage]	1	原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤屋地上3階																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置金属フィルタ差圧	逆圧式圧力検出器**	0~50kPa	2	屋外																																																																																																																																																																																		
			フィルタ装置スタフバ水pH	pH検出器	pH0~14	1	屋外																																																																																																																																																																																		
			耐圧強化ベント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上4階																																																																																																																																																																																		
			残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	3	原子伊藤屋地下3階																																																																																																																																																																																		
			残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	3	原子伊藤屋地下2階 (6号炉) 原子伊藤屋地下3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																		
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																					
サブプレッション・チェンバ・プール水位	逆圧式水位検出器	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9850mm) **	1	原子伊藤屋地下3階																																																																																																																																																																																					
格納容器下部水位	電極式水位検出器	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4600mm, -3600mm) **	3	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																					
格納容器内水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~30vol% (6号炉) 0~20vol%/0~100vol% (7号炉)	2	原子伊藤屋地上5, 中3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																					
格納容器内水素濃度 (SA)	水素吸蔵材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																					
格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上1階																																																																																																																																																																																					
格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地下1階																																																																																																																																																																																					
起動領域モニタ	核分裂電離箱	10 ⁻¹ ~10 ⁶ α ⁻¹ (1.0×10 ² ~1.0×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹) 0~40%又は 0~125% (1.0×10 ² ~2.0×10 ¹² cm ⁻² ・s ⁻¹)	10	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																					
平均出力領域モニタ	核分裂電離箱	0~125% (1.2×10 ¹² ~2.8×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s ⁻¹) **	4**	原子伊藤格納容器内																																																																																																																																																																																					
復水補給水温度 (代替循環冷却)	熱電対	0~200℃	1	原子伊藤屋地下3階																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置水位	逆圧式水位検出器	0~6000mm	2	屋外 (フィルタベント遮蔽室内)																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置入口圧力	弾性圧力検出器	0~1MPa[gage]	1	原子伊藤屋地上3階 (6号炉) 原子伊藤屋地上中3階 (7号炉)																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	屋外 (原子伊藤屋地上)																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~100vol%	2	原子伊藤屋地上3階																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置金属フィルタ差圧	逆圧式圧力検出器	0~50kPa	1	屋外(フィルタベント遮蔽室内)																																																																																																																																																																																					
フィルタ装置スタフバ水pH	pH検出器	pH0~14	1	屋外(フィルタベント遮蔽室内)																																																																																																																																																																																					
耐圧強化ベント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻² ~10 ⁵ Sv/h	2	原子伊藤屋地上4階																																																																																																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																	
8	3.15.2.1.2	添3.15-12	<p>表 3.15-2 主要設備の仕様 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器^{*3}</td> <td>0~4000m³/h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m³/h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m³/h(7号炉区分Ⅲ)</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量</td> <td>差圧式流量検出器^{*3}</td> <td>0~2000m³/h(6号炉) 0~1500m³/h(7号炉)</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力</td> <td>弾性圧力検出器^{**}</td> <td>0~12MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>弾性圧力検出器^{**}</td> <td>0~3.5MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵槽水位(SA)</td> <td>差圧式水位検出器^{*10}</td> <td>0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)</td> <td>1</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ吐出圧力</td> <td>弾性圧力検出器^{**}</td> <td>0~2MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>8</td> <td>原子炉建屋地下1,2階, 地上2,4階</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合器動作監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> <td>熱磁気風式酸素検出器</td> <td>0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)</td> <td>熱電対</td> <td>T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉)^{*12} T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉)^{*13} 0~150℃</td> <td>1^{*14}</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)</td> <td>熱電対</td> <td>T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉)^{*15} T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉)^{*15} 0~150℃</td> <td>1^{*14}</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10²~10⁵mSv/h 10²~10⁵mSv/h(6号炉) 10²~10⁵mSv/h(7号炉)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>赤外線カメラ</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>[*]1: 隣接ダイヤフラムにかかる原子炉圧力(基準面からの水頭圧を含む)と大気圧の差を計測 [*]2: 隣接ダイヤフラムにかかる原子炉圧力(蒸気部)と圧力容器下部の差圧を計測 [*]3: 隣接ダイヤフラムにかかる絞り機構前後の差圧を計測 [*]4: 隣接ダイヤフラムにかかる格納容器内圧力の絶対圧力を計測 [*]5: ナプレッション・チェンバ・プール下部の圧力と大気圧の差から水位を換算し, 格納容器内圧力(S/C)で補正 [*]6: 隣接ダイヤフラムにかかるフィルタ装置容器下部と容器の圧力差を計測 [*]7: 隣接ダイヤフラムにかかるフィルタ装置入口圧力と大気圧との差を計測 [*]8: 隣接ダイヤフラムにかかる金属フィルタの入口と出口の圧力差を計測 [*]9: 隣接ダイヤフラムにかかる吐出圧力を計測 [*]10: 隣接ダイヤフラムにかかるタンクの水頭圧と大気圧の差を計測 [*]11: 基準点は蒸気乾燥器スカート下端(原子炉圧力容器基準レベルより1224cm)</p>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	原子炉補機冷却水系系統流量	差圧式流量検出器 ^{*3}	0~4000m ³ /h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m ³ /h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m ³ /h(7号炉区分Ⅲ)	3	原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	差圧式流量検出器 ^{*3}	0~2000m ³ /h(6号炉) 0~1500m ³ /h(7号炉)	3	原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~12MPa[gage]	2	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~3.5MPa[gage]	3	原子炉建屋地下3階	復水貯蔵槽水位(SA)	差圧式水位検出器 ^{*10}	0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)	1	廃棄物処理建屋地下3階	復水移送ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~2MPa[gage]	3	廃棄物処理建屋地下3階	原子炉建屋水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~20vol%	8	原子炉建屋地下1,2階, 地上2,4階	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	熱電対	0~300℃	4	原子炉建屋地上4階	格納容器内酸素濃度	熱磁気風式酸素検出器	0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)	2	原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	熱電対	T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉) ^{*12} T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉) ^{*13} 0~150℃	1 ^{*14}	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)	熱電対	T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉) ^{*15} T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉) ^{*15} 0~150℃	1 ^{*14}	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁵ mSv/h 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(6号炉) 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(7号炉)	1	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	赤外線カメラ	-	1	原子炉建屋地上4階	<p>表 3.15-2 計装設備の主要機器仕様 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下2階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~4000m³/h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m³/h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m³/h(7号炉区分Ⅲ)</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量</td> <td>差圧式流量検出器</td> <td>0~2000m³/h(6号炉) 0~1500m³/h(7号炉)</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵槽水位(SA)</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)</td> <td>1</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ吐出圧力</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~2MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>廃棄物処理建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>弾性圧力検出器</td> <td>0~3.5MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下3階</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度</td> <td>熱伝導式水素検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>7</td> <td>原子炉建屋地下1,2,中2階, 地上2,4階</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合器動作監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> <td>熱磁気風式酸素検出器</td> <td>0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)</td> <td>熱電対</td> <td>T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉) T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉) 0~150℃</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)</td> <td>熱電対</td> <td>T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉) T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉) 0~150℃</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10²~10⁵mSv/h 10²~10⁵mSv/h(6号炉) 10²~10⁵mSv/h(7号炉)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>赤外線カメラ</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>[*]1: 基準点は蒸気乾燥器スカート下端(原子炉圧力容器基準レベルより1224cm) [*]2: 基準点は有効燃料棒上端(原子炉圧力容器基準レベルより905cm) [*]3: 格納容器下部注水流量 [*]4: T.M.S.L.=東京湾平均海面 [*]5: 放射線出力領域モニタの検出器は208個であり, 平均出力領域モニタの各チャンネルには, 52個ずつの信号が入力される。</p>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	3	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	3	原子炉建屋地下2階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)	原子炉補機冷却水系系統流量	差圧式流量検出器	0~4000m ³ /h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m ³ /h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m ³ /h(7号炉区分Ⅲ)	3	原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	差圧式流量検出器	0~2000m ³ /h(6号炉) 0~1500m ³ /h(7号炉)	3	原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)	復水貯蔵槽水位(SA)	差圧式水位検出器	0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)	1	廃棄物処理建屋地下3階	復水移送ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器	0~2MPa[gage]	3	廃棄物処理建屋地下3階	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器	0~3.5MPa[gage]	3	原子炉建屋地下3階	原子炉建屋水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~20vol%	7	原子炉建屋地下1,2,中2階, 地上2,4階	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	熱電対	0~300℃	4	原子炉建屋地上4階	格納容器内酸素濃度	熱磁気風式酸素検出器	0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)	2	原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	熱電対	T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉) T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉) 0~150℃	1	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)	熱電対	T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉) T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉) 0~150℃	1	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁵ mSv/h 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(6号炉) 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(7号炉)	1	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	赤外線カメラ	-	1	原子炉建屋地上4階	①(対象設備の追加)
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																		
原子炉補機冷却水系系統流量	差圧式流量検出器 ^{*3}	0~4000m ³ /h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m ³ /h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m ³ /h(7号炉区分Ⅲ)	3	原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	差圧式流量検出器 ^{*3}	0~2000m ³ /h(6号炉) 0~1500m ³ /h(7号炉)	3	原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)																																																																																																																																																		
高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~12MPa[gage]	2	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																		
残留熱除去系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~3.5MPa[gage]	3	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																		
復水貯蔵槽水位(SA)	差圧式水位検出器 ^{*10}	0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)	1	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																		
復水移送ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器 ^{**}	0~2MPa[gage]	3	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																		
原子炉建屋水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~20vol%	8	原子炉建屋地下1,2階, 地上2,4階																																																																																																																																																		
静的触媒式水素再結合器動作監視装置	熱電対	0~300℃	4	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
格納容器内酸素濃度	熱磁気風式酸素検出器	0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)	2	原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	熱電対	T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉) ^{*12} T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉) ^{*13} 0~150℃	1 ^{*14}	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)	熱電対	T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉) ^{*15} T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉) ^{*15} 0~150℃	1 ^{*14}	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁵ mSv/h 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(6号炉) 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(7号炉)	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	赤外線カメラ	-	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	3	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	3	原子炉建屋地下2階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)																																																																																																																																																		
原子炉補機冷却水系系統流量	差圧式流量検出器	0~4000m ³ /h(6号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~3000m ³ /h(6号炉区分Ⅲ, 7号炉区分Ⅰ, Ⅱ) 0~2000m ³ /h(7号炉区分Ⅲ)	3	原子炉建屋地下3階タービン建屋地下2階(6号炉) タービン建屋地下1,2階(7号炉)																																																																																																																																																		
残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	差圧式流量検出器	0~2000m ³ /h(6号炉) 0~1500m ³ /h(7号炉)	3	原子炉建屋地下2,3階(6号炉) 原子炉建屋地下3階(7号炉)																																																																																																																																																		
復水貯蔵槽水位(SA)	差圧式水位検出器	0~16m(6号炉) 0~17m(7号炉)	1	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																		
復水移送ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器	0~2MPa[gage]	3	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																		
残留熱除去系ポンプ吐出圧力	弾性圧力検出器	0~3.5MPa[gage]	3	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																		
原子炉建屋水素濃度	熱伝導式水素検出器	0~20vol%	7	原子炉建屋地下1,2,中2階, 地上2,4階																																																																																																																																																		
静的触媒式水素再結合器動作監視装置	熱電対	0~300℃	4	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
格納容器内酸素濃度	熱磁気風式酸素検出器	0~30vol%(6号炉) 0~10vol%/0~30vol%(7号炉)	2	原子炉建屋地上3,中3階(6号炉) 原子炉建屋地上中3階(7号炉)																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	熱電対	T.M.S.L.20180~31170mm(6号炉) T.M.S.L.20180~31123mm(7号炉) 0~150℃	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)	熱電対	T.M.S.L.23420~30420mm(6号炉) T.M.S.L.23373~30373mm(7号炉) 0~150℃	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁵ mSv/h 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(6号炉) 10 ² ~10 ⁵ mSv/h(7号炉)	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	赤外線カメラ	-	1	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																		
9	3.15.2.1.2	添3.15-13	<p>[*]12: 基準点は有効燃料棒上端(原子炉圧力容器基準レベルより905cm) [*]13: T.M.S.L.=東京湾平均海面 [*]14: 定格出力時の値に対する比率を示す。 [*]15: 放射線出力領域モニタの検出器は208個であり, 平均出力領域モニタの各チャンネルには, 52個ずつの信号が入力される。 [*]16: 検出点は14箇所 [*]17: 検出点は8箇所</p>	-	⑤																																																																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
10	3.15.2.1.2	添3.15-14	<p>安全パラメータ表示システム(SPDS)の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>設備名 データ伝送装置 使用回線 有線系回線, 無線系回線 個数 1式 取付箇所 6号炉 コントロール建屋地上1階 7号炉 コントロール建屋地上1階</p> <p>設備名 緊急時対策支援システム伝送装置 使用回線 有線系回線, 無線系回線 個数 1式(6号及び7号炉共用) 取付箇所 5号炉原子炉建屋地上3階 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p> <p>設備名 SPDS表示装置 個数 1式(6号及び7号炉共用) 取付箇所 5号炉原子炉建屋地上3階 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p>	<p>データ伝送装置, 緊急時対策支援システム伝送装置, SPDS表示装置の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>設備名 データ伝送装置 使用回線 有線系回線, 無線系回線 個数 1式 取付箇所 6号炉 コントロール建屋地上1階 7号炉 コントロール建屋地上1階</p> <p>設備名 緊急時対策支援システム伝送装置 (6号及び7号炉共用) 使用回線 有線系回線, 衛星系回線 個数 1式 取付箇所 免震重要棟地上1階(免震重要棟内緊急時対策所) 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p> <p>設備名 SPDS表示装置(6号及び7号炉共用) 個数 1式 取付箇所 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所) 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p>	②(免震重要棟の自主化)
11	3.15.2.1.2	添3.15-14	<p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 48(24/プラント) (予備24(6号及び7号炉共用))</p>	<p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 46(23/プラント) (予備23(6号及び7号炉共用))</p>	②(対象設備の追加)
12	3.15.2.1.3.1	添3.15-15	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は, 原子炉建屋原子炉区域内に設置する設備であることから, その機能を期待される重大事故等が発生した場合における, 原子炉建屋原子炉区域内の環境条件及び荷重条件を考慮し, 表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力 原子炉圧力(SA) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA) 高圧代替注水系系統流量 	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は, 二次格納施設内に設置する設備であることから, その機能を期待される重大事故等が発生した場合における, 二次格納施設内の環境条件及び荷重条件を考慮し, 以下の表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力 原子炉圧力(SA) 原子炉水位 原子炉水位(SA) 高圧代替注水系系統流量 原子炉隔離時冷却系系統流量 	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
13	3.15.2.1.3.1	添3.15-16	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉隔離時冷却系系統流量 ・高圧炉心注水系統流量 ・復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) ・復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) ・残留熱除去系系統流量 ・復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) ・格納容器内圧力 (D/W) ・格納容器内圧力 (S/C) ・サブプレッション・チェンバ・プール水位 ・格納容器内水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) ・復水補給水系温度 (代替循環冷却) ・耐圧強化ベント系放射線モニタ (7号炉) ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 (6号炉区分Ⅲ) ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧炉心注水系統流量 ・復水補給水系流量 (原子炉圧力容器) ・残留熱除去系系統流量 ・復水補給水系流量 (原子炉格納容器) ・格納容器内圧力 (D/W) ・格納容器内圧力 (S/C) ・サブプレッション・チェンバ・プール水位 ・格納容器内水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C) ・復水補給水系温度 (代替循環冷却) ・耐圧強化ベント系放射線モニタ (7号炉) ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 (6号炉区分Ⅲのみ) ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 	⑤
14	3.15.2.1.3.1	添3.15-16	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・原子炉建屋水素濃度 ・静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 ・格納容器内酸素濃度 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・原子炉建屋水素濃度 ・静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 ・格納容器内酸素濃度 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 	①(対象設備の追加)
15	3.15.2.1.3.1	添3.15-16 添3.15-17	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は, 原子炉建屋内の原子炉区域外及びその他の建屋内に設置する設備であることから, その機能を期待される重大事故等が発生した場合における, 原子炉建屋内の原子炉区域外及びその他の建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し, 表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ装置入口圧力 ・フィルタ装置水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ (6号炉) ・原子炉補機冷却水系系統流量 (6号炉区分 I, II, 7号炉) ・復水貯蔵槽水位 (SA) ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は, 原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内に設置する設備であることから, その機能を期待される重大事故等が発生した場合における, 原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し, 以下の表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ装置入口圧力 ・フィルタ装置水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ (6号炉) ・原子炉補機冷却水系系統流量 (6号炉区分Ⅲ以外) ・復水貯蔵槽水位 (SA) ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置 	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
16	3.15.2.1.3.1	添3.15-18	<p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ伝送装置は、コントロール建屋内に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、コントロール建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、表3.15-5に示す対応とする。</p> <p>可搬型計測器は、コントロール建屋内に保管するため、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、コントロール建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、表3.15-5に示す対応とする。</p> <p>また、安全パラメータ表示システム(SPDS)のうち緊急時対策支援システム伝送装置及びSPDS表示装置は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所のそれぞれの環境条件及び荷重条件を考慮し、表3.15-6に示す対応とする。</p>	<p>データ伝送装置は、コントロール建屋内に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、コントロール建屋の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.15-5に示す対応とする。</p> <p>可搬型計測器は、コントロール建屋内に保管するため、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、コントロール建屋の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.15-5に示す対応とする。</p> <p>また、緊急時対策支援システム伝送装置及びSPDS表示装置は、免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における、免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)のそれぞれの環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.15-6に示す対応とする。</p>	②(免震重要棟の自主化)																												
17	3.15.2.1.3.1	添3.15-19	<p>表 3.15-6 想定する環境条件及び荷重条件 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>設置場所である5号炉原子炉建屋内緊急時対策所で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(58-3)</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である5号炉原子炉建屋内緊急時対策所で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。	風(台風)・積雪	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表 3.15-6 想定する環境条件及び荷重条件 (免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)又は5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>設置場所である免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)又は5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.3 耐震設計の基本方針」に示す。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(58-3-1~36)</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)又は5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.3 耐震設計の基本方針」に示す。	風(台風)・積雪	免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	②(免震重要棟の自主化)
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である5号炉原子炉建屋内緊急時対策所で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。																																
風(台風)・積雪	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)又は5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組み合わせを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。詳細は「2.1.3 耐震設計の基本方針」に示す。																																
風(台風)・積雪	免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
18	3.15.2.1.3.1	添3.15-22	<p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は、想定される重大事故等時において中央制御室で監視できる設計であり現場又は中央制御室による操作は発生しない。</p>	<p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で使用できる設計とする。</p>	⑤																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
19	3.15.2.1.3.1	添3.15-22	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 ・原子炉圧力(SA) ・原子炉水位(広帯域) ・原子炉水位(燃料域) ・原子炉水位(SA) ・高圧代替注水系系統流量 ・原子炉隔離時冷却系系統流量 ・高圧炉心注水系系統流量 ・復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) ・復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) ・残留熱除去系系統流量 ・復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) ・ドライウエル雰囲気温度 ・サプレッション・チェンバ氣體温度 ・サプレッション・チェンバ・プール水温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サプレッション・チェンバ・プール水位 ・格納容器下部水位 ・格納容器内水素濃度(SA) ・格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・復水補給水系温度(代替循環冷却) ・フィルタ装置水位 ・フィルタ装置入口圧力 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置金属フィルタ差圧 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位 ・原子炉隔離時冷却系系統流量 ・高圧炉心注水系系統流量 ・残留熱除去系系統流量 ・格納容器内水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・格納容器内酸素濃度 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域) 	⑤
20	3.15.2.1.3.1	添3.15-22	—	常設の重大事故等対処設備のうち, 以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず, 他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	3.15.2.1.3.1	添3.15-23	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・復水貯蔵槽水位 (SA) ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・原子炉建屋水素濃度 ・静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 	<p>常設の重大事故等対処設備のうち, 以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず, 他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (SA) ・高圧代替注水系系統流量 ・復水補給水系流量 (原子炉圧力容器) ・復水補給水系流量 (原子炉格納容器) ・ドライウエル雰囲気温度 ・サブプレッション・チェンバ氣體温度 ・サブプレッション・チェンバ・プール水温度 ・格納容器内圧力 (D/W) ・格納容器内圧力 (S/C) ・サブプレッション・チェンバ・プール水位 ・格納容器下部水位 ・格納容器内水素濃度 (SA) ・復水補給水系温度 (代替循環冷却) ・フィルタ装置水位 ・フィルタ装置入口圧力 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置金属フィルタ差圧 ・フィルタ装置スクラバ水pH ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵槽水位 (SA) ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・原子炉建屋水素濃度 ・静的触媒式水素再結合器 動作監視装置 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール監視カメラ <p>(使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置を含む) (58-3-10.12.16.24.26.31.33~36) (58-9-5.7.10.11.13)</p>	①(対象設備の追加)
22	3.15.2.1.3.1	添3.15-23	安全パラメータ表示システム (SPDS) のうちデータ伝送装置及び緊急時対策支援システム伝送装置は, 通常は操作を行わずに常時伝送が可能であり, 通常時及び重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。	-	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																								
23	3.15.2.1.3.1	添3.15-24	<p>表 3.15-8 計装設備の試験及び検査 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">水位計</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">機能・性能試験</td> <td rowspan="5">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料室)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">圧力計</td> <td>濾水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">流量計</td> <td>濾水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">結核抵抗測定 温度確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル型温度</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td>濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>静的熱式水素再結合器 動作監視装置</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水素及び酸素濃度計</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">異常ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度 (SA)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">放射線量率計</td> <td>格納容器内空間気放射線レベル (D/W)</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">機能・性能試験</td> <td rowspan="5">線源校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空間気放射線レベル (S/C)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">pH計</td> <td>フィルタ装置スクラバ水 pH</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">機能・性能試験</td> <td rowspan="2">計器校正</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉出力</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>プラトー特性</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>計器校正</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>プラトー特性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>線源校正 計器校正</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	水位計	原子炉水位 (広帯域)	停止中	機能・性能試験	計器校正	原子炉水位 (燃料室)	原子炉水位 (SA)	サブプレッション・チェンバ・プール水位	フィルタ装置水位	圧力計	濾水貯蔵槽水位 (SA)	停止中	機能・性能試験	計器校正	格納容器下部水位	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	フィルタ装置入口圧力	フィルタ装置金属フィルタ差圧	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	流量計	濾水貯蔵槽水位 (SA)	停止中	機能・性能試験	計器校正	格納容器下部水位	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	フィルタ装置入口圧力	フィルタ装置金属フィルタ差圧	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	温度計	原子炉圧力容器温度	停止中	機能・性能試験	結核抵抗測定 温度確認 計器校正	ドライウェル型温度	サブプレッション・チェンバ気体温度	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	静的熱式水素再結合器 動作監視装置	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度	停止中	機能・性能試験	異常ガス校正 計器校正	格納容器内酸素濃度 (SA)	フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋水素濃度	格納容器内酸素濃度	放射線量率計	格納容器内空間気放射線レベル (D/W)	停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正	格納容器内空間気放射線レベル (S/C)	フィルタ装置出口放射線モニタ	耐圧強化バント系放射線モニタ	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	pH計	フィルタ装置スクラバ水 pH	停止中	機能・性能試験	計器校正	起動領域モニタ	原子炉出力	起動領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性	平均出力領域モニタ	停止中	機能・性能試験	計器校正	平均出力領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性				停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正	<p>表 3.15-8 計装設備の試験及び検査 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">水位計</td> <td>原子炉水位</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">機能・性能試験</td> <td rowspan="5">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位</td> </tr> <tr> <td>濾水貯蔵槽水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">圧力計</td> <td>格納容器下部水位</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">動作確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> </tr> <tr> <td>濾水貯蔵槽ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">流量計</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル型温度</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td>濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>静的熱式水素再結合器 動作監視装置</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水素及び酸素濃度計</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">異常ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度 (SA)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">放射線量率計</td> <td>格納容器内空間気放射線レベル (D/W)</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">機能・性能試験</td> <td rowspan="5">線源校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空間気放射線レベル (S/C)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">pH計</td> <td>フィルタ装置スクラバ水 pH</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">機能・性能試験</td> <td rowspan="2">計器校正</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉出力</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>プラトー特性</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>計器校正</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>プラトー特性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>線源校正 計器校正</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	水位計	原子炉水位	停止中	機能・性能試験	計器校正	原子炉水位 (SA)	サブプレッション・チェンバ・プール水位	フィルタ装置水位	濾水貯蔵槽水位 (SA)	圧力計	格納容器下部水位	停止中	機能・性能試験	動作確認 計器校正	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	フィルタ装置入口圧力	フィルタ装置金属フィルタ差圧	濾水貯蔵槽ポンプ吐出圧力	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力	流量計	原子炉圧力容器温度	停止中	機能・性能試験	計器校正	ドライウェル型温度	サブプレッション・チェンバ気体温度	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	静的熱式水素再結合器 動作監視装置	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度	停止中	機能・性能試験	異常ガス校正 計器校正	格納容器内酸素濃度 (SA)	フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋水素濃度	格納容器内酸素濃度	放射線量率計	格納容器内空間気放射線レベル (D/W)	停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正	格納容器内空間気放射線レベル (S/C)	フィルタ装置出口放射線モニタ	耐圧強化バント系放射線モニタ	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	pH計	フィルタ装置スクラバ水 pH	停止中	機能・性能試験	計器校正	起動領域モニタ	原子炉出力	起動領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性	平均出力領域モニタ	停止中	機能・性能試験	計器校正	平均出力領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性				停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正	①(対象設備の追加)
			計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																																																																						
水位計	原子炉水位 (広帯域)	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位 (燃料室)																																																																																																																																																																																												
	原子炉水位 (SA)																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ・プール水位																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水位																																																																																																																																																																																												
圧力計	濾水貯蔵槽水位 (SA)	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	格納容器下部水位																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (D/W)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (S/C)																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置入口圧力																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置金属フィルタ差圧																																																																																																																																																																																												
	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
流量計	濾水貯蔵槽水位 (SA)	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	格納容器下部水位																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (D/W)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (S/C)																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置入口圧力																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置金属フィルタ差圧																																																																																																																																																																																												
	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
温度計	原子炉圧力容器温度	停止中	機能・性能試験	結核抵抗測定 温度確認 計器校正																																																																																																																																																																																									
	ドライウェル型温度																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ気体温度																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度																																																																																																																																																																																												
	濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																																																																																												
	静的熱式水素再結合器 動作監視装置																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)																																																																																																																																																																																												
水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度	停止中	機能・性能試験	異常ガス校正 計器校正																																																																																																																																																																																									
	格納容器内酸素濃度 (SA)																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水素濃度																																																																																																																																																																																												
	原子炉建屋水素濃度																																																																																																																																																																																												
	格納容器内酸素濃度																																																																																																																																																																																												
	放射線量率計				格納容器内空間気放射線レベル (D/W)	停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正																																																																																																																																																																																					
					格納容器内空間気放射線レベル (S/C)																																																																																																																																																																																								
					フィルタ装置出口放射線モニタ																																																																																																																																																																																								
					耐圧強化バント系放射線モニタ																																																																																																																																																																																								
					使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)																																																																																																																																																																																								
pH計	フィルタ装置スクラバ水 pH	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	起動領域モニタ																																																																																																																																																																																												
原子炉出力	起動領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性																																																																																																																																																																																									
	平均出力領域モニタ	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	平均出力領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性																																																																																																																																																																																									
			停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正																																																																																																																																																																																								
計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																																																																									
水位計	原子炉水位	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位 (SA)																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ・プール水位																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水位																																																																																																																																																																																												
	濾水貯蔵槽水位 (SA)																																																																																																																																																																																												
圧力計	格納容器下部水位	停止中	機能・性能試験	動作確認 計器校正																																																																																																																																																																																									
	原子炉圧力																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (D/W)																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (S/C)																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置入口圧力																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置金属フィルタ差圧																																																																																																																																																																																												
	濾水貯蔵槽ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力																																																																																																																																																																																												
流量計	原子炉圧力容器温度	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	ドライウェル型温度																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ気体温度																																																																																																																																																																																												
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度																																																																																																																																																																																												
	濾水貯蔵槽水温度 (代替循環冷却)																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																																																																																												
	静的熱式水素再結合器 動作監視装置																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)																																																																																																																																																																																												
水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度	停止中	機能・性能試験	異常ガス校正 計器校正																																																																																																																																																																																									
	格納容器内酸素濃度 (SA)																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水素濃度																																																																																																																																																																																												
	原子炉建屋水素濃度																																																																																																																																																																																												
	格納容器内酸素濃度																																																																																																																																																																																												
	放射線量率計				格納容器内空間気放射線レベル (D/W)	停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正																																																																																																																																																																																					
					格納容器内空間気放射線レベル (S/C)																																																																																																																																																																																								
					フィルタ装置出口放射線モニタ																																																																																																																																																																																								
					耐圧強化バント系放射線モニタ																																																																																																																																																																																								
					使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)																																																																																																																																																																																								
pH計	フィルタ装置スクラバ水 pH	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	起動領域モニタ																																																																																																																																																																																												
原子炉出力	起動領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性																																																																																																																																																																																									
	平均出力領域モニタ	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																																																																									
	平均出力領域モニタ	運転中	機能・性能試験	プラトー特性																																																																																																																																																																																									
			停止中	機能・性能試験	線源校正 計器校正																																																																																																																																																																																								
24	3.15.2.1.3.1	添3.15-25	図3.15-1にフィルタ装置水素濃度計測のタイムチャートを示す。	-	⑤																																																																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
25	3.15.2.1.3.1	添3.15-25	<p>図 3.15-1 フィルタ装置水素濃度計測のタイムチャート*</p>	<p>図 3.15-1 フィルタ装置水素濃度計測のタイムチャート*</p>	⑤
26	3.15.2.1.3.1	添3.15-26	<p>図 3.15-2 可搬型計器による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p>	<p>図 3.15-2 可搬型計器による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p>	⑤
27	3.15.2.1.3.1	添3.15-27	<p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備は、重大事故等時において中央制御室にて監視できる設計であり現場における操作は発生しない。</p>	<p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p>	⑤
28	3.15.2.1.3.1	添3.15-27	<p>格納容器内水素濃度及び格納容器内酸素濃度は、原子炉建屋原子炉区域内に設置されている設備であるが、中央制御室の格納容器内雰囲気モニタ盤から操作可能な設計であり、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p>	<p>格納容器内水素濃度及び格納容器内酸素濃度は、通常時からサンプリング方式による計測を実施しており、中央制御室にて監視を行っている。サンプリング装置は、中央制御室遮蔽区域内である中央制御室の格納容器内雰囲気モニタ盤から操作可能な設計とする。</p>	⑤
29	3.15.2.1.3.1	添3.15-27	<p>フィルタ装置水素濃度は、原子炉建屋内の原子炉区域外の格納容器ベントライン水素サンプリングラック及びFCVS出口水素サンプリングラックに設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p>	<p>フィルタ装置水素濃度は、原子炉建屋の二次格納施設外の格納容器ベントライン水素サンプリングラック及びFCVS出口水素濃度サンプリングラックにてサンプリング装置の弁操作及び起動操作が可能であり、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても設置場所での操作が可能であるように放射線量の低い場所に設置する。</p>	⑤
30	3.15.2.1.3.1	添3.15-27	<p>フィルタ装置スクラバ水pHは、屋外の格納容器フィルタベント装置pHサンプリングラックに設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p>	<p>フィルタ装置スクラバ水pHは、屋外(フィルタベント遮蔽壁内)の格納容器フィルタベント装置pHサンプリングラックにてサンプリング装置の弁操作及び起動操作が可能であり、想定される重大事故等が発生した場合における放射線を考慮しても設置場所での操作が可能であるように放射線量の低い場所に設置する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																													
31	3.15.2.1.3.1	添3.15-28	安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。	SPDS表示装置は、免震重要棟(免震重要棟内緊急時対策所)及び5号炉原子炉建屋(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)に設置及び操作し、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。	②(免震重要棟の自主化)																																																													
32	3.15.2.1.3.1	添3.15-28	<p>表 3.15-9 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作/監視場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)</td> <td rowspan="2">中央制御室/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)</td> <td rowspan="2">中央制御室/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)</td> <td>原子炉建屋地上3層(原子炉建屋内の原子炉区域外)/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)</td> <td>屋外</td> <td>屋外/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム(SPDS)</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)</td> <td>中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(58-3) (58-9)</p>	機器名称	設置場所	操作/監視場所	格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	中央制御室/中央制御室	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	中央制御室/中央制御室	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上3層(原子炉建屋内の原子炉区域外)/中央制御室	フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)	屋外	屋外/中央制御室	使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	安全パラメータ表示システム(SPDS)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	可搬型計測器	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	<p>表 3.15-9 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作/監視場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)</td> <td rowspan="2">中央制御室/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)</td> <td rowspan="2">中央制御室/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)</td> <td>原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋の二次格納施設外)</td> <td>原子炉建屋地上3層(原子炉建屋の二次格納施設外)/中央制御室</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)</td> <td>屋外 (フィルタベント建屋壁内)</td> <td>屋外(フィルタベント建屋壁内) /中央制御室</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)</td> <td>原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)</td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td>免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)</td> <td>中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(58-3-10, 12, 16, 24, 26, 31, 33~36) (58-9-5, 7, 10, 11, 13)</p>	機器名称	設置場所	操作/監視場所	格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)	中央制御室/中央制御室	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)	格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)	中央制御室/中央制御室	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)	フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上3層(原子炉建屋の二次格納施設外)/中央制御室	フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)	屋外 (フィルタベント建屋壁内)	屋外(フィルタベント建屋壁内) /中央制御室	使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	SPDS表示装置	免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)	免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)	SPDS表示装置	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	可搬型計測器	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	②(免震重要棟の自主化)
機器名称	設置場所	操作/監視場所																																																																
格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	中央制御室/中央制御室																																																																
	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)																																																																	
格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)	中央制御室/中央制御室																																																																
	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (原子炉建屋原子炉区域外)																																																																	
フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上3層(原子炉建屋内の原子炉区域外)/中央制御室																																																																
フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)	屋外	屋外/中央制御室																																																																
使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)																																																																
使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋内の原子炉区域外)																																																																
安全パラメータ表示システム(SPDS)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)																																																																
可搬型計測器	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋内の原子炉区域外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)																																																																
機器名称	設置場所	操作/監視場所																																																																
格納容器内水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)	中央制御室/中央制御室																																																																
	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)																																																																	
格納容器内酸素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層及び中3層(6号炉) (二次格納施設内)	中央制御室/中央制御室																																																																
	原子炉建屋地上中3層(7号炉) (二次格納施設内)																																																																	
フィルタ装置水素濃度 (サンプリング装置)	原子炉建屋地上3層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上3層(原子炉建屋の二次格納施設外)/中央制御室																																																																
フィルタ装置 スタラバ水計 (サンプリング装置)	屋外 (フィルタベント建屋壁内)	屋外(フィルタベント建屋壁内) /中央制御室																																																																
使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)																																																																
使用済燃料貯蔵プール 監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)	原子炉建屋地上4層 (原子炉建屋の二次格納施設外)																																																																
SPDS表示装置	免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)	免震重要棟地上1層及び2層 (免震重要棟内緊急時対策所)																																																																
SPDS表示装置	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋地上3層 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)																																																																
可搬型計測器	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)	中央制御室 原子炉建屋地下1層 (原子炉建屋の二次格納施設外) タービン建屋地下中2層 (その他の建屋内)																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
33	3.15.2.1.3.2	添3.15-29	<p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。 常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準事故対処設備と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位(広帯域) ・原子炉水位(燃料域) ・原子炉隔離時冷却系系統流量 ・高圧炉心注水系系統流量 ・残留熱除去系系統流量 ・格納容器内水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 	<p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。 常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準事故対処設備と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位 ・原子炉隔離時冷却系系統流量 ・高圧炉心注水系系統流量 ・残留熱除去系系統流量 ・格納容器内水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 	⑤
34	3.15.2.1.3.2	添3.15-29	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・格納容器内酸素濃度 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域) 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ・格納容器内酸素濃度 ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域) 	①(対象設備の追加)
35	3.15.2.1.3.2	添3.15-29 添3.15-30	<p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力(SA) ・原子炉水位(SA) ・高圧代替注水系系統流量 ・復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量) ・復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量) ・復水補給水系流量(格納容器下部注水流量) 	<p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力(SA) ・原子炉水位(SA) ・高圧代替注水系系統流量 ・復水補給水系流量(原子炉圧力容器) ・復水補給水系流量(原子炉格納容器) 	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
36	3.15.2.1.3.2	添3.15-30 添3.15-31	安全パラメータ表示システム(SPDS)は, 設計基準対象施設として必要となるデータ量を伝送及び表示を可能な設計とする。 また, 重大事故時, 発電所内の必要のある場所に必要データ量を伝送及び表示が可能な設計とする。 安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置は, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に1式を設置し, 保守点検又は故障時のバックアップ用として, 自主的に1式を保管する設計とする。	データ伝送装置, 緊急時対策支援システム伝送装置, SPDS表示装置は, 発電所内外の通信連絡をする必要のある場所に重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを伝送できる設計とする。SPDS表示装置は, 免震重要棟及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に各1セットを設置し, 保守点検又は故障時のバックアップ用として, 自主的に1セットを保管する設計とする。 (58-6-1~65)	②(免震重要棟の自主化)
37	3.15.2.1.3.2	添3.15-32	安全パラメータ表示システム(SPDS)は, 共通要因によって, その機能が損なわれることを防止するために, 可能な限り多様性を確保し, 頑健性を持たせた設計とする(詳細については, 「3.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。 重要監視パラメータを計測する設備及び重要代替監視パラメータを計測する設備の電源は, 共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。 電源設備の多様性, 位置的分散については「3.14 電源設備【57条】」に記載する。	データ伝送装置, 緊急時対策支援システム伝送装置, SPDS表示装置は, 共通要因によって, その機能が損なわれることを防止するために, 可能な限り多様性を確保し, 頑健性を持たせた設計とする(詳細については, 「3.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。 また, 電源については代替電源設備からの供給が可能であり, 多様性を考慮した設計とする。 (58-2-1~3, 58-3-1~36)	⑤
38	3.15.2.1.3.3	添3.15-33	(ii) 適合性 基本方針については, 「2.3.2 容量等」に示す。 可搬型計測器は, 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度, 圧力, 水位及び流量(注水量)等の計測用として6号炉, 7号炉それぞれ1セット24個(測定時の故障を想定した予備として, 6号炉, 7号炉それぞれ1個含む)使用する。保有数は, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として24個(6号及び7号炉共用)を含めて合計72個を分散して保管する設計とする。 (58-3)(58-9)	(ii) 適合性 基本方針については, 「2.3.2 容量等」に示す。 可搬型計測器は, 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度, 圧力, 水位及び流量(注水量)等の計測用として6号炉, 7号炉それぞれ1セット23個(測定時の故障を想定した予備として, 6号炉, 7号炉それぞれ1個含む)使用する。保有数は, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として23個(6号及び7号炉共用)を含めて合計69個を分散して保管する設計とする。 (58-3-33,36)(58-9-1~4)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	—	添3.15-37	<p>表 3.15-10 重大事故等対策における手順書の概要</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>方針目的 重大事故等が発生し、計測機器の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>パラメータの選定及び分類 重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1~1.15の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対策設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。 ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対策設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対策設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p> <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。 ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対策設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p>	<p>表 3.15-10 重大事故等対策における手順書の概要</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>方針目的 重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータの推定に有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>計器故障時のパラメータ推定 主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータによる推定を行う。推定にあたっては、使用する計器が複数ある場合、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。代替パラメータによる主要パラメータの推定ケースは以下のとおり。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）から推定するケース ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量及び吐出圧力から推定するケース ・流量を注水先又は注水元の水位変化を監視することにより推定するケース ・除熱状態を温度、圧力等の傾向監視により推定するケース ・原子炉冷却材圧力バウンダリからの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定するケース ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係から推定 ・注水量を注水先の圧力より注水特性の関係から推定 ・格納容器内圧力（0MP）と格納容器内圧力（5MP）の差圧から原子炉格納容器内の水位を推定 ・未境界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定するケース ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により類案濃度を推定するケース ・設備の作動状況により水素濃度を推定するケース ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（温度及び水位）、あらかじめ評価した水位と放射線量の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水送給が確保されていることを推定するケース</p> <p>監視機能の喪失 主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難になった場合に、格チャンネルの重要計器により計測を行う。</p> <p>計器の計測範囲を超えた場合のパラメータ推定 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度と水位である。原子炉圧力容器内の水位の値が計器の計測範囲を超えた場合、発電用原子炉高設の状態を推定するための手戻は以下のとおり。 ・原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータである原子炉圧力容器温度を計測する計器の計測範囲は0~350℃である。重大事故等発生時における噴霧炉心冷却反応及び格納容器下部注水制御の温度は300℃であり計測範囲内で判断可能である。なお、原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（350℃以上）場合は炉心損傷状態と推定して対応する。 ・原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである原子炉水位の計測範囲を超えた場合、高圧代替注水系統流量、復水補給水系統流量（原子炉圧力容器）、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧炉心注水系統流量、機内熱除去系統流量のうち機器動作状態にある流量計より取換熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由								
40	—	添3.15-38	<table border="1"> <tr> <td>他チャンネルによる計測</td> <td> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>代替パラメータによる推定</td> <td> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさ等を考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量及び吐出圧力により推定 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定 ・必要なpHが確保されていることを、フィルタ装置水位の水位変化により推定 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定 ・注水量を注水先の圧力から注水特性の関係により推定 ・原子炉格納容器内の水位を格納容器内圧力（D/W）と格納容器内圧力（S/C）の差圧により推定 ・末臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定 ・水素濃度を装置の作動状況により推定 ・エリア放射線モニタの傾向監視により格納容器バイパス事象が発生したことを推定する ・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器内圧力により推定 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（温度及び水位）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遊離が確保されていることを推定 ・原子炉压力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（S/C）の差圧により原子炉压力容器の潤水状態を推定する</p> </td> </tr> </table>	他チャンネルによる計測	<p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p>	代替パラメータによる推定	<p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさ等を考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量及び吐出圧力により推定 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定 ・必要なpHが確保されていることを、フィルタ装置水位の水位変化により推定 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定 ・注水量を注水先の圧力から注水特性の関係により推定 ・原子炉格納容器内の水位を格納容器内圧力（D/W）と格納容器内圧力（S/C）の差圧により推定 ・末臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定 ・水素濃度を装置の作動状況により推定 ・エリア放射線モニタの傾向監視により格納容器バイパス事象が発生したことを推定する ・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器内圧力により推定 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（温度及び水位）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遊離が確保されていることを推定 ・原子炉压力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（S/C）の差圧により原子炉压力容器の潤水状態を推定する</p>	<table border="1"> <tr> <td>計器電源の喪失時の対応</td> <td> <p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定で選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視を行う手段は、以下のとおり。 ・全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、所内蓄電式直流電源設備、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。 ・代替電源（交流、直流）の供給ができない場合には、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測又は監視を行う。 また、可搬型計測器の計測結果を工学値に換算する換算表を準備する。 可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> </td> </tr> <tr> <td>記録</td> <td> <p>重大事故等発生時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果について、以下の方法により計測結果を記録する。 ・緊急時対策支援システム伝送装置にて記録、保存する。 ・複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータの値、可搬型計測器及び現場操作時のみ監視する現場計器の指示値で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> </td> </tr> </table>	計器電源の喪失時の対応	<p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定で選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視を行う手段は、以下のとおり。 ・全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、所内蓄電式直流電源設備、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。 ・代替電源（交流、直流）の供給ができない場合には、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測又は監視を行う。 また、可搬型計測器の計測結果を工学値に換算する換算表を準備する。 可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>	記録	<p>重大事故等発生時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果について、以下の方法により計測結果を記録する。 ・緊急時対策支援システム伝送装置にて記録、保存する。 ・複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータの値、可搬型計測器及び現場操作時のみ監視する現場計器の指示値で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>	⑤
他チャンネルによる計測	<p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p>												
代替パラメータによる推定	<p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさ等を考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化又は注水量及び吐出圧力により推定 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定 ・必要なpHが確保されていることを、フィルタ装置水位の水位変化により推定 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定 ・注水量を注水先の圧力から注水特性の関係により推定 ・原子炉格納容器内の水位を格納容器内圧力（D/W）と格納容器内圧力（S/C）の差圧により推定 ・末臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定 ・水素濃度を装置の作動状況により推定 ・エリア放射線モニタの傾向監視により格納容器バイパス事象が発生したことを推定する ・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器内圧力により推定 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（温度及び水位）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遊離が確保されていることを推定 ・原子炉压力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（S/C）の差圧により原子炉压力容器の潤水状態を推定する</p>												
計器電源の喪失時の対応	<p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、パラメータ選定で選定した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視を行う手段は、以下のとおり。 ・全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等により計器電源が喪失した場合に、所内蓄電式直流電源設備、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。 ・代替電源（交流、直流）の供給ができない場合には、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測又は監視を行う。 また、可搬型計測器の計測結果を工学値に換算する換算表を準備する。 可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>												
記録	<p>重大事故等発生時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測結果について、以下の方法により計測結果を記録する。 ・緊急時対策支援システム伝送装置にて記録、保存する。 ・複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータの値、可搬型計測器及び現場操作時のみ監視する現場計器の指示値で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																		
41	—	添3.15-39	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">対応手段等</td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">監視機能喪失時</td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">代替パラメータによる推定</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉压力容器内の温度及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器内の温度のパラメータである原子炉压力容器温度が計測範囲を超えた場合は、炉心損傷状態と推定して対応する。 ・原子炉压力容器内の水位のパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系系統流量、原子炉隔離時冷却系系統流量、高圧炉心注水系系統流量、復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）、復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）、残留熱除去系系統流量のうち、機器動作状態にある流量計より崩壊熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉压力容器内の水位を推定する。 <p>なお、原子炉压力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(SA)と格納容器内圧力(S/C)の差圧により、原子炉压力容器内の水位が有効感熱棒頂部以上であることは、原子炉压力容器温度により監視可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）が計測範囲を超えた場合において、低圧代替注水系使用時は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉压力容器内の水位変化により注水量を推定する。また、代替循環冷却系使用時は、復水移送ポンプの注水特性から推定した総流量と復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）の差から復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）を推定する。 ・原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（格納容器下部注水系流量）が計測範囲を超えた場合は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉格納容器内の水位変化により注水量を推定する。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">可搬型計測器</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合は、可搬型計測器により計測することも可能である。</p> </td> </tr> </table>	対応手段等	監視機能喪失時	計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合	代替パラメータによる推定	<p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉压力容器内の温度及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器内の温度のパラメータである原子炉压力容器温度が計測範囲を超えた場合は、炉心損傷状態と推定して対応する。 ・原子炉压力容器内の水位のパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系系統流量、原子炉隔離時冷却系系統流量、高圧炉心注水系系統流量、復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）、復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）、残留熱除去系系統流量のうち、機器動作状態にある流量計より崩壊熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉压力容器内の水位を推定する。 <p>なお、原子炉压力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(SA)と格納容器内圧力(S/C)の差圧により、原子炉压力容器内の水位が有効感熱棒頂部以上であることは、原子炉压力容器温度により監視可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）が計測範囲を超えた場合において、低圧代替注水系使用時は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉压力容器内の水位変化により注水量を推定する。また、代替循環冷却系使用時は、復水移送ポンプの注水特性から推定した総流量と復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）の差から復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）を推定する。 ・原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（格納容器下部注水系流量）が計測範囲を超えた場合は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉格納容器内の水位変化により注水量を推定する。 				可搬型計測器	<p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合は、可搬型計測器により計測することも可能である。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">パラメータの選定</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力1.1～1.15（設置許可基準規則44条～58条）の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に関するパラメータより抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータを推定するために必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐震機性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 <p>また、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態等により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯等）については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合状況のうち、(2)操作の確実性（設置許可基準規則第45条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、チャンネル故障により計測することが困難になった場合に、他チャンネルの重要計器により計測を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">原子炉施設の状態把握の</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、精度、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">確からしさの考慮</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態にない不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事故進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源確保</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電池直流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。</p> </td> </tr> </table>	パラメータの選定	<p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力1.1～1.15（設置許可基準規則44条～58条）の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に関するパラメータより抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータを推定するために必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐震機性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 <p>また、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態等により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯等）については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合状況のうち、(2)操作の確実性（設置許可基準規則第45条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、チャンネル故障により計測することが困難になった場合に、他チャンネルの重要計器により計測を行う。</p>	原子炉施設の状態把握の	<p>重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、精度、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p>	確からしさの考慮	<p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態にない不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事故進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	電源確保	<p>全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電池直流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。</p>	⑤
対応手段等	監視機能喪失時	計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合	代替パラメータによる推定	<p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉压力容器内の温度及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器内の温度のパラメータである原子炉压力容器温度が計測範囲を超えた場合は、炉心損傷状態と推定して対応する。 ・原子炉压力容器内の水位のパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系系統流量、原子炉隔離時冷却系系統流量、高圧炉心注水系系統流量、復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）、復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）、残留熱除去系系統流量のうち、機器動作状態にある流量計より崩壊熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉压力容器内の水位を推定する。 <p>なお、原子炉压力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(SA)と格納容器内圧力(S/C)の差圧により、原子炉压力容器内の水位が有効感熱棒頂部以上であることは、原子炉压力容器温度により監視可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）が計測範囲を超えた場合において、低圧代替注水系使用時は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉压力容器内の水位変化により注水量を推定する。また、代替循環冷却系使用時は、復水移送ポンプの注水特性から推定した総流量と復水補給水系流量（RHR B系代替注水系流量）の差から復水補給水系流量（RHR A系代替注水系流量）を推定する。 ・原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータである復水補給水系流量（格納容器下部注水系流量）が計測範囲を超えた場合は、水源である復水貯蔵槽の水位又は注水先である原子炉格納容器内の水位変化により注水量を推定する。 																			
			可搬型計測器	<p>原子炉压力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉压力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合は、可搬型計測器により計測することも可能である。</p>																			
パラメータの選定	<p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力1.1～1.15（設置許可基準規則44条～58条）の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に関するパラメータより抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータを推定するために必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐震機性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 <p>また、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態等により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯等）については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合状況のうち、(2)操作の確実性（設置許可基準規則第45条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、チャンネル故障により計測することが困難になった場合に、他チャンネルの重要計器により計測を行う。</p>																						
原子炉施設の状態把握の	<p>重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、精度、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p>																						
確からしさの考慮	<p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態にない不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事故進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>																						
電源確保	<p>全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内蓄電池直流電源設備、可搬型直流電源設備から、計器へ給電する。</p>																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由								
42	—	添3.15-40	<table border="1"> <tr> <td>対応手段等</td> <td> <p>計器電源喪失時</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手段により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内蓄電式直流電源設備から給電する。 ・代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち手順書の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>パラメータ記録</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値、現場操作時のみ監視する現場の指示値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配慮すべき事項</td> <td> <p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>確からしさの考慮</p> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定に当たっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>計測又は監視の留意事項</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p> </td> </tr> </table>	対応手段等	<p>計器電源喪失時</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手段により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内蓄電式直流電源設備から給電する。 ・代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち手順書の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p>		<p>パラメータ記録</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値、現場操作時のみ監視する現場の指示値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>	配慮すべき事項	<p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p>	<p>確からしさの考慮</p> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定に当たっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>	<p>計測又は監視の留意事項</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>		⑤
対応手段等	<p>計器電源喪失時</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手段により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内蓄電式直流電源設備から給電する。 ・代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち手順書の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p>												
	<p>パラメータ記録</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム（SPDS）により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値、現場操作時のみ監視する現場の指示値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>												
配慮すべき事項	<p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p>												
	<p>確からしさの考慮</p> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定に当たっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p>												
	<p>計測又は監視の留意事項</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																									
43	—	添3.15-41	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>許容範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（許容範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器数</th> <th>監視性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">① 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>2</td> <td>0~350℃</td> <td>最大値：300℃*</td> <td>重大事故等時における炉管破れ等の危険状態を把握し、適切に対応するための判断基準（300℃）に併せて、350℃までを監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（圧巻層）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料層）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">② 原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位*</td> <td>3</td> <td>0~100%[exp]</td> <td>最大値：8.480Pa[exp]</td> <td>重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td>1</td> <td>0~100%[exp]</td> <td>最大値：8.480Pa[exp]</td> <td>原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）の1.2倍（10.344Pa[exp]）を監視可能。</td> <td></td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（圧巻層）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料層）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源	① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器温度	2	0~350℃	最大値：300℃*	重大事故等時における炉管破れ等の危険状態を把握し、適切に対応するための判断基準（300℃）に併せて、350℃までを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位（圧巻層）*								原子炉水位（燃料層）*								原子炉水位（SA）*								② 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位*	3	0~100%[exp]	最大値：8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。	1	S	区分1、II、III 直流電源	原子炉水位（SA）*	1	0~100%[exp]	最大値：8.480Pa[exp]	原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）の1.2倍（10.344Pa[exp]）を監視可能。		— (S)	専用 直流電源	原子炉水位（圧巻層）*								原子炉水位（燃料層）*								原子炉水位（SA）*								原子炉圧力容器温度*					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（1/9）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>許容範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（許容範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器数</th> <th>監視性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">① 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>3</td> <td>0~350℃</td> <td>300℃*4</td> <td>炉心の温度状態を把握し、適切に対応するための判断基準として、300℃を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">② 原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位*1</td> <td>3</td> <td>0~100%[exp]</td> <td>8.480Pa[exp]</td> <td>重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*1</td> <td>1</td> <td>0~100%[exp]</td> <td>8.480Pa[exp]</td> <td>重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。</td> <td></td> <td>S</td> <td>区分1 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">③ 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位*1</td> <td>3</td> <td>>3200~3500mm*5</td> <td>>2800~1650mm*5 465~1300mm*8</td> <td>炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位*2</td> <td>2</td> <td>>4000~1300mm*8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>S</td> <td>区分1、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*1</td> <td>1</td> <td>>3200~3500mm*5</td> <td>>2800~1650mm*5</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>専用 直流電源*11</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*1</td> <td>1</td> <td>>4000~1300mm*8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>S</td> <td>専用 直流電源*11</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源	① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器温度	3	0~350℃	300℃*4	炉心の温度状態を把握し、適切に対応するための判断基準として、300℃を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位（SA）*2								原子炉水位*2								原子炉水位（SA）*2								② 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位*1	3	0~100%[exp]	8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。	1	S	区分1、II、III 直流電源	原子炉水位（SA）*1	1	0~100%[exp]	8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。		S	区分1 直流電源	原子炉水位*2								原子炉水位（SA）*2								原子炉圧力容器温度*2					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				③ 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位*1	3	>3200~3500mm*5	>2800~1650mm*5 465~1300mm*8	炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。	1	S	区分1、II、III 直流電源	原子炉水位*2	2	>4000~1300mm*8				S	区分1、III 直流電源	原子炉水位（SA）*1	1	>3200~3500mm*5	>2800~1650mm*5			—	専用 直流電源*11	原子炉水位（SA）*1	1	>4000~1300mm*8				S	専用 直流電源*11	原子炉圧力容器温度*2					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				②（計測範囲の拡大）																															
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器温度	2	0~350℃	最大値：300℃*	重大事故等時における炉管破れ等の危険状態を把握し、適切に対応するための判断基準（300℃）に併せて、350℃までを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位（圧巻層）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（燃料層）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
② 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位*	3	0~100%[exp]	最大値：8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。	1	S	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*	1	0~100%[exp]	最大値：8.480Pa[exp]	原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）の1.2倍（10.344Pa[exp]）を監視可能。		— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（圧巻層）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（燃料層）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
原子炉圧力容器温度*					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器温度	3	0~350℃	300℃*4	炉心の温度状態を把握し、適切に対応するための判断基準として、300℃を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
② 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位*1	3	0~100%[exp]	8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。	1	S	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*1	1	0~100%[exp]	8.480Pa[exp]	重大事故等時における原子炉圧力容器最高圧力（8.920Pa[exp]）を包摂する範囲として設定。なお、主蒸気逃がし安全弁の手動操作により変動する範囲についても許容範囲に包摂されており、監視可能である。		S	区分1 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器温度*2					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																								
③ 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位*1	3	>3200~3500mm*5	>2800~1650mm*5 465~1300mm*8	炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。	1	S	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位*2	2	>4000~1300mm*8				S	区分1、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*1	1	>3200~3500mm*5	>2800~1650mm*5			—	専用 直流電源*11																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*1	1	>4000~1300mm*8				S	専用 直流電源*11																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉圧力容器温度*2					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																								
44	—	添3.15-42	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>許容範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（許容範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器数</th> <th>監視性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">① 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位（圧巻層）*</td> <td>3</td> <td>>3200~3500mm*1</td> <td>>4672~1650mm*1</td> <td>炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料層）*</td> <td>2</td> <td>>4000~1300mm*1</td> <td>>3600~1363mm*1</td> <td></td> <td></td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源*10</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td>1</td> <td>>3200~3500mm*1</td> <td>>4672~1650mm*1</td> <td></td> <td></td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源*10</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td>1</td> <td>>4000~1300mm*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源*10</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">② 原子炉圧力容器内の水位</td> <td>高圧代替注水系統流量*1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量*3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量*4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量*5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">③ 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力（S/C）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力（S/C）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力（S/C）*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源	① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位（圧巻層）*	3	>3200~3500mm*1	>4672~1650mm*1	炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。	1	S	区分1、II、III 直流電源	原子炉水位（燃料層）*	2	>4000~1300mm*1	>3600~1363mm*1			— (S)	専用 直流電源*10	原子炉水位（SA）*	1	>3200~3500mm*1	>4672~1650mm*1			— (S)	専用 直流電源*10	原子炉水位（SA）*	1	>4000~1300mm*1				— (S)	専用 直流電源*10	原子炉圧力容器温度*					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				② 原子炉圧力容器内の水位	高圧代替注水系統流量*1								高圧代替注水系統流量*2								高圧代替注水系統流量*3								高圧代替注水系統流量*4								高圧代替注水系統流量*5								③ 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位（SA）*								格納容器内圧力（S/C）*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内圧力（S/C）*								格納容器内圧力（S/C）*								<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/9）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>許容範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（許容範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器数</th> <th>監視性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">① 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>高圧代替注水系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h</td> <td>—*9</td> <td>高圧代替注水ポンプの最大流量（382m³/h）を監視可能。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h</td> <td>320m³/h</td> <td>原子炉隔離時冷却ポンプの最大流量（382m³/h）を監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分1 直流電源</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>2</td> <td>0~1000m³/h</td> <td>720m³/h</td> <td>高圧炉心注水ポンプの最大流量（720m³/h）を監視可能。</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>区分1、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h (6号炉) 0~150m³/h (7号炉)</td> <td>—*9</td> <td>代替注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m³/h）を監視可能。</td> <td>—</td> <td>(S)</td> <td>専用 直流電源*11</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h (6号炉) 0~150m³/h (7号炉)</td> <td>—*9</td> <td>重大事故等時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m³/h）を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源*11</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">② 原子炉圧力容器内の水位</td> <td>格納容器内圧力（S/C）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">③ 原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h</td> <td>—*9</td> <td>格納容器スプレイ時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（140m³/h）を監視可能。</td> <td>—</td> <td>(S)</td> <td>専用 直流電源*11</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）</td> <td>1</td> <td>0~100m³/h (6号炉) 0~100m³/h (7号炉)</td> <td>—*9</td> <td>格納容器下部への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m³/h）を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源*12</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量（SA）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力（S/C）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力（S/C）*2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源	① 原子炉圧力容器内の圧力	高圧代替注水系統流量	1	0~300m ³ /h	—*9	高圧代替注水ポンプの最大流量（382m ³ /h）を監視可能。	—	— (S)	専用 直流電源	原子炉隔離時冷却系統流量	1	0~300m ³ /h	320m ³ /h	原子炉隔離時冷却ポンプの最大流量（382m ³ /h）を監視可能。	1	S	区分1 直流電源	高圧炉心注水系統流量	2	0~1000m ³ /h	720m ³ /h	高圧炉心注水ポンプの最大流量（720m ³ /h）を監視可能。	—	S	区分1、III 直流電源	高圧炉心注水系統流量	1	0~300m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—*9	代替注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	—	(S)	専用 直流電源*11	高圧炉心注水系統流量	1	0~300m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—*9	重大事故等時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源*11	② 原子炉圧力容器内の水位	格納容器内圧力（S/C）*2				「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位（SA）*2								原子炉水位（SA）*2								原子炉水位（SA）*2								原子炉水位（SA）*2								③ 原子炉圧力容器内の圧力	高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）	1	0~300m ³ /h	—*9	格納容器スプレイ時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（140m ³ /h）を監視可能。	—	(S)	専用 直流電源*11	高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）	1	0~100m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	—*9	格納容器下部への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源*12	高圧炉心注水系統流量（SA）*2				「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内圧力（S/C）*2				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内圧力（S/C）*2								①（推定手段の拡充）
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位（圧巻層）*	3	>3200~3500mm*1	>4672~1650mm*1	炉心の冷却状態を把握する上で、原子炉水位制御範囲（レベル3~8）及び有効燃料棒挿入付定まで監視可能。	1	S	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（燃料層）*	2	>4000~1300mm*1	>3600~1363mm*1			— (S)	専用 直流電源*10																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*	1	>3200~3500mm*1	>4672~1650mm*1			— (S)	専用 直流電源*10																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉水位（SA）*	1	>4000~1300mm*1				— (S)	専用 直流電源*10																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉圧力容器温度*					「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																								
② 原子炉圧力容器内の水位	高圧代替注水系統流量*1																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系統流量*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系統流量*3																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系統流量*4																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系統流量*5																																																																																																																																																																																																																																																																													
③ 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位（SA）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	格納容器内圧力（S/C）*				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力（S/C）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
	格納容器内圧力（S/C）*																																																																																																																																																																																																																																																																													
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	許容範囲	設計基準	把握能力（許容範囲の考え方）	可搬型計測器数	監視性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
① 原子炉圧力容器内の圧力	高圧代替注水系統流量	1	0~300m ³ /h	—*9	高圧代替注水ポンプの最大流量（382m ³ /h）を監視可能。	—	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	原子炉隔離時冷却系統流量	1	0~300m ³ /h	320m ³ /h	原子炉隔離時冷却ポンプの最大流量（382m ³ /h）を監視可能。	1	S	区分1 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高圧炉心注水系統流量	2	0~1000m ³ /h	720m ³ /h	高圧炉心注水ポンプの最大流量（720m ³ /h）を監視可能。	—	S	区分1、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高圧炉心注水系統流量	1	0~300m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—*9	代替注水ポンプによる原子炉圧力容器への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	—	(S)	専用 直流電源*11																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高圧炉心注水系統流量	1	0~300m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—*9	重大事故等時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源*11																																																																																																																																																																																																																																																																						
② 原子炉圧力容器内の水位	格納容器内圧力（S/C）*2				「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉水位（SA）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													
③ 原子炉圧力容器内の圧力	高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）	1	0~300m ³ /h	—*9	格納容器スプレイ時における高圧炉心注水ポンプの最大流量（140m ³ /h）を監視可能。	—	(S)	専用 直流電源*11																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高圧炉心注水系統流量（原子炉格納容器）	1	0~100m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	—*9	格納容器下部への注水時に、高圧炉心注水ポンプの最大流量（900m ³ /h）を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源*12																																																																																																																																																																																																																																																																						
	高圧炉心注水系統流量（SA）*2				「①原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力（S/C）*2				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力（S/C）*2																																																																																																																																																																																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																						
45	—	添3.15-43	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (3/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可測型 計測器 個数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">④原子炉圧力容器内の注水</td> <td>高圧代替注水系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h</td> <td>—**</td> <td>高圧代替注水ポンプの最大注水量 (352m³/h) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系統流量</td> <td>1</td> <td>0~300m³/h</td> <td>0~182m³/h</td> <td>原子炉隔離時冷却ポンプの最大注水量 (182m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>区分Ⅰ 直流電源</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>2</td> <td>0~1800m³/h</td> <td>0~72m³/h</td> <td>高圧炉心注水ポンプの最大注水量 (72m³/h) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (RR A系代替注水流量)</td> <td>1</td> <td>0~200m³/h (6号炉) 0~150m³/h (7号炉)</td> <td>—**</td> <td>復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR A系ライン) における最大注水量 (90m³/h) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)</td> <td>1</td> <td>0~350m³/h</td> <td>—**</td> <td>復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR B系ライン) における最大注水量 (300m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>残存熱除去系統流量</td> <td>3</td> <td>0~1000m³/h</td> <td>0~86m³/h</td> <td>残存熱除去ポンプの最大注水量 (954m³/h) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>海水貯蔵槽水位 (SA)**</td> <td colspan="5">「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの水位**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (圧巻機)**</td> <td colspan="5">「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料箱)**</td> <td colspan="5">「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>⑤原子炉格納容器内の注水</td> <td>復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)</td> <td>1</td> <td>0~350m³/h</td> <td>—**</td> <td>復水移送ポンプを用いた代替格納容器スプレイ系 (RR B系ライン) の最大注水量 (140m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)</td> <td>1</td> <td>0~150m³/h (6号炉) 0~100m³/h (7号炉)</td> <td>—**</td> <td>復水移送ポンプを用いた格納容器下部注水系統の最大注水量 (90m³/h) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>海水貯蔵槽水位 (SA)**</td> <td colspan="5">「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源	④原子炉圧力容器内の注水	高圧代替注水系統流量	1	0~300m ³ /h	—**	高圧代替注水ポンプの最大注水量 (352m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	原子炉隔離時冷却系統流量	1	0~300m ³ /h	0~182m ³ /h	原子炉隔離時冷却ポンプの最大注水量 (182m ³ /h) を監視可能。	1	S	区分Ⅰ 直流電源	高圧炉心注水系統流量	2	0~1800m ³ /h	0~72m ³ /h	高圧炉心注水ポンプの最大注水量 (72m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	復水補給水系統流量 (RR A系代替注水流量)	1	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—**	復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR A系ライン) における最大注水量 (90m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)	1	0~350m ³ /h	—**	復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR B系ライン) における最大注水量 (300m ³ /h) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**	残存熱除去系統流量	3	0~1000m ³ /h	0~86m ³ /h	残存熱除去ポンプの最大注水量 (954m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	サブプレッション・チェンバ・プールの水位**	「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	原子炉水位 (圧巻機)**	「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	原子炉水位 (燃料箱)**	「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	⑤原子炉格納容器内の注水	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)	1	0~350m ³ /h	—**	復水移送ポンプを用いた代替格納容器スプレイ系 (RR B系ライン) の最大注水量 (140m ³ /h) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**	復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)	1	0~150m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	—**	復水移送ポンプを用いた格納容器下部注水系統の最大注水量 (90m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (S/C)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器下部水位**	「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (3/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可測型 計測器 個数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">④原子炉圧力容器内の注水</td> <td>ドライウエル雰囲気気温度</td> <td>2</td> <td>0~300℃</td> <td>138℃</td> <td>格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C (SA)</td> <td>専用 直流電源** 11, 12</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1</td> <td>1</td> <td>0~200℃</td> <td>138℃</td> <td>格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C (SA)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2</td> <td>3</td> <td>0~200℃</td> <td>97℃</td> <td>格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの温度 (約160℃) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル雰囲気気温度*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度</td> <td>1</td> <td>-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9550mm)**</td> <td>-2.59~+0m (T.M.S.L.-3740~+1150mm)**</td> <td>ウェットウェルベント操作可能範囲 (ベントライン高さ: 9.0m) を把握できる範囲を監視可能。</td> <td>1</td> <td>S</td> <td>専用 直流電源**11</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>3</td> <td>+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050, -3900mm)**</td> <td>-*9</td> <td>重大事故等において、格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**12</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>海水貯蔵槽水位 (SA)**</td> <td colspan="5">「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源	④原子炉圧力容器内の注水	ドライウエル雰囲気気温度	2	0~300℃	138℃	格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	C (SA)	専用 直流電源** 11, 12	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	1	0~200℃	138℃	格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	C (SA)	専用 直流電源**11	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	3	0~200℃	97℃	格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの温度 (約160℃) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11	格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11	ドライウエル雰囲気気温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11	サブプレッション・チェンバ・プールの温度	1	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9550mm)**	-2.59~+0m (T.M.S.L.-3740~+1150mm)**	ウェットウェルベント操作可能範囲 (ベントライン高さ: 9.0m) を把握できる範囲を監視可能。	1	S	専用 直流電源**11	格納容器下部水位	3	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050, -3900mm)**	-*9	重大事故等において、格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**12	復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)*2	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	⑤
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
④原子炉圧力容器内の注水	高圧代替注水系統流量	1	0~300m ³ /h	—**	高圧代替注水ポンプの最大注水量 (352m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	原子炉隔離時冷却系統流量	1	0~300m ³ /h	0~182m ³ /h	原子炉隔離時冷却ポンプの最大注水量 (182m ³ /h) を監視可能。	1	S	区分Ⅰ 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	高圧炉心注水系統流量	2	0~1800m ³ /h	0~72m ³ /h	高圧炉心注水ポンプの最大注水量 (72m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	復水補給水系統流量 (RR A系代替注水流量)	1	0~200m ³ /h (6号炉) 0~150m ³ /h (7号炉)	—**	復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR A系ライン) における最大注水量 (90m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)	1	0~350m ³ /h	—**	復水移送ポンプを用いた高圧代替注水 (RR B系ライン) における最大注水量 (300m ³ /h) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	残存熱除去系統流量	3	0~1000m ³ /h	0~86m ³ /h	残存熱除去ポンプの最大注水量 (954m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの水位**	「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉水位 (圧巻機)**	「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉水位 (燃料箱)**	「空原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
⑤原子炉格納容器内の注水	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)	1	0~350m ³ /h	—**	復水移送ポンプを用いた代替格納容器スプレイ系 (RR B系ライン) の最大注水量 (140m ³ /h) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)	1	0~150m ³ /h (6号炉) 0~100m ³ /h (7号炉)	—**	復水移送ポンプを用いた格納容器下部注水系統の最大注水量 (90m ³ /h) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																				
海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (D/W)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (S/C)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器下部水位**	「空原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
④原子炉圧力容器内の注水	ドライウエル雰囲気気温度	2	0~300℃	138℃	格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	C (SA)	専用 直流電源** 11, 12																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	1	0~200℃	138℃	格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	C (SA)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	3	0~200℃	97℃	格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの温度 (約160℃) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ドライウエル雰囲気気温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度	1	-6~11m (T.M.S.L.-7150~+9550mm)**	-2.59~+0m (T.M.S.L.-3740~+1150mm)**	ウェットウェルベント操作可能範囲 (ベントライン高さ: 9.0m) を把握できる範囲を監視可能。	1	S	専用 直流電源**11																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器下部水位	3	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050, -3900mm)**	-*9	重大事故等において、格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**12																																																																																																																																																																																																																																																																																			
復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)*2	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
46	—	添3.15-44	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (4/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可測型 計測器 個数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">④原子炉格納容器内の注水</td> <td>ドライウエル雰囲気気温度</td> <td>2</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値: 138℃</td> <td>原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**1, 2</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1</td> <td>1</td> <td>0~200℃</td> <td>最大値: 138℃</td> <td>原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2</td> <td>3</td> <td>0~200℃</td> <td>最大値: 97℃</td> <td>原子炉格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの雰囲気温度 (約160℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)*1</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)*1</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル雰囲気気温度*1</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>3</td> <td>+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050mm, -3900mm)**</td> <td>—**</td> <td>重大事故等において、原子炉格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>海水貯蔵槽水位 (SA)**</td> <td colspan="5">「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)**</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源	④原子炉格納容器内の注水	ドライウエル雰囲気気温度	2	0~300℃	最大値: 138℃	原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**1, 2	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	1	0~200℃	最大値: 138℃	原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	3	0~200℃	最大値: 97℃	原子炉格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの雰囲気温度 (約160℃) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)*1	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)*1	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	ドライウエル雰囲気気温度*1	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器下部水位	3	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050mm, -3900mm)**	—**	重大事故等において、原子炉格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)**	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)**	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (D/W)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (S/C)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (4/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可測型 計測器 個数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">④原子炉格納容器内の注水</td> <td>格納容器内水素濃度*1</td> <td>2</td> <td>0~30v% (6号炉) 0~20v% (7号炉)</td> <td>6.2v%</td> <td>重大事故等において、格納容器内の水素濃度の可能性 (水素濃度: 4v%) を把握する上で監視可能。なお、6号炉については、格納容器内水素濃度が30v%を越える場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>計測、サブプレッション 区分Ⅰ, Ⅱ 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)*1</td> <td>2</td> <td>0~100v% (6号炉)</td> <td>10v%</td> <td>原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)*1</td> <td>2</td> <td>10⁻⁷~10⁻⁹s/h</td> <td>160v/h未満*10</td> <td>原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)*1</td> <td>2</td> <td>10⁻⁷~10⁻⁹s/h</td> <td>160v/h未満*10</td> <td>原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ*1</td> <td>10</td> <td>10⁻⁷~10⁻⁹Pa (1.0×10¹⁰~1.0×10¹²Pa⁻¹・s) 0~40v% (1.0×10¹⁰~2.0×10¹⁰cm²・s)</td> <td>定積出力の約10倍</td> <td>原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>区分Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ*1</td> <td>4x3</td> <td>0~125% (1.2×10¹⁰~2.4×10¹⁰cm²・s)</td> <td>定積出力の約10倍</td> <td>原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。</td> <td>—</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)*2</td> <td colspan="5">「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td>— (S)</td> <td>— (S)</td> <td>専用 直流電源**</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源	④原子炉格納容器内の注水	格納容器内水素濃度*1	2	0~30v% (6号炉) 0~20v% (7号炉)	6.2v%	重大事故等において、格納容器内の水素濃度の可能性 (水素濃度: 4v%) を把握する上で監視可能。なお、6号炉については、格納容器内水素濃度が30v%を越える場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。	—	— (S)	計測、サブプレッション 区分Ⅰ, Ⅱ 計測用交流電源	格納容器内水素濃度 (SA)*1	2	0~100v% (6号炉)	10v%	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)*1	2	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ s/h	160v/h未満*10	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)*1	2	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ s/h	160v/h未満*10	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源	起動領域モニタ*1	10	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ Pa (1.0×10 ¹⁰ ~1.0×10 ¹² Pa ⁻¹ ・s) 0~40v% (1.0×10 ¹⁰ ~2.0×10 ¹⁰ cm ² ・s)	定積出力の約10倍	原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。	—	— (S)	区分Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 計測用交流電源	平均出力領域モニタ*1	4x3	0~125% (1.2×10 ¹⁰ ~2.4×10 ¹⁰ cm ² ・s)	定積出力の約10倍	原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。	—	— (S)	専用 直流電源	格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**	②(計測範囲の拡大)																																																																						
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
④原子炉格納容器内の注水	ドライウエル雰囲気気温度	2	0~300℃	最大値: 138℃	原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**1, 2																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	1	0~200℃	最大値: 138℃	原子炉格納容器の限界温度 (200℃) を監視可能。	— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	3	0~200℃	最大値: 97℃	原子炉格納容器の限界温度 (200mPa[gage]) におけるサブプレッション・チェンバ・プールの雰囲気温度 (約160℃) を監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内圧力 (D/W)*1	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器内圧力 (D/W)*1	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	ドライウエル雰囲気気温度*1	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*1	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チェンバ・プールの温度*2	「空原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器下部水位	3	+1m, +2m, +3m (T.M.S.L.-5600mm, -4050mm, -3900mm)**	—**	重大事故等において、原子炉格納容器下部に設置炉心の冷却に必要な水量 (記録から+2m) があることを監視可能。	1	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	復水補給水系統流量 (RR B系代替注水流量)**	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)**	「空原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
海水貯蔵槽水位 (SA)**	「海水槽の確保」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (D/W)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
格納容器内圧力 (S/C)**	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																			
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可測型 計測器 個数	耐震性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
④原子炉格納容器内の注水	格納容器内水素濃度*1	2	0~30v% (6号炉) 0~20v% (7号炉)	6.2v%	重大事故等において、格納容器内の水素濃度の可能性 (水素濃度: 4v%) を把握する上で監視可能。なお、6号炉については、格納容器内水素濃度が30v%を越える場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。	—	— (S)	計測、サブプレッション 区分Ⅰ, Ⅱ 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内水素濃度 (SA)*1	2	0~100v% (6号炉)	10v%	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)*1	2	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ s/h	160v/h未満*10	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)*1	2	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ s/h	160v/h未満*10	原子炉の起動時 (原子炉停止直後に炉心損傷) が発生した場合、100v% を把握する上で監視可能 (上記の制限は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	—	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	起動領域モニタ*1	10	10 ⁻⁷ ~10 ⁻⁹ Pa (1.0×10 ¹⁰ ~1.0×10 ¹² Pa ⁻¹ ・s) 0~40v% (1.0×10 ¹⁰ ~2.0×10 ¹⁰ cm ² ・s)	定積出力の約10倍	原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。	—	— (S)	区分Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	平均出力領域モニタ*1	4x3	0~125% (1.2×10 ¹⁰ ~2.4×10 ¹⁰ cm ² ・s)	定積出力の約10倍	原子炉の起動時から起動時及び起動時から定格出力運転時の中性子束を監視可能。なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により制限あり。かつ出力上昇及び停炉は急激である。12%を超えた領域での発生に発生検出を伴うものではない。また、現状の計測範囲でも運転電圧上制限はない。また、重大事故等においても原子炉格納容器内の放射線モニタ等により中性子束を低下させた場合、現状の計測範囲でも対応可能。	—	— (S)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	格納容器内圧力 (D/W)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器内圧力 (S/C)*2	「空原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。					— (S)	— (S)	専用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
47	-	添3.15-45	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (5/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型 計測器 個数</th> <th>新機性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">④ 原子炉格納容器内の 圧力</td> <td>格納容器内水素濃度**</td> <td>2</td> <td>0~30vol% (6号炉) 0~20vol% (9~10号炉) (7号炉)</td> <td>0~4.2vol%</td> <td>重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度が変動 する可能性のある範囲 (0~38vol%) を監視可能。な ら、6号炉については、格納容器内水素濃度が30vol% を超えた場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>計測, キャンパラ ダ装置 区分 I, II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA) **</td> <td>2</td> <td>0~100vol%</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 原子炉格納容器内の 圧力</td> <td>格納容器内中間気放熱レベル (S/C)</td> <td>2</td> <td>10²~10⁵h</td> <td>105h/未満*</td> <td>炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内中間気放熱レベル (S/C)</td> <td>2</td> <td>10²~10⁵h</td> <td>105h/未満*</td> <td>炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④ 原子炉格納容器内の 圧力</td> <td>起動機械モータ*</td> <td>10</td> <td>10²~10⁵h (1.0×10³ ~1.0×10⁶h)*</td> <td>0~40%又は0~12% (1.0×10³~2.0×10³ h)*</td> <td>原子炉の停止時から起動時及び起動時から定常出力 運転時の中性子束を監視可能。 なお、起動機械モータが潤滑できる範囲を超えた場合 は、平均出力機械モータによる監視可能。</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源</td> </tr> <tr> <td>平均出力機械モータ**</td> <td>4**</td> <td>0~12% (1.2×10³~2.0× 10³h)*</td> <td>定格外出力 の約10倍</td> <td>原子炉の起動時から定常出力運転時の中性子束を監 視可能。 なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計 測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果に より短時間であり、かつ出力上昇及び下降は漸進的であ り、12%を超えた領域でその指示に基づき格納を伴うも のではない。また、重大事故等においても原子炉再 稼働シフト等により中性子束は低くなるため、現状の計測範囲でも対応可能。</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源	④ 原子炉格納容器内の 圧力	格納容器内水素濃度**	2	0~30vol% (6号炉) 0~20vol% (9~10号炉) (7号炉)	0~4.2vol%	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度が変動 する可能性のある範囲 (0~38vol%) を監視可能。な ら、6号炉については、格納容器内水素濃度が30vol% を超えた場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。	-	5	計測, キャンパラ ダ装置 区分 I, II 計測用交流電源	格納容器内水素濃度 (SA) **	2	0~100vol%			-	(5a)	専用 直流電源	④ 原子炉格納容器内の 圧力	格納容器内中間気放熱レベル (S/C)	2	10 ² ~10 ⁵ h	105h/未満*	炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	-	5	区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源	格納容器内中間気放熱レベル (S/C)	2	10 ² ~10 ⁵ h	105h/未満*	炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	-	5	区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源	④ 原子炉格納容器内の 圧力	起動機械モータ*	10	10 ² ~10 ⁵ h (1.0×10 ³ ~1.0×10 ⁶ h)*	0~40%又は0~12% (1.0×10 ³ ~2.0×10 ³ h)*	原子炉の停止時から起動時及び起動時から定常出力 運転時の中性子束を監視可能。 なお、起動機械モータが潤滑できる範囲を超えた場合 は、平均出力機械モータによる監視可能。	-	5	区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源	平均出力機械モータ**	4**	0~12% (1.2×10 ³ ~2.0× 10 ³ h)*	定格外出力 の約10倍	原子炉の起動時から定常出力運転時の中性子束を監 視可能。 なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計 測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果に より短時間であり、かつ出力上昇及び下降は漸進的であ り、12%を超えた領域でその指示に基づき格納を伴うも のではない。また、重大事故等においても原子炉再 稼働シフト等により中性子束は低くなるため、現状の計測範囲でも対応可能。	-	5	区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (5/9)</p> <p>作図の内容は機前事項に属しますので公開できません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型 計測器 個数</th> <th>新機性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">＜代替監視設備＞</td> </tr> <tr> <td colspan="9">「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0~200℃</td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統温度 (代替機冷却部)</td> <td>1</td> <td>0~200℃</td> <td>-**</td> <td></td> <td>代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (狭帯域) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (S/C) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器下排水位**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル雰囲気温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">＜最新ヒートシートの確保＞</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>2</td> <td>0~600ppm</td> <td>-**</td> <td></td> <td>スタラバズル上層の計測範囲の下限とし、フィルタ 装置換気機維持のための上限: 約2200ppm、下限: 約 500ppmを監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力**</td> <td>1</td> <td>0~10Pa[gage]</td> <td>-**</td> <td></td> <td>格納容器ベント美観時に、格納容器圧力が上がり装置の 最高圧力 (0.62MPa[gage]) に近接可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>計測, 専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>2</td> <td>10²~10⁶sv/h</td> <td>-**</td> <td></td> <td>格納容器ベント美観時に、想定されるフィルタ装置出 口の最大線量当量率 (約7×10⁶sv/h) を監視可能。</td> <td>-</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>2</td> <td>0~100vol%</td> <td>-**</td> <td></td> <td>格納容器ベント停止後の復原によるバージを実施し、 フィルタ装置及び耐圧強化ベントラインの配管内に 滞留する水素濃度が可燃濃度 (4vol%) 以下であ ることを監視可能。</td> <td>-</td> <td>(5a)</td> <td>サブプレッ ション・チェ ンバ・プール 温度: 区分 I・II 交流電源</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタの圧差</td> <td>1</td> <td>0~50Pa</td> <td>-**</td> <td></td> <td>フィルタ装置金属フィルタの圧差を監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スタラバズル</td> <td>1</td> <td>μBq~14</td> <td>-**</td> <td></td> <td>フィルタ装置スタラバズルのμBq (μBq~14) が監視可 能。</td> <td>-</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td colspan="9">＜耐圧強化ベントシートの確保＞</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント放射線モニタ</td> <td>2</td> <td>10²~10⁶sv/h</td> <td>-**</td> <td></td> <td>耐圧強化ベント美観時に、想定される排気ラインの最 大線量当量率 (約7×10⁶sv/h) を監視可能。</td> <td>-</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源 #11</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④最新ヒートシートの確保 - 格納容器圧力通過し装置」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源	＜代替監視設備＞									「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。									サブプレッション・チェンバ・プール水温度*				0~200℃	「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水系統温度 (代替機冷却部)	1	0~200℃	-**		代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。	1	(5a)	専用 直流電源	復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **					「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (広帯域) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (狭帯域) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (SA) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (S/C) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				サブプレッション・チェンバ・プール水位*					「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				格納容器下排水位**					「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				サブプレッション・チェンバ・プール温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				ドライウェル雰囲気温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				原子炉圧力容器温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				＜最新ヒートシートの確保＞									フィルタ装置水素濃度	2	0~600ppm	-**		スタラバズル上層の計測範囲の下限とし、フィルタ 装置換気機維持のための上限: 約2200ppm、下限: 約 500ppmを監視可能。	1	(5a)	専用 直流電源 #11	フィルタ装置入口圧力**	1	0~10Pa[gage]	-**		格納容器ベント美観時に、格納容器圧力が上がり装置の 最高圧力 (0.62MPa[gage]) に近接可能。	1	(5a)	計測, 専用 直流電源 #11	フィルタ装置出口放射線モニタ	2	10 ² ~10 ⁶ sv/h	-**		格納容器ベント美観時に、想定されるフィルタ装置出 口の最大線量当量率 (約7×10 ⁶ sv/h) を監視可能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11	フィルタ装置水素濃度	2	0~100vol%	-**		格納容器ベント停止後の復原によるバージを実施し、 フィルタ装置及び耐圧強化ベントラインの配管内に 滞留する水素濃度が可燃濃度 (4vol%) 以下であ ることを監視可能。	-	(5a)	サブプレッ ション・チェ ンバ・プール 温度: 区分 I・II 交流電源	フィルタ装置金属フィルタの圧差	1	0~50Pa	-**		フィルタ装置金属フィルタの圧差を監視可能。	1	(5a)	専用 直流電源 #11	フィルタ装置スタラバズル	1	μBq~14	-**		フィルタ装置スタラバズルのμBq (μBq~14) が監視可 能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11	＜耐圧強化ベントシートの確保＞									耐圧強化ベント放射線モニタ	2	10 ² ~10 ⁶ sv/h	-**		耐圧強化ベント美観時に、想定される排気ラインの最 大線量当量率 (約7×10 ⁶ sv/h) を監視可能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11	フィルタ装置水素濃度	1				「④最新ヒートシートの確保 - 格納容器圧力通過し装置」を監視するパラメータと同じ。				⑤
			分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
④ 原子炉格納容器内の 圧力	格納容器内水素濃度**	2	0~30vol% (6号炉) 0~20vol% (9~10号炉) (7号炉)	0~4.2vol%	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度が変動 する可能性のある範囲 (0~38vol%) を監視可能。な ら、6号炉については、格納容器内水素濃度が30vol% を超えた場合においても、格納容器内水素濃度 (SA) により把握可能。	-	5	計測, キャンパラ ダ装置 区分 I, II 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	格納容器内水素濃度 (SA) **	2	0~100vol%			-	(5a)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④ 原子炉格納容器内の 圧力	格納容器内中間気放熱レベル (S/C)	2	10 ² ~10 ⁵ h	105h/未満*	炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	-	5	区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	格納容器内中間気放熱レベル (S/C)	2	10 ² ~10 ⁵ h	105h/未満*	炉心積層の判断値 (原子炉停止直後に炉心積層した場 合は約105h) を把握する上で監視可能 (上記の判断 値は原子炉停止後の経過時間とともに低くなる)。	-	5	区分 I 高電圧 区分 II 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④ 原子炉格納容器内の 圧力	起動機械モータ*	10	10 ² ~10 ⁵ h (1.0×10 ³ ~1.0×10 ⁶ h)*	0~40%又は0~12% (1.0×10 ³ ~2.0×10 ³ h)*	原子炉の停止時から起動時及び起動時から定常出力 運転時の中性子束を監視可能。 なお、起動機械モータが潤滑できる範囲を超えた場合 は、平均出力機械モータによる監視可能。	-	5	区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	平均出力機械モータ**	4**	0~12% (1.2×10 ³ ~2.0× 10 ³ h)*	定格外出力 の約10倍	原子炉の起動時から定常出力運転時の中性子束を監 視可能。 なお、設計基準事故時及び重大事故時、一時的に計 測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果に より短時間であり、かつ出力上昇及び下降は漸進的であ り、12%を超えた領域でその指示に基づき格納を伴うも のではない。また、重大事故等においても原子炉再 稼働シフト等により中性子束は低くなるため、現状の計測範囲でも対応可能。	-	5	区分 I, II, III, IV バイタル交流電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
＜代替監視設備＞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水温度*				0~200℃	「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
復水補給水系統温度 (代替機冷却部)	1	0~200℃	-**		代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。	1	(5a)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **					「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (広帯域) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (狭帯域) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (SA) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (S/C) **					「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
サブプレッション・チェンバ・プール水位*					「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器下排水位**					「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
サブプレッション・チェンバ・プール温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ドライウェル雰囲気温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉圧力容器温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
＜最新ヒートシートの確保＞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
フィルタ装置水素濃度	2	0~600ppm	-**		スタラバズル上層の計測範囲の下限とし、フィルタ 装置換気機維持のための上限: 約2200ppm、下限: 約 500ppmを監視可能。	1	(5a)	専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置入口圧力**	1	0~10Pa[gage]	-**		格納容器ベント美観時に、格納容器圧力が上がり装置の 最高圧力 (0.62MPa[gage]) に近接可能。	1	(5a)	計測, 専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置出口放射線モニタ	2	10 ² ~10 ⁶ sv/h	-**		格納容器ベント美観時に、想定されるフィルタ装置出 口の最大線量当量率 (約7×10 ⁶ sv/h) を監視可能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置水素濃度	2	0~100vol%	-**		格納容器ベント停止後の復原によるバージを実施し、 フィルタ装置及び耐圧強化ベントラインの配管内に 滞留する水素濃度が可燃濃度 (4vol%) 以下であ ることを監視可能。	-	(5a)	サブプレッ ション・チェ ンバ・プール 温度: 区分 I・II 交流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置金属フィルタの圧差	1	0~50Pa	-**		フィルタ装置金属フィルタの圧差を監視可能。	1	(5a)	専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置スタラバズル	1	μBq~14	-**		フィルタ装置スタラバズルのμBq (μBq~14) が監視可 能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
＜耐圧強化ベントシートの確保＞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
耐圧強化ベント放射線モニタ	2	10 ² ~10 ⁶ sv/h	-**		耐圧強化ベント美観時に、想定される排気ラインの最 大線量当量率 (約7×10 ⁶ sv/h) を監視可能。	-	(5a)	専用 直流電源 #11																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フィルタ装置水素濃度	1				「④最新ヒートシートの確保 - 格納容器圧力通過し装置」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
48	-	添3.15-46	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (6/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型 計測器 個数</th> <th>新機性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">④ 原子炉格納容器内の 圧力</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統温度 (代替機冷却部)</td> <td>1</td> <td>0~200℃</td> <td>-**</td> <td>代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>専用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (狭帯域) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (S/C) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器下排水位**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル雰囲気温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源	④ 原子炉格納容器内の 圧力	サブプレッション・チェンバ・プール水温度**				「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水系統温度 (代替機冷却部)	1	0~200℃	-**	代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。	1	(5a)	専用 直流電源	復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **				「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **				「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **				「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (広帯域) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (狭帯域) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (SA) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				原子炉水位 (S/C) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				サブプレッション・チェンバ・プール水位*				「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				格納容器下排水位**				「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。				サブプレッション・チェンバ・プール温度**				「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				ドライウェル雰囲気温度**				「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				原子炉圧力容器温度**				「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (6/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型 計測器 個数</th> <th>新機性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">＜残留熱除去系＞</td> </tr> <tr> <td colspan="9">「④残留熱除去系」を監視するパラメータと同じ。</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>3</td> <td>0~300℃</td> <td>182℃</td> <td></td> <td>残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器入口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>区分 I, II, III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>3</td> <td>0~300℃</td> <td>182℃</td> <td></td> <td>残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器出口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>区分 I, II, III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系流量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水素系統流量</td> <td>3</td> <td>0~4000m³/h (6号炉区 分 I, II) 0~3000m³/h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 0~2000m³/h (7号炉区 分 III)</td> <td>1200m³/h (区分 I, II) 1100m³/h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 800m³/h (7号炉 区分 III)</td> <td></td> <td>原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m³/h (区分 I, II), 1100m³/h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>区分 I, II, III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量</td> <td>3</td> <td>0~2000m³/h (6号炉) 0~1000m³/h (7号炉)</td> <td>1200m³/h (区分 I, II) 1100m³/h (6号炉) 800m³/h (7号炉 区分 III)</td> <td></td> <td>原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m³/h (区分 I, II), 1100m³/h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>(5a)</td> <td>区分 I, II, III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル雰囲気温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA) **</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度**</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源	＜残留熱除去系＞									「④残留熱除去系」を監視するパラメータと同じ。									残留熱除去系熱交換器入口温度	3	0~300℃	182℃		残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器入口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源	残留熱除去系熱交換器出口温度	3	0~300℃	182℃		残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器出口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源	残留熱除去系流量					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。				原子炉格納容器水素系統流量	3	0~4000m ³ /h (6号炉区 分 I, II) 0~3000m ³ /h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 0~2000m ³ /h (7号炉区 分 III)	1200m ³ /h (区分 I, II) 1100m ³ /h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 800m ³ /h (7号炉 区分 III)		原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m ³ /h (区分 I, II), 1100m ³ /h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m ³ /h) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	3	0~2000m ³ /h (6号炉) 0~1000m ³ /h (7号炉)	1200m ³ /h (区分 I, II) 1100m ³ /h (6号炉) 800m ³ /h (7号炉 区分 III)		原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m ³ /h (区分 I, II), 1100m ³ /h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m ³ /h) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源	ドライウェル雰囲気温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				サブプレッション・チェンバ・プール温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内圧力 (S/C) **					「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内圧力 (S/C) **					「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内水素濃度 (SA) **					「④原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。				原子炉圧力容器温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。				①(推定手段の拡充)																																																							
			分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
④ 原子炉格納容器内の 圧力	サブプレッション・チェンバ・プール水温度**				「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	復水補給水系統温度 (代替機冷却部)	1	0~200℃	-**	代替機冷却部における復水移送ポンプの最高使用 温度 (85℃) に余裕を見込んだ設定とする。	1	(5a)	専用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	復水補給水流量 (S/C A 系代替機水流量) **				「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	復水補給水流量 (S/C B 系代替機水流量) **				「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	復水補給水流量 (格納容器下排水流量) **				「④原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	原子炉水位 (広帯域) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	原子炉水位 (狭帯域) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	原子炉水位 (SA) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	原子炉水位 (S/C) **				「④原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	サブプレッション・チェンバ・プール水位*				「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	格納容器下排水位**				「④原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	サブプレッション・チェンバ・プール温度**				「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ドライウェル雰囲気温度**				「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
原子炉圧力容器温度**				「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 個数	新機性	電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
＜残留熱除去系＞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
「④残留熱除去系」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
残留熱除去系熱交換器入口温度	3	0~300℃	182℃		残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器入口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
残留熱除去系熱交換器出口温度	3	0~300℃	182℃		残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系熱交 換器出口温度の変動範囲 (182℃) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
残留熱除去系流量					「④原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器水素系統流量	3	0~4000m ³ /h (6号炉区 分 I, II) 0~3000m ³ /h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 0~2000m ³ /h (7号炉区 分 III)	1200m ³ /h (区分 I, II) 1100m ³ /h (6号炉区 分 III, 7号炉区分 I, II) 800m ³ /h (7号炉 区分 III)		原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m ³ /h (区分 I, II), 1100m ³ /h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m ³ /h) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量	3	0~2000m ³ /h (6号炉) 0~1000m ³ /h (7号炉)	1200m ³ /h (区分 I, II) 1100m ³ /h (6号炉) 800m ³ /h (7号炉 区分 III)		原子炉格納容器系中間ループ層ポンプの最大流量 (1200m ³ /h (区分 I, II), 1100m ³ /h (6号炉区分 III, 7号炉区分 I, II)) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉格納容器系層ポンプ) の 最大流量 (800m ³ /h) を監視可能。	1	(5a)	区分 I, II, III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ドライウェル雰囲気温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
サブプレッション・チェンバ・プール温度**					「④原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内圧力 (S/C) **					「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内圧力 (S/C) **					「④原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内水素濃度 (SA) **					「④原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉圧力容器温度**					「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																															
49	—	添3.15-47	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (7/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型計測器設置数</th> <th>計測器</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">計測器設置位置が変更</td> <td>フィルタ設置水位*</td> <td>2</td> <td>0~600mm</td> <td>—*</td> <td>スタタノボム上層を計測範囲のびおとし、フィルタが設置後給排水のたみの上層: 約220mm、下層: 約50mmを監視可能。</td> <td>1</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> <td>1</td> <td>0~18Pa[case]</td> <td>—*</td> <td>格納容器ベント実施時に、格納容器圧力逃がし装置内の最高圧力 (0.02MPa[case]) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>2</td> <td>10⁻⁶~10⁶Bq/h</td> <td>—*</td> <td>格納容器ベント実施時に、装置内のフィルタ装置出口の最大放射線量率 (約1×10⁶Bq/h) を監視可能。</td> <td>—</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>2</td> <td>0~1000ppm</td> <td>—*</td> <td>格納容器ベント停止後の装置によるバージを監視し、フィルタ装置及び副圧強化ピストインの配置内に滞留する水素濃度が可燃限界濃度 (400ppm) 以下であることを監視可能。</td> <td>—</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> <td>2</td> <td>0~50kPa</td> <td>—*</td> <td>フィルタ装置金属フィルタの上層部を監視可能。</td> <td>1</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スタタノボム</td> <td>1</td> <td>0~14</td> <td>—*</td> <td>フィルタ装置スタタノボムのpH (0.08~1.0) を監視可能。</td> <td>—</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (0.9)*</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)**</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>副圧強化ピストノ放射線モニタ</td> <td>2</td> <td>10⁻⁶~10⁶Bq/h</td> <td>—*</td> <td>重大事故時における副圧強化ピストノ放射線モニタの最大放射線量率 (約1×10⁶Bq/h) を監視可能。</td> <td>—</td> <td>—(Sa)</td> <td>適用 直流電源**</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>「副圧強化ピストノの確保 (格納容器圧力逃がし装置)」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)**</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源	計測器設置位置が変更	フィルタ設置水位*	2	0~600mm	—*	スタタノボム上層を計測範囲のびおとし、フィルタが設置後給排水のたみの上層: 約220mm、下層: 約50mmを監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置入口圧力	1	0~18Pa[case]	—*	格納容器ベント実施時に、格納容器圧力逃がし装置内の最高圧力 (0.02MPa[case]) を監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置出口放射線モニタ	2	10 ⁻⁶ ~10 ⁶ Bq/h	—*	格納容器ベント実施時に、装置内のフィルタ装置出口の最大放射線量率 (約1×10 ⁶ Bq/h) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置水素濃度	2	0~1000ppm	—*	格納容器ベント停止後の装置によるバージを監視し、フィルタ装置及び副圧強化ピストインの配置内に滞留する水素濃度が可燃限界濃度 (400ppm) 以下であることを監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置金属フィルタ差圧	2	0~50kPa	—*	フィルタ装置金属フィルタの上層部を監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置スタタノボム	1	0~14	—*	フィルタ装置スタタノボムのpH (0.08~1.0) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**	格納容器内圧力 (0.9)*	「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。							格納容器内水素濃度 (SA)**	「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。							副圧強化ピストノ放射線モニタ	2	10 ⁻⁶ ~10 ⁶ Bq/h	—*	重大事故時における副圧強化ピストノ放射線モニタの最大放射線量率 (約1×10 ⁶ Bq/h) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**	フィルタ装置水素濃度	1			「副圧強化ピストノの確保 (格納容器圧力逃がし装置)」を監視するパラメータと同じ。				格納容器内水素濃度 (SA)**	「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。							<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (7/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型計測器設置数</th> <th>計測器</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">計測器設置位置が変更</td> <td>原子炉本体 #1</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉本体 (SA) #1</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA) #1</td> <td colspan="4">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドライウェル管温度 #1</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (0.9)* #1</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td>1</td> <td>0~16m (6号炉) 0~17m (7号炉)</td> <td></td> <td></td> <td>0~15.5m (6号炉) 0~15.7m (7号炉)</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>適用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チャンバ・プールの水位</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量 #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉本体 (SA) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系統流量 #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量 #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量 (原子炉格納容器) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉本体 #2</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ吐出圧力 #2</td> <td>3</td> <td>0~2MPa[case]</td> <td>— #9</td> <td></td> <td>0.92MPa[case]</td> <td>1</td> <td>— (Sa)</td> <td>適用 直流電源 # 11.12</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去ポンプ吐出圧力 #2</td> <td>3</td> <td>0~3.0MPa[case]</td> <td>2.2MPa[case]</td> <td></td> <td>2.2MPa[case]</td> <td>1</td> <td>8 (Sa)</td> <td>適用 直流電源</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源	計測器設置位置が変更	原子炉本体 #1	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。							原子炉本体 (SA) #1	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。							原子炉圧力 (SA) #1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。							ドライウェル管温度 #1	「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。							格納容器内圧力 (0.9)* #1	「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。							復水貯蔵槽水位 (SA)	1	0~16m (6号炉) 0~17m (7号炉)			0~15.5m (6号炉) 0~15.7m (7号炉)	1	5	適用 直流電源	サブプレッション・チャンバ・プールの水位	「①原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。							高圧代替注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器) #2	「①原子炉圧力容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							原子炉本体 (SA) #2	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。							高圧代替注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							高圧炉心注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							復水補給水系統流量 (原子炉格納容器) #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							原子炉本体 #2	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。							復水移送ポンプ吐出圧力 #2	3	0~2MPa[case]	— #9		0.92MPa[case]	1	— (Sa)	適用 直流電源 # 11.12	残留熱除去ポンプ吐出圧力 #2	3	0~3.0MPa[case]	2.2MPa[case]		2.2MPa[case]	1	8 (Sa)	適用 直流電源	①(推定手段の拡充)
			分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源																																																																																																																																																																																																																																									
計測器設置位置が変更	フィルタ設置水位*	2	0~600mm	—*	スタタノボム上層を計測範囲のびおとし、フィルタが設置後給排水のたみの上層: 約220mm、下層: 約50mmを監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置入口圧力	1	0~18Pa[case]	—*	格納容器ベント実施時に、格納容器圧力逃がし装置内の最高圧力 (0.02MPa[case]) を監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置出口放射線モニタ	2	10 ⁻⁶ ~10 ⁶ Bq/h	—*	格納容器ベント実施時に、装置内のフィルタ装置出口の最大放射線量率 (約1×10 ⁶ Bq/h) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水素濃度	2	0~1000ppm	—*	格納容器ベント停止後の装置によるバージを監視し、フィルタ装置及び副圧強化ピストインの配置内に滞留する水素濃度が可燃限界濃度 (400ppm) 以下であることを監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置金属フィルタ差圧	2	0~50kPa	—*	フィルタ装置金属フィルタの上層部を監視可能。	1	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置スタタノボム	1	0~14	—*	フィルタ装置スタタノボムのpH (0.08~1.0) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	格納容器内圧力 (0.9)*	「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器内水素濃度 (SA)**	「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	副圧強化ピストノ放射線モニタ	2	10 ⁻⁶ ~10 ⁶ Bq/h	—*	重大事故時における副圧強化ピストノ放射線モニタの最大放射線量率 (約1×10 ⁶ Bq/h) を監視可能。	—	—(Sa)	適用 直流電源**																																																																																																																																																																																																																																												
	フィルタ装置水素濃度	1			「副圧強化ピストノの確保 (格納容器圧力逃がし装置)」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内水素濃度 (SA)**	「①原子炉格納容器内の水素濃度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																			
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源																																																																																																																																																																																																																																												
計測器設置位置が変更	原子炉本体 #1	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉本体 (SA) #1	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉圧力 (SA) #1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	ドライウェル管温度 #1	「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器内圧力 (0.9)* #1	「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	復水貯蔵槽水位 (SA)	1	0~16m (6号炉) 0~17m (7号炉)			0~15.5m (6号炉) 0~15.7m (7号炉)	1	5	適用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																											
	サブプレッション・チャンバ・プールの水位	「①原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	高圧代替注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器) #2	「①原子炉圧力容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉本体 (SA) #2	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
高圧代替注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																			
高圧炉心注水系統流量 #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																			
復水補給水系統流量 (原子炉格納容器) #2	「①原子炉格納容器への注水量」及び「②原子炉格納容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉本体 #2	「①原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																			
復水移送ポンプ吐出圧力 #2	3	0~2MPa[case]	— #9		0.92MPa[case]	1	— (Sa)	適用 直流電源 # 11.12																																																																																																																																																																																																																																												
残留熱除去ポンプ吐出圧力 #2	3	0~3.0MPa[case]	2.2MPa[case]		2.2MPa[case]	1	8 (Sa)	適用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
50	—	添3.15-48	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (8/12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型計測器設置数</th> <th>計測器</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">計測器設置位置が変更</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度*</td> <td>3</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値: 182℃</td> <td>残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C(Sa)</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>3</td> <td>0~300℃</td> <td>最大値: 182℃</td> <td>残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C(Sa)</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水系統流量*</td> <td>3</td> <td>0~4000m³/h (6号炉区分1、II) 0~3000m³/h (6号炉区分I、II) 0~2000m³/h (7号炉区分1、II) 0~2000m³/h (7号炉区分I、II)</td> <td>0~2200m³/h (6号炉区分1、II) 0~2000m³/h (6号炉区分I、II) 0~2000m³/h (7号炉区分1、II) 0~1600m³/h (7号炉区分I、II)</td> <td>原子炉補給冷却系中間冷却ポンプの最大流量 (2200m³/h (6号炉区分1、II)、2000m³/h (6号炉区分I、II)、2000m³/h (7号炉区分1、II)、1600m³/h (7号炉区分I、II)) を監視可能。 代替原子炉補給冷却ポンプの最大流量 (600m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C(Sa)</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量*</td> <td>3</td> <td>0~2000m³/h (6号炉) 0~1800m³/h (7号炉)</td> <td>0~1200m³/h</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量の最大流量 (2000m³/h) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉補給冷却ポンプ) の最大流量 (600m³/h) を監視可能。</td> <td>1</td> <td>C(Sa)</td> <td>区分1、II、III 直流電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度*</td> <td colspan="4">「①原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チャンバ・プール水温度*</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去ポンプ吐出圧力*</td> <td colspan="4">「①格納容器パイプの監視」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源	計測器設置位置が変更	残留熱除去系熱交換器入口温度*	3	0~300℃	最大値: 182℃	残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源	残留熱除去系熱交換器出口温度	3	0~300℃	最大値: 182℃	残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源	残留熱除去系系統流量	「①原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。							原子炉補給冷却水系統流量*	3	0~4000m ³ /h (6号炉区分1、II) 0~3000m ³ /h (6号炉区分I、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分1、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分I、II)	0~2200m ³ /h (6号炉区分1、II) 0~2000m ³ /h (6号炉区分I、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分1、II) 0~1600m ³ /h (7号炉区分I、II)	原子炉補給冷却系中間冷却ポンプの最大流量 (2200m ³ /h (6号炉区分1、II)、2000m ³ /h (6号炉区分I、II)、2000m ³ /h (7号炉区分1、II)、1600m ³ /h (7号炉区分I、II)) を監視可能。 代替原子炉補給冷却ポンプの最大流量 (600m ³ /h) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量*	3	0~2000m ³ /h (6号炉) 0~1800m ³ /h (7号炉)	0~1200m ³ /h	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量の最大流量 (2000m ³ /h) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉補給冷却ポンプ) の最大流量 (600m ³ /h) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源	原子炉圧力容器温度*	「①原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。							サブプレッション・チャンバ・プール水温度*	「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。							残留熱除去ポンプ吐出圧力*	「①格納容器パイプの監視」を監視するパラメータと同じ。							<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (8/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力 (計測範囲の考え方)</th> <th>可搬型計測器設置数</th> <th>計測器</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">計測器設置位置が変更</td> <td>原子炉格納容器水素濃度</td> <td>7</td> <td>0~20vol%</td> <td>— #9</td> <td>重大事故時において、原子炉格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。</td> <td>—</td> <td>— (Sa)</td> <td>適用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>静熱機式水素再結合部 動作監視装置 #2</td> <td>4</td> <td>0~300℃</td> <td>— #9</td> <td>重大事故時において、静熱機式水素再結合部動作時に想定される温度範囲を監視可能。</td> <td>1</td> <td>— (Sa)</td> <td>適用 直流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>2</td> <td>0~30vol% (6号炉) 0~10vol% / 0~20vol% (7号炉)</td> <td>4.9vol%</td> <td>重大事故時において、格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>計測、チャンネルズ 区分1、II、III 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (0.9) #2</td> <td colspan="4">「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源	計測器設置位置が変更	原子炉格納容器水素濃度	7	0~20vol%	— #9	重大事故時において、原子炉格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。	—	— (Sa)	適用 直流電源	静熱機式水素再結合部 動作監視装置 #2	4	0~300℃	— #9	重大事故時において、静熱機式水素再結合部動作時に想定される温度範囲を監視可能。	1	— (Sa)	適用 直流電源	格納容器内水素濃度	2	0~30vol% (6号炉) 0~10vol% / 0~20vol% (7号炉)	4.9vol%	重大事故時において、格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。	—	5	計測、チャンネルズ 区分1、II、III 計測用交流電源	格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2	「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。							格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2	「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。							格納容器内圧力 (0.9) #2	「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。							①(推定手段の拡充)																																																																																																											
			分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源																																																																																																																																																																																																																																									
計測器設置位置が変更	残留熱除去系熱交換器入口温度*	3	0~300℃	最大値: 182℃	残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器出口温度	3	0~300℃	最大値: 182℃	残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系システムの最高使用温度 (182℃) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系系統流量	「①原子炉圧力容器への注水量」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	原子炉補給冷却水系統流量*	3	0~4000m ³ /h (6号炉区分1、II) 0~3000m ³ /h (6号炉区分I、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分1、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分I、II)	0~2200m ³ /h (6号炉区分1、II) 0~2000m ³ /h (6号炉区分I、II) 0~2000m ³ /h (7号炉区分1、II) 0~1600m ³ /h (7号炉区分I、II)	原子炉補給冷却系中間冷却ポンプの最大流量 (2200m ³ /h (6号炉区分1、II)、2000m ³ /h (6号炉区分I、II)、2000m ³ /h (7号炉区分1、II)、1600m ³ /h (7号炉区分I、II)) を監視可能。 代替原子炉補給冷却ポンプの最大流量 (600m ³ /h) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量*	3	0~2000m ³ /h (6号炉) 0~1800m ³ /h (7号炉)	0~1200m ³ /h	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量の最大流量 (2000m ³ /h) を監視可能。 熱交換器ユニット (代替原子炉補給冷却ポンプ) の最大流量 (600m ³ /h) を監視可能。	1	C(Sa)	区分1、II、III 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
	原子炉圧力容器温度*	「①原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	サブプレッション・チャンバ・プール水温度*	「①原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	残留熱除去ポンプ吐出圧力*	「①格納容器パイプの監視」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型計測器設置数	計測器	電源																																																																																																																																																																																																																																											
	計測器設置位置が変更	原子炉格納容器水素濃度	7	0~20vol%	— #9	重大事故時において、原子炉格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。	—	— (Sa)	適用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																											
静熱機式水素再結合部 動作監視装置 #2		4	0~300℃	— #9	重大事故時において、静熱機式水素再結合部動作時に想定される温度範囲を監視可能。	1	— (Sa)	適用 直流電源																																																																																																																																																																																																																																												
格納容器内水素濃度		2	0~30vol% (6号炉) 0~10vol% / 0~20vol% (7号炉)	4.9vol%	重大事故時において、格納容器内の水素濃度の可搬性 (水素濃度: 4vol%) を把握する上で監視可能。	—	5	計測、チャンネルズ 区分1、II、III 計測用交流電源																																																																																																																																																																																																																																												
格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2		「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器内雰囲気放射線レベル (0.9) #2		「①原子炉格納容器内の放射線量率」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		
格納容器内圧力 (0.9) #2		「①原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																																																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																													
51	—	添3.15-49	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（9/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の状態</td> <td>原子炉水位（広帯域）**</td> <td rowspan="5">1</td> <td rowspan="5">0~10m (6号炉) 0~17m (7号炉)</td> <td rowspan="5">最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-</td> <td rowspan="5">「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="5">1</td> <td rowspan="5">- (S)</td> <td rowspan="5">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（燃料罐）**</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位（SA）**</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力**</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力（SA）**</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度**</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">0~150℃</td> <td rowspan="3">最大値：4.9MPa以下</td> <td rowspan="3">「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">S</td> <td rowspan="3">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル雰囲気温度**</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="3">最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-</td> <td rowspan="3">「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">- (S)</td> <td rowspan="3">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系のポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉圧力**</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="2">最大値：3.0MPa[gage] 最小値：-</td> <td rowspan="2">「⑥原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">S</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA) **</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	原子炉圧力容器内の状態	原子炉水位（広帯域）**	1	0~10m (6号炉) 0~17m (7号炉)	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC	原子炉水位（燃料罐）**	原子炉水位（SA）**	原子炉圧力**	原子炉圧力（SA）**	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度**	1	0~150℃	最大値：4.9MPa以下	「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。	-	S	AC/DC	ドライウエル雰囲気温度**	格納容器内圧力 (D/W) **	原子炉格納容器内の状態	格納容器内圧力 (S/C) **	1	0~10MPa[gage]	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC	高圧炉心注水系統ポンプ吐出圧力	残留熱除去系のポンプ吐出圧力	原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力**	1	0~10MPa[gage]	最大値：3.0MPa[gage] 最小値：-	「⑥原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。	-	S	AC/DC	原子炉圧力 (SA) **	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（9/9）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) *1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">T.M.S.L.20186~31170m (6号炉) T.M.S.L.20189~31125m (7号炉)</td> <td rowspan="2">60℃</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から放射線レベルの監視が可能。</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) *1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">10⁴~10⁶nSv/h (6号炉) 10⁴~10⁶nSv/h (7号炉)</td> <td rowspan="2">- *9</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">10⁴~10⁶nSv/h (6号炉) 10⁴~10⁶nSv/h (7号炉)</td> <td rowspan="2">- *9</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ。*2：重要代替監視パラメータ。 *3：計測出力領域モニタの検出範囲は2段階であり、平均出力領域モニタの各チャンネルには、32チャンネルの信号が入力される。 *4：設計基準事故時に想定される原子炉圧力容器の最高圧力に対する飽和温度。 *5：基準圧力は緊急状態監視システム（原子炉圧力容器監視レベルより125%）。*6：基準圧力は有燃料線と並（原子炉圧力容器監視レベルより90%）。 *7：格納容器下部排水温度。*8：T.M.S.L. -東京湾平均海面。*9：重大事故時に使用する設備のため、設計基準事故時とは異なる。 *10：炉心温度は、原子炉停止後の経過時間における格納容器内雰囲気放射線レベルの値で判断する。原子炉停止直後は炉心温度は約105℃/h（経過時間とともに明確に低くなる）であり、設計基準では炉心温度はここからこの値を下回る。 *11：設置許可基準期間第17条、49条及び49条で抽出された計測設備は設計基準事故時設備に対して、多様性及び独立性を有し、重要なデータを伝送することにより、電源については、使用済燃料貯蔵プールに独立性を有し、放射線レベルを計測する。詳細については、5.14電気設備（設置許可基準電圧）に基づいて設計方針を示す。*12：設置許可基準期間第21条で抽出された計測設備は後述のラダーとすることで多様性を有し、格納容器内温度（原子炉格納容器）及び格納容器内圧力（原子炉格納容器）に対して、度水移送ポンプ吐出圧力及びドライウエル雰囲気温度はそれぞれ独立性を有する設計としている。電源については、着設時交流電源設備又は可搬型交流電源設備から代替内電気設備を經由して電源を受電できる設計とする。可搬型計測器による計測可能な設計としており、多様性を有している。詳細については、5.14電気設備（設置許可基準期間第17条）に基づいて設計方針を示す。*13：補足説明資料S-11に整理している。</p>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) *1	1	T.M.S.L.20186~31170m (6号炉) T.M.S.L.20189~31125m (7号炉)	60℃	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から放射線レベルの監視が可能。	-	- (S)	AC/DC	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	1	10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (6号炉) 10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (7号炉)	- *9	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。	-	- (S)	AC/DC	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	1	10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (6号炉) 10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (7号炉)	- *9	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。	-	- (S)	AC/DC	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	①(対象設備の追加)
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
原子炉圧力容器内の状態	原子炉水位（広帯域）**	1	0~10m (6号炉) 0~17m (7号炉)	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	原子炉水位（燃料罐）**																																																																																																	
	原子炉水位（SA）**																																																																																																	
	原子炉圧力**																																																																																																	
	原子炉圧力（SA）**																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度**	1	0~150℃	最大値：4.9MPa以下	「④原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。	-	S	AC/DC																																																																																										
	ドライウエル雰囲気温度**																																																																																																	
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
原子炉格納容器内の状態	格納容器内圧力 (S/C) **	1	0~10MPa[gage]	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	高圧炉心注水系統ポンプ吐出圧力																																																																																																	
	残留熱除去系のポンプ吐出圧力																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力**	1	0~10MPa[gage]	最大値：3.0MPa[gage] 最小値：-	「⑥原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。	-	S	AC/DC																																																																																										
	原子炉圧力 (SA) **																																																																																																	
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) *1	1	T.M.S.L.20186~31170m (6号炉) T.M.S.L.20189~31125m (7号炉)	60℃	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から放射線レベルの監視が可能。	-	- (S)	AC/DC																																																																																										
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) *1																																																																																																	
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	1	10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (6号炉) 10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (7号炉)	- *9	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。	-	- (S)	AC/DC																																																																																										
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1																																																																																																	
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1	1	10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (6号炉) 10 ⁴ ~10 ⁶ nSv/h (7号炉)	- *9	重大事故等により変動する可能性のある使用済燃料プール上部から使用済燃料クック上層定数までを監視し水位を監視可能。	-	- (S)	AC/DC																																																																																										
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) *1																																																																																																	
52	—	添3.15-50	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（10/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">冷却水の監視</td> <td>度水貯蔵罐水位 (SA)</td> <td rowspan="10">1</td> <td rowspan="10">0~15m (6号炉) 0~17m (7号炉)</td> <td rowspan="10">最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-</td> <td rowspan="10">「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="10">1</td> <td rowspan="10">- (S)</td> <td rowspan="10">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>サブプレッシャ・チェンバ・プール水位</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量**</td> </tr> <tr> <td>度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**</td> </tr> <tr> <td>度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納罐の排水系統流量**</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量**</td> </tr> <tr> <td>度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**</td> </tr> <tr> <td>度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)**</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の状態</td> <td>原子炉水位 (燃料罐)**</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="3">最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-</td> <td rowspan="3">「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">- (S)</td> <td rowspan="3">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA)**</td> </tr> <tr> <td>度水移送ポンプ吐出圧力**</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>度水移送ポンプ吐出圧力**</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">0~20MPa[gage]</td> <td rowspan="2">- **</td> <td rowspan="2">「⑥度水移送ポンプ吐出圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>度水移送ポンプ吐出圧力**</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	冷却水の監視	度水貯蔵罐水位 (SA)	1	0~15m (6号炉) 0~17m (7号炉)	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC	サブプレッシャ・チェンバ・プール水位	高圧炉心注水系統流量**	度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**	度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**	原子炉格納罐の排水系統流量**	高圧炉心注水系統流量**	度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**	度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**	原子炉水位 (広帯域)**	原子炉格納容器内の状態	原子炉水位 (燃料罐)**	1	0~10MPa[gage]	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC	原子炉水位 (SA)**	度水移送ポンプ吐出圧力**	原子炉格納容器内の温度	度水移送ポンプ吐出圧力**	1	0~20MPa[gage]	- **	「⑥度水移送ポンプ吐出圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC	度水移送ポンプ吐出圧力**	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（11/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の状態</td> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">0~300℃</td> <td rowspan="2">- **</td> <td rowspan="2">重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="4">4.9MPa以下</td> <td rowspan="4">重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">S</td> <td rowspan="4">計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC	格納容器内圧力 (D/W) **	原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源	格納容器内圧力 (D/W) **	格納容器内圧力 (S/C) **	格納容器内圧力 (S/C) **	①(推定手段の拡充)														
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
冷却水の監視	度水貯蔵罐水位 (SA)	1	0~15m (6号炉) 0~17m (7号炉)	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「③原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	サブプレッシャ・チェンバ・プール水位																																																																																																	
	高圧炉心注水系統流量**																																																																																																	
	度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**																																																																																																	
	度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**																																																																																																	
	原子炉格納罐の排水系統流量**																																																																																																	
	高圧炉心注水系統流量**																																																																																																	
	度水補給水流量 (低圧炉心注水系統)**																																																																																																	
	度水補給水流量 (高圧炉心注水系統)**																																																																																																	
	原子炉水位 (広帯域)**																																																																																																	
原子炉格納容器内の状態	原子炉水位 (燃料罐)**	1	0~10MPa[gage]	最大値：11.0MPa[gage] 最小値：-	「⑤原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	原子炉水位 (SA)**																																																																																																	
	度水移送ポンプ吐出圧力**																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	度水移送ポンプ吐出圧力**	1	0~20MPa[gage]	- **	「⑥度水移送ポンプ吐出圧力」を監視するパラメータと同じ。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	度水移送ポンプ吐出圧力**																																																																																																	
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	
53	—	添3.15-51	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（11/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の状態</td> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">0~300℃</td> <td rowspan="2">- **</td> <td rowspan="2">重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="4">4.9MPa以下</td> <td rowspan="4">重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">S</td> <td rowspan="4">計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC	格納容器内圧力 (D/W) **	原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源	格納容器内圧力 (D/W) **	格納容器内圧力 (S/C) **	格納容器内圧力 (S/C) **	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対応設備）（11/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>個数</th> <th>計測範囲</th> <th>設計基準</th> <th>把握能力（計測範囲の考え方）</th> <th>可搬型計測器台数</th> <th>耐震性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の状態</td> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">0~300℃</td> <td rowspan="2">- **</td> <td rowspan="2">重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">- (S)</td> <td rowspan="2">AC/DC</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="4">0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]</td> <td rowspan="4">4.9MPa以下</td> <td rowspan="4">重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">S</td> <td rowspan="4">計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C) **</td> </tr> </tbody> </table>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源	原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC	格納容器内圧力 (D/W) **	原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源	格納容器内圧力 (D/W) **	格納容器内圧力 (S/C) **	格納容器内圧力 (S/C) **	②(SGTSのSA設備化)																															
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	把握能力（計測範囲の考え方）	可搬型計測器台数	耐震性	電源																																																																																										
原子炉格納容器内の状態	原子炉格納容器内温度	4	0~300℃	- **	重大事故等時に、原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	1	- (S)	AC/DC																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	格納容器内圧力 (S/C) **	2	0~10MPa[gage] 0~10MPa[gage]	4.9MPa以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の温度が変動する可能性のある範囲 (0~4.9MPa) を監視可能。	-	S	計測、サブプレッシャ・チェンバ・プール水位 AC/DC 区分1、II 計測用交流電源																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	
	格納容器内圧力 (S/C) **																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																					
54	—	添3.15-52	<p>表 3.15-11 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（12/12）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ</th> <th>単位</th> <th>許容範囲</th> <th>設計基準</th> <th>監視範囲（許容範囲の考え方）</th> <th>可搬型評価係数</th> <th>監視性</th> <th>電源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> <td rowspan="2">使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA, 広域) **</td> <td rowspan="2">1</td> <td>E.N.S.L.20180 ~ 31170mm (6 号機) **</td> <td>E.N.S.L.213950mm (6 号機) **</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プール上部から底部迄層までの範囲にわたり水位を監視可能。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">C (SA)</td> <td rowspan="2">区分1 直流電源</td> </tr> <tr> <td>E.N.S.L.20180 ~ 31225mm (7 号機) **</td> <td>E.N.S.L.213950mm (6 号機) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> <td rowspan="2">使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA) **</td> <td rowspan="2">1</td> <td>0 ~ 150°C</td> <td>最大値：60°C</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プールの温度を監視可能。</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">— (SA)</td> <td rowspan="2">AC 直流電源</td> </tr> <tr> <td>E.N.S.L.20420 ~ 30420mm (6 号機) **</td> <td>E.N.S.L.213950mm (6 号機) **</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要監視パラメータ</td> <td rowspan="2">使用潤滑油貯蔵プール放射線モニタ (高レベルモニタ) **</td> <td rowspan="2">1</td> <td>10⁶ ~ 10⁹μSv/h</td> <td>— **</td> <td rowspan="2">重大事故等により変動する可能性のある放射線量の範囲 (5 × 10⁶ ~ 10⁹μSv/h) にわたり監視可能。</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">— (SA)</td> <td rowspan="2">AC 直流電源</td> </tr> <tr> <td>10⁶ ~ 10⁹μSv/h (6 号機)</td> <td>10⁶ ~ 10⁹μSv/h (7 号機)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用潤滑油貯蔵プール監視カメラ **</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>— **</td> <td>重大事故等時において使用潤滑油貯蔵プール及びその周辺の状況を監視可能。</td> <td>—</td> <td>— (SA)</td> <td>カメラ・区分1 バイタル交流電源 音声録音：区分1 非常用交流電源</td> </tr> </tbody> </table> <p>**1：重要代替監視パラメータ、**2：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ **3：監視項目が監視カメラでモニタリングされる場合、可搬型評価係数は、監視項目の信号が入力される。 **4：設計基準事項時に想定される原子炉圧力容器の最大圧力に対する飽和温度。 **5：重要監視パラメータとして下欄（原子炉圧力容器）より上欄（炉心）へ移行する場合は、炉心監視項目は、炉心監視項目として扱う。 **6：監視項目は有状態監視項目（原子炉圧力容器）より上欄（炉心）へ移行する場合は、炉心監視項目として扱う。 **7：水位は炉心水位から発生するボイドを含んでいるため、有状態監視項目として扱う。 **8：重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事項時に検定する。 **9：E.N.S.L.は、東海原発の設備 **10：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **11：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **12：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **13：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **14：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **15：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **16：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **17：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **18：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **19：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **20：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **21：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **22：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **23：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **24：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **25：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **26：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **27：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **28：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **29：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **30：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **31：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **32：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **33：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **34：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **35：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **36：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **37：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **38：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **39：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **40：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **41：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **42：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **43：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **44：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **45：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **46：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **47：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **48：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **49：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **50：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **51：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **52：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **53：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **54：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **55：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **56：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **57：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **58：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **59：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **60：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **61：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **62：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **63：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **64：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **65：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **66：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **67：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **68：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **69：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **70：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **71：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **72：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **73：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **74：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **75：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **76：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **77：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **78：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **79：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **80：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **81：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **82：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **83：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **84：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **85：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **86：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **87：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **88：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **89：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **90：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **91：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **92：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **93：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **94：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **95：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **96：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **97：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **98：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **99：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。 **100：炉心監視項目、原子炉停止後の監視項目は炉心監視項目として扱う。</p>	分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	単位	許容範囲	設計基準	監視範囲（許容範囲の考え方）	可搬型評価係数	監視性	電源	重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA, 広域) **	1	E.N.S.L.20180 ~ 31170mm (6 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **	重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プール上部から底部迄層までの範囲にわたり水位を監視可能。	1	C (SA)	区分1 直流電源	E.N.S.L.20180 ~ 31225mm (7 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **	重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA) **	1	0 ~ 150°C	最大値：60°C	重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プールの温度を監視可能。	1	— (SA)	AC 直流電源	E.N.S.L.20420 ~ 30420mm (6 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **	重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール放射線モニタ (高レベルモニタ) **	1	10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h	— **	重大事故等により変動する可能性のある放射線量の範囲 (5 × 10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h) にわたり監視可能。	—	— (SA)	AC 直流電源	10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h (6 号機)	10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h (7 号機)		使用潤滑油貯蔵プール監視カメラ **	1	—	— **	重大事故等時において使用潤滑油貯蔵プール及びその周辺の状況を監視可能。	—	— (SA)	カメラ・区分1 バイタル交流電源 音声録音：区分1 非常用交流電源	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 また、スクラム後、原子炉水位が有状態監視項目に到達するまでの経過時間より原子炉圧力容器温度を推定する。 ③残留熱除去系熱交換器入口温度 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ③原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td rowspan="2">原子炉圧力 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="2">原子炉水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①原子炉水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉水位 (SA)</td> <td>①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位 (SA)</td> <td rowspan="2">原子炉水位 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>②原子炉水位 (SA)</td> <td>①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 また、スクラム後、原子炉水位が有状態監視項目に到達するまでの経過時間より原子炉圧力容器温度を推定する。 ③残留熱除去系熱交換器入口温度 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ③原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	②原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉圧力容器内の水位 (SA)	原子炉水位 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	②原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	⑤
分類	重要監視パラメータ、重要代替監視パラメータ	単位	許容範囲	設計基準	監視範囲（許容範囲の考え方）	可搬型評価係数	監視性	電源																																																																																		
重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA, 広域) **	1	E.N.S.L.20180 ~ 31170mm (6 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **	重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プール上部から底部迄層までの範囲にわたり水位を監視可能。	1	C (SA)	区分1 直流電源																																																																																		
			E.N.S.L.20180 ~ 31225mm (7 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **																																																																																						
重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール水位・温度 (SA) **	1	0 ~ 150°C	最大値：60°C	重大事故等により変動する可能性のある使用潤滑油貯蔵プールの温度を監視可能。	1	— (SA)	AC 直流電源																																																																																		
			E.N.S.L.20420 ~ 30420mm (6 号機) **	E.N.S.L.213950mm (6 号機) **																																																																																						
重要監視パラメータ	使用潤滑油貯蔵プール放射線モニタ (高レベルモニタ) **	1	10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h	— **	重大事故等により変動する可能性のある放射線量の範囲 (5 × 10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h) にわたり監視可能。	—	— (SA)	AC 直流電源																																																																																		
			10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h (6 号機)	10 ⁶ ~ 10 ⁹ μSv/h (7 号機)																																																																																						
	使用潤滑油貯蔵プール監視カメラ **	1	—	— **	重大事故等時において使用潤滑油貯蔵プール及びその周辺の状況を監視可能。	—	— (SA)	カメラ・区分1 バイタル交流電源 音声録音：区分1 非常用交流電源																																																																																		
分類	主要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法																																																																																							
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 また、スクラム後、原子炉水位が有状態監視項目に到達するまでの経過時間より原子炉圧力容器温度を推定する。 ③残留熱除去系熱交換器入口温度 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
		②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。 ③原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
		②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
		②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ②原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
		②原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
原子炉圧力容器内の水位 (SA)	原子炉水位 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							
		②原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉水位により推定する。 ②高圧代償注水系統流量、復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)、原子炉隔離時冷却系統流量、高圧代償注水系統流量、残留熱除去系系統流量のうち機器動作状態にある流量より、過熱熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																															
56	—	添3.15-54	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (2/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉水位 (SA) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ④原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。 ⑤原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) により推定する。 ⑥高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ⑦原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA)</td> <td>①原子炉水位 (広帯域) ②原子炉水位 (燃料域) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ③原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉水位 (SA) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)	①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ④原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。 ⑤原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) により推定する。 ⑥高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ⑦原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (広帯域) ②原子炉水位 (燃料域) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)	①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ③原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (2/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水</td> <td>高圧代替注水系統流量</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)</td> <td>①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (原子炉圧力容器)</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系系統流量</td> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ・プール水位 ③原子炉水位 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。(他系統が運転状態の場合) ②サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ③注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統流量</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (SA)</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器への注水</td> <td>復水補給水流量 (原子炉格納容器)</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器下部水位</td> <td>①高圧代替注水系統流量 (SA) の変化により復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) の監視が不可能となった場合は, 注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉圧力容器への注水	高圧代替注水系統流量	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	復水補給水流量 (原子炉圧力容器)	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)	①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	原子炉隔離時冷却系系統流量	高圧炉心注水系統流量	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ・プール水位 ③原子炉水位 (SA)	①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。(他系統が運転状態の場合) ②サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ③注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	残留熱除去系統流量	①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (SA)	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	原子炉格納容器への注水	復水補給水流量 (原子炉格納容器)	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器下部水位	①高圧代替注水系統流量 (SA) の変化により復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) の監視が不可能となった場合は, 注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	①(推定手段の拡充)														
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																	
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉水位 (SA) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)	①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (SA) により推定する。 ③高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ④原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。 ⑤原子炉水位 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は, 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) により推定する。 ⑥高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ⑦原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																	
	原子炉水位 (SA)	①原子炉水位 (広帯域) ②原子炉水位 (燃料域) ③高圧代替注水系統流量 ④復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) ⑤復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) ⑥原子炉隔離時冷却系系統流量 ⑦高圧炉心注水系統流量 ⑧残留熱除去系統流量 ⑨原子炉圧力 ⑩原子炉圧力 (SA) ⑪格納容器内圧力 (S/C)	①原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域) の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②高圧代替注水系統流量, 復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量), 復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系統流量, 残留熱除去系統流量のうち格納容器状態に起因する流量より, 相対的に高圧代替注水系統流量を推定し, 原子炉圧力容器内の水位を推定する。 ③原子炉圧力容器への注水により, 圧力配管より上まで注水し, 原子炉圧力, 原子炉圧力 (SA) と格納容器内圧力 (S/C) の差圧から原子炉圧力容器の満水を確認する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																	
原子炉圧力容器への注水	高圧代替注水系統流量	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	復水補給水流量 (原子炉圧力容器)	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (SA)	①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合には, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
原子炉隔離時冷却系系統流量	高圧炉心注水系統流量	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ・プール水位 ③原子炉水位 (SA)	①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。(他系統が運転状態の場合) ②サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ③注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	残留熱除去系統流量	①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (SA)	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
原子炉格納容器への注水	復水補給水流量 (原子炉格納容器)	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器下部水位	①高圧代替注水系統流量 (SA) の変化により復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) の監視が不可能となった場合は, 注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (原子炉格納容器) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	57	—	添3.15-55	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>高圧代替注水系統流量</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉隔離時冷却系系統流量</td> <td>①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系統流量</td> <td>①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>残留熱除去系統流量</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)</td> <td>①高圧代替注水系統流量 (DRB B系代替注水流量), 復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の温度	高圧代替注水系統流量	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	原子炉格納容器内の圧力	原子炉隔離時冷却系系統流量	①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	高圧炉心注水系統流量	①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	原子炉格納容器内の圧力	残留熱除去系統流量	①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量 (DRB B系代替注水流量), 復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (3/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①ドライウエル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②ドライウエル雰囲気温度の監視が不可能となった場合には, 飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (D/W) により, 上記と同様にドライウエル雰囲気温度を推定する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ/気体温度</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール本温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③サブプレッション・チェンバ/気体温度*②</td> <td>①サブプレッション・チェンバ/気体温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ・プール本温度により注水量を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ/気体温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。 推定は, サブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール本温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール本温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール本温度を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウエル雰囲気温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *②</td> <td>①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①格納容器内圧力 (D/W) ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C) *②</td> <td>①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ/気体温度及びサブプレッション・チェンバ・プール本温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器内圧力 (S/C)	①ドライウエル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②ドライウエル雰囲気温度の監視が不可能となった場合には, 飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (D/W) により, 上記と同様にドライウエル雰囲気温度を推定する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。	サブプレッション・チェンバ/気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プール本温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③サブプレッション・チェンバ/気体温度*②	①サブプレッション・チェンバ/気体温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ・プール本温度により注水量を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ/気体温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。 推定は, サブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。	原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンバ・プール本温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C)	①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール本温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール本温度を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウエル雰囲気温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *②	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内圧力 (D/W) ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C) *②	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ/気体温度及びサブプレッション・チェンバ・プール本温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																	
原子炉格納容器内の温度	高圧代替注水系統流量	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	復水補給水流量 (DRB A系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
原子炉格納容器内の圧力	原子炉隔離時冷却系系統流量	①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧代替注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	高圧炉心注水系統流量	①原子炉格納槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①原子炉格納槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
原子炉格納容器内の圧力	残留熱除去系統流量	①サブプレッション・チェンバ・プール水位 ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は, 水源であるサブプレッション・チェンバ・プール水位の水位により注水量を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心注水系統流量を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	復水補給水流量 (DRB B系代替注水流量) *代替燃料油貯蔵槽運転時(格納シフトシフトの監視)を参照	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位 (広帯域) ③原子炉水位 (燃料域) ④原子炉水位 (SA)	①高圧代替注水系統流量 (DRB B系代替注水流量), 復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の監視が不可能となった場合は, 水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお, 復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ②注水先の格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器下部水位 (S/C) より復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																	
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器内圧力 (S/C)	①ドライウエル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②ドライウエル雰囲気温度の監視が不可能となった場合には, 飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (D/W) により, 上記と同様にドライウエル雰囲気温度を推定する。 推定は, 主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																																	
	サブプレッション・チェンバ/気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プール本温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③サブプレッション・チェンバ/気体温度*②	①サブプレッション・チェンバ/気体温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ・プール本温度により注水量を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ/気体温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。 推定は, サブプレッション・チェンバ/気体温度 (常用計測) により, 温度を推定する。																																																	
原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンバ・プール本温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C)	①主要パラメータの他チャンネルが故障した場合は, 他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール本温度の監視が不可能となった場合には, サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール本温度を推定する。 推定は, 環境変化の影響を受けることが小さい復水貯蔵槽水位 (SA) を優先する。																																																	
	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウエル雰囲気温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *②	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。																																																	
原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内圧力 (D/W) ②サブプレッション・チェンバ/気体温度 ③格納容器内圧力 (S/C) *②	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合には, 格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ/気体温度及びサブプレッション・チェンバ・プール本温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計測) により, 圧力を推定する。 推定は, 真空継ぎ管等, 遮断弁及びベント管を介して検出される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																								
58	—	添3.15-56	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ^{*)}</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウェル雰囲気温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①ドライウェル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル雰囲気温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりドライウェル雰囲気温度を推定する。 ③格納容器内圧力 (S/C) により、上記と同様にドライウェル雰囲気温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール温度</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③[サブプレッション・チェンバ]気体温度^{*)}</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ・プール温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ気体温度を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) により、温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ気体温度 (常用計器) により、温度を推定する。 推定は、サブプレッション・チェンバ内にあるサブプレッション・チェンバ・プール温度を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ気体温度</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール水温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル雰囲気温度 ③[格納容器内圧力 (D/W)]^{*)}</td> <td>①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウェル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①格納容器内圧力 (S/C) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ気体温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル雰囲気温度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①ドライウェル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル雰囲気温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりドライウェル雰囲気温度を推定する。 ③格納容器内圧力 (S/C) により、上記と同様にドライウェル雰囲気温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	サブプレッション・チェンバ・プール温度	①サブプレッション・チェンバ・プール温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③[サブプレッション・チェンバ]気体温度 ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ・プール温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ気体温度を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) により、温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ気体温度 (常用計器) により、温度を推定する。 推定は、サブプレッション・チェンバ内にあるサブプレッション・チェンバ・プール温度を優先する。	原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プール水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール水温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル雰囲気温度 ③[格納容器内圧力 (D/W)] ^{*)}	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウェル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。			格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内圧力 (S/C) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ気体温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ^{*)}</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>①復水補給水流量 (原子炉格納容器) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④格納容器内圧力 (S/C) ⑤[サブプレッション・チェンバ・プール水位]^{*)}</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (原子炉格納容器) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) *格納容器下部水流量 ③復水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td>①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合には、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度</td> <td>①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①復水補給水流量 (原子炉格納容器) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④格納容器内圧力 (S/C) ⑤[サブプレッション・チェンバ・プール水位] ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (原子炉格納容器) を優先する。	格納容器下部水位	①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) *格納容器下部水流量 ③復水貯蔵槽水位 (SA)	①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉格納容器内の水	格納容器内水素濃度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)	①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合には、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納容器内水素濃度 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	⑤
分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法																																										
原子炉格納容器内の温度	ドライウェル雰囲気温度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①ドライウェル雰囲気温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル雰囲気温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりドライウェル雰囲気温度を推定する。 ③格納容器内圧力 (S/C) により、上記と同様にドライウェル雰囲気温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	サブプレッション・チェンバ・プール温度	①サブプレッション・チェンバ・プール温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③[サブプレッション・チェンバ]気体温度 ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ・プール温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) によりサブプレッション・チェンバ気体温度を推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力 (S/C) により、温度を推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チェンバ気体温度 (常用計器) により、温度を推定する。 推定は、サブプレッション・チェンバ内にあるサブプレッション・チェンバ・プール温度を優先する。																																										
原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プール水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プール水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プール水温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル雰囲気温度 ③[格納容器内圧力 (D/W)] ^{*)}	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してドライウェル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (S/C) を優先する。																																										
		格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内圧力 (S/C) の圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。 ②飽和温度/圧力の関係を利用してサブプレッション・チェンバ気体温度により格納容器内圧力 (S/C) を推定する。 ③監視可能であれば格納容器内圧力 (S/C) (常用計器) により、圧力を推定する。 推定は、真空破断装置、透過孔及びベント管を介して対応される格納容器内圧力 (D/W) を優先する。																																										
分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法																																										
原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①復水補給水流量 (原子炉格納容器) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④格納容器内圧力 (S/C) ⑤[サブプレッション・チェンバ・プール水位] ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合には、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (原子炉格納容器) を優先する。																																										
	格納容器下部水位	①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (原子炉格納容器) *格納容器下部水流量 ③復水貯蔵槽水位 (SA)	①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (原子炉格納容器) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
原子炉格納容器内の水	格納容器内水素濃度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)	①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合には、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	格納容器内水素濃度 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
59	—	添3.15-57	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ^{*)}</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>①復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④[サブプレッション・チェンバ・プール水位]^{*)}</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ③復水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td>①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水</td> <td>格納容器内水素濃度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度</td> <td>①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④[サブプレッション・チェンバ・プール水位] ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) を優先する。	格納容器下部水位	①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ③復水貯蔵槽水位 (SA)	①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	原子炉格納容器内の水	格納容器内水素濃度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)	①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納容器内水素濃度 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ^{*)}</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量</td> <td>格納容器内空気放射線レベル (D/W)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) ③[エア放射線モニタ]^{*)}</td> <td>①格納容器内空気放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (S/C) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空気放射線レベル (S/C)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) ③[エア放射線モニタ]^{*)}</td> <td>①格納容器内空気放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (D/W) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線量の検出</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系]^{*)}</td> <td>①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系]^{*)}</td> <td>①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御棒の状態</td> <td>[制御棒操作監視系]^{*)}</td> <td>①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ</td> <td>①制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 推定は、出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内空気放射線レベル (D/W)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) ③[エア放射線モニタ] ^{*)}	①格納容器内空気放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (S/C) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納容器内空気放射線レベル (S/C)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) ③[エア放射線モニタ] ^{*)}	①格納容器内空気放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (D/W) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	放射線量の検出	起動領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系] ^{*)}	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	平均出力領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系] ^{*)}	①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	制御棒の状態	[制御棒操作監視系] ^{*)}	①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ	①制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 推定は、出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。	⑤
分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法																																										
原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) ②復水貯蔵槽水位 (SA) ③格納容器内圧力 (D/W) ④[サブプレッション・チェンバ・プール水位] ^{*)}	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) の注水により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ②水素である復水貯蔵槽水位の変化により、サブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 ③(上記) ②の推定方法は、注水量及び水素の水位変化から算出した水量が全てサブプレッション・チェンバ・プールへ移行する場合は想定しており、サブプレッション・チェンバ・プール水位の計測目的 (ウェットウェルベントの動作可否判断 (ベントトライク高さ=1m±0.05m) を把握すること) から考えうる保守的な評価となることから問題ない。 ④格納容器内圧力 (D/W) と格納容器内圧力 (S/C) の関係によりサブプレッション・チェンバ・プール水位を推定する。 ⑤監視可能であればサブプレッション・チェンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、注水先での復水補給水流量 (DB B系代替注水流量) を優先する。																																										
	格納容器下部水位	①主要パラメータの他チャンネル ②復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ③復水貯蔵槽水位 (SA)	①格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器下部水位の監視が不可能となった場合は、復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) の注水量により、格納容器下部水位を推定する。 ③水素である復水貯蔵槽水位の変化により、格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
原子炉格納容器内の水	格納容器内水素濃度	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度 (SA)	①格納容器内水素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	格納容器内水素濃度 (SA)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水素濃度	①格納容器内水素濃度 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内水素濃度 (SA) の監視が不可能となった場合は、格納容器内水素濃度により推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^{*)}	代替パラメータ推定方法																																										
原子炉格納容器内の放射線量	格納容器内空気放射線レベル (D/W)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) ③[エア放射線モニタ] ^{*)}	①格納容器内空気放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (S/C) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (S/C) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	格納容器内空気放射線レベル (S/C)	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) ③[エア放射線モニタ] ^{*)}	①格納容器内空気放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内空気放射線レベル (D/W) の監視が不可能となった場合には、格納容器内空気放射線レベル (D/W) により推定する。 ③エア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
放射線量の検出	起動領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系] ^{*)}	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
	平均出力領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒操作監視系] ^{*)}	①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②平均出力領域モニタの監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、制御棒の状態を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																										
制御棒の状態	[制御棒操作監視系] ^{*)}	①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ	①制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合には、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 推定は、出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。																																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																											
60	-	添3.15-58	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内圧</td> <td>格納容器内圧監視放射線レベル (D/W)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*</td> <td>①格納容器内圧監視放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧監視放射線レベル (S/C)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*</td> <td>①格納容器内圧監視放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">起動領域モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**</td> <td>①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> <td>①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②起動領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**</td> <td>①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[制御棒作動監視系]**</td> <td>①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ</td> <td>①制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 補注は、平均出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内圧	格納容器内圧監視放射線レベル (D/W)	①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*	①格納容器内圧監視放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納容器内圧監視放射線レベル (S/C)	①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*	①格納容器内圧監視放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	起動領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	平均出力領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②起動領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**	①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	[制御棒作動監視系]**		①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ	①制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 補注は、平均出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">圧力制御部冷却系</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 格納給排水流量 (原子炉圧力容器) 格納給排水流量 (原子炉格納容器)</td> <td>①主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度</td> <td>①主要パラメータのうち、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、熱交換器ユニットの熱交換量評価からサブプレッション・チェンバ・プールの水温度により推定する。 ③代替冷却部冷却系による冷却において、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度、格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、サブプレッション・チェンバ/プールの水温度により推定する。 補注は、主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力感知装置 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水温度 フィルタ装置装置入口圧力 フィルタ装置装置出口圧力</td> <td>①主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置入口圧力、フィルタ装置出口圧力) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)</td> <td>①主要パラメータのうち、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器圧力感知装置による冷却において、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が格納容器内圧力感知装置の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。また、フィルタ装置装置入口圧力の監視が不可能となった場合は、フィルタ装置水温度によるヒートシンクに与える本装置の負荷によるスクラップ体の状態から推定する。さらに、フィルタ装置装置入口圧力又はフィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向監視により格納容器圧力感知装置の健全性を推定する。 補注は、主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度) の他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>前圧降化ベント系</td> <td>前圧降化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水温度</td> <td>①主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)</td> <td>①主要パラメータのうち、前圧降化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②前圧降化ベント系による冷却において、前圧降化ベント系放射線モニタ、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が前圧降化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。 補注は、主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	圧力制御部冷却系	サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 格納給排水流量 (原子炉圧力容器) 格納給排水流量 (原子炉格納容器)	①主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度	①主要パラメータのうち、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、熱交換器ユニットの熱交換量評価からサブプレッション・チェンバ・プールの水温度により推定する。 ③代替冷却部冷却系による冷却において、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度、格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、サブプレッション・チェンバ/プールの水温度により推定する。 補注は、主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネルを優先する。	格納容器圧力感知装置 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水温度 フィルタ装置装置入口圧力 フィルタ装置装置出口圧力	①主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置入口圧力、フィルタ装置出口圧力) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)	①主要パラメータのうち、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器圧力感知装置による冷却において、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が格納容器内圧力感知装置の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。また、フィルタ装置装置入口圧力の監視が不可能となった場合は、フィルタ装置水温度によるヒートシンクに与える本装置の負荷によるスクラップ体の状態から推定する。さらに、フィルタ装置装置入口圧力又はフィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向監視により格納容器圧力感知装置の健全性を推定する。 補注は、主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度) の他チャンネルを優先する。	前圧降化ベント系	前圧降化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水温度	①主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)	①主要パラメータのうち、前圧降化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②前圧降化ベント系による冷却において、前圧降化ベント系放射線モニタ、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が前圧降化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。 補注は、主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネルを優先する。	⑤						
			分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																										
原子炉格納容器内圧	格納容器内圧監視放射線レベル (D/W)	①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*	①格納容器内圧監視放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																													
	格納容器内圧監視放射線レベル (S/C)	①主要パラメータの他チャンネル ②[エア放熱線モニタ]*	①格納容器内圧監視放射線レベル (S/C) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②監視不可能な場合、エア放熱線モニタ (有効監視パラメータ) の値を継ぎを用いて、原子炉格納容器内の放射線量を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																													
起動領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②平均出力領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	①起動領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、平均出力領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																													
	平均出力領域モニタ	①主要パラメータの他チャンネル ②起動領域モニタ ③[制御棒作動監視系]**	①平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②起動領域モニタの監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ③制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) により制御棒挿入状態にあることが確認できる場合は、未確定状態の維持を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																													
[制御棒作動監視系]**		①起動領域モニタ ②平均出力領域モニタ	①制御棒作動監視系 (有効監視パラメータ) の監視が不可能となった場合は、起動領域モニタにより推定する。 ②平均出力領域モニタにより推定する。 補注は、平均出力領域を監視する起動領域モニタを優先する。																																													
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																													
圧力制御部冷却系	サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 格納給排水流量 (原子炉圧力容器) 格納給排水流量 (原子炉格納容器)	①主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度	①主要パラメータのうち、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、熱交換器ユニットの熱交換量評価からサブプレッション・チェンバ・プールの水温度により推定する。 ③代替冷却部冷却系による冷却において、サブプレッション・チェンバ・プールの水温度、格納給排水流量 (冷却側) の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、サブプレッション・チェンバ/プールの水温度により推定する。 補注は、主要パラメータ (サブプレッション・チェンバ・プールの水温度) の他チャンネルを優先する。																																													
	格納容器圧力感知装置 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置出口圧力 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水温度 フィルタ装置装置入口圧力 フィルタ装置装置出口圧力	①主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置入口圧力、フィルタ装置出口圧力) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)	①主要パラメータのうち、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器圧力感知装置による冷却において、フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度、フィルタ装置装置入口圧力、フィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が格納容器内圧力感知装置の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。また、フィルタ装置装置入口圧力の監視が不可能となった場合は、フィルタ装置水温度によるヒートシンクに与える本装置の負荷によるスクラップ体の状態から推定する。さらに、フィルタ装置装置入口圧力又はフィルタ装置装置出口圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (D/W) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向監視により格納容器圧力感知装置の健全性を推定する。 補注は、主要パラメータ (フィルタ装置水温度、フィルタ装置出口放射線モニタ、フィルタ装置水温度) の他チャンネルを優先する。																																													
前圧降化ベント系	前圧降化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水温度	①主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネル ②ドライウエール雰囲気温度 ③サブプレッション・チェンバ/気体温度 ④格納容器内圧力 (D/W) ⑤格納容器内圧力 (S/C) ⑥格納容器内水温度 (SA)	①主要パラメータのうち、前圧降化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②前圧降化ベント系による冷却において、前圧降化ベント系放射線モニタ、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、ドライウエール雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ/気体温度、格納容器内圧力 (D/W)、格納容器内圧力 (S/C) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 なお、フィルタ装置水温度の監視が不可能となった場合は、原子炉格納容器内の水蒸気が前圧降化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温度 (SA) により推定する。 補注は、主要パラメータ (前圧降化ベント系放射線モニタ) の他チャンネルを優先する。																																													
61	-	添3.15-59	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サブプレッション・チェンバ・プールの水温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納給排水流量 (代替側冷却)</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 ②原子炉水位 (圧力側) ③原子炉水位 (熱力側) ④原子炉水位 (SA) ⑤原子炉圧力容器温度</td> <td>①格納給排水流量 (代替側冷却) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位の測定により格納給排水流量 (代替側冷却) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量)</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量)</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	サブプレッション・チェンバ・プールの水温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	格納給排水流量 (代替側冷却)	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 ②原子炉水位 (圧力側) ③原子炉水位 (熱力側) ④原子炉水位 (SA) ⑤原子炉圧力容器温度	①格納給排水流量 (代替側冷却) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位の測定により格納給排水流量 (代替側冷却) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内圧</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>ドライウエール雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> <tr> <td>[エア放熱線モニタ]**</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> <td>①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	格納容器内圧	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	原子炉水位	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	ドライウエール雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	[エア放熱線モニタ]**	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①(推定手段の拡充)
			分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																										
サブプレッション・チェンバ・プールの水温度	①主要パラメータの他チャンネル ②サブプレッション・チェンバ/気体温度	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度が故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②サブプレッション・チェンバ・プールの水温度の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チェンバ/気体温度によりサブプレッション・チェンバ・プールの水温度を推定する。 補注は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。																																													
	格納給排水流量 (代替側冷却)	①サブプレッション・チェンバ・プールの水温度 ②原子炉水位 (圧力側) ③原子炉水位 (熱力側) ④原子炉水位 (SA) ⑤原子炉圧力容器温度	①格納給排水流量 (代替側冷却) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位の測定により格納給排水流量 (代替側冷却) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																													
格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB A系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																														
格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (DRB B系代替排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																														
格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																														
格納給排水流量 (格納容器下部排水流量)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納給排水流量 (格納容器下部排水流量) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																														
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																													
格納容器内圧	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																													
原子炉水位	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																													
ドライウエール雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																													
[エア放熱線モニタ]**	①原子炉水位 (圧力側) ②原子炉水位 (熱力側) ③原子炉水位 (SA) ④原子炉圧力容器温度	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。	①原子炉水位 (圧力側) の監視が不可能となった場合は、圧水先の原子炉水位 (熱力側) の監視により格納容器内圧 (D/W) を推定する。 ②原子炉圧力容器温度より最終ヒートシンクの確保されていることを推定する。 補注は、圧水先の原子炉水位を優先する。																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																						
62	—	添3.15-60	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">格納容器内圧力・温度</td> <td>フィルタ設置水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置入口圧力</td> <td>①格納容器内圧力 (S/C) ②格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、格納容器内圧力 (S/C) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向値に基づき格納容器内圧力が推定される。</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置出口放射線モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①フィルタ設置出口放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置水温</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水温 (SA)</td> <td>①フィルタ設置水温の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が格納容器圧力とほぼ等しいと仮定して推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>フィルタ設置金属フィルタ差圧</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①フィルタ設置金属フィルタ差圧の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置スクラップ差圧</td> <td>①フィルタ設置水位</td> <td>①フィルタ設置スクラップ差圧の監視が不可能となった場合は、フィルタ設置水位により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル</td> <td>①耐圧強化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。</td> </tr> <tr> <td>フィルタ設置水温</td> <td>①格納容器内水温 (SA)</td> <td>①フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が耐圧強化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温 (SA) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>残留除去系熱交換器入口温度</td> <td>①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度</td> <td>①残留除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。</td> </tr> <tr> <td>残留除去系熱交換器出口温度</td> <td>①残留除去系熱交換器入口温度 ②原子炉冷却炉出口水温</td> <td>①残留除去系熱交換器出口温度の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。 ②原子炉冷却炉出口水温を、残留除去系熱交換器入口水温より、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>残留除去系熱交換器入口流量</td> <td>①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度</td> <td>①残留除去系熱交換器入口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。</td> </tr> <tr> <td>残留除去系熱交換器出口流量</td> <td>①残留除去系熱交換器入口流量</td> <td>①残留除去系熱交換器出口流量の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	格納容器内圧力・温度	フィルタ設置水位	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	フィルタ設置入口圧力	①格納容器内圧力 (S/C) ②格納容器内圧力 (S/C)	①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、格納容器内圧力 (S/C) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向値に基づき格納容器内圧力が推定される。	フィルタ設置出口放射線モニタ	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置出口放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	フィルタ設置水温	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水温 (SA)	①フィルタ設置水温の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が格納容器圧力とほぼ等しいと仮定して推定する。	格納容器内圧力・温度	フィルタ設置金属フィルタ差圧	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置金属フィルタ差圧の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	フィルタ設置スクラップ差圧	①フィルタ設置水位	①フィルタ設置スクラップ差圧の監視が不可能となった場合は、フィルタ設置水位により推定する。	格納容器内圧力・温度	耐圧強化ベント系放射線モニタ	①主要パラメータの他チャンネル	①耐圧強化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	フィルタ設置水温	①格納容器内水温 (SA)	①フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が耐圧強化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温 (SA) により推定する。	格納容器内圧力・温度	残留除去系熱交換器入口温度	①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度	①残留除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。	残留除去系熱交換器出口温度	①残留除去系熱交換器入口温度 ②原子炉冷却炉出口水温	①残留除去系熱交換器出口温度の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。 ②原子炉冷却炉出口水温を、残留除去系熱交換器入口水温より、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	格納容器内圧力・温度	残留除去系熱交換器入口流量	①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度	①残留除去系熱交換器入口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。	残留除去系熱交換器出口流量	①残留除去系熱交換器入口流量	①残留除去系熱交換器出口流量の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>格納容器内圧力</td> <td>①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度</td> <td>①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>①原子炉圧力容器温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③原子炉圧力容器温度</td> <td>①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度</td> <td>①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内圧力・温度</td> <td>格納容器内圧力</td> <td>①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度</td> <td>①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	格納容器内圧力・温度	格納容器内圧力	①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。	格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。	格納容器内圧力・温度	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①原子炉圧力容器温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③原子炉圧力容器温度	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。	原子炉圧力容器温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。	格納容器内圧力・温度	格納容器内圧力	①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。	格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。	①(推定手段の拡充)
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																																								
格納容器内圧力・温度	フィルタ設置水位	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。																																																																								
	フィルタ設置入口圧力	①格納容器内圧力 (S/C) ②格納容器内圧力 (S/C)	①フィルタ設置水位の1チャンネルが故障した場合は、格納容器内圧力 (S/C) 又は格納容器内圧力 (S/C) の傾向値に基づき格納容器内圧力が推定される。																																																																								
	フィルタ設置出口放射線モニタ	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置出口放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。																																																																								
	フィルタ設置水温	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器内水温 (SA)	①フィルタ設置水温の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が格納容器圧力とほぼ等しいと仮定して推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	フィルタ設置金属フィルタ差圧	①主要パラメータの他チャンネル	①フィルタ設置金属フィルタ差圧の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。																																																																								
	フィルタ設置スクラップ差圧	①フィルタ設置水位	①フィルタ設置スクラップ差圧の監視が不可能となった場合は、フィルタ設置水位により推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	耐圧強化ベント系放射線モニタ	①主要パラメータの他チャンネル	①耐圧強化ベント系放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。																																																																								
	フィルタ設置水温	①格納容器内水温 (SA)	①フィルタ設置水温の監視が不可能となった場合は、格納容器内の水温が耐圧強化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水温 (SA) により推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	残留除去系熱交換器入口温度	①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度	①残留除去系熱交換器入口温度の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。																																																																								
	残留除去系熱交換器出口温度	①残留除去系熱交換器入口温度 ②原子炉冷却炉出口水温	①残留除去系熱交換器出口温度の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。 ②原子炉冷却炉出口水温を、残留除去系熱交換器入口水温より、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	残留除去系熱交換器入口流量	①原子炉圧力容器温度 ②サブプレッション・チェンバ・プール温度	①残留除去系熱交換器入口流量の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、サブプレッション・チェンバ・プール温度より推定する。																																																																								
	残留除去系熱交換器出口流量	①残留除去系熱交換器入口流量	①残留除去系熱交換器出口流量の監視が不可能となった場合は、熱交換器の熱交換効率から推定する。																																																																								
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																																								
格納容器内圧力・温度	格納容器内圧力	①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。																																																																								
	格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	サブプレッション・チェンバ・プール水位	①原子炉圧力容器温度 ②格納容器内圧力 (S/C) ③原子炉圧力容器温度	①サブプレッション・チェンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②原子炉圧力容器温度、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。																																																																								
	原子炉圧力容器温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①原子炉圧力容器温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。																																																																								
格納容器内圧力・温度	格納容器内圧力	①高圧放射線モニタ ②格納容器内圧力 (S/C) ③格納容器内圧力 (S/C)	①高圧放射線モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②格納容器内圧力 (S/C) の監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③格納容器内圧力 (S/C) により推定する。																																																																								
	格納容器内温度	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力容器温度 ③原子炉圧力容器温度	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力容器温度、原子炉圧力容器温度を、格納容器内圧力放射線レベル (D/W) 又は格納容器内圧力放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。 ③原子炉圧力容器温度 (S/C) により推定する。																																																																								
63	—	添3.15-61	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (9/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内圧力・温度</td> <td>原子炉圧力 (圧縮機)</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内圧力・温度</td> <td>原子炉圧力</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。 ③原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)</td> <td>①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内圧力・温度</td> <td>ドライウェル帯風温度</td> <td>①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)</td> <td>①ドライウェル帯風温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル帯風温度の監視が不可能となった場合は、他温度/圧力の間隔を利用して格納容器内圧力 (D/W) により推定する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル帯風温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *</td> <td>①格納容器内圧力 (D/W) の圧力が監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②ドライウェル帯風温度、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内圧力・温度</td> <td>高圧炉心注水ポンプ吐出圧力</td> <td>①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *</td> <td>①高圧炉心注水ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。</td> </tr> <tr> <td>残留除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *</td> <td>①残留除去系ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉圧力容器内圧力・温度	原子炉圧力 (圧縮機)	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。	原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。	原子炉圧力容器内圧力・温度	原子炉圧力	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (圧縮機) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。 ③原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。	原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機) により推定する。	原子炉圧力容器内圧力・温度	ドライウェル帯風温度	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)	①ドライウェル帯風温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル帯風温度の監視が不可能となった場合は、他温度/圧力の間隔を利用して格納容器内圧力 (D/W) により推定する。	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル帯風温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力が監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②ドライウェル帯風温度、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。	原子炉圧力容器内圧力・温度	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *	①高圧炉心注水ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。	残留除去系ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *	①残留除去系ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (9/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) によって使用済燃料貯蔵プールの状態を判断した後、使用済燃料貯蔵プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール監視カメラによる推定を行う。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) によって使用済燃料貯蔵プールの状態を判断した後、使用済燃料貯蔵プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール監視カメラによる推定を行う。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。	①(推定手段の拡充)																				
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																																								
原子炉圧力容器内圧力・温度	原子炉圧力 (圧縮機)	①主要パラメータの他チャンネル ②原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (SA) により推定する。																																																																								
	原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (SA) の水位の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機)、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。																																																																								
原子炉圧力容器内圧力・温度	原子炉圧力	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (圧縮機) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。 ③原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (燃料棒) により推定する。																																																																								
	原子炉圧力 (SA)	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (燃料棒)	①原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、他チャンネルにより推定する。 ②原子炉圧力 (燃料棒) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力 (圧縮機) により推定する。																																																																								
原子炉圧力容器内圧力・温度	ドライウェル帯風温度	①原子炉圧力 (圧縮機) ②原子炉圧力 (SA) ③原子炉圧力 (燃料棒)	①ドライウェル帯風温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ②ドライウェル帯風温度の監視が不可能となった場合は、他温度/圧力の間隔を利用して格納容器内圧力 (D/W) により推定する。																																																																								
	格納容器内圧力 (D/W)	①格納容器内圧力 (S/C) ②ドライウェル帯風温度 ③格納容器内圧力 (D/W) *	①格納容器内圧力 (D/W) の圧力が監視が不可能となった場合は、格納容器内圧力 (S/C) により推定する。 ②ドライウェル帯風温度、格納容器内圧力 (D/W) により推定する。																																																																								
原子炉圧力容器内圧力・温度	高圧炉心注水ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *	①高圧炉心注水ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。																																																																								
	残留除去系ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 (SA) ②(メリア放射線モニタ) *	①残留除去系ポンプ吐出圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力、原子炉圧力 (SA) の低下により格納容器内圧力 (D/W) の推定を行う。 ②(メリア放射線モニタ) による推定を行う。																																																																								
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																																																								
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) によって使用済燃料貯蔵プールの状態を判断した後、使用済燃料貯蔵プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。																																																																								
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。																																																																								
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール監視カメラによる推定を行う。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料貯蔵プールの状態を推定する。																																																																								
	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) による推定を行う。																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																		
64	—	添3.15-62	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (10/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本機の機能</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td>①高圧代替注水系系統流量 ②復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ③復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ④原子炉強制冷却系系統流量 ⑤高圧炉心注水系系統流量 ⑥復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ⑦原子炉水位 (広帯域) ⑧原子炉水位 (燃料架) ⑨原子炉水位 (SA) ⑩復水移送ポンプ吐出圧力 ⑪[復水貯蔵槽水位]*</td> <td>①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量から、復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ③復水貯蔵槽水位とする格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水源である復水貯蔵槽水位が確保されていることを推定する。 ④監視可能であれば復水貯蔵槽水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量を優先する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チャンバ・プール水位</td> <td>①復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ②復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ③残留熱除去系流量 ④復水移送ポンプ吐出圧力 ⑤残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ⑥[サブプレッション・チャンバ・プール水位]*</td> <td>①サブプレッション・チャンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、原子炉格納容器へ注水する格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器より算出した注水量から推定する。また、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、サブプレッション・チャンバ・プールから原子炉注水装置へ注水する復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) とは残留熱除去系流量と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水位を推定する。 ②サブプレッション・チャンバ・プールを水源とする復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプの吐出圧力から復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッション・チャンバ・プール水位が確保されていることを推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チャンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。推定は、サブプレッション・チャンバ・プールを水源とするポンプの注水量を優先する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の監視</td> <td>原子炉格納容器内水位</td> <td>①主要パラメータの能チャンネル ②静形熱式水素内筒器 動作監視装置</td> <td>①原子炉格納容器内水位の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②原子炉格納容器内水位の監視が不可能となった場合は、静形熱式水素内筒器 動作監視装置 (静形熱式水素内筒器入口/出口の温度差により水素濃度を推定) により推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> <td>①主要パラメータの能チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/N) ③格納容器内空気放射線レベル (S/C) ④格納容器内圧力 (D/N) ⑤格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>①格納容器内酸素濃度の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②格納容器内酸素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内空気放射線レベル (D/N) 又は格納容器内空気放射線レベル (S/C) にて印心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的な値を入力とした評価結果 (補正結果) により格納容器内酸素濃度を推定する。 ③格納容器内圧力 (D/N) 又は格納容器内圧力 (S/C) により、格納容器内の気圧であることを確認することで、事後後の原子炉格納容器内の空気 (酸素) の流入有無を把握し、水素濃度の可能性を推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	本機の機能	復水貯蔵槽水位 (SA)	①高圧代替注水系系統流量 ②復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ③復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ④原子炉強制冷却系系統流量 ⑤高圧炉心注水系系統流量 ⑥復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ⑦原子炉水位 (広帯域) ⑧原子炉水位 (燃料架) ⑨原子炉水位 (SA) ⑩復水移送ポンプ吐出圧力 ⑪[復水貯蔵槽水位]*	①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量から、復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ③復水貯蔵槽水位とする格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水源である復水貯蔵槽水位が確保されていることを推定する。 ④監視可能であれば復水貯蔵槽水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量を優先する。	サブプレッション・チャンバ・プール水位	①復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ②復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ③残留熱除去系流量 ④復水移送ポンプ吐出圧力 ⑤残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ⑥[サブプレッション・チャンバ・プール水位]*	①サブプレッション・チャンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、原子炉格納容器へ注水する格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器より算出した注水量から推定する。また、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、サブプレッション・チャンバ・プールから原子炉注水装置へ注水する復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) とは残留熱除去系流量と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水位を推定する。 ②サブプレッション・チャンバ・プールを水源とする復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプの吐出圧力から復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッション・チャンバ・プール水位が確保されていることを推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チャンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。推定は、サブプレッション・チャンバ・プールを水源とするポンプの注水量を優先する。	原子炉格納容器内の監視	原子炉格納容器内水位	①主要パラメータの能チャンネル ②静形熱式水素内筒器 動作監視装置	①原子炉格納容器内水位の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②原子炉格納容器内水位の監視が不可能となった場合は、静形熱式水素内筒器 動作監視装置 (静形熱式水素内筒器入口/出口の温度差により水素濃度を推定) により推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。	格納容器内酸素濃度	①主要パラメータの能チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/N) ③格納容器内空気放射線レベル (S/C) ④格納容器内圧力 (D/N) ⑤格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内酸素濃度の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②格納容器内酸素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内空気放射線レベル (D/N) 又は格納容器内空気放射線レベル (S/C) にて印心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的な値を入力とした評価結果 (補正結果) により格納容器内酸素濃度を推定する。 ③格納容器内圧力 (D/N) 又は格納容器内圧力 (S/C) により、格納容器内の気圧であることを確認することで、事後後の原子炉格納容器内の空気 (酸素) の流入有無を把握し、水素濃度の可能性を推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。	—	①(推定手段の拡充)
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																				
本機の機能	復水貯蔵槽水位 (SA)	①高圧代替注水系系統流量 ②復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ③復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ④原子炉強制冷却系系統流量 ⑤高圧炉心注水系系統流量 ⑥復水補給水流量 (格納容器下部注水流量) ⑦原子炉水位 (広帯域) ⑧原子炉水位 (燃料架) ⑨原子炉水位 (SA) ⑩復水移送ポンプ吐出圧力 ⑪[復水貯蔵槽水位]*	①復水貯蔵槽水位 (SA) の監視が不可能となった場合は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量から、復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ②注水先の原子炉水位の水位変化により復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の開始状況も考慮した上で水位を推定する。 ③復水貯蔵槽水位とする格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水源である復水貯蔵槽水位が確保されていることを推定する。 ④監視可能であれば復水貯蔵槽水位 (常用計器) により、水位を推定する。 推定は、復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量を優先する。																				
	サブプレッション・チャンバ・プール水位	①復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) ②復水補給水流量 (低圧 B 系代替注水流量) ③残留熱除去系流量 ④復水移送ポンプ吐出圧力 ⑤残留熱除去系ポンプ吐出圧力 ⑥[サブプレッション・チャンバ・プール水位]*	①サブプレッション・チャンバ・プール水位の監視が不可能となった場合は、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、原子炉格納容器へ注水する格納容器下部注水流量 (高圧 A 系代替注水流量) と格納容器より算出した注水量から推定する。また、サブプレッション・チャンバの水位を推定するために、サブプレッション・チャンバ・プールから原子炉注水装置へ注水する復水補給水流量 (高圧 A 系代替注水流量) とは残留熱除去系流量と格納容器下部注水流量 (低圧 B 系代替注水流量) とを把握することにより、水位を推定する。 ②サブプレッション・チャンバ・プールを水源とする復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプの吐出圧力から復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブプレッション・チャンバ・プール水位が確保されていることを推定する。 ③監視可能であればサブプレッション・チャンバ・プール水位 (常用計器) により、水位を推定する。推定は、サブプレッション・チャンバ・プールを水源とするポンプの注水量を優先する。																				
原子炉格納容器内の監視	原子炉格納容器内水位	①主要パラメータの能チャンネル ②静形熱式水素内筒器 動作監視装置	①原子炉格納容器内水位の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②原子炉格納容器内水位の監視が不可能となった場合は、静形熱式水素内筒器 動作監視装置 (静形熱式水素内筒器入口/出口の温度差により水素濃度を推定) により推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。																				
	格納容器内酸素濃度	①主要パラメータの能チャンネル ②格納容器内空気放射線レベル (D/N) ③格納容器内空気放射線レベル (S/C) ④格納容器内圧力 (D/N) ⑤格納容器内圧力 (S/C)	①格納容器内酸素濃度の 1 チャンネルが故障した場合は、能チャンネルにより推定する。 ②格納容器内酸素濃度の監視が不可能となった場合は、格納容器内空気放射線レベル (D/N) 又は格納容器内空気放射線レベル (S/C) にて印心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的な値を入力とした評価結果 (補正結果) により格納容器内酸素濃度を推定する。 ③格納容器内圧力 (D/N) 又は格納容器内圧力 (S/C) により、格納容器内の気圧であることを確認することで、事後後の原子炉格納容器内の空気 (酸素) の流入有無を把握し、水素濃度の可能性を推定する。 推定は、主要パラメータの能チャンネルを優先する。																				
65	—	添3.15-63	<p>表 3.15-12 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (11/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料貯蔵プールの監視</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により水位を推定した後、水位と放射線モニタの間隔により放射線率を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、使用済燃料プールを監視する使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて、使用済燃料プールの状態を推定する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 代替パラメータの番号は優先順位を示す。 *2: [] は非監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐地震性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	使用済燃料貯蔵プールの監視	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) を優先する。	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により水位を推定した後、水位と放射線モニタの間隔により放射線率を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、使用済燃料プールを監視する使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて、使用済燃料プールの状態を推定する。	—	⑤	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																				
使用済燃料貯蔵プールの監視	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。																				
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) により、水位・温度を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて使用済燃料プールの水位を推定する。 ③使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、同じ仕様である使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) を優先する。																				
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) により水位を推定した後、水位と放射線モニタの間隔により放射線率を推定する。 ②使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、使用済燃料プールを監視する使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 及び使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA) を優先する。																				
	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) ②使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	①使用済燃料貯蔵プール監視カメラの監視が不可能となった場合は、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)、使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)、使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ) にて、使用済燃料プールの状態を推定する。																				

まとめ資料変更箇所リスト

- 【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
66	—	添3.15-64	<p>図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p>	<p>図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
67	-	添3.15-65	<p>①燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体入口温度 ②燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体出口温度 ③燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体流量 ④燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑤燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑥燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑦燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑧燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑨燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑩燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑪燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑫燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑬燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑭燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑮燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑯燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑰燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力</p>	<p>①燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体入口温度 ②燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体出口温度 ③燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体流量 ④燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑤燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑥燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑦燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑧燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑨燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑩燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑪燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑫燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑬燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑭燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑮燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑯燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力 ⑰燃料油加熱主蒸餾塔の熱媒体圧力</p>	①(対象設備の追加)

図 3.15-4 主要設備 概略系統図 (1/3)

図 3.15-4 主要設備 概略系統図 (1/3)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
69	-	添3.15-67	<p>図3.15-6 主要設備 概略系統図(3/3)</p>	<p>図3.15-6 主要設備 概略系統図(3/3)</p>	<p>②(免震重要棟の自主化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 59条(原子炉制御室) まとめ本文

章/項番号:

59条(原子炉制御室)の補足説明資料は、26条(原子炉制御室等)別添資料を兼ねた内容となっております。そのため、本変更点リスト資料についてもSA/DB一体の内容となっております。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	まとめ本文 '3.16.1	添 3.16-2	3.16.1 設置許可基準規則第59条への適合方針 中央制御室には, 重大事故が発生した場合においても運転員がとどまるために必要な重大事故等対処設備として, 中央制御室及び中央制御室待避室の照明を確保するための設備, 居住性を確保するための設備, 運転員の被ばくを低減するための設備 及び汚染の 持ち込み を防止するための設備を設置又は保管する。	3.16.1 設置許可基準規則第59条への適合方針 中央制御室には, 重大事故が発生した場合においても運転員がとどまるために必要な重大事故等対処設備として, 中央制御室及び中央制御室待避室の照明を確保するための設備, 居住性を確保するための設備, 汚染の持ち込みを防止する資機材を設置及び保管する。	⑤ (被ばく低減設備の追加)
2	3.16.1 (1)	添 3.16-2	(1)照明を確保するための設備(設置許可基準規則解釈の第1項a)) 重大事故等時において, 中央制御室及び中央制御室待避室の照明がすべて消灯した場合に, 可搬型蓄電池内蔵型照明により中央制御室及び中央制御室待避室での監視又は操作に必要な照度を確保できる設計とする。 また, 可搬型蓄電池内蔵型照明は, 常設代替交流電源設備である第一ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。	(1)照明を確保するための設備(設置許可基準規則解釈の第1項a)) 重大事故等時において, 中央制御室及び中央制御室待避室の照明がすべて消灯した場合に, 可搬型蓄電池内蔵型照明により中央制御室及び中央制御室待避室での監視又は操作に必要な照度を確保できる設計とする。 また, 可搬型蓄電池内蔵型照明は, 常設代替交流電源設備である第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。	② (第二ガスタービン発電機の位置づけ見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
3	3.16.1 (2)	添 3.16-2	<p>(i) 遮蔽及び換気設備 中央制御室は、炉心の著しい損傷が発生した場合において、中央制御室遮蔽に囲まれた中央制御室換気空調系バウンダリを、中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ、MCR排気ダンパ）を閉確認することにより外気との連絡口を遮断し、高性能フィルタ（粒子用フィルタ）及び活性炭フィルタ（よう素用フィルタ）を内蔵した中央制御室可搬型陽圧化空調機により陽圧化することで、高性能フィルタ及び活性炭フィルタを介さない中央制御室内への外気の流入を遮断可能な設計とする。</p> <p>さらに、炉心の著しい損傷後の格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルームの影響による運転員の被ばくを低減するため、中央制御室換気空調系バウンダリ内に中央制御室待避室を設ける設計とする。中央制御室待避室は、中央制御室待避室遮蔽に囲まれた気密空間を、気密扉を閉操作することにより中央制御室バウンダリから遮断し、中央制御室待避室陽圧化装置により陽圧化することで、外気の流入を一定時間完全に遮断可能な設計とする。</p>	<p>(i) 遮蔽及び換気設備 中央制御室は、炉心の著しい損傷が発生した場合において、中央制御室遮蔽に囲まれた中央制御室換気空調系バウンダリを、中央制御室換気空調系の給排気隔離弁を閉操作を閉確認することにより外気との連絡口を遮断し、高性能フィルタ（粒子用フィルタ）及び活性炭フィルタ（よう素用フィルタ）を内蔵した中央制御室可搬型陽圧化空調機により陽圧化することで、高性能フィルタ及び活性炭フィルタを介さない中央制御室内への外気の流入を遮断可能な設計とする。</p> <p>更に、炉心の著しい損傷後の格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルームの影響による運転員の被ばくを低減するため、中央制御室換気空調系バウンダリ内に中央制御室待避室を設ける。中央制御室待避室は、中央制御室待避室遮蔽に囲まれた気密空間を、気密扉を閉操作することにより外気から遮断し、中央制御室待避室陽圧化装置により陽圧化することで、外気の流入を一定時間完全に遮断可能な設計とする。</p>	⑤ (具体的設備名称追加)
4	3.16.1 (2)	添 3.16-2	(iii) 無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）及びデータ表示装置（常設）	(ii) 無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）、無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（常設）	② (設備分類変更（居住性→通信連絡）に伴う、設備名称変更)
5	3.16.1 (2)	添 3.16-2	<p>中央制御室は、重大事故等時において、発電所内の通信連絡が必要な場所との通信連絡を行うための設備として無線連絡設備（常設）及び衛星電話設備（常設）を設置する設計とする。</p> <p>また、無線連絡設備（常設）及び衛星電話設備（常設）は、中央制御室待避室においても使用できる設計とする。</p> <p>中央制御室待避室には、炉心の著しい損傷が発生した場合において、中央制御室待避室に待避した場合においても、データ表示装置（待避室）を設置することで、継続的にプラントの監視を行うことが可能な設計とし、必要に応じ中央制御室制御盤でのプラント操作を行うことができる設計とする。</p>	<p>中央制御室は、重大事故等時において、発電所内の通信連絡が必要な場所との通信連絡を行うための設備として無線連絡設備（常設）及び衛星電話設備（常設）を設置する設計とする。</p> <p>中央制御室待避室には、炉心の著しい損傷が発生した場合において、中央制御室待避室に待避した場合においても、データ表示装置（待避室）及び無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）を設置することで、継続的にプラントの監視を行うことが可能な設計とし、必要に応じ中央制御室制御盤でのプラント操作を行うことができる設計とする。</p>	② (同上)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
6	3.16.1 (2)	添 3.16-2	<p>上記の中央制御室及び中央制御室待避室の居住性機能として、運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる事故収束に成功した事故シーケンスにおいても、運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p> <p>また運転員の交替を見込み、その実施のための交替要員の体制整備、及び交替時のマスク着用の手順整備を行い、運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる事故収束に成功した事故シーケンスにおいても運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p> <p>なお、中央制御室可搬型陽圧化空調機、無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）及びデータ表示装置（待避室）は、常設代替電源設備である第一ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。</p>	<p>上記の中央制御室及び中央制御室待避室の居住性機能として、運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる重大事故等時においても運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えないようにすることにより、居住性を確保可能な設計とする。</p> <p>また運転員の交代を見込み、その実施のための交代要員の体制整備、及び交代時のマスク着用の手順整備を行い、運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる重大事故等時においても運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えないようにすることにより、居住性を確保可能な設計とする。</p> <p>なお、中央制御室可搬型陽圧化空調機、無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）、無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（待避室）は、常設代替電源設備である第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。</p>	<p>⑤（記載適正化）</p> <p>② （第二ガスタービン発電機の位置づけ見直し）</p>
7	3.16.1 (3)	添 3.16-3	<p>(3)運転員の著しい損傷被ばくを低減するための設備 (i) 非常用ガス処理系</p>	<p>記載無し</p>	<p>② （被ばく低減設備の追加）</p>
8	3.16.1 (5)	添 3.16-4	<p>(5)カードル式空気ボンベユニット（自主対策設備） 運転員の更なる被ばく線量低減のため、中央制御室待避室の陽圧化時間の延長を可能な設計とする。そのため、屋外に空気ボンベカードル車を配備し、屋外から空気ボンベを中央制御室待避室陽圧化装置に接続可能な設計とする。</p>	<p>(5)カードル式空気ボンベユニット 運転員の更なる被ばく線量低減として、中央制御室待避室の陽圧化時間の延長を可能とするため、空気ボンベカードル車を配備し、外部から空気ボンベを中央制御室待避室陽圧化装置に接続可能な設計とする。</p>	<p>⑤ （接続箇所表現の適正化）</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
9	3.16.1 (6)	添 3.16-4	(1)乾電池内蔵型照明及び非常用照明（自主対策設備） 運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまり監視操作を行うことができるため、必要な照度を確保する設計とする。また、チェンジングエリアにおいて身体サーベイ及び作業服の着替え等を行うことができるため、必要な照度を確保する設計とする。	(2)乾電池内蔵型照明 運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまり監視操作に必要な照度を確保する設計とする。	⑤ (チェンジング CUP説明記載 充実)
10	3.16.2.1.1	添 3.16-5	設備概要 重大事故等が発生した場合において、可搬型蓄電池内蔵型照明は、運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまり監視操作に必要な照度を確保することを目的として設置するものである。 可搬型蓄電池内蔵型照明は、常設代替交流電源設備である第一ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。 また、可搬型蓄電池内蔵型照明は、12時間以上無充電で点灯する蓄電池を内蔵し、全交流動力電源喪失発生から常設代替交流電源設備による給電が開始されるまでの間（事故発生後70分以内）、中央制御室及び中央制御室待避室の照明が消灯した場合に照明を確保する可能な設計とする。 照明を確保するための設備に関する重大事故等対処設備一覧を表3.16-1に示す。	設備概要 可搬型蓄電池内蔵型照明は、運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまり監視操作に必要な照度を確保することを目的として設置するものである。 可搬型蓄電池内蔵型照明は、常設代替交流電源設備である第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。 また、12時間以上無充電で点灯する蓄電池を内蔵し、全交流動力電源喪失発生から常設代替交流電源設備である第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機による給電が開始されるまでの間（事故発生後70分以内）、中央制御室及び中央制御室待避室の照明が消灯した場合に照明を確保する設計とする。 可搬型蓄電池内蔵型照明の重大事故等対処設備一覧を表3.16-1に示す。	② (第二ガスタービン 発電機の位置 づけ見直し) ⑤ (記載適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
11	3.16.2.1.1	添'3.16-5	<p>表3.16-1 照明を確保するための設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源（水源に関する流路、電源設備を含む）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※1}</td> <td> 常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（4kL）【可搬】 </td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 59-2 に示す。 なお、電源設備については「3.14 電源設備（設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】	附属設備	—	水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—	流路	—	注水先	—	電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（4kL）【可搬】	計装設備	—	<p>表3.16-1 照明を確保するための設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源（水源に関する流路、電源設備を含む）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※1}</td> <td> 常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 </td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 59-2 に示す。 なお、電源設備については「3.14 電源設備（設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】	附属設備	—	水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—	流路	—	注水先	—	電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	計装設備	—	② (電源設備構成見直し)
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】																																				
附属設備	—																																				
水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—																																				
流路	—																																				
注水先	—																																				
電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（16kL）【可搬】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 タンクローリ（4kL）【可搬】																																				
計装設備	—																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	可搬型蓄電池内蔵型照明【可搬】																																				
附属設備	—																																				
水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—																																				
流路	—																																				
注水先	—																																				
電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】																																				
計装設備	—																																				
12	3.16.2.1.3.1	添 3.16-6	<p>(ii)適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。 可搬型蓄電池内蔵型照明は、コントロール建屋内に保管する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合におけるコントロール建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.16-2に示す設計とする。</p>	<p>(ii)適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。 可搬型蓄電池内蔵型照明は、コントロール建屋内に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合におけるコントロール建屋内の環境条件を考慮し、以下の表3.16-2に示す設計とする。</p>	⑤ (SA設備(遮蔽)の記載適正化)																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
13	3.16.2.1.3.1	添'3.16-6	<p>表 3.16-2 想定する環境条件及び荷重条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。	風（台風）・積雪	コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表 3.16-2 想定する環境条件及び荷重条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。	風（台風）・積雪	コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	⑤ (差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計の設計記載の充実)
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。																																
風（台風）・積雪	コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	コントロール建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し治具や輪止め等により転倒防止対策を行う。																																
風（台風）・積雪	コントロール建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
14	3.16.2.1.3.2	添'3.16-12	<p>(6) アクセスルートの確保 (略)</p> <p>可搬型蓄電池内蔵型照明は、自然現象として考慮する津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、積雪、降水、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災)、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋内に保管する設計とすることで、重大事故等時においてアクセスのための必要な通路を確保可能な設計とする。</p>	<p>(6) アクセスルートの確保 (略)</p> <p>可搬型蓄電池内蔵型照明は、使用場所及び保管場所が中央制御室及び隣接する中央制御室待避室のためアクセス不要であることから対象外とする。</p>	④ (他条文(6条)との記載統一)																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	3.16.2.2.1	添'3.16-13	<p>設備概要</p> <p>居住性を確保するための設備は、炉心の著しい損傷が発生した場合においても、居住性を確保するための設備を設置または保管することで、運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまることができる設計とする。</p> <p>本設備は、「中央制御室遮蔽」、「中央制御室可搬型陽圧化空調機」、「中央制御室待避室遮蔽（常設）」、「中央制御室待避室遮蔽（可搬型）」、「中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンプ）」、「差圧計」、「酸素濃度・二酸化炭素濃度計」、「無線連絡設備（常設）」、「衛星電話設備（常設）」及び「データ表示装置（待避室）」等から構成し、運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる事故収束に成功した事故シーケンスにおいても、運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p> <p>居住性を確保するための設備の重大事故等対処設備一覧を表3.16-5に、遮蔽及び換気設備の系統概略図を図3.16-1に、無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）及びデータ表示装置（待避室）の系統概略図を図3.16-2に示す。</p>	<p>設備概要</p> <p>居住性を確保するための設備は、炉心の著しい損傷が発生した場合においても運転員が中央制御室及び中央制御室待避室にとどまることを目的として設置するものである。</p> <p>本設備は、「中央制御室遮蔽」、「中央制御室可搬型陽圧化空調機」、「中央制御室待避室遮蔽」、「中央制御室待避室陽圧化装置」、「差圧計」、「酸素濃度・二酸化炭素濃度計」、「無線連絡設備（常設）」、「衛星電話設備（常設）」、「無線連絡設備（常設）（待避室）」、「衛星電話設備（常設）（待避室）」及び「データ表示装置（待避室）」等から構成し、運転員の被ばく線量が最も厳しくなる炉心の著しい損傷が発生した場合においても、運転員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p> <p>居住性を確保するための設備の重大事故等対処設備一覧を表3.16-5に、遮蔽及び換気設備の系統概略図を図3.16-1に、無線連絡設備（常設）、衛星電話設備（常設）、無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（待避室）の系統概略図を図3.16-2に示す。</p>	<p>② (設備分類変更 (居住性→通信 連絡)に伴う、設 備名称変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
16	3.16.2.2.1	添'3.16-13	<p>さらに、炉心の著しい損傷後に格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルーム通過による運転員の被ばくを低減するため、中央制御室内に中央制御室待避室を設置する設計とする。中央制御室待避室は、中央制御室待避室遮蔽に囲まれた気密性を有する空間を、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）により陽圧化可能な設計とする。</p> <p>中央制御室待避室は、コントロール建屋と一体のコンクリート構造の中央制御室待避室遮蔽（常設）と、可搬型である中央制御室待避室遮蔽（可搬型）により必要な遮蔽厚さを確保する設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置は中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）及び中央制御室待避室陽圧化装置（配管・弁）から構成され、中央制御室待避室を、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）の空気により陽圧化することで外気の流入を一定時間完全に遮断することが可能な設計とする。</p>	<p>さらに、炉心の著しい損傷後に格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルームの影響による運転員の被ばくを低減するため、中央制御室内に中央制御室待避室を設置する。中央制御室待避室は、中央制御室待避室遮蔽に囲まれた気密性を有する空間を、中央制御室待避室陽圧化装置により陽圧化可能な設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽は、コントロール建屋と一体のコンクリート構造の常設遮蔽と、重大事故等時において必要な遮蔽厚さを確保する設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置は可搬型の中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）及び常設の中央制御室待避室陽圧化装置（配管・弁）から構成され、中央制御室待避室遮蔽によって囲まれた気密空間を、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）の空気により陽圧化することで一定時間外気から完全に遮断することが可能である。</p> <p>また、中央制御室待避室は、入口扉を通常時開運用とすることにより、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）による陽圧化時以外においては、中央制御室と同じバウンダリ条件となる設計とする。</p>	<p>⑤ (SA設備(遮蔽)の記載適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
17	3.16.2.2.1	添'3.16-14	<p>(2) 差圧計，酸素濃度・二酸化炭素濃度計 差圧計は，重大事故等時において中央制御室可搬型陽圧化空調機を使用する場合，また炉心の著しい損傷が発生した場合において格納容器圧力逃がし装置を作動させる際，中央制御室待避室陽圧化装置により陽圧化し，外気の流入を一定時間完全に遮断する場合，コントロール建屋と中央制御室との間の差圧を把握可能な設計とする。また，コントロール建屋と中央制御室待避室との間の差圧を把握可能な設計とする。</p> <p>また，酸素濃度・二酸化炭素濃度計は，重大事故等時において中央制御室可搬型陽圧化空調機を使用する場合，中央制御室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握可能な設計とする。</p> <p>また，酸素濃度・二酸化炭素濃度計は，格納容器圧力逃がし装置を作動させる際，陽圧化装置により外気の流入を一定時間完全に遮断する場合，中央制御室待避室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握可能な設計とする。</p>	<p>(3) 差圧計，酸素濃度・二酸化炭素濃度計 差圧計は，重大事故等時において中央制御室可搬型陽圧化空調機を使用する場合，さらに炉心の著しい損傷が発生した場合において格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルームの影響による運転員の被ばくを低減するため，中央制御室待避室陽圧化装置により陽圧化し，外気の流入を一定時間完全に遮断する場合に，コントロール建屋と中央制御室との間が陽圧化に必要な差圧を確保できていること，及びコントロール建屋と中央制御室待避室との間が陽圧化に必要な差圧を確保できていることを把握できる設計とする。</p> <p>また，酸素濃度・二酸化炭素濃度計は，重大事故等時において中央制御室可搬型陽圧化空調機を使用する場合，さらに重大事故発生後の格納容器圧力逃がし装置を作動させる際のプルームの影響による運転員の被ばくを低減するため，中央制御室待避室を陽圧化装置により陽圧化し，外気の流入を一定時間完全に遮断する場合に，室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できる設計とする。</p>	<p>⑤ (差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計の設計記載の充実)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
18	3.16.2.2.1	添'3.16-15	<p>表 3.16-5 居住性を確保するための設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源(水源に関する流路、電源設備を含む)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>流路(伝送路)</td> <td>中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※1}</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 59-2 に示す。</p> <p>なお、電源設備の適合性については「3.14 電源設備（設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す欄）」にて示す。 また、無線連絡設備（常設）及び衛星電話設備（常設）の適合性については「3.19 通信連絡を行うために必要な設備（設置許可基準規則第 62 条に対する設計方針を示す欄）」にて示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】	附属設備	-	水源(水源に関する流路、電源設備を含む)	-	流路(伝送路)	中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】	注水先	-	電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】	計装設備	-	<p>表 3.16-5 居住性を確保するための設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 無線連絡設備(常設)(待避室)【常設】 衛星電話設備(常設)(待避室)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源(水源に関する流路、電源設備を含む)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>流路(伝送路)</td> <td>中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※1}</td> <td>常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 59-2 に示す。</p> <p>なお、電源設備については「3.14 電源設備（設置許可基準規則第 57 条に対する設計方針を示す欄）」で示す。 なお、無線連絡設備（常設）及び衛星電話設備（常設）の適合性については「3.19 通信連絡を行うために必要な設備（設置許可基準規則第 62 条に対する設計方針を示す欄）」にて示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 無線連絡設備(常設)(待避室)【常設】 衛星電話設備(常設)(待避室)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】	附属設備	-	水源(水源に関する流路、電源設備を含む)	-	流路(伝送路)	中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】	注水先	-	電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	計装設備	-	<p>② (第二ガスタービン発電機の位置づけ見直し)</p> <p>⑤ (記載適正化)</p>
設備区分	設備名																																				
主要設備	中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】																																				
附属設備	-																																				
水源(水源に関する流路、電源設備を含む)	-																																				
流路(伝送路)	中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】																																				
注水先	-																																				
電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ(16kL)【可搬】																																				
計装設備	-																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	中央制御室遮断【常設】 中央制御室待避室遮断(常設)【常設】 中央制御室待避室遮断(可搬型)【可搬】 中央制御室可搬型隣圧化空調機【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(空気ポンプ)【可搬】 無線連絡設備(常設)【常設】 衛星電話設備(常設)【常設】 無線連絡設備(常設)(待避室)【常設】 衛星電話設備(常設)(待避室)【常設】 データ表示装置(待避室)【常設】 差圧計【可搬】 酸素濃度・二酸化炭素濃度計【可搬】																																				
附属設備	-																																				
水源(水源に関する流路、電源設備を含む)	-																																				
流路(伝送路)	中央制御室可搬型隣圧化空調機用仮設ダクト【可搬】 中央制御室待避室隣圧化装置(配管・弁)【常設】 中央制御室換気空調系給排気隔離弁(MCR外気取入ダンプ, MCR非常用外気取入ダンプ, MCR排気ダンプ)【常設】 中央制御室換気空調系ダクト(MCR外気取入ダクト, MCR排気ダクト)【常設】 無線連絡設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】 衛星電話設備(常設)(屋外アンテナ)【常設】																																				
注水先	-																																				
電源設備 ^{※1}	常設代替交流電源設備 第一ガスタービン発電機【常設】及び第二ガスタービン発電機【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料タンク【常設】 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】及び第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】																																				
計装設備	-																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
19	3.16.2.2.1	添 3.16-16	<p>図 3.16-1 送風及び換気設備 系統概要図</p>	<p>図 3.16-1 送風及び換気設備 系統概要図</p>	⑤ (記載適正化)
20	3.16.2.2.1	添 3.16-17	<p>図 3.16-2 無線連絡設備 (常設)、緊急電話設備 (常設) 及びデータ表示装置 (待避室) 系統概要図</p> <p>添 3.16-17</p>	<p>図 3.16-2 無線連絡設備 (常設) (待避室)、緊急電話設備 (常設) (待避室) 及びデータ表示装置 (待避室) 系統概要図</p>	② (免震重要棟内 緊急時対策所記 載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	3.16.2.2.2	添 3.16-19	<p>(5) 差圧計 個数 : 2 (予備1) 使用場所 : コントロール建屋地上2階 保管場所 : コントロール建屋地上2階</p> <p>(6) 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 個数 : 3 (予備1) 使用場所 : コントロール建屋地上2階 保管場所 : コントロール建屋地上2階</p> <p>(7) データ表示装置 (待避室) 個数 : 2 取付箇所 : コントロール建屋地上2階</p>	<p>(5) 無線連絡設備 (常設) (待避室) 設備名 : 無線連絡設備 (常設) (待避室) 使用回線 : 無線系回線 個数 : 1 取付箇所 : コントロール建屋地上2階</p> <p>(6) 衛星電話設備 (常設) (待避室) 設備名 : 衛星電話設備 (常設) (待避室) 使用回線 : 衛星系回線 個数 : 1 取付箇所 : コントロール建屋地上2階</p>	<p>⑤ (43条共-1記載との統一)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
22	3.16.2.2.3. 1 (2)	添 3.16-23	<p>データ表示装置（待避室）は、6号及び7号炉のパラメータを監視するにあたり、重大事故等が発生した場合、設置場所であるコントロール建屋中央制御室待避室において、一般のコンピュータと同様に電源スイッチを操作することにより、確実に監視を行うことが可能な設計とする。</p> <p>酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、1台で酸素濃度計と二酸化炭素濃度計の役割を担っており、付属の切り替えスイッチを操作することにより、容易かつ確実に切り替えが可能な設計とする。</p> <p>酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、人力による持ち運びができるとともに、必要により保管場所である中央制御室内にて保管ケースによる固縛等により転倒対策が可能な設計とする。</p> <p>差圧計は汎用の接続コネクタを用いて接続することにより、容易かつ確実に接続し、指示を監視することが可能な設計とする。</p> <p>差圧計は、人力による持ち運びができるとともに、必要により保管場所である中央制御室内にて保管ケースによる固縛等により転倒対策が可能な設計とする。</p>	<p>無線連絡設備（常設）（待避室）は、通信連絡を行うための操作をするにあたり、運転員の操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また、重大事故等が発生した場合、設置場所であるコントロール建屋2階中央制御室において電源スイッチを入れ（スイッチ操作）、切り替え（スイッチ操作）を行う。</p> <p>無線連絡設備（常設）（待避室）は、中央制御室待避室で使用する場合において、通信連絡を行うための操作をするにあたり、運転員の操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また、通話ボタンを押す（スイッチ操作）ことにより通信連絡が可能であり、特別な技量を要することなく、通信連絡をする必要のある場所と確実に通信連絡が可能な設計とする。</p> <p>衛星電話設備（常設）（待避室）は、中央制御室待避室で使用する場合において、通信連絡を行うための操作をするにあたり、運転員の操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また、重大事故等が発生した場合、設置場所であるコントロール建屋2階中央制御室待避室において、一般の電話機と同様の操作（スイッチ操作）することにより通信連絡が可能であり、特別な技量を要することなく、通信連絡をする必要のある場所と確実に通信連絡が可能な設計とする。</p> <p>データ表示装置（待避室）は、常時表示が可能な設計とする。</p> <p>データ表示装置（待避室）は、電源、通信ケーブルは接続されており、各パラメータを監視するにあたり、運転員及の操作性を考慮して十分な空間を確保する。重大事故等が発生した場合において、設置場所であるコントロール建屋中央制御室待避室において、一般のコンピュータと同様に電源スイッチを入れ（スイッチ操作）、操作（スイッチ操作）することにより、確実に各パラメータを監視することが可能な設計とする。</p> <p>酸素濃度・二酸化炭素濃度計の切替操作は、想定される重大事故等が発生した場合において、中央制御室内、中央制御室待避室内の環境条件（被ばく影響等）を考慮の上、中央制御室内にて操作可能な設計とする。操作場所である中央制御室内、中央制御室待避室内は、十分な操作空間を確保する。</p>	<p>⑤ (酸素濃度・二酸化炭素濃度計機能の記載適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
23	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-25	<p>(3)運転員の著しい損傷被ばくを低減するための設備 (i) 非常用ガス処理系</p> <p>重大事故等時に原子炉格納容器から原子炉建屋内に放射性物質を含む気体が発生漏えいした場合においても運転員がとどまるための自主対策、運転員の被ばくを低減するため、原子炉建屋原子炉区域内を負圧に維持するとともに、主排気筒（内筒）を通して原子炉建屋外に排気する重大事故等対処設備として、以下を整備する非常用ガス処理系を設置する設計とする。なお、非常用ガス処理系を用いることで、緊急時対策要員の現場作業における被ばくを低減することも可能である。</p> <p>非常用ガス処理系は、非常用ガス処理系排風機、電源設備、計測制御装置、流路である非常用ガス処理系乾燥装置、非常用ガス処理系フィルタ装置、非常用ガス処理系配管及び弁並びに主排気筒（内筒）から構成される設計とする。非常用ガス処理系は、非常用ガス処理系排風機により原子炉建屋原子炉区域内を負圧に維持し、非常用ガス処理系乾燥装置、非常用ガス処理系フィルタ装置のよう素用チャコール・フィルタ及び高性能粒子フィルタを通すため、放射性物質除去能力が期待できるが、本システムを重大事故等時に使用する場合には、流入する気体の温度が非常用ガス処理系フィルタ装置の設計条件を上回る条件になることから、放射性物質除去能力が低下する可能性がある。したがって、被ばく評価にあたっては保守的にフィルタ装置の放射性物質の除去能力には期待しないこととし、非常用ガス処理系フィルタ装置は、流路としてのみ扱うものとする。</p>	記載無し	② (被ばく低減設備の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																										
24	3.16.2.2.3.1(3)	添 3.16-26	<p>表 3.16-10 中央制御室可換型陽圧化空調機の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>ブロウユニット単体の運転性能の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>ブロウユニット単体の運転性能の確認 中央制御室の陽圧化試験</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認	外観確認	中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認	停止中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 中央制御室の陽圧化試験	外観確認	中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認	<p>表 3.16-10 中央制御室可換型陽圧化空調機及び中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>各機器^(*)の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認 中央制御室の陽圧化試験^(*) 中央制御室待避室の陽圧化試験</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>各機器^(*)の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*) 各機器とは、中央制御室可換型陽圧化空調機、及び中央制御室待避室空気ポンペ陽圧化装置とする。</p>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認	外観検査	各機器 ^(*) の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認	停止中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認 中央制御室の陽圧化試験 ^(*) 中央制御室待避室の陽圧化試験	外観検査	各機器 ^(*) の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認	⑤ (設備名称記載の統一)
発電用原子炉の状態	項目	内容																													
運転中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認																													
	外観確認	中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認																													
停止中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 中央制御室の陽圧化試験																													
	外観確認	中央制御室可換型陽圧化空調機の表面状態の外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認																													
発電用原子炉の状態	項目	内容																													
運転中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認																													
	外観検査	各機器 ^(*) の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認																													
停止中	機能・性能試験	ブロウユニット単体の運転性能の確認 給排気隔離弁動作の確認 空気ポンペ規定圧力の確認 中央制御室の陽圧化試験 ^(*) 中央制御室待避室の陽圧化試験																													
	外観検査	各機器 ^(*) の表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認																													
25	3.16.2.2.3.1(3)	添 3.16-26	<p>中央制御室可搬型陽圧化装置（空気ポンペ）は、表3.16-11に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）は、機能・性能試験として空気ポンペ残圧の確認により空気ポンペ容量確認を行えとともに、外観検査として目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等がないことについて外観確認が可能な設計とする。</p>	記載無し	⑤ (陽圧化装置の記載充実)																										
26	3.16.2.2.3.1(3)	添 3.16-26	<p>表 3.16-11 中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンペ残圧の確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>空気ポンペ残圧の確認 中央制御室待避室の陽圧化試験</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中	機能・性能試験	空気ポンペ残圧の確認	外観確認	中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認	停止中	機能・性能試験	空気ポンペ残圧の確認 中央制御室待避室の陽圧化試験	外観確認	中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認	記載無し	⑤ (陽圧化装置の記載充実)													
発電用原子炉の状態	項目	内容																													
運転中	機能・性能試験	空気ポンペ残圧の確認																													
	外観確認	中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認																													
停止中	機能・性能試験	空気ポンペ残圧の確認 中央制御室待避室の陽圧化試験																													
	外観確認	中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンペ）の表面状態の外観の確認																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由								
27	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-26	また、中央制御室及び中央制御室待避室は、発電用原子炉停止中に機能・性能試験が可能な設計とする。 中央制御室及び中央制御室待避室は、機能・性能試験として、中央制御室換気空調系バウンダリ及び中央制御室待避室内を陽圧化した状態において差圧測定を行うことにより、気密性能確認が可能な設計とする。	記載無し	⑤ (中央制御室待避室の記載充実)								
28	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-26	記載無し	無線連絡設備（常設）（待避室）及び衛星電話設備（常設）（待避室）は、表3.16-11に示すとおり、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験として通話通信の確認が可能な設計とする。 また、外観検査として外観の確認が可能な設計とする。	② (他条文(62条)への記載移管)								
29	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-26	記載無し	表 3.16-11 無線連絡設備（常設）（待避室）及び、 衛星電話設備（常設）（待避室）の試験及び検査。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発電用原子炉の 状態</th> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は 停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>通話通信の確認</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>確認外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(59-5-5~10)</p>	発電用原子炉の 状態	項目	内容	運転中又は 停止中	機能・性能試験	通話通信の確認	外観検査	確認外観の確認	② (同上)
発電用原子炉の 状態	項目	内容											
運転中又は 停止中	機能・性能試験	通話通信の確認											
	外観検査	確認外観の確認											
30	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-27	差圧計は、表3.16-12に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 差圧計は、機能・性能試験として計器単品での点検・校正が可能であり、また中央制御室換気空調系バウンダリ及び中央制御室待避室の陽圧化機能確認時に合わせて指示値の確認が可能な設計とする。また、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等がないことについて外観確認を行うことが可能な設計とする。 (59-5)	差圧計は、表3.16-13に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験として陽圧化機能確認時に合わせて指示値等の目視確認を行えるとともに、外観検査として目視により性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ等がないことについての確認を行うことが可能な設計とする。 (59-5-2, 3)	② (差圧計単品の試験追記)								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

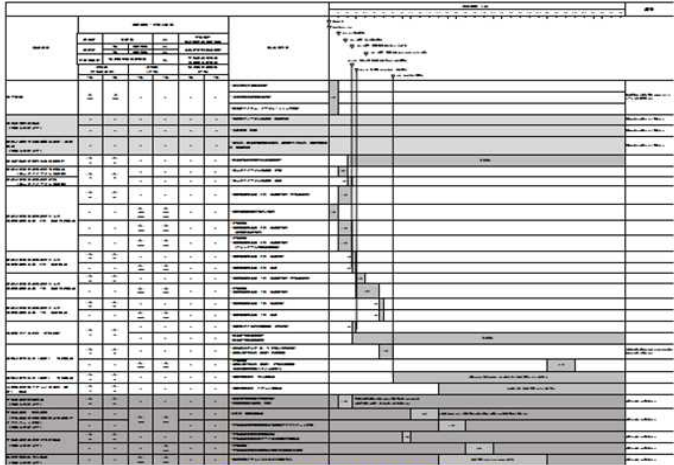
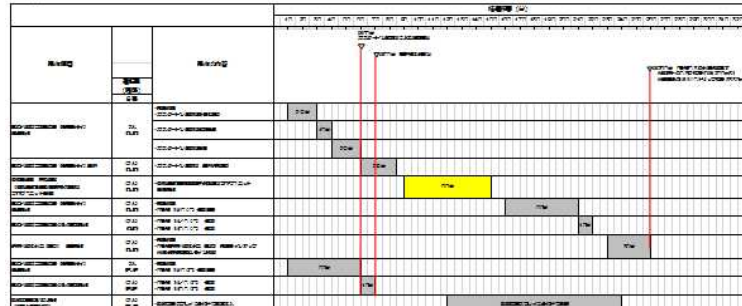
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
31	3.16.2.2.3. 1 (3)	添 3.16-27	データ表示装置（待避室）は、表3.16-14に示すとおり、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験及び外観の確認が可能な設計とする。 データ表示装置（待避室）は、機能・性能試験としてデータの表示機能の確認が可能な設計とする。また、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等がないことについて外観確認が可能な設計とする。	データ表示装置（待避室）は、表3.16-12に示すとおり、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験として機能（データの表示）確認が可能な設計とする。 また、外観検査として外観の確認が可能な設計とする。	⑤ (データ表示装置の記載充実)
32	3.16.2.2.3. 1 (4)	添 3.16-28	中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽は、コントロール建屋と一体のコンクリート構造とする。本来の用途である遮蔽以外の用途として使用することはなく、中央制御室及び中央制御室待避室の使用にあたり、重大事故等時において、切り替えることなく使用できる設計とする。 中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）、差圧計、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及びデータ表示装置（待避室）は通常時に使用する設備ではなく、重大事故等時において、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。 中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）の空気を供給するために必要な操作対象弁（空気ポンベ元弁、空気給気第一弁及び第二弁）は、重大事故等時において、現場及び中央制御室待避室での弁操作により、通常時の隔離された系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成に速やかに切替えが可能な設計とする。 中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）は、中央制御室の近傍に設置することで重大事故等時において、速やかな切替え操作が可能な設計とする。	中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽は、コントロール建屋と一体構造とする。本来の用途である遮蔽以外の用途として使用することはなく、中央制御室及び中央制御室待避室の使用にあたり切り替えが不要な設計とする。 中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。そのため中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計について、切り替え操作が不要な設計とする。 中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）は、重大事故等に対処するために切り替え操作が必要となることから、中央制御室の近傍に設置し、ハンドル操作にて速やかに切り替えが可能な設計とする。また、操作を行うために要する時間は10分程度を想定する。	② (陽圧化装置(空気ポンベ)の操作性記載追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
33	3.16.2.2.3.1 (4)	添 3.16-28	記載無し	<p>無線連絡設備（常設）（待避室）は、本来の用途以外の用途として使用しないが、中央制御室待避室で使用する場合、切り替えが可能な設計とする。</p> <p>中央制御室における無線連絡設備（常設）との切り替えについては、運転員が炉心の著しい損傷が発生した場合において、待避室で使用する場合、切り替えスイッチを操作することにより、速やかに切り替えが可能な設計とする。また、切り替えは、運転員等1名で行い、約5分で切り替えが可能な設計とする。</p> <p>(59-4-7, 8)</p> <p>衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（待避室）は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。そのため衛星電話設備（常設）（待避室）、データ表示装置（待避室）について、切り替え操作は発生しない。</p>	② (他条文(62条)への記載移管)
34	3.16.2.2.3.1 (4)	添 3.16-29	 <p>図 3.16-3 「大LOCA+注水機能喪失+全交流動力電源喪失」シーケンス 事故後を監視するための影響及び影響の追放を監視するための影響のタイムチャート</p> <p>※「商用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」の4.15で示すタイムチャート</p>	 <p>図 3.16-8 「大LOCA+注水機能喪失+全交流動力電源喪失」(代替循環冷却を使用しない場合) シーケンス(6号炉)の可換型陽圧化空調機運転のタイムチャート</p> <p>※「商用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について(個別手順)の4.15で示すタイムチャート</p>	② (被ばく低減設備の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
35	3.16.2.2.3.1(4)	添 3.16-29	記載無し	<p>図 3.16-4 「大 LOCA+注水機能喪失+全交流動力電源喪失」(代替循環冷却を使用しない場合) シーケンス (7号炉) の可搬型臨圧化空調機運転のタイムチャート</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について(個別手順)の 1.16 で示すタイムチャート</p>	⑤ (図3.16-3への内容取り込み)
36	3.16.2.2.3.1(4)	添 3.16-29	記載無し	<p>図 3.16-5 無線連絡設備(常設)(待避室)の待避室側への切り替えタイムチャート</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について(個別手順)の 1.16 で示すタイムチャート</p>	③ (他条文(62条)への記載移管)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗・設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	3.16.2.2.3. 1 (5)	添 3.16-30	<p>中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽（常設）は、コントロール建屋と一体のコンクリート構造とし、倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンプ）、差圧計、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及びデータ表示装置（待避室）は、他の設備から独立して使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室可搬型陽圧化空調機は、使用場所及び保管場所であるコントロール建屋内にて架台への固定等により転倒防止対策が可能な設計とする。</p> <p>中央制御室可搬型陽圧化空調機のブロワ羽根は回転軸との一体型であるが、中央制御室可搬型陽圧化空調機の運転中に羽根が破損したとしても、羽根がブロワケーシング内にとどまり、飛散物となって他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室換気空調系は給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）の閉操作によって、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成及び系統隔離が可能とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンプ）、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、固定することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(59-3, 59-8)</p>	<p>中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽（常設）は、コントロール建屋と一体構造とし、倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）は、金具等を用いてコントロール建屋壁面に固定して保管することで、倒壊等により他の設備や運転員の活動及びアクセスに悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンプ）、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。また、中央制御室可搬型陽圧化空調機のブロワ羽根は回転軸との一体型であるが、中央制御室可搬型陽圧化空調機の運転中に羽根が破損したとしても、羽根がブロワケーシング内に留まり、飛散しない設計とする。</p> <p>中央制御室換気空調系は給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）の閉操作によって、通常時の系統構成から重大事故等対処設備としての系統構成及び系統隔離が可能とすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>無線連絡設備（常設）（待避室）は通常時は使用しない系統であり、専用のケーブル及び屋外アンテナを用いることにより、送受信器及び電力保安通信用電話設備から独立し単独で使用可能であることから、送受信器及び電力保安通信用電話設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>衛星電話設備（常設）（待避室）は、通常時は使用しない系統であり、専用のケーブル及び屋外アンテナを用いることにより、送受信器及び電力保安通信用電話設備から独立し単独で使用可能であることから、送受信器及び電力保安通信用電話設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>データ表示装置（待避室）は、通常時は使用しない系統であり、専用のケーブルを用いることにより、他の設備から独立して単独で使用可能なことにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(59-3-3～7, 59-8-2)</p>	<p>②適合性説明設備の充実</p> <p>②(SA設備(遮蔽)の規制適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
38	3.16.2.2.3. 1 (6)	添 3.16-31	<p>重大事故等時に操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.16-15に示す。</p> <p>中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽（常設）は、コントロール建屋と一体のコンクリート構造とし、操作を必要としない設計とする。中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）、差圧計、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及びデータ表示装置（待避室）は、コントロール建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件及び荷重条件を考慮した設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）は、コントロール建屋内及び廃棄物処理建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件及び荷重条件を考慮した設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）、中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）、差圧計、酸素濃度・二酸化炭素濃度計及びデータ表示装置（待避室）の接続及び操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(59-3, 59-8)</p>	<p>重大事故等時に操作が必要な機器の設置場所、操作場所を表3.16-15に示す。</p> <p>中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽は、コントロール建屋と一体構造とし、重大事故等時に操作及び作業を必要としない設計とする。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）は、コントロール建屋内の中央制御室待避室壁面に沿って設置し、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設計とする。</p> <p>中央制御室可搬型陽圧化空調機、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所であるコントロール建屋内に設置し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ポンベ）の空気を供給するために必要な操作対象弁（空気ポンベ元弁、空気供給第一弁及び第二弁）は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所であるコントロール建屋内及び廃棄物処理建屋内に設置し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>中央制御室換気空調系の給排気隔離弁（MCR排気ダンパ、MCR外気取入ダンパ、MCR非常用外気取入ダンパ）は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所であるコントロール建屋内に設置することで、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（待避室）は、コントロール建屋内に設置し、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所であるコントロール建屋内で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(59-3-2～7, 11, 14, 59-8-2)</p>	<p>②適合性説明 設備の充実</p> <p>②(SA設備(遮蔽)の規制適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																								
39	3.16.2.2.3. 1 (6)	添 3.16-32	<p>表 3.16-15 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央制御室可搬型降圧化・空調機</td> <td>コントロール室 地上1階</td> <td>コントロール室 地上1階</td> </tr> <tr> <td>差圧計</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度・二酸化炭素濃度計</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>データ表示装置（待機室）</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>MCR 排気ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>MCR 外気取入ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>MCR 非常用外気取入ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁</td> <td>コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階</td> <td>コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁</td> <td>コントロール室地上2階</td> <td>コントロール室地上2階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁</td> <td>コントロール室地上2階</td> <td>コントロール室地上2階</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	中央制御室可搬型降圧化・空調機	コントロール室 地上1階	コントロール室 地上1階	差圧計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	酸素濃度・二酸化炭素濃度計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室	データ表示装置（待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	MCR 排気ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	MCR 外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	MCR 非常用外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階	<p>表 3.16-15 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央制御室可搬型降圧化・空調機</td> <td>コントロール室 地上1階</td> <td>コントロール室 地上1階</td> </tr> <tr> <td>差圧計</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度・二酸化炭素濃度計</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>データ表示装置（待機室）</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>無須送給設備（常設） （待機室）</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備（常設） （待機室）</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> <td>コントロール室 地上2階 中央制御室待機室</td> </tr> <tr> <td>MCR 排気ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>MCR 外気取入ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>MCR 非常用外気取入ダンパ</td> <td>コントロール室 地上2階</td> <td>コントロール室 地上2階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁</td> <td>コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階</td> <td>コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁</td> <td>コントロール室地上2階</td> <td>コントロール室地上2階</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁</td> <td>コントロール室地上2階</td> <td>コントロール室地上2階</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	中央制御室可搬型降圧化・空調機	コントロール室 地上1階	コントロール室 地上1階	差圧計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	酸素濃度・二酸化炭素濃度計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室	データ表示装置（待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	無須送給設備（常設） （待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	衛星電話設備（常設） （待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	MCR 排気ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	MCR 外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	MCR 非常用外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階	中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階	<p>② (他条文(62条) への記載移管)</p>
機器名称	設置場所	操作場所																																																																											
中央制御室可搬型降圧化・空調機	コントロール室 地上1階	コントロール室 地上1階																																																																											
差圧計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
酸素濃度・二酸化炭素濃度計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室																																																																											
データ表示装置（待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
MCR 排気ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
MCR 外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
MCR 非常用外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階																																																																											
機器名称	設置場所	操作場所																																																																											
中央制御室可搬型降圧化・空調機	コントロール室 地上1階	コントロール室 地上1階																																																																											
差圧計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
酸素濃度・二酸化炭素濃度計	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階 中央制御室 及び中央制御室待機室																																																																											
データ表示装置（待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
無須送給設備（常設） （待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
衛星電話設備（常設） （待機室）	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室	コントロール室 地上2階 中央制御室待機室																																																																											
MCR 排気ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
MCR 外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
MCR 非常用外気取入ダンパ	コントロール室 地上2階	コントロール室 地上2階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気ポンプ元弁	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階	コントロール室地上1階及び 医薬物処理室地上1階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系一弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階																																																																											
中央制御室待機室・降圧化装置・空気供給系二弁	コントロール室地上2階	コントロール室地上2階																																																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
40	3.16.2.2.3. 2 (3)	添 3.16-34	<p>中央制御室遮蔽及び中央制御室待避室遮蔽（常設）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、降水、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋内に設置する設計とする。</p> <p>データ表示装置（待避室）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、降水、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋地上2階中央制御室待避室内に設置する設計とする。</p> <p>データ表示装置（待避室）の多様性を表3.16-16に示す。</p>	<p>中央制御室遮蔽、中央制御室待避室遮蔽（常設）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋内に設置する。</p> <p>無線連絡設備（常設）（待避室）、衛星電話設備（常設）（待避室）及びデータ表示装置（待避室）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋地上2階中央制御室待避室内に設置する。</p> <p>また、共通要因によって、同様の機能を持つ設計基準事故対処施設である送受話器、電力保安通信用電話設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、地上2階に設置し、表3.16-16及び表3.16-17で示すとおり、多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする。</p>	<p>② (他条文(6条)との記載統一)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																									
41	3.16.2.2.3. 2 (3)	添 3.16-34	記載無し	<p>表 3.16-16 無線連絡設備 (常設) (待避室) 及び, 衛星電話設備 (常設) (待避室) の多様性。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">設計基準事象対象施設</th> <th>防止でも緩和でもない, 重大事象対象施設</th> </tr> <tr> <th>送受設備</th> <th>電力保安用途用 電話設備</th> <th>無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ</td> <td>不要</td> <td>不要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>不要</td> <td>不要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>駆動用空気</td> <td>不要</td> <td>不要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>潤滑油</td> <td>不要</td> <td>不要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>不要</td> <td>不要</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動電源</td> <td>充電器, (蓄電池)</td> <td>非常用ディーゼル 発電機</td> <td>充電器, (蓄電池)</td> </tr> <tr> <td>制御装置, 地上 1 階, 地下 2 階</td> <td>原子炉建屋, 地上 1 階</td> <td>常設代替交流電源設備, (第一ガスタービン発電機及 び第二ガスタービン発電機), 屋外, (7 号炉タービン), 建屋南側及び廃液側常設代替 交流電源設備設置場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要設備 設置場所</td> <td>制御装置</td> <td>交換機</td> <td>無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)</td> </tr> <tr> <td>コントロール建屋, 地下 2 階</td> <td>廃棄物処理建屋, 地下 1 階 (6 号炉), 地上 1 階 (7 号炉)</td> <td>コントロール建屋, 地上 2 階</td> </tr> </tbody> </table> <p>(59-2-2, 3, 59-3-11~13)</p>	項目	設計基準事象対象施設		防止でも緩和でもない, 重大事象対象施設	送受設備	電力保安用途用 電話設備	無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)	ポンプ	不要	不要	不要	水源	不要	不要	不要	駆動用空気	不要	不要	不要	潤滑油	不要	不要	不要	冷却水	不要	不要	不要	駆動電源	充電器, (蓄電池)	非常用ディーゼル 発電機	充電器, (蓄電池)	制御装置, 地上 1 階, 地下 2 階	原子炉建屋, 地上 1 階	常設代替交流電源設備, (第一ガスタービン発電機及 び第二ガスタービン発電機), 屋外, (7 号炉タービン), 建屋南側及び廃液側常設代替 交流電源設備設置場所	主要設備 設置場所	制御装置	交換機	無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)	コントロール建屋, 地下 2 階	廃棄物処理建屋, 地下 1 階 (6 号炉), 地上 1 階 (7 号炉)	コントロール建屋, 地上 2 階	② (他条文(62条) への記載移管)
項目	設計基準事象対象施設		防止でも緩和でもない, 重大事象対象施設																																											
	送受設備	電力保安用途用 電話設備	無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)																																											
ポンプ	不要	不要	不要																																											
水源	不要	不要	不要																																											
駆動用空気	不要	不要	不要																																											
潤滑油	不要	不要	不要																																											
冷却水	不要	不要	不要																																											
駆動電源	充電器, (蓄電池)	非常用ディーゼル 発電機	充電器, (蓄電池)																																											
	制御装置, 地上 1 階, 地下 2 階	原子炉建屋, 地上 1 階	常設代替交流電源設備, (第一ガスタービン発電機及 び第二ガスタービン発電機), 屋外, (7 号炉タービン), 建屋南側及び廃液側常設代替 交流電源設備設置場所																																											
主要設備 設置場所	制御装置	交換機	無線連絡設備, (常設) (待避室), 衛星電話設備, (常設) (待避室)																																											
	コントロール建屋, 地下 2 階	廃棄物処理建屋, 地下 1 階 (6 号炉), 地上 1 階 (7 号炉)	コントロール建屋, 地上 2 階																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
42	3.16.2.2.3. 2 (3)	添 3.16-34	記載無し	<p>表 3.16-17 無線連絡設備（常設）（待避室）及び、 衛星電話設備（常設）（待避室）の頑健性、 防止でも緩和でもない重大事故対処設備、¹⁾ 無線連絡設備（常設）（待避室）及び衛星電話設備（常設）（待避室）、¹⁾ 無線連絡設備（常設）（待避室）及び衛星電話設備（常設）（待避室）は、 耐震性を有するコントロール建屋に設置し、使用する屋外アンテナ及び屋 外アンテナまでの有線（ケーブル）を含め、基準地震動 S_s で機能維持で きる設計とすることで、基準地震動 S_s が共通要因となり必要な通信連絡 の機能維持できる設計とする。¹⁾ (59-3-11)</p>	② (同上)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
43	3.16.2.2.3. 3 (6)	添 3.16-39	<p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、使用場所及び保管場所が中央制御室及び中央制御室待避室近傍のため、重大事故等が発生した場合において確実なアクセスが可能な設計とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ボンベ）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、降水、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋内及び廃棄物処理建屋内に保管し、地震時の迂回路も考慮して複数の屋内アクセスルートを確認する設計とする。</p> <p>なお、溢水等に対しては、アクセスルートでの被ばくを考慮した放射線防護具を着用することとし、運用については、「技術的能力説明資料 1.0重大事故等対策における共通事項」に、火災防護については、「2.2 火災による損傷の防止（設置許可基準規則第41条に対する設計方針を示す章）」に示す。(59-3, 59-8)</p>	<p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>中央制御室待避室遮蔽（可搬型）、中央制御室可搬型陽圧化空調機、差圧計及び酸素濃度・二酸化炭素濃度計は、使用場所及び保管場所が中央制御室及び隣接する中央制御室待避室近傍のためアクセス不要であることから対象外とする。</p> <p>中央制御室待避室陽圧化装置（空気ボンベ）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られたコントロール建屋内及び廃棄物処理建屋内に確保し、地震時の迂回路も考慮して複数の屋内アクセスルートを確認する設計とする。</p> <p>なお、溢水等に対しては、アクセスルートでの被ばくを考慮した放射線防護具を着用することとし、運用については、「技術的能力説明資料 1.0重大事故等対策における共通事項」に、火災防護については、「2.2 火災による損傷の防止（設置許可基準規則第41条に対する設計方針を示す章）」に示す。 (59-3-3～7, 59-8-2)</p>	<p>⑤ (アクセス性記載の適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	3.16.2.3.1 ～ 3.16.2.3.3. 2 (1)	添 3.16-42 ～51	3.16.2.3 非常用ガス処理系 3.16.2.3.1 設備概要	記載無し	② (被ばく低減設備 の追加)
			図3.16-4 非常用ガス処理系 系統概要図	記載無し	② (同上)
			表3.16-18 非常用ガス処理系に関する重大事故等対処設備一覧	記載無し	② (同上)
			3.16.2.3.2 主要設備の仕様	記載無し	② (同上)
			3.16.2.3.3 設置許可基準規則第43条への適合方針 3.16.2.3.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針	記載無し	② (同上)
			3.16.2.3.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針	記載無し	② (同上)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
 章/項番号: 60条 監視測定設備 添付資料

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
1	3.17.2.1.1	添3.17-7	<p>表3.17-1 監視測定設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備^{※1}</td> <td>①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】</td> </tr> <tr> <td>付属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源（水源に関する流路、電源設備を含む）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路（伝送路）</td> <td>データ処理装置【常設】：①、④</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※2}（燃料補給設備を含む）</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 可搬ケーブル【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④ 軽油タンク出口ノズル・弁【流路】：①、④、⑤</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：主要設備のうち、モニタリング・ポスト用発電機の単線結線図を補足資料60-2-1に示す。 ※2：電源設備については「3.18 緊急時対策所（設置許可基準規則第61条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備 ^{※1}	①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】	付属設備	—	水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—	流路（伝送路）	データ処理装置【常設】：①、④	注水先	—	電源設備 ^{※2} （燃料補給設備を含む）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 可搬ケーブル【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④ 軽油タンク出口ノズル・弁【流路】：①、④、⑤	計装設備	—	<p>表3.17-1 監視測定設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備^{※1}</td> <td>①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】</td> </tr> <tr> <td>付属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源（水源に関する流路、電源設備を含む）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路（伝送路）</td> <td>通信機器【常設】：①、④</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備^{※2}（燃料補給設備を含む）</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：主要設備のうち、モニタリング・ポスト用発電機の単線結線図を補足資料60-2-1に示す。 ※2：電源設備については「3.18 緊急時対策所（設置許可基準規則第61条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備 ^{※1}	①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】	付属設備	—	水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—	流路（伝送路）	通信機器【常設】：①、④	注水先	—	電源設備 ^{※2} （燃料補給設備を含む）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④	計装設備	—	<p>⑤ （「流路」の名称を変更した。）</p>
設備区分	設備名																																				
主要設備 ^{※1}	①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】																																				
付属設備	—																																				
水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—																																				
流路（伝送路）	データ処理装置【常設】：①、④																																				
注水先	—																																				
電源設備 ^{※2} （燃料補給設備を含む）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 可搬ケーブル【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④ 軽油タンク出口ノズル・弁【流路】：①、④、⑤																																				
計装設備	—																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備 ^{※1}	①可搬型モニタリングポスト【可搬】 ②可搬型放射線計測器【可搬】 ③小型船舶（海上モニタリング用）【可搬】 ④可搬型気象観測装置【可搬】 ⑤モニタリング・ポスト用発電機【常設】																																				
付属設備	—																																				
水源（水源に関する流路、電源設備を含む）	—																																				
流路（伝送路）	通信機器【常設】：①、④																																				
注水先	—																																				
電源設備 ^{※2} （燃料補給設備を含む）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】：①、④ 負荷変圧器【常設】：①、④ 交流分電盤【常設】：①、④ 燃料補給設備 軽油タンク【常設】：①、④、⑤ タンクローリ（4kL）【可搬】：①、④、⑤ タンクローリ（16kL）【可搬】：①、④																																				
計装設備	—																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
2	3.17.2.1.2	添3.17-8 添3.17-9	<p>a.可搬型ダスト・よう素サンプラ 個数:2台(予備1台) 流量範囲:0 ~ 50 L/min 使用場所:屋内及び屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>b.NaIシンチレーションサーベイメータ 検出器の種類:NaI(Tl)シンチレーション 計測範囲:0.1 ~ 30 μ Gy/h 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋内及び屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>c.GM汚染サーベイメータ 検出器の種類:GM管 計測範囲:0 ~ 100k min⁻¹ 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋内及び屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>d.ZnSシンチレーションサーベイメータ 検出器の種類:ZnS(Ag)シンチレーション 計測範囲:0 ~ 100k min⁻¹ 個数:1台(予備1台) 使用場所:屋内及び屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>e.電離箱サーベイメータ 検出器の種類:電離箱 計測範囲:0.001 ~ 1000 mSv/h 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋内及び屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p>	<p>a.可搬型ダスト・よう素サンプラ 個数:2台(予備1台) 流量範囲:0 ~ 50 L/min 使用場所:屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>b.NaIシンチレーションサーベイメータ 検出器の種類:NaI(Tl)シンチレーション 計測範囲:0.1 ~ 30 μ Gy/h 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>c.GM汚染サーベイメータ 検出器の種類:GM管 計測範囲:0 ~ 100k min⁻¹ 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>d.ZnSシンチレーションサーベイメータ 検出器の種類:ZnS(Ag)シンチレーション 計測範囲:0 ~ 100k min⁻¹ 個数:1台(予備1台) 使用場所:屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>e.電離箱サーベイメータ 検出器の種類:電離箱 計測範囲:0.001 ~ 1000 mSv/h 個数:2台(予備1台) 使用場所:屋外 保管場所:5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p>	<p>⑤ (可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。)</p>
3	3.17.2.1.3 (1)(ii)	添3.17-10	<p>可搬型ダスト・よう素サンプラ, NaIシンチレーションサーベイメータ, GM汚染サーベイメータ, ZnSシンチレーションサーベイメータ及び電離箱サーベイメータは、可搬型であり、<u>屋内又は</u>屋外で使用する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における屋外の環境条件を考慮した設計とする。表3.17-2に想定する環境条件及び荷重条件(可搬型)と対応を示す。</p>	<p>可搬型ダスト・よう素サンプラ, NaIシンチレーションサーベイメータ, GM汚染サーベイメータ, ZnSシンチレーションサーベイメータ, 及び電離箱サーベイメータは、可搬型であり、<u>屋外</u>で使用する設備であることから、その機能を期待される重大事故等が発生した場合における屋外の環境条件を考慮した設計とする。表3.17-2に想定する環境条件及び荷重条件(可搬型)と対応を示す。</p>	<p>⑤ (可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																										
4	3.17.2.1.3 (2)(ii)	添3.17-13	<p>表3.17-4 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">可搬型モニタリングポスト</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>ケーブル接続</td> <td>屋外</td> <td>コネクタ接続</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> <td>—</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NaIシンチレーションサーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">GM汚染サーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ZnSシンチレーションサーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電離箱サーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可搬型気象観測装置</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>ケーブル接続</td> <td>屋外</td> <td>コネクタ接続</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>系統切り替え</td> <td>モニタリング・ポスト局舎内</td> <td>遮断器操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	可搬型モニタリングポスト	—	屋外	運搬・設置	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	可搬型ダスト・よう素サンプラ	—	屋内及び屋外	運搬・設置	起動・停止	屋内及び屋外	スイッチ操作	NaIシンチレーションサーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作	GM汚染サーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作	ZnSシンチレーションサーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作	電離箱サーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作	小型船舶（海上モニタリング用）	—	屋外	運搬・設置	起動・停止	屋外	スイッチ操作	可搬型気象観測装置	—	屋外	運搬・設置	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	モニタリング・ポスト用発電機	—	屋外	スイッチ操作	起動・停止	屋外	スイッチ操作	モニタリング・ポスト用発電機	系統切り替え	モニタリング・ポスト局舎内	遮断器操作	<p>表3.17-4 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">可搬型モニタリングポスト</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>ケーブル接続</td> <td>屋外</td> <td>コネクタ接続</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NaIシンチレーションサーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">GM汚染サーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ZnSシンチレーションサーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電離箱サーベイメータ</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可搬型気象観測装置</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>運搬・設置</td> </tr> <tr> <td>ケーブル接続</td> <td>屋外</td> <td>コネクタ接続</td> </tr> <tr> <td>起動・停止及び測定</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>—</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>起動・停止</td> <td>屋外</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>系統切り替え</td> <td>モニタリング・ポスト局舎内</td> <td>遮断器操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	可搬型モニタリングポスト	—	屋外	運搬・設置	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	可搬型ダスト・よう素サンプラ	—	屋外	運搬・設置	起動・停止	屋外	スイッチ操作	NaIシンチレーションサーベイメータ	—	屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	GM汚染サーベイメータ	—	屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	ZnSシンチレーションサーベイメータ	—	屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	電離箱サーベイメータ	—	屋外	運搬・設置	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	小型船舶（海上モニタリング用）	—	屋外	運搬・設置	起動・停止	屋外	スイッチ操作	可搬型気象観測装置	—	屋外	運搬・設置	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作	モニタリング・ポスト用発電機	—	屋外	スイッチ操作	起動・停止	屋外	スイッチ操作	モニタリング・ポスト用発電機	系統切り替え	モニタリング・ポスト局舎内	遮断器操作	<p>⑤ （可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。）</p>
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																																																																																																																																												
可搬型モニタリングポスト	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
可搬型ダスト・よう素サンプラ	—	屋内及び屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋内及び屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
NaIシンチレーションサーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
GM汚染サーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
ZnSシンチレーションサーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
電離箱サーベイメータ	—	屋内及び屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋内及び屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
小型船舶（海上モニタリング用）	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
可搬型気象観測装置	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
モニタリング・ポスト用発電機	—	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
モニタリング・ポスト用発電機	系統切り替え	モニタリング・ポスト局舎内	遮断器操作																																																																																																																																																												
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																																																																																																																																												
可搬型モニタリングポスト	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
可搬型ダスト・よう素サンプラ	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
NaIシンチレーションサーベイメータ	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
GM汚染サーベイメータ	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
ZnSシンチレーションサーベイメータ	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
電離箱サーベイメータ	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
小型船舶（海上モニタリング用）	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
可搬型気象観測装置	—	屋外	運搬・設置																																																																																																																																																												
	ケーブル接続	屋外	コネクタ接続																																																																																																																																																												
	起動・停止及び測定	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
モニタリング・ポスト用発電機	—	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
	起動・停止	屋外	スイッチ操作																																																																																																																																																												
モニタリング・ポスト用発電機	系統切り替え	モニタリング・ポスト局舎内	遮断器操作																																																																																																																																																												
5	3.17.2.1.3 (6)(ii)	添3.17-16	<p>重大事故等対処設備として使用する監視測定設備の設置・操作場所を表3.17-6に示す。屋内、屋外及びモニタリング・ポスト局舎内は、放射線量が高くなるおそれが少ないため、設置及び操作が可能である。</p>	<p>重大事故等対処設備として使用する監視測定設備の設置・操作場所を表3.17-6に示す。屋外及びモニタリング・ポスト局舎内は、放射線量が高くなるおそれが少ないため、設置及び操作が可能である。</p>	<p>⑤ （可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。）</p>																																																																																																																																																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																												
6	3.17.2.1.3 (6)(ii)	添3.17-17	<p>表3.17-6 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーベイメータ</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>ZnS シンチレーションサーベイメータ</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>屋内及び屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>屋外</td> <td>屋外及び モニタリング・ポスト局舎内</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	可搬型モニタリングポスト	屋外	屋外	可搬型ダスト・よう素サンプラ	屋内及び屋外	屋外	NaI シンチレーションサーベイメータ	屋内及び屋外	屋外	GM 汚染サーベイメータ	屋内及び屋外	屋外	ZnS シンチレーションサーベイメータ	屋内及び屋外	屋外	電離箱サーベイメータ	屋内及び屋外	屋外	小型船舶（海上モニタリング用）	屋外	屋外	可搬型気象観測装置	屋外	屋外	モニタリング・ポスト用発電機	屋外	屋外及び モニタリング・ポスト局舎内	<p>表3.17-6 操作対象機器設置場所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーベイメータ</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>ZnS シンチレーションサーベイメータ</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> <td>屋外</td> <td>屋外及び モニタリング・ポスト局舎内</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	可搬型モニタリングポスト	屋外	屋外	可搬型ダスト・よう素サンプラ	屋外	屋外	NaI シンチレーションサーベイメータ	屋外	屋外	GM 汚染サーベイメータ	屋外	屋外	ZnS シンチレーションサーベイメータ	屋外	屋外	電離箱サーベイメータ	屋外	屋外	小型船舶（海上モニタリング用）	屋外	屋外	可搬型気象観測装置	屋外	屋外	モニタリング・ポスト用発電機	屋外	屋外及び モニタリング・ポスト局舎内	<p>⑤ （可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。）</p>
機器名称	設置場所	操作場所																																																															
可搬型モニタリングポスト	屋外	屋外																																																															
可搬型ダスト・よう素サンプラ	屋内及び屋外	屋外																																																															
NaI シンチレーションサーベイメータ	屋内及び屋外	屋外																																																															
GM 汚染サーベイメータ	屋内及び屋外	屋外																																																															
ZnS シンチレーションサーベイメータ	屋内及び屋外	屋外																																																															
電離箱サーベイメータ	屋内及び屋外	屋外																																																															
小型船舶（海上モニタリング用）	屋外	屋外																																																															
可搬型気象観測装置	屋外	屋外																																																															
モニタリング・ポスト用発電機	屋外	屋外及び モニタリング・ポスト局舎内																																																															
機器名称	設置場所	操作場所																																																															
可搬型モニタリングポスト	屋外	屋外																																																															
可搬型ダスト・よう素サンプラ	屋外	屋外																																																															
NaI シンチレーションサーベイメータ	屋外	屋外																																																															
GM 汚染サーベイメータ	屋外	屋外																																																															
ZnS シンチレーションサーベイメータ	屋外	屋外																																																															
電離箱サーベイメータ	屋外	屋外																																																															
小型船舶（海上モニタリング用）	屋外	屋外																																																															
可搬型気象観測装置	屋外	屋外																																																															
モニタリング・ポスト用発電機	屋外	屋外及び モニタリング・ポスト局舎内																																																															
7	3.17.2.1.4 (1)(ii)	添3.17-18	<p>常設重大事故等対処設備として使用するモニタリング・ポスト用発電機は、1台につき3台のモニタリング・ポストに給電可能な設計とし、合計3台のモニタリング・ポスト用発電機により、合計9台のすべてのモニタリング・ポストに給電可能な設計とする。 また、容量は約40kVA/台を有する設計とし、一回の給油作業で約18時間連続運転可能な設計とする。</p>	<p>常設重大事故等対処設備として使用するモニタリング・ポスト用発電機は、1台につき3台のモニタリング・ポストに給電可能な設計とし、合計3台のモニタリング・ポスト用発電機により、合計9台のすべてのモニタリング・ポストに給電可能な設計とする。 また、容量は40kVA/台を有する設計とし、一回の給油作業で約19時間連続運転可能な設計とする。</p>	<p>⑤ （19時間から18時間の変更理由：四捨五入ではなく、小数点切り捨てで記載する）</p>																																																												
8	3.17.2.1.5 (4)(ii)	添3.17-22	<p>可搬型重大事故等対処設備として使用する監視測定設備は、屋内及び屋外で設置及び操作する。屋内及び屋外は、放射線量が高くなるおそれが少ないため、設置及び操作が可能である。</p>	<p>可搬型重大事故等対処設備として使用する監視測定設備は、屋外で設置及び操作する。屋外は、放射線量が高くなるおそれが少ないため、設置及び操作が可能である。</p>	<p>⑤ （可搬型放射線計測器の使用場所について、屋内も考慮することとした。）</p>																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所 まとめ本文

章/項番号: 3.18.1 設置許可基準規則第61条への適合方針

61条（緊急時対策所）の補足説明資料は、34条（緊急時対策所）別添資料を兼ねた内容となっております。そのため、本変更点リスト資料についてもSA/DB一体の内容となっております。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	3.18.1	添 3.18-2	柏崎刈羽原子力発電所の緊急時対策所として、5号炉原子炉建屋内に設置する「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所」を設ける。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）から構成される。	柏崎刈羽原子力発電所の緊急時対策所として、免震構造を有する免震重要棟に設置する「免震重要棟内緊急時対策所」と、5号炉原子炉建屋内に設置する「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所」の2つの拠点を設ける。	② (免震棟緊対所記載削除)
2	3.18.1	添 3.18-2	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は、基準地震動による地震力に対して機能喪失しない設計とするとともに、基準津波を受けない方針とする。	免震重要棟内緊急時対策所は建築基準法告示で規定される地震動を1.5倍した地震力に対応した設計とする。また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は、基準地震動による地震力に対して機能喪失しない設計とする。	② (免震棟緊対所記載削除)
3	3.18.1	添 3.18-2	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は、重大事故等に対処するために必要な指示を行う要員に加え、原子炉格納容器の破損等による発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための対策に対処するために必要な数の要員を含め、重大事故等に対処するために必要な数の対策要員を収容することができる設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は、重大事故等に対処するために必要な指示を行う要員に加え、原子炉格納容器の破損等による発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための対策に対処するために必要な数の要員を含め、重大事故等に対処するために必要な数の対策要員を収容することができる設計とする。	② (免震棟緊対所記載削除)
4	3.18.1	添 3.18-2	—	更には、より確実な災害対応を行うため、新たに大湊側緊急時対策所を建設し、平成30年7月に運用を開始する計画である。	⑤ (記載適正化)
5	3.18.1	添 3.18-3	(1)必要な情報を把握できる設備、発電所内外との通信連絡設備（設置許可基準規則の第1項の二、三） 緊急時対策所には、重大事故等時においても、重大事故等に対処するために必要な指示ができるよう、必要な情報を把握できる設備として、以下の重大事故等対処設備（情報の把握）を設ける設計とする。	(1)必要な情報を把握できる設備、通信連絡設備（免震重要棟内緊急時対策所）（設置許可基準規則解釈の第1項b）、c） 免震重要棟内緊急時対策所には、重大事故等が発生した場合においても当該事故等に対処するために必要な指示ができるよう、重大事故等に対処するために必要な情報を把握できる設備として、以下の重大事故等対処設備（情報の把握）を設ける。	② (免震棟緊対所記載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
6	3.18.1	添 3.18-3	緊急時対策所には必要な情報を把握できる設備として, 事故状態等の必要な情報を把握するために必要なパラメータ等を収集し, 対策本部で表示できるよう, 安全パラメータ表示システム(SPDS)を設置する設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所には必要な情報を把握できる設備として, 事故状態等の必要な情報を把握するために必要なパラメータ等を収集し, 免震重要棟内緊急時対策所で表示できるよう, 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))を設置する。	② (免震棟緊対所記載削除)
7	3.18.1	添 3.18-3	また, 緊急時対策所には, 重大事故等時において, 発電所の内外の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うための設備として, 以下の重大事故等対処設備(通信連絡)を設ける設計とする。	また, 免震重要棟内緊急時対策所には, 重大事故等が発生した場合においても発電所の内外の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うための設備として, 以下の重大事故等対処設備(通信連絡)を設ける。	② (免震棟緊対所記載削除)
8	3.18.1	添 3.18-3	対策本部には, 重大事故等時において, 緊急時対策所から発電所内の必要な通信連絡を行うことができる通信連絡設備(発電所内)として, 無線連絡設備, 衛星電話設備を設置又は保管する設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所には, 事故が発生した場合において, 緊急時対策所から発電所内の必要な通信連絡を行うことができる通信連絡設備(発電所内)として, 無線連絡設備, 衛星電話設備を設置又は保管する。	② (免震棟緊対所記載削除)
9	3.18.1	添 3.18-3	対策本部には, 重大事故等時において, 発電所外の本社, 国, 自治体, その他関係機関等の必要箇所と通信連絡ができる通信連絡設備(発電所外)として, 衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を設置する設計とする。また, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から発電所外の緊急時対策支援システム(ERSS)等へ必要なデータを伝送できるデータ伝送設備を設置する設計とする。対策本部は待機場所と必要な連絡を行うための設備として携帯型音声呼出電話設備を設ける設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所には, 事故が発生した場合において, 発電所外の本社, 国, 自治体, その他関係機関等の必要箇所と通信連絡ができるよう通信連絡設備(発電所外)として, 衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を設置する。また, 免震重要棟内緊急時対策所から発電所外の緊急時対策支援システム(ERSS)等へ必要なデータを伝送できるデータ伝送設備を設置する。	② (免震棟緊対所記載削除)
10	3.18.1	添 3.18-3	また, 5号炉建屋内緊急時対策所には, 対策要員が5号炉原子炉建屋内緊急時対策所と屋外現場等のアクセスを円滑かつ安全に行うことができるよう, 5号炉原子炉建屋のアクセス扉付近と対策本部との連絡のため, 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンを設置する設計とする。	—	② 設計進捗による 適正化

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	3.18.1	添 3.18-3	—	<p>(2)代替電源設備からの給電(免震重要棟内緊急時対策所)(設置許可基準規則解釈の第1項b), c)) 全交流動力電源が喪失した場合の重大事故等対処設備(常設代替電源設備)として, 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機を設ける。 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機は, 1台で必要な負荷に給電可能であり, プルーム通過への対応に必要な無給油時間の余裕を有する設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機は, 専用の地下貯油タンクを有する設計とするとともに, 軽油タンクより, タンクローリ(16kL), タンクローリ(4kL)を用いて, 燃料を補給できる設計とする。 また, 可搬型代替交流電源設備として電源車を荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所に配備する設計とし, 電源車は常設代替交流電源設備である免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機と多様性を有し, 位置的分散を図る設計とする。</p>	② (免震棟緊対所記載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
			—	<p>(3)居住性を確保するための設備(免震重要棟内緊急時対策所)(設置許可基準規則解釈の第1項b), c), d), e), 第2項)重大事故等が発生した場合においても, 当該事故等に対処するために必要な対策要員がとどまることができるよう, 免震重要棟内緊急時対策所の居住性を確保するための設備として, 以下の重大事故等対処設備(居住性の確保)を設ける。 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は, 重大事故等が発生した場合において, 対策要員の被ばく低減のために設置する設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所換気空調設備は, 重大事故等が発生した場合において, 免震重要棟内緊急時対策所内への放射性物質の侵入を低減又は防止するため, 可搬型陽圧化空調機を用いて免震重要棟内緊急時対策所1階(待避室)を陽圧化する。なお, 換気設計にあたっては, 免震重要棟内緊急時対策所の建物の気密性に対して十分な余裕を考慮した設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所換気空調設備は, 免震重要棟内緊急時対策所の気密性, 緊急時対策所(待避室)遮蔽及び緊急時対策所遮蔽の性能とあいまって, 重大事故等対処のために必要な居住性を有する設計とする。想定する放射性物質の放出量等を東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とし, かつ, 免震重要棟内緊急時対策所内でのマスクの着用, 交代要員体制, 安定よう素剤の服用及び仮設設備を考慮しない条件においても, 免震重要棟内緊急時対策所にとどまる対策要員の実効線量が事故後7日間で100mSv を超えないことを判断基準とする。</p>	<p>② (免震棟緊急時対策所記載削除)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
			—	<p>また、免震重要棟内緊急時対策所外の火災により発生する燃焼ガス又は有毒ガスに対する換気空調系の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とし、免震重要棟内緊急時対策所には、室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できるよう酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を保管する。</p> <p>なお、重大事故等が発生し、免震重要棟内緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、対策要員が免震重要棟内緊急時対策所の外側から緊急時対策所内に放射性物質による汚染を持ち込むことを防止するため、身体サーベイ及び作業服の着替え等を行うための区画を設置する設計とする。</p> <p>照明については、乾電池内蔵型照明により確保できる設計とする。身体サーベイの結果、対策要員の汚染が確認された場合は、対策要員の除染を行うことができる区画を、身体サーベイを行う区画に隣接して設けることができるよう考慮する。</p>	② (免震棟緊対所記載削除)
12	3.18.1	添 3.18-4	<p>対策本部には可搬型の差圧計を保管することで、対策本部の陽圧化装置を使用する場合、5号炉原子炉建屋と対策本部との間が陽圧化に必要な差圧を確保できていることを把握できる設計とする。</p> <p>対策本部の換気設備は、対策本部(高气密室)の気密性及び遮蔽の機能とあいまって、重大事故等に対処するために必要な居住性を有する設計とする。</p> <p>また、想定する放射性物質の放出量等を福島第一原子力発電所事故と同等とし、かつ、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内でのマスクの着用、交替要員体制、安定ヨウ素剤の服用及び仮設設備を考慮しない条件においても、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)にとどまる対策要員の実効線量が事故後7日間で100mSvを超えない設計とする。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所換気空調設備は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の緊急時対策所遮蔽及び高气密室の気密性とあいまって、重大事故等対処のために必要な居住性を有する設計とする。想定する放射性物質の放出量等を東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とし、かつ、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内でのマスクの着用、交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用及び仮設設備を考慮しない条件においても、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所にとどまる対策要員の実効線量が事故後7日間で100mSvを超えないことを判断基準とする。</p>	⑤ (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
13	3.18.1	添 3.18-4	対策本部には, 室内への希ガス等の放射性物質の侵入を低減又は防止するための確実な判断ができるよう, 緊急時対策所内外の放射線量を監視, 測定するために, 可搬型モニタリングポスト及び可搬型エリアモニタを保管する設計とする。	なお, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所には, 室内の希ガス等の放射性物質の侵入を低減又は防止するための確実な判断ができるよう緊急時対策所内外の放射線量を監視, 測定するために, 可搬型モニタリングポスト及び可搬型エリアモニタを保管する。	⑤ (記載の充実)
14	3.18.1	添 3.18-4	待機場所の遮蔽は, 重大事故等時において, 対策要員の被ばく線量を低減するために必要な遮蔽厚さを有する設計とする。 待機場所の換気設備は, 重大事故等時において, 待機場所内への放射性物質の侵入を低減又は防止するため, 可搬型陽圧化空調機又は陽圧化装置を用いて陽圧化する設計とする。なお, 待機場所は換気設計にあたって気密性に対して十分な余裕を考慮した設計とする。 待機場所には可搬型の差圧計を保管することで, 陽圧化装置を使用する場合, 5号炉原子炉建屋と待機場所との間が陽圧化に必要な差圧を確保できていることを把握できる設計とする。 待機場所の換気設備は, 待機場所の気密性及び遮蔽の機能とあいまって, 重大事故等に対処するために必要な居住性を有する設計とする。また, 想定する放射性物質の放出量等を福島第一原子力発電所事故と同等とし, かつ, 待機場所内でのマスクの着用, 交替要員体制, 安定ヨウ素剤の服用及び仮設設備を考慮しない条件においても, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)にとどまる対策要員の実効線量が事故後7日間で100mSvを超えない設計とする。	—	② (設計進捗による記載追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	3.18.1	添 3.18-4	—	<p>また, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所外の火災により発生する燃焼ガス又は有毒ガスに対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とし, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所には, 室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できるよう酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を保管する。</p> <p>なお, 重大事故等が発生し, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において, 対策要員が5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の外側から緊急時対策所内に放射性物質による汚染を持ち込むことを防止するため, 身体サーベイ及び作業服の着替え等を行うための区画を設置する設計とする。身体サーベイの結果, 対策要員の汚染が確認された場合は, 対策要員の除染を行うことができる区画を, 身体サーベイを行う区画に隣接して設置することができるよう考慮する。</p>	⑤ (記載箇所の見直し)
16	3.18.1	添 3.18-5	<p>(4) 汚染の持ち込みを防止するための設備(設置許可基準規則解釈の第1項 f)) 重大事故等時, 緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において, 対策要員が緊急時対策所の外側から緊急時対策所内に放射性物質による汚染を持ち込むことを防止するため, 身体サーベイ及び作業服の着替え等を行うための区画を設置する設計とする。また, 照明のための資機材として, 乾電池内蔵型照明を配備する。</p>	—	② (設計進捗による記載追加)
17	3.18.1	添 3.18-5	<p>(5) カードル式空気ポンペユニット (自主対策) 対策要員の更なる被ばく線量低減のため, 対策本部の陽圧化時間の延長を可能とするため, 空気ポンペカードル車を配備し, 屋外から対策本部の陽圧化装置に空気ポンペを追加接続可能な設計とする。</p>	<p>(4) カードル式空気ポンペユニット 対策要員の更なる被ばく線量低減として, 空気ポンペ陽圧化時間の延長を可能とするため, 空気ポンペカードル車を配備することで, 外部から5号炉原子炉建屋内緊急時対策所空気ポンペ陽圧化装置に空気ポンペを追加接続可能な設計とする。</p>	⑤ (記載適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	3.18.1	添 3.18-5	(6) 移動式待機場所 (自主対策) 事故対応の柔軟性と対策要員の放射線安全向上のため5号炉原子炉建屋内緊急時対策所を設置するほかに, 移動式の現場要員待機場所を設ける設計とする。	—	② (設計進捗による記載追加)
19	3.18.1	添 3.18-5	(7) 通信連絡設備 (自主対策) 緊急時対策所においては, 炉心の著しい損傷が発生した場合においても発電用原子炉施設の内外の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うための自主対策設備として, 送受話機 (警報装置含む。), 電力保安通信用電話設備, 局線加入電話設備, 専用電話設備 (ホットライン), テレビ会議システム (社内向) 及び衛星電話設備 (社内向) を整備する。	—	② (設計進捗による記載追加)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所 まとめ本文
 章/項番号: 3.18.2.1 必要な情報を把握できる設備, 発電所内外との通信連絡設備

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
20	3.18.2.1	添 3.18-6	必要な情報を把握できる設備, 発電所内外との通信連絡設備	必要な情報を把握できる設備, 通信連絡設備(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
21	3.18.2.1.1	添 3.18-6	緊急時対策所には, 重大事故等時において重大事故等に対処するために 必要な指示ができるよう , 必要な情報を把握できる設備として, 以下の重大事故等対処設備(情報の把握)を設ける 設計とする 。	免震重要棟内緊急時対策所には, 重大事故等が発生した場合においても当該事故等に対処するために必要な指示ができるよう, 重大事故等に対処するために必要な情報を把握できる設備として, 以下の重大事故等対処設備(情報の把握)を設ける。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
22	3.18.2.1.1	添 3.18-6	緊急時対策所の必要な情報を把握できる設備として, 事故状態等の必要な情報を把握するために必要なパラメータ等を収集し, 対策本部 で表示できるよう, 安全パラメータ表示システム(SPDS)を設置する 設計とする 。	免震重要棟内緊急時対策所には必要な情報を把握できる設備として, 事故状態等の必要な情報を把握するために必要なパラメータ等を収集し, 免震重要棟内緊急時対策所で表示できるよう, 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))を設置する。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
23	3.18.2.1.1	添 3.18-6	安全パラメータ表示システム(SPDS)については, 全交流動力電源喪失時においても, 可搬型代替電源設備 である 緊急時対策所用可搬型電源設備 から給電できる設計とする。	必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))については, 全交流動力電源が喪失した場合においても, 常設代替電源設備である免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機から給電できる設計とする。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
24	3.18.2.1.1	添 3.18-6	また, 対策本部 には, 重大事故等時において, 発電所の内外の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うための設備として, 以下の重大事故等対処設備(通信連絡)を設ける 設計とする 。	また, 免震重要棟内緊急時対策所には, 重大事故等が発生した場合においても発電所の内外の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うための設備として, 以下の重大事故等対処設備(通信連絡)を設ける。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
25	3.18.2.1.1	添 3.18-6	対策本部 には, 重大事故等時 において, 緊急時対策所から発電所内の必要な通信連絡を行うことができる設備として, 通信連絡設備(発電所内)の無線連絡設備, 衛星電話設備を設置又は保管する 設計とする 。	免震重要棟内緊急時対策所には, 事故が発生した場合において, 緊急時対策所から発電所内の必要な通信連絡を行うことができる通信連絡設備(発電所内)として, 無線連絡設備, 衛星電話設備を設置又は保管する。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
26	3.18.2.1.1	添 3.18-6	対策本部には、 重大事故等時 において、発電所外の本社、国、自治体、その他関係機関等の必要箇所と通信連絡ができるよう通信連絡設備(発電所外)として、衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を設置する 設計とする 。また、 5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所から発電所外の緊急時対策支援システム(ERSS)等へ必要なデータを伝送できるデータ伝送設備を設置する 設計とする 。	免震重要棟内緊急時対策所には、事故が発生した場合において、発電所外の本社、国、自治体、その他関係機関等の必要箇所と通信連絡ができる通信連絡設備(発電所外)として、衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を設置する。また、免震重要棟内緊急時対策所から発電所外の緊急時対策支援システム(ERSS)等へ必要なデータを伝送できるデータ伝送設備を設置する。	② (免震重要棟内緊急時対策所の削除による記載を直し)
27	3.18.2.1.1	添 3.18-6	対策本部には待機場所と通信連絡を行う設備として、 携帯型音声呼出設備 を保管する 設計とする 。	—	② (設計進捗による記載追加)
28	3.18.2.1.1	添 3.18-6	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所における必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備の系統概要図を図3.18-1に、重大事故等対処設備一覧を表3.18-1に示す。	免震重要棟内緊急時対策所における必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備の系統概要図を図3.18.2.1.1-1に、重大事故等対処設備一覧を表3.18.2.1.1-1に示す。	② (免震棟削除)
29	3.18.2.1.1	添 3.18-2	表3.18-1 5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所における必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備に関する重大事故等対処設備一覧	表3.18.2.1.1-1 免震重要棟内緊急時対策所における必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備に関する重大事故等対処設備一覧	② (免震棟削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
30	3.18.2.1.1	添 3.18-7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>①安全パラメータ表示システム(SPDS)【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦携帯型音声呼出電話設備【可搬】 ⑧データ伝送設備【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路 (伝送路)</td> <td>無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備 ※1</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】①～⑥, ⑧ 負荷変圧器【常設】①～⑥, ⑧ 交流分電盤【常設】①～⑥, ⑧ 可搬ケーブル【可搬】①～⑥, ⑧ 軽油タンク【常設】①～⑥, ⑧ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑥, ⑧</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	①安全パラメータ表示システム(SPDS)【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦携帯型音声呼出電話設備【可搬】 ⑧データ伝送設備【常設】	附属設備	—	水源	—	流路 (伝送路)	無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦	注水先	—	電源設備 ※1	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】①～⑥, ⑧ 負荷変圧器【常設】①～⑥, ⑧ 交流分電盤【常設】①～⑥, ⑧ 可搬ケーブル【可搬】①～⑥, ⑧ 軽油タンク【常設】①～⑥, ⑧ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑥, ⑧	計装設備	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>①必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム(SPDS))【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦データ伝送設備【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路 (伝送路)</td> <td>無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源設備※1</td> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】①～⑦ タンクローリ(16kl)【可搬】①～⑦ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑦ 充電式電池【可搬(本体内蔵)】③⑤ 電源車【可搬】①～⑦</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	主要設備	①必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム(SPDS))【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦データ伝送設備【常設】	附属設備	—	水源	—	流路 (伝送路)	無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦	注水先	—	電源設備※1	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】①～⑦ タンクローリ(16kl)【可搬】①～⑦ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑦ 充電式電池【可搬(本体内蔵)】③⑤ 電源車【可搬】①～⑦	計装設備	—	<p>② (免震棟削除)</p>
設備区分	設備名																																				
主要設備	①安全パラメータ表示システム(SPDS)【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦携帯型音声呼出電話設備【可搬】 ⑧データ伝送設備【常設】																																				
附属設備	—																																				
水源	—																																				
流路 (伝送路)	無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦																																				
注水先	—																																				
電源設備 ※1	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】①～⑥, ⑧ 負荷変圧器【常設】①～⑥, ⑧ 交流分電盤【常設】①～⑥, ⑧ 可搬ケーブル【可搬】①～⑥, ⑧ 軽油タンク【常設】①～⑥, ⑧ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑥, ⑧																																				
計装設備	—																																				
設備区分	設備名																																				
主要設備	①必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム(SPDS))【常設】 ②無線連絡設備(常設)【常設】 ③無線連絡設備(可搬型)【可搬】 ④衛星電話設備(常設)【常設】 ⑤衛星電話設備(可搬型)【可搬】 ⑥統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備【常設】 ⑦データ伝送設備【常設】																																				
附属設備	—																																				
水源	—																																				
流路 (伝送路)	無線通信装置【常設】① 無線連絡設備(屋外アンテナ)【常設】② 衛星電話設備(屋外アンテナ)【常設】④ 衛星無線通信装置【常設】⑥ 有線(建屋内)【常設】①②④⑥⑦																																				
注水先	—																																				
電源設備※1	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】①～⑦ 免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】①～⑦ タンクローリ(16kl)【可搬】①～⑦ タンクローリ(4kl)【可搬】①～⑦ 充電式電池【可搬(本体内蔵)】③⑤ 電源車【可搬】①～⑦																																				
計装設備	—																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
31	3.18.2.1.1	添 3.18-7	<p>※1：単線結線図を補足説明資料61-2に示す。 電源設備のうち，5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備，負荷変圧器，交流分電盤，軽油タンク及びタンクローリ（4kL）については「3.18.2.2 代替電源設備からの給電（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所）」で示す。</p>	<p>※1：単線結線図を補足説明資料61-2に示す。 電源設備のうち，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機—電源車切替断路器，タンクローリ（16kL），タンクローリ（4kL）及び電源車については「3.18.2.2 代替電源設備からの給電（免震重要棟内緊急時対策所）」で示す。</p>	② (免震棟削除)
32	3.18.2.1.1	添 3.18-8			② (免震棟削除)
33	3.18.2.1.1	添 3.18-8	<p>図3.18-1 必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備 系統概要図</p>	<p>図3.18.2.1.1-1 必要な情報を把握できる設備及び通信連絡設備(免震重要棟内緊急時対策所)系統概要図</p>	② (免震棟削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	3.18.2.1.2	添 3.18-9	(1)安全パラメータ表示システム(SPDS) (6号及び7号炉共用) 設備名 : データ伝送装置 使用回線 : 有線系回線, 無線系回線 個数 : 1式(6号及び7号炉共用) 取付箇所 : 6号炉 コントロール建屋地上1階 7号炉 コントロール建屋地上1階	(1)安全パラメータ表示システム(SPDS) (6号及び7号炉共用)	② (免震棟削除)
35	3.18.2.1.2	添 3.18-9	設備名 : 緊急時対策支援システム伝送装置 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : 緊急時対策支援システム伝送装置 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
36	3.18.2.1.2	添 3.18-9	設備名 : SPDS表示装置 個数 : 1式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : SPDS表示装置 個数 : 1式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
37	3.18.2.1.2	添 3.18-9	(2)無線連絡設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 無線連絡設備(常設) 使用回線 : 無線系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	(2)無線連絡設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 無線連絡設備(常設) 使用回線 : 無線系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
38	3.18.2.1.2	添 3.18-9	設備名 : 無線連絡設備(可搬型) 使用回線 : 無線系回線 個数 : 1式 使用場所 : 屋外 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : 無線連絡設備(可搬型) 使用回線 : 無線系回線 個数 : 1式 使用場所 : 屋外 保管場所 : 免震重要棟地上2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	3.18.2.1.2	添 3.18-9	(3)衛星電話設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 衛星電話設備(常設) 使用回線 : 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	(3)衛星電話設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 衛星電話設備(常設) 使用回線 : 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
40	3.18.2.1.2	添 3.18-9	設備名 : 衛星電話設備(可搬型) 使用回線 : 衛星系回線 個 数 : 1 式 使用場所 : 屋外 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : 衛星電話設備(可搬型) 使用回線 : 衛星系回線 個 数 : 1 式 使用場所 : 屋外 保管場所 : 免震重要棟地上2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
41	3.18.2.1.2	添 3.18-10	(4)統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : テレビ会議システム 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 共用 個 数 : 1 式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	(4)統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : テレビ会議システム 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 共用 個 数 : 1 式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
42	3.18.2.1.2	添 3.18-10	設備名 : I P - 電話機 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : I P - 電話機 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
43	3.18.2.1.2	添 3.18-10	設備名 : I P - F A X 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	設備名 : I P - F A X 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個 数 : 1 式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階及び2階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	3.18.2.1.2	添 3.18-10	(5)携帯型音声呼出電話設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 携帯型音声呼出電話機 使用回線 : 有線系回線 個数 : 1式 使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)及び(待機場所)) 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	—	② (設計進捗による記載追加)
45	3.18.2.1.2	添 3.18-10	(6)データ伝送設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 緊急時対策支援システム伝送装置 使用回線 : 有線系回線, 無線系回線又は衛星系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部))	(5)データ伝送設備(6号及び7号炉共用) 設備名 : 緊急時対策支援システム伝送装置 使用回線 : 有線系回線, 衛星系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 免震重要棟地上1階(免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟削除)
46	3.18.2.1.3	添 3.18-11	3.18.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針 (常設並びに可搬型重大事故等対処設備の安全設計方針に対する適合性)	3.18.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合状況 (常設並びに可搬型重大事故等対処設備の安全設計方針に対する適合性)	② (免震棟削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	3.18.2.2	添 3.18-21	<p>図3.18-3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策用代替交流電源設備系統図 (電気系統)</p>	<p>図3.18-11 5号炉原子炉建屋内緊急時対策用代替交流電源設備系統図 (電気系統)</p>	<p>②(設計進捗に伴う発電設備構成の見直し)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 3.18.2.3 居住性を確保するための設備

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
48	3.18.2.3	添 3.18-36	3.18.2.3 居住性を確保するための設備	3.18.2.3 居住性を確保するための設備 (免震重要棟内緊急時対策所)	② (免震棟緊策所 削除)
49	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-36	居住性を確保するための設備は, 重大事故等 が発生した場合においても対策要員が緊急時対策所にとどまることを目的として設置するものである。緊急時対策所の 対策本部及び待機場所の居住性を確保するための設備はそれぞれ単独に設置する設計とする。	居住性を確保するための設備は, 炉心の著しい損傷が発生した場合においても対策要員が免震重要棟内緊急時対策所にとどまることを目的として設置するものである。	② (免震棟緊策所 削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
50	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-36	<p>対策本部の居住性を確保するための設備は、「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）高気密室」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンプ）」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（配管・弁）」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）二酸化炭素吸収装置」, 「差圧計（対策本部）」, 「酸素濃度計（対策本部）」, 「二酸化炭素濃度計（対策本部）」, 「可搬型エリアモニタ（対策本部）」及び「可搬型モニタリングポスト」等から構成する設計とする。</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽は, 重大事故等が発生した場合において, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）高気密室の気密性及び緊急時対策所換気空調設備の機能とあいまって, 緊急時対策所にとどまる要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p> <p>待機場所の居住性を確保するための設備は, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンプ）」, 「5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（配管・弁）」, 「差圧計（待機場所）」, 「酸素濃度計（待機場所）」, 「二酸化炭素濃度計（待機場所）」, 及び「可搬型エリアモニタ（待機場所）」等から構成する設計とする。</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽及び室内遮蔽は, 待機場所の気密性及び緊急時対策所換気空調設備の機能とあいまって, 待機場所にとどまる要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p>	<p>本設備は, 「免震重要棟内緊急時対策所遮蔽」, 「免震重要棟内緊急時対策所（待避室）遮蔽」, 「免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機」, 「仮設ダクト」等から構成し, 対策要員の被ばく線量が最も厳しくなる炉心の著しい損傷が発生した場合においても, 対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。</p>	<p>② (免震棟緊急所 削除)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
51	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-36	—	<p>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽及び免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は, 免震重要棟の建屋コンクリート壁, 天井, 免震重要棟屋外に設置する屋外遮蔽等からなり, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)にとどまる対策要員の被ばく低減のために必要な遮蔽厚さを確保する設計とする。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は, 高性能フィルタ(粒子用フィルタ)及び活性炭フィルタ(よう素用フィルタ)により浄化した外気を専用の給気口から緊急時対策所バウンダリ内に給気することにより, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)を陽圧化し, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)へフィルタを介さない外気の流入を防止可能な設計とする。仮設ダクトは, 重大事故時に免震重要棟内緊急時対策所換気空調系のダクトに接続し, 本ダクトを通して免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機を運転することで, 緊急時対策所の外気との連絡口を遮断することが可能な設計とする。</p> <p>また, 本設備は常設代替交流電源である免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機からの給電が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備(居住性の確保)として, 重大事故等発生時において免震重要棟内緊急時対策所(待避室)を陽圧化する場合に, 室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できるよう, 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を保管する。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所は, 設計基準事故対処設備であるとともに, 重大事故等時においても使用するため, 「1.3 重大事故等対処設備」に示す設計方針を適用する。ただし, 多様性, 位置的分散等を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから, 「1.3 重大事故等対処設備」のうち多様性, 位置的分散等の設計方針は適用しない。</p>	② (免震棟緊急所 削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
52	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-36 ~37	<p>対策本部の居住性を確保するための設備として可搬型陽圧化空調機は仮設ダクトを用いて高気密室を陽圧化することにより、フィルタを介さない外気の流入を操作できる設計とする。さらに、プルーム通過中においては、陽圧化装置（空気ポンペ）を用いて高気密室を陽圧化することにより、希ガスを含む放射性物質の流入を防止できる設計とする。</p> <p>対策本部の遮蔽は、高気密室の外側にあつて、5号炉原子炉建屋のコンクリート躯体と一体となった構造を有しており、対策本部内にとどまる対策要員の被ばく低減のために必要な遮蔽厚さを確保する設計とする。</p> <p>プルーム通過直後に5号炉原子炉建屋付属棟内の放射性物質濃度が屋外より高い場合においては、屋外からの外気を直接給気し、放射性物質濃度が屋外より高い屋内エリアの空気を置換できる設計とする。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機と5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機とを連結して運用することで、5号炉原子炉建屋屋上から外気を給気可能な設計とする。</p>	—	② (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
			<p>また, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性を確保するための設備は, 代替交流電源である5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備からの給電を可能な設計とする。</p> <p>対策本部の陽圧化装置は, 5号炉原子炉建屋陽圧化装置(空気ポンベ)及び陽圧化装置(配管・弁)から構成する設計とする。陽圧化装置(空気ポンベ)はポンベ内の圧縮空気を減圧して供給することにより, 高気密室を陽圧化可能な設計とする。</p> <p>対策本部(高気密室)内・外の差圧を把握できるよう, 差圧計を保管する設計とする。対策本部(高気密室)内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できるよう, 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を保管する設計とする。</p> <p>対策本部の陽圧化装置(空気ポンベ)のみによる換気量を制限した状態においては, 二酸化炭素濃度の増加による窒息を防止することを目的として, 二酸化炭素吸収装置を高気密室内で運転することで, 高気密室内で発生する二酸化炭素を連続して除去し, 二酸化炭素濃度を常時, 許容濃度以下に抑制可能な設計とする。</p>	—	② (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-37 ~38	<p>また、対策本部(高気密室)内への放射性物質の侵入を低減又は防止するための判断ができるよう、放射線量を把握できるよう、可搬型モニタリングポスト及び可搬型エリアモニタ(対策本部)を保管する設計とする。</p> <p>待機場所の居住性を確保するための設備として、可搬型陽圧化空調機は仮設ダクトを用いて待機場所の空調バウンダリを陽圧化することにより、フィルタを介さない外気の流入を防止できる設計とする。さらに、ブルーム通過中においては、陽圧化装置(空気ポンプ)を用いて待機場所の空調バウンダリを陽圧化することにより、希ガスを含む放射性物質の流入を防止できる設計とする。</p> <p>待機場所の遮蔽は空調バウンダリと同一であり、建屋コンクリート躯体と一体となった構造を有する設計とする。また、待機場所の室内遮蔽は、待機場所の空調バウンダリの内側にとどまる現場要員の待機スペースを取り囲むように5号炉原子炉建屋床面に設置することで、待機場所の遮蔽とあいまって、待機場所内にとどまる対策要員の被ばく低減のために必要な遮蔽厚さを確保する設計とする。</p>	—	② (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
54	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-37 ~38	<p>プルーム通過直後に5号炉原子炉建屋付属棟内の放射性物質濃度が屋外より高い場合においては可搬型陽圧化空調機を用いて、直接外気から給気することが可能な設計とする。</p> <p>待機場所の陽圧化装置は陽圧化装置（空気ポンペ）及び陽圧化装置（配管・弁）から構成する設計とする。陽圧化装置（空気ポンペ）は圧縮空気を減圧して待機場所に供給することにより待機場所を陽圧化可能な設計とする。</p> <p>待機場所内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることを把握できるよう、酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計を保管する設計とする。</p> <p>また、待機場所内・外の差圧を把握できるよう、差圧計（対策本部）を保管する。</p> <p>さらに待機場所室内への放射性物質の侵入を低減又は防止するため、放射線量を把握できる可搬型エリアモニタ（待機場所）を保管する設計とする。</p> <p>対策本部には、重大事故等が発生した場合において、対策要員を5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に円滑かつ安全に収容することができるよう、5号炉原子炉建屋のアクセス扉近傍に、5号炉屋外緊急連絡用インターフォンを設置する設計とする。また、緊急時対策所の立ち上げの時に活用することもふまえ、インターフォンは5号炉中央制御室においても利用可能な設計とする。</p> <p>5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは、他の設備と独立した構成を有する常設設備とするとともに、有線方式を用いた設計とする。</p>	—	② (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型】

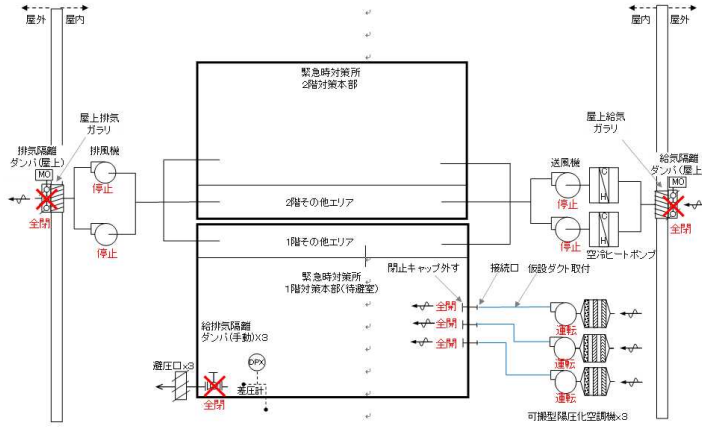
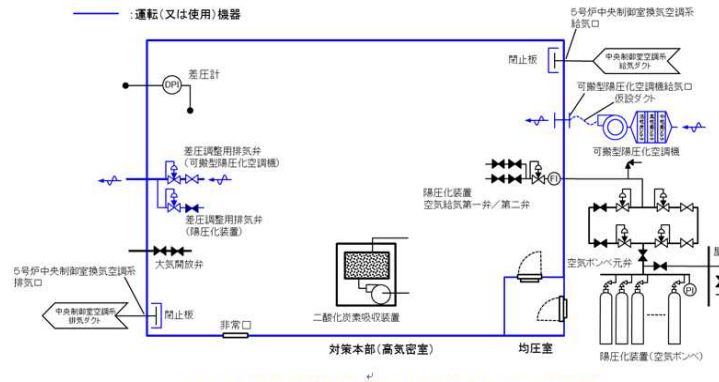
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																									
55	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-39	<p>表 3.18-23 居住性を確保するための設備(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所))に関する重大事故等対応設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">主要設備</td> <td><5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 高気密室【常設】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 遮蔽【常設】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型外気取入送風機【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>差圧計(対策本部)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計(対策本部)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計(対策本部)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ(対策本部)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト**【可搬】</td> </tr> <tr> <td><5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽【常設】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽【常設】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計(待機場所)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計(待機場所)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>差圧計(待機場所)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ(待機場所)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">流路</td> <td><5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">注水先</td> <td><5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源設備</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】</td> </tr> <tr> <td>負荷変圧器【常設】</td> </tr> <tr> <td>交流分電盤【常設】</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク【常設】</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>計装設備</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 61-2 に示す。 電源設備については、「3.18.2.2 代替電源設備からの給電(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)」で示す。 ※2：可搬型モニタリングポストについては「3.17 監視測定設備(設置許可基準規程)第 60 条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)>	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 高気密室【常設】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 遮蔽【常設】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型外気取入送風機【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置【常設】	差圧計(対策本部)【可搬】	酸素濃度計(対策本部)【可搬】	二酸化炭素濃度計(対策本部)【可搬】	可搬型エリアモニタ(対策本部)【可搬】	可搬型モニタリングポスト**【可搬】	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)>	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽【常設】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽【常設】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】	酸素濃度計(待機場所)【可搬】	二酸化炭素濃度計(待機場所)【可搬】	差圧計(待機場所)【可搬】	可搬型エリアモニタ(待機場所)【可搬】	附属設備	-	水源	-	流路	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)>	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】	注水先	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)>	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】	電源設備	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】	負荷変圧器【常設】	交流分電盤【常設】	軽油タンク【常設】	タンクローリ(4kL)【可搬】	計装設備	-	<p>表 3.18.2.3.1-1 免震重要棟内緊急時対策所の居住性の確保に関する重大事故等対応設備一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要設備</td> <td>免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所遮蔽【常設】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所(待避室)遮蔽【可搬】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機【可搬】</td> </tr> <tr> <td>地震観測装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計，二酸化炭素濃度計【可搬】</td> </tr> <tr> <td>差圧計【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">流路</td> <td>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所給気隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所排気隔離ダンパ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">注水先</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所用可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源設備</td> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計装設備</td> <td>タンクローリ(16kL)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ(4kL)【可搬】</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：単線結線図を補足説明資料 61-2 に示す。 電源設備のうち，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤，免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器，タンクローリ(16kL)，タンクローリ(4kL)及び電源車については「3.18.2.2 代替電源設備からの給電(免震重要棟内緊急時対策所)」で示す。</p>	設備区分	設備名	主要設備	免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所遮蔽【常設】	免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所(待避室)遮蔽【可搬】	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機【可搬】	地震観測装置【常設】	酸素濃度計，二酸化炭素濃度計【可搬】	差圧計【可搬】	附属設備	-	水源	-	流路	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】	免震重要棟内緊急時対策所給気隔離ダンパ	免震重要棟内緊急時対策所排気隔離ダンパ	注水先	-	免震重要棟内緊急時対策所用可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】	電源設備	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】	計装設備	タンクローリ(16kL)【可搬】	タンクローリ(4kL)【可搬】	<p>② (設計進捗による記載の充実)</p> <p>② (免震棟緊対所削除)</p>
設備区分	設備名																																																																													
主要設備	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)>																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 高気密室【常設】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 遮蔽【常設】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機【可搬】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型外気取入送風機【可搬】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置【常設】																																																																													
	差圧計(対策本部)【可搬】																																																																													
	酸素濃度計(対策本部)【可搬】																																																																													
	二酸化炭素濃度計(対策本部)【可搬】																																																																													
	可搬型エリアモニタ(対策本部)【可搬】																																																																													
	可搬型モニタリングポスト**【可搬】																																																																													
	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)>																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽【常設】																																																																													
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽【常設】																																																																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機【可搬】																																																																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ)【可搬】																																																																														
酸素濃度計(待機場所)【可搬】																																																																														
二酸化炭素濃度計(待機場所)【可搬】																																																																														
差圧計(待機場所)【可搬】																																																																														
可搬型エリアモニタ(待機場所)【可搬】																																																																														
附属設備	-																																																																													
水源	-																																																																													
流路	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)>																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】																																																																													
注水先	<5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)>																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】																																																																													
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(配管・弁)【常設】																																																																													
電源設備	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備【可搬】																																																																													
	負荷変圧器【常設】																																																																													
	交流分電盤【常設】																																																																													
	軽油タンク【常設】																																																																													
	タンクローリ(4kL)【可搬】																																																																													
計装設備	-																																																																													
設備区分	設備名																																																																													
主要設備	免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所遮蔽【常設】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所(待避室)遮蔽【可搬】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機【可搬】																																																																													
	地震観測装置【常設】																																																																													
	酸素濃度計，二酸化炭素濃度計【可搬】																																																																													
	差圧計【可搬】																																																																													
附属設備	-																																																																													
水源	-																																																																													
流路	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所給気隔離ダンパ																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所排気隔離ダンパ																																																																													
注水先	-																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所用可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト【可搬】																																																																													
電源設備	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機【常設】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク【常設】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ【常設】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤【常設】																																																																													
	免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機-電源車切替断路器【常設】																																																																													
計装設備	タンクローリ(16kL)【可搬】																																																																													
	タンクローリ(4kL)【可搬】																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
56		添	—	 <p>図 3.18.2.3.1-1 重大事故等時の免震重要棟内緊急時対策所換気空調系統概要図</p>	② (免震棟緊対所削除)
57	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-40	 <p>図 3.18-7 5号伊原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)換気設備系統概略図 (プルーム通過前後:可搬型陽圧化空調機による陽圧化時)</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
58	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-41	<p>図 3.18-8 5号伊原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)換気設備 系統概略図 (ブルーム通過直後に建屋内の放射線物質濃度が屋外より高い場合; 可搬型外気取入送風機及び可搬型降圧化空調機による降圧化)</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)
59	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-42	<p>図 3.18-8 5号伊原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)換気設備 系統概略図 (ブルーム通過中; 降圧化装置(空気ポンプ)による降圧化時)</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

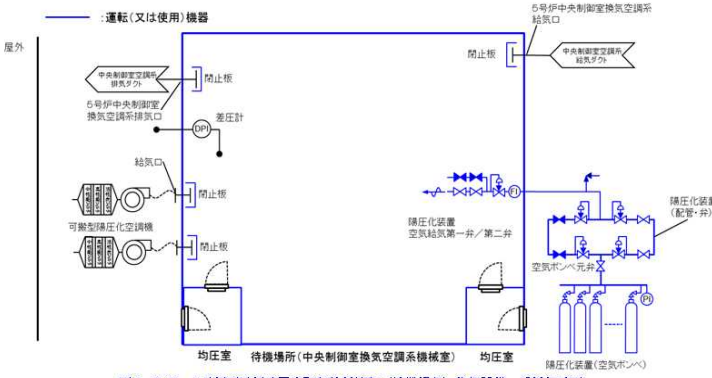
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
60	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-43	<p>図 3.18-10 5号伊原子伊建屋内緊急時対策所(待機場所)換気設備 系統概略図 (プルーム通過前後:可変型陽圧化空調機による陽圧化時)</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)
61	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-44	<p>図 3.18-11 5号伊原子伊建屋内緊急時対策所(待機場所)換気設備 系統概略図 (プルーム通過直後に建屋内の放射線物質濃度が屋外より高い場合:可変型陽圧化空調機による陽圧化)</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
62	3.18.2.3 3.18.2.3.1	添 3.18-45	 <p>図 3.18-12 5号伊麻子伊建屋内緊急時対策所（待機場所）換気設備 系統概略図 （ブローム通過中：陽圧化装置による陽圧化時）</p>	—	② (設計進捗による記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
63	3.18.2.3 3.18.2.3.2	添 3.18-47	<p>3.18.2.3.2 主要設備の仕様</p> <p>(1)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室(6号及び7号炉共用)</p> <p>材料 : 炭素鋼</p> <p>許容漏えい量 : 64m³/h以下(隣接区画+20Pa以上陽圧化時において)</p> <p>取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高気密室</p> <p>(2)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)遮蔽(6号及び7号炉共用)</p> <p>材料 : コンクリート</p> <p>遮蔽厚 : 1000mm以上</p> <p>遮蔽高 : -</p> <p>取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階, 屋外</p> <p>(3)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機(6号及び7号炉共用)</p> <p>型式 : フィルタ, ブロー一体型</p> <p>個数 : 1(予備1)</p> <p>風量 : 約 600m³/h/個</p> <p>捕集効率 : 高性能フィルタ 99.9%以上 活性炭フィルタ 99.9%以上</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p> <p>(4)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型外気取入送風機(6号及び7号炉共用)</p> <p>型式 : ブロワ</p> <p>個数 : 2(予備1)</p> <p>風量 : 約 600m³/h/個</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p> <p>(5)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)陽圧化装置(空気ポンプ)(6号及び7号炉共用)</p> <p>個数 : 123</p> <p>容量 : 約 47L/個</p> <p>充填圧力 : 約 15MPa</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階</p>	<p>3.18.2.3.2 主要設備の仕様(6号及び7号炉共用)</p> <p>(1)免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所遮蔽(建物本体)</p> <p>材質 : コンクリート</p> <p>遮蔽厚 : 150mm以上(免震重要棟1階, 2階) 200mm以上(免震重要棟屋上)</p> <p>取付箇所 : 免震重要棟地上1階, 地上2階, 屋上</p> <p>(屋外遮蔽)</p> <p>材質 : コンクリート</p> <p>遮蔽厚 : 500mm</p> <p>遮蔽高 : 地盤面より4,000mm</p> <p>取付箇所 : 免震重要棟屋外外周</p> <p>(2)免震重要棟内緊急時対策所緊急時対策所(待避室)遮蔽(屋内遮蔽)</p> <p>材質 : 鉛</p> <p>遮蔽厚 : 2mm(免震重要棟1階壁面), 15mm(免震重要棟2階床面)</p> <p>遮蔽高 : 2600mm~4350mm(免震重要棟1階壁面)</p> <p>取付箇所 : 免震重要棟内地上1階, 地上2階</p> <p>(待避室遮蔽)</p> <p>材質 : 鉛</p> <p>遮蔽厚 : 10mm</p> <p>遮蔽高 : 2,000mm</p> <p>取付箇所 : 免震重要棟内地上1階</p> <p>(3)免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機</p> <p>型式 : フィルタ, ブロー一体型</p> <p>個数 : 3(予備3)</p> <p>容量 : 600m³/h/台</p> <p>効率 : 高性能フィルタ 99.9%以上 活性炭フィルタ 99.9%以上</p> <p>取付箇所 : 免震重要棟地上1階</p>	<p>② (免震棟緊対所 削除)</p> <p>② (5号炉緊対所の 設計進捗)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
64	3.18.2.3 3.18.2.3.2	添 3.18-48	<p>(6)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置(6号及び7号炉共用)⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 風量 : 約800m³/h/個⇩ 吸収剤能力 : []m³/kg⇩ 吸収剤容量 : []kg⇩ 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩</p> <p>(7)差圧計(対策本部)(6号及び7号炉共用)⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩ 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩</p> <p>(8)酸素濃度計(対策本部)(6号及び7号炉共用)⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩ 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩</p> <p>(9)二酸化炭素濃度計(対策本部)(6号及び7号炉共用)⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩ 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩</p> <p>(10)可搬型エリアモニタ(対策本部)(6号及び7号炉共用)⇩ 検出器の種類 : 半導体⇩ 計測範囲 : 0.001 ~ 99.9 mSv/h⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩ 保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階高气密室⇩</p> <p>(11)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)遮蔽(6号及び7号炉共用)⇩ 材料 : コンクリート⇩ 遮蔽厚 : 500mm以上⇩ 遮蔽高 : -⇩ 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階, 屋外⇩</p> <p>(12)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽(6号及び7号炉共用)⇩ 材料 : 鉄, 鉛等⇩ 遮蔽厚 : コンクリート500mm相当以上⇩ 遮蔽高 : -⇩ 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所⇩</p>	<p>(4)地震観測装置⇩ 設備名 : 加速度検出器⇩ 個数 : 1⇩ 取付箇所 : 免震重要棟(地階ピット)⇩</p> <p>⇩ 設備名 : 震度表示計⇩ 個数 : 3⇩ 取付箇所 : 免震重要棟地上2階, 地上1階⇩</p> <p>⇩ 設備名 : 変位量識別用ポール⇩ 個数 : 14⇩ 取付箇所 : 免震重要棟屋外外周⇩</p> <p>(5)酸素濃度計⇩ 設備名 : 酸素濃度計⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 取付箇所 : 免震重要棟地上1階, 地上2階⇩</p> <p>⇩ (6)二酸化炭素濃度計⇩ 設備名 : 二酸化炭素濃度計⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 取付箇所 : 免震重要棟地上1階, 地上2階⇩</p> <p>⇩ (7)差圧計⇩ 設備名 : 差圧計⇩ 個数 : 1(予備1)⇩ 取付箇所 : 免震重要棟地上1階⇩</p>	<p>② (免震棟緊対所 削除)</p> <p>② (5号炉緊対所の 設計進捗)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	3.18.2.3 3.18.2.3.2	添 3.18-49	<p>┌ (13)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>型式 : フィルタ, プロワー体型 ⇩</p> <p>個数 : 2(予備1) ⇩</p> <p>風量 : 約 600m³/h/個 ⇩</p> <p>捕集効率 : 高性能フィルタ 99.9%以上 ⇩ 活性炭フィルタ 99.9%以上 ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階 ⇩</p> <p>⇩</p> <p>(14)5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンプ)(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>個数 : 1,792 ⇩</p> <p>容量 : 約 47L/個 ⇩</p> <p>充填圧力 : 約 15MPa ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階, 2階 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階, 2階 ⇩</p> <p>⇩</p> <p>(15)差圧計(待機場所)(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>個数 : 1(予備1) ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階対策本部 ⇩</p> <p>⇩</p> <p>(16)酸素濃度計(待機場所)(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>個数 : 1(予備1) ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階対策本部 ⇩</p> <p>⇩</p> <p>(17)二酸化炭素濃度計(待機場所)(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>個数 : 1(予備1) ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所 ⇩</p> <p>⇩</p> <p>(18)可搬型エアモニタ(待機場所)(6号及び7号炉共用) ⇩</p> <p>検出器の種類 : 半導体 ⇩</p> <p>計測範囲 : 0.001 ~ 99.9 mSv/h ⇩</p> <p>個数 : 1(予備1) ⇩</p> <p>使用場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階待機場所 ⇩</p> <p>保管場所 : 5号炉原子炉建屋地上3階対策本部 ⇩</p> <p>⇩</p>	—	<p>② (免震棟緊対所 削除)</p> <p>② (5号炉緊対所の 設計進捗)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
66	3.18.2.3 3.18.2.3.2	添 3.18-49	(19) 5号炉屋外緊急連絡用インターフォン(8号及び7号炉共用) 設備名 : インターフォン 使用回線 : 有線系回線 個数 : 1式 取付箇所 : 5号炉原子炉建屋地上1階屋外 : 地上3階(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)) : 地上2階(5号炉中央制御室)	—	② (免震棟緊対所 削除) ② (5号炉緊対所の 設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 3.18.2.3 居住性を確保するための設備

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
67	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (1)	添 3.18-51	3.18.2.3.3 設置許可基準規則第43条への適合方針 a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部） 対策本部の高気密室、遮蔽、可搬型陽圧化空調機、可搬型外気取入送風機、陽圧化装置（空気ポンプ）、二酸化炭素吸収装置、差圧計酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは、5号炉原子炉建屋付属棟に設置又は保管される設備であることから、想定される重大事故等時における5号炉原子炉建屋の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができる設計とする。環境条件及び荷重条件を、表3.18-24及び表3.18-25に示す。	3.18.2.3.3 設置許可基準規則第43条第1項への適合状況 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽、免震重要棟内緊急時対策所（待避室）遮蔽、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機、地震観測装置、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計は、免震重要棟建屋内に保管される設備であることから、想定される重大事故等が発生した場合における免震重要棟建屋の環境条件（温度、放射線及び地震による荷重）を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.18.2.3.3-1及び表3.18.2.3.3-2に示す設計とする。 (61-3-6～11)	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
68	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (1)	添 3.18-51	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンプ）は、保管場所である5号炉原子炉建屋内から操作可能である。 (61-3)	—	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
69	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (1)	添 3.18-51	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽は一部を、屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.18-26に示す設計とする。 (61-3) 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは、屋外及び5号炉原子炉建屋付属棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における5号炉原子炉建屋の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができる設計とする。環境条件及び荷重条件を、表3.18-22及び表3.18-23に示す設計とする。 (61-3)	—	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
70	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (1)	添 3.18-52	<p>表 3.18-19 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）高気密室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）二酸化炭素吸取装置の想定する環境条件及び荷重条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的影響</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）	風（台風）・積雪	5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表 3.18.2.3.3-1 環境条件及び荷重条件（免震重要棟内緊急時対策所遮蔽、地震観測装置）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的影響</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）	風（台風）・積雪	免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>② （免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗）</p>
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）																																
風（台風）・積雪	5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認する。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す）																																
風（台風）・積雪	免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
71	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (1)	添 3.18-52	<p>表 3.18-20 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンプ）、差圧計（対策本部）、酸素濃度計（対策本部）、二酸化炭素濃度計（対策本部）及び可搬型エリアモニタ（対策本部）の想定する環境条件及び荷重条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具や輪留め等を用いることにより転倒防止対策を行う。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具や輪留め等を用いることにより転倒防止対策を行う。	風（台風）・積雪	5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表 3.18.2.3.3-2 環境条件及び荷重条件（免震重要棟内緊急時対策所（待避室）遮蔽、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計、差圧計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>設置場所で想定される地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具を用いることにより転倒防止対策を行う。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的影響</td> <td>重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	設置場所で想定される地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具を用いることにより転倒防止対策を行う。	風（台風）・積雪	免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>② （免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗）</p>
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	想定される温度、圧力、湿度及び放射線強度に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	適切な地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具や輪留め等を用いることにより転倒防止対策を行う。																																
風（台風）・積雪	5号炉原子炉建屋付属棟に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的障害	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																
環境条件等	対応																																
温度・圧力・湿度・放射線	設置場所である免震重要棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																																
屋外の天候による影響	屋外に設置するものではないため、天候による影響は受けない。																																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																																
地震	設置場所で想定される地震荷重と組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、治具を用いることにより転倒防止対策を行う。																																
風（台風）・積雪	免震重要棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																																
電磁的影響	重大事故等が発生した場合においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
72	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-53	表3.18-21 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽の想定する環境条件及び荷重条件 表3.18-22 5号炉屋外緊急連絡用インターフォン（屋外設置機器）の想定する環境条件及び荷重条件 表3.18-23 5号炉屋外緊急連絡用インターフォン（建屋内設置機器）の想定する環境条件及び荷重条件	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
73	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-54	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）待機場所の遮蔽、室内遮蔽、可搬型陽圧化空調機、陽圧化装置（空気ポンベ）、差圧計、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは、5号炉原子炉建屋に設置又は保管される設備であることから、想定される重大事故等時における5号炉原子炉建屋建屋の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう設計する。環境条件及び荷重条件を、表3.18-27及び表3.18-28に示す。 (61-3)	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
74	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-54	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽の一部は、屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.18-29に示す設計とする。 (61-3)	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
75	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-55	表3.18-24 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽の想定する環境条件及び荷重条件	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
76	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-55	表3.18-25 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンベ）、酸素濃度計（待機場所）、二酸化炭素濃度計（待機場所）、差圧計（待機場所）及び可搬型エリ	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
77	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (1)	添 3.18-56	表3.18-26 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽の想定する環境条件及び荷重条件	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
78	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (2)	添 3.18-56	2.3.4 操作性及び試験・検査性 a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部） 対策本部の遮蔽及び高気密室は、重大事故等時においても設計基準対象施設として使用する場合と同様の設備構成にて使用可能な設計とし、重大事故等時において操作を不要とする。 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所陽圧化装置（空気ポンプ）は、保管場所である5号炉原子炉建屋内から操作可能である。 対策本部の可搬型陽圧化空調機は、仮設ダクトを高気密室の給気口に接続し、高気密室内へフィルタにより浄化した外気を供給することで陽圧化が可能な設計とする。本体の起動は、本体付属の電源スイッチの「入」操作により、容易かつ確実に「起動」可能な設計とする。 (61-3)	2.3.4 操作性及び試験・検査性について 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は免震重要棟建屋と一体で構成されており、重大事故等が発生した場合においても特段の操作を必要とせず直ちに使用できる設計とする。また重大事故等が発生した場合でも、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で使用できる設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所（待避室）遮蔽は、免震重要棟建屋1階待避室近傍にて操作可能な設計とすることで操作性を確保する。また、地震観測装置は、免震重要棟内に設置し、操作可能な設計とする。操作場所である免震重要棟建屋内は、十分な操作空間を確保する。 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の操作は、想定される重大事故等が発生した場合において、免震重要棟建屋内の環境条件(被ばく影響等)を考慮の上、免震重要棟地上1階の免震重要棟建屋内にて操作可能な設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の準備、起動は、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機を免震重要棟地上1階待避室から離隔した免震重要棟地上1階室内に配置するとともに、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は免震重要棟地上1階現場にて操作可能な設計とすることで操作性を確保する。操作場所である免震重要棟建屋内は、十分な操作空間を確保する。 また、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の仮設ダクトは人力にて、確実に作業ができる設計とする。 (61-3-9)	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
79	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (2)	—	—	酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計の操作は、想定される重大事故等が発生した場合において、免震重要棟内緊急時対策所内の環境条件(被ばく影響等)を考慮の上、免震重要棟内緊急時対策所内にて操作可能な設計とする。 (61-3-26, 27)	② (免震棟の削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
80	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (2)	添 3.18-57	また、対策本部の外気取入送風機は仮設ダクトを用いて外気を直接5号炉原子炉建屋付属棟屋内に供給しブルーム通過後に可搬型陽圧化空調機の給気エリアとなる通路の雰囲気のパージを行うことができる設計とする。可搬型外気取入送風機は本体付属の電源スイッチの「入」操作により、容易かつ確実に「起動」操作を可能な設計とする。 (61-3)	—	② (記載の充実)
81	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (2)	添 3.18-57	対策本部の陽圧化装置（空気ポンベ）は結合金具等により、容易かつ確実に接続できる設計とする。空気ポンベの接続にあたっては、一般的に用いられる工具（スパナ等）を用いて、容易かつ確実に作業ができる設計とする。空気供給には、空気ポンベ元弁を開操作し、さらに高気密室内にて空気給気第一弁及び第二弁を開操作することにより供給可能な設計とする。 対策本部の二酸化炭素吸収装置は、高気密室内にて、本体に付属のスイッチ操作により容易かつ確実に「起動」を可能な設計とする。 差圧計、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタの操作は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）内において、付属の操作スイッチにより容易かつ確実に操作ができる設計とする。 (61-3) 表3.18-30に操作対象機器を示す。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンのうち、現場に設置するインターフォン子機はインターフォンの正面パネルにあるボタンを押すことで容易かつ確実に通話可能な設計とする。また対策本部及び5号中央制御室に設置するインターフォン親機は一般的な据置型電話機と同様の構造を有し、受話器部分を持ち上げることでインターフォン子機と容易かつ確実に通話可能な設計とする。表3.18-28に操作対象機器の操作場所を示す。 (61-3)	操作場所である免震重要棟内緊急時対策所内は、十分な操作空間を確保する。 酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計の操作は、汎用品を用いていることに加え、付属の操作スイッチにより容易かつ確実に操作ができる設計とする。 酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計は、人力による持ち運びができるとともに、必要により保管場所である免震重要棟内にて保管ケースによる固縛等により転倒対策が可能な設計とする。 表3.18.2.3.3-3に操作対象機器を示す。	② (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																
82	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (2)	添 3.18-58	<p>表 3.18-27 操作対象機器 (対策本部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 給気口</td> <td>閉止板取付け</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>人力作業</td> </tr> <tr> <td>5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 排気口</td> <td>閉止板取付け</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>人力作業</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用 高气密室給気口</td> <td>閉止板取付け</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>人力作業</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機</td> <td>起動・停止</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> <tr> <td>差圧調整用排気弁 (対策本部) (可搬型陽圧化空調機)</td> <td>閉・開</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気ポンペ元弁</td> <td>閉→開</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第一弁</td> <td>閉→開</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第二弁</td> <td>閉→開</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>差圧調整用排気弁 (対策本部) (陽圧化装置)</td> <td>閉・開</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置</td> <td>起動・停止</td> <td>5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法	5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 給気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業	5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 排気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用 高气密室給気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機	起動・停止	5号炉原子炉建屋 地上3階	スイッチ操作	差圧調整用排気弁 (対策本部) (可搬型陽圧化空調機)	閉・開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気ポンペ元弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階	手動操作	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第一弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第二弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作	差圧調整用排気弁 (対策本部) (陽圧化装置)	閉・開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置	起動・停止	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	スイッチ操作	<p>表 3.18.2.3.3-3 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>操作内容</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所 給気隔離ダンパ</td> <td>開 ⇒ 閉</td> <td>免震重要棟 屋上階</td> <td>遠隔操作</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所 排気隔離ダンパ</td> <td>開 ⇒ 閉</td> <td>免震重要棟 屋上階</td> <td>遠隔操作</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所 給排気隔離ダンパ(手動)</td> <td>開 ⇒ 閉</td> <td>免震重要棟 地上1階</td> <td>手動操作</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機</td> <td>ブロワ起動</td> <td>免震重要棟 地上1階</td> <td>スイッチ操作</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	操作内容	操作場所	操作方法	免震重要棟内緊急時対策所 給気隔離ダンパ	開 ⇒ 閉	免震重要棟 屋上階	遠隔操作	免震重要棟内緊急時対策所 排気隔離ダンパ	開 ⇒ 閉	免震重要棟 屋上階	遠隔操作	免震重要棟内緊急時対策所 給排気隔離ダンパ(手動)	開 ⇒ 閉	免震重要棟 地上1階	手動操作	免震重要棟内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機	ブロワ起動	免震重要棟 地上1階	スイッチ操作	<p>② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)</p>
機器名称	状態の変化	操作場所	操作方法																																																																		
5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 給気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業																																																																		
5号炉中央制御室換気空調系 (対策本部) 排気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用 高气密室給気口	閉止板取付け	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	人力作業																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機	起動・停止	5号炉原子炉建屋 地上3階	スイッチ操作																																																																		
差圧調整用排気弁 (対策本部) (可搬型陽圧化空調機)	閉・開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気ポンペ元弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階	手動操作																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第一弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 空気給気第二弁	閉→開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作																																																																		
差圧調整用排気弁 (対策本部) (陽圧化装置)	閉・開	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	手動操作																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置	起動・停止	5号炉原子炉建屋 地上3階高气密室	スイッチ操作																																																																		
機器名称	操作内容	操作場所	操作方法																																																																		
免震重要棟内緊急時対策所 給気隔離ダンパ	開 ⇒ 閉	免震重要棟 屋上階	遠隔操作																																																																		
免震重要棟内緊急時対策所 排気隔離ダンパ	開 ⇒ 閉	免震重要棟 屋上階	遠隔操作																																																																		
免震重要棟内緊急時対策所 給排気隔離ダンパ(手動)	開 ⇒ 閉	免震重要棟 地上1階	手動操作																																																																		
免震重要棟内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機	ブロワ起動	免震重要棟 地上1階	スイッチ操作																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
83	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (2)	添 3.18-59	<p>表3.18-28 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンの操作対象機器</p> <p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の遮蔽は, 重大事故等時においても設計基準対象施設として使用する場合と同様の設備構成にて使用可能な設計とし, 重大事故等時において操作を不要とする。</p> <p>待機場所の可搬型陽圧化空調機は, 仮設ダクトを待機場所の給気口に接続し, 待機場所へフィルタにより浄化した外気を供給するとき陽圧化が可能な設計とする。本体の起動は, 本体付属の電源スイッチの「入」操作により, 「起動」可能な設計とする。 また, 待機場所の可搬型陽圧化空調機はブルーム通過後に屋外から直接外気を取り入れる場合は, 仮設ダクトを設置し, 可搬型陽圧化空調機を接続した後, 空調機の本体に付属の電源スイッチの「入」操作により, 容易かつ確実に「起動」操作を可能な設計とする。</p> <p>待機場所の陽圧化装置 (空気ポンペ) は結合金具等により, 容易かつ確実に接続できる設計とする。空気ポンペの接続にあたっては, 一般的に用いられる工具 (スパナ等) を用いて, 容易かつ確実に作業ができる設計とする。空気供給は, 空気ポンペ元弁を開操作し, さらに待機場所内にて空気給気第一弁及び第二弁を開操作することにより供給可能な設計とする。 (61-3)</p> <p>差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタの操作は, 待機場所内において, 付属する一般的な操作スイッチにより容易かつ確実に操作ができる設計とする。 (61-3) 表3.18-31に操作対象機器を示す。</p>	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)
84	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (2)	添 3.18-60	<p>表3.18-29 操作対象機器 (待機場所)</p>	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由												
85	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-61	<p>(ii)適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 対策本部の遮蔽及び高気密室は、表3.18-32に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、外観検査が可能な設計とする。 対策本部の遮蔽は、外観検査として、機能・性能に影響を与えうる傷、割れ等の外観確認が可能な設計とする。</p> <p>表3.18-30 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)遮蔽の検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転中又は停止中</td> <td>外観確認</td> <td>遮蔽の傷、割れ等の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	外観確認	遮蔽の傷、割れ等の外観の確認	<p>(ii)適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性について」に示す。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽及び免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は、表3.18.2.3.3-4に示すように運転又は停止中において、外観検査が可能な設計とする。 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽及び免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は、外観検査として、機能・性能に影響を与えうるひび割れ、表面劣化状態の外観確認及び主要部分の断面寸法の確認が可能な設計とする。</p> <p>表3.18.2.3.3-4 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽及び免震重要棟内緊急時対策所遮蔽の検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転中及び停止中</td> <td>外観検査</td> <td>遮蔽のひび割れ、表面劣化状態の外観確認、主要部分の断面寸法の外観確認</td> </tr> </tbody> </table>	プラント状態	項目	内容	運転中及び停止中	外観検査	遮蔽のひび割れ、表面劣化状態の外観確認、主要部分の断面寸法の外観確認	② (免震棟緊急時対策所の削除と、5号炉緊急時対策所の設計進捗)
発電用原子炉の状態	項目	内容															
運転中又は停止中	外観確認	遮蔽の傷、割れ等の外観の確認															
プラント状態	項目	内容															
運転中及び停止中	外観検査	遮蔽のひび割れ、表面劣化状態の外観確認、主要部分の断面寸法の外観確認															
86	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-61	<p>対策本部の高気密室は、表3.18-33に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 対策本部の高気密室は、機能・性能試験として対策本部の可搬型陽圧化空調機陽圧化装置(空気ポンプ)の機能・性能試験と併せて、気密性の確認が可能な設計とする。 また、外観検査として、性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等がないことについて外観確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>表3.18-31 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室の試験及び検査</p>	—	② (5号炉緊急時対策所の設計進捗)												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
87	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-62	<p>対策本部の可搬型陽圧化空調機及び対策本部の可搬型外気取入送風機は、表 3.18-32, 33 に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>対策本部の可搬型陽圧化空調機は、機能・性能試験として、試運転による機能確認を行うことが可能な設計とする。対策本部の可搬型陽圧化空調機を高気密室に接続し、陽圧化した状態において高気密室内・外の差圧測定を行うことにより、気密性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>また、外観検査として、ブロフ及びダクトの外観に性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等が無いこと、及びフィルタの保管状態について外観確認を行える設計とする。</p> <p>(61-5)</p> <p>表 3.18-32 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>ブロフ及びダクトの外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3.18-33 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型外気取入送風機の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>ブロフ及びダクトの外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認	外観確認	ブロフ及びダクトの外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認	外観確認	ブロフ及びダクトの外観の確認	<p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は、第 3.18.2.3.3-5 に示すように運転又は停止中において、外観検査及び機能・性能試験が可能な設計とする。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は、外観検査として目視により性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ等が無いことについて機器表面状態の外観確認を行えるとともに、機能・性能試験として試運転による機能確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>また、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機を緊急時対策所待避室に接続し、免震重要棟内緊急時対策所待避室の気密性、陽圧化機能が正常であることを確認する機能・性能試験が可能な設計とする。</p> <p>(61-5-11~13)</p> <p>表 3.18.2.3.3-5 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の試験・検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中及び停止中</td> <td>外観検査</td> <td>機器表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認</td> </tr> </tbody> </table>	プラント状態	項目	内容	運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認	<p>② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)</p>
発電用原子炉の状態	項目	内容																											
運転中又は停止中	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認																											
	外観確認	ブロフ及びダクトの外観の確認 フィルタの保管状態の外観の確認																											
発電用原子炉の状態	項目	内容																											
運転中又は停止中	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認																											
	外観確認	ブロフ及びダクトの外観の確認																											
プラント状態	項目	内容																											
運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認 フィルタの保管状態の外観確認																											
	機能・性能試験	試運転による機能確認 気密性、陽圧化機能確認																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由								
88	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)		—	<p>地震観測装置は, 表 3.18.2.3.3-6 に示すように運転又は停止中において, 外観検査及び機能・性能試験が可能な設計とする。⁶</p> <p>地震観測装置は, 外観検査として機器表面状態の外観確認を行えるとともに, 機能・性能試験として模擬入力による機能確認を行うことが可能な設計とする。⁶ (61-3-26~27)⁶</p> <p>表 3.18.2.3.3-6 地震観測装置⁶</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状態⁶</th> <th>項目⁶</th> <th>内容⁶</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中⁶ 及び⁶ 停止中⁶</td> <td>外観検査⁶</td> <td>機器表面状態の外観確認⁶</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験⁶</td> <td>模擬入力による機能確認⁶</td> </tr> </tbody> </table>	プラント状態 ⁶	項目 ⁶	内容 ⁶	運転中 ⁶ 及び ⁶ 停止中 ⁶	外観検査 ⁶	機器表面状態の外観確認 ⁶	機能・性能試験 ⁶	模擬入力による機能確認 ⁶	② (免震棟緊対所の削除)
プラント状態 ⁶	項目 ⁶	内容 ⁶											
運転中 ⁶ 及び ⁶ 停止中 ⁶	外観検査 ⁶	機器表面状態の外観確認 ⁶											
	機能・性能試験 ⁶	模擬入力による機能確認 ⁶											
89	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-62	<p>対策本部の陽圧化装置 (空気ポンペ) は, 表3.18-36に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>対策本部の陽圧化装置 (空気ポンペ) は, 性能・機能試験として, 空気ポンペ残圧の確認可能な設計とする。</p> <p>また, 対策本部の陽圧化装置 (空気ポンペ) を接続し, 高気密室を陽圧化した状態において高気密室内・外の差圧測定を行うことにより, 気密性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>また, 外観検査として, プロワ及びダクトの外観に性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等が無いこと, 及びフィルタの保管状態について外観確認を行える設計とする。</p>	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)								
90	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-63	表3.18-34 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (空気ポンペ) の試験及び検査	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
91	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-63	<p>二酸化炭素吸収装置は、表3.18-35に示すように機能・性能試験として、定格流量による循環運転（試運転）可能なことの確認及び吸収剤の性能確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>また、外観検査として、目視により機器表面に性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等が無いこと、吸収剤の保管状態について外観確認が可能な設計とする。</p> <p>(61-5)</p>	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)																
92	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-63	<p>表3.18-35 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）二酸化炭素吸収装置の試験及び検査</p>	—	② (5号炉緊対所の設計進捗)																
93	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-63	<p>対策本部の差圧計は、表3.18-36に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>対策本部の差圧計は、機能・性能試験として、計器単品での点検・構成が可能であり、陽圧化機能確認時に合せて指示値の確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>また、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等が無いことについて外観確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>表 3.18-36 差圧計（対策本部）の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>陽圧化機能確認時の性能検査</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器表面状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	機能・性能試験	陽圧化機能確認時の性能検査	外観確認	機器表面状態の外観の確認	<p>差圧計は、表 3.18.2.6.3-8 に示すように運転又は停止中において、外観検査及び機能・性能試験が可能な設計とする。</p> <p>差圧計は、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ等が無いことについて確認を行えるとともに、機能・性能検査として陽圧化機能確認時に合せて指示値等の目視確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>表 3.18.2.6.3-8 差圧計の試験・検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中及び停止中</td> <td>外観検査</td> <td>機器表面状態の外観確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>陽圧化機能確認時の性能検査</td> </tr> </tbody> </table>	プラント状態	項目	内容	運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認	機能・性能試験	陽圧化機能確認時の性能検査	⑤ (記載の適正化)
発電用原子炉の状態	項目	内容																			
運転中又は停止中	機能・性能試験	陽圧化機能確認時の性能検査																			
	外観確認	機器表面状態の外観の確認																			
プラント状態	項目	内容																			
運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認																			
	機能・性能試験	陽圧化機能確認時の性能検査																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
94	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-64	<p>対策本部の酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は、表 3.18-37 に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>対策本部の酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は、機能・性能試験として校正ガスによる指示値の確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>また、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等が無いことについて外観確認が可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(61-5)</p> <p>表 3.18-37 酸素濃度計（対策本部）、二酸化炭素濃度計（対策本部）の試験及び検査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発電用原子炉の状態</th> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中又は停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>校正ガスによる性能検査</td> </tr> <tr> <td>外観確認</td> <td>機器表面状態の外観の確認</td> </tr> </tbody> </table>	発電用原子炉の状態	項目	内容	運転中又は停止中	機能・性能試験	校正ガスによる性能検査	外観確認	機器表面状態の外観の確認	<p>酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計は、表 3.18.2.3.3-7 に示すように運転又は停止中において、外観検査及び機能・性能が可能な設計とする。</p> <p>酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼす恐れのある傷、割れ等が無いことについて確認を行えるとともに、機能・性能試験として、校正ガスによる指示値等の確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(61-5-14)</p> <p>表 3.18.2.3.3-7 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計の試験・検査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">プラント状態</th> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 60%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中及び停止中</td> <td>外観検査</td> <td>機器表面状態の外観確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>校正ガスによる性能検査</td> </tr> </tbody> </table>	プラント状態	項目	内容	運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認	機能・性能試験	校正ガスによる性能検査	<p>⑤ (記載の適正化)</p>
発電用原子炉の状態	項目	内容																			
運転中又は停止中	機能・性能試験	校正ガスによる性能検査																			
	外観確認	機器表面状態の外観の確認																			
プラント状態	項目	内容																			
運転中及び停止中	外観検査	機器表面状態の外観確認																			
	機能・性能試験	校正ガスによる性能検査																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
95	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-64	<p>対策本部の可搬型エリアモニタは, 表3.18-38 に示すように発電用原子炉の 運転中又は停止中において, 機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 対策本部の可搬型エリアモニタは, 機能・性能試験として, 線源による校正 が可能な設計とする。 また, 外観検査として, 目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割 れ等が無いことについて外観確認が可能な設計とする。 (61-5)</p> <p>表3.18-38 可搬型エリアモニタ (対策本部) の試験及び検査 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは, 表3.18-39に示すように発電用原子炉の 運転中又は停止中に機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンの機能・性能試験として, インター フォン親機とインターフォン子機との間での通話確認を行う設計とする。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンの外観検査として, 目視により性能に 影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等がないことの確認を行う。 (61-5)</p>	—	⑤ (記載の適正化)
96	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3	添 3.18-65	表3.18-39 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンの試験及び検査	—	② (設計進捗)
97	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-65	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の遮蔽及び室内遮蔽は, 表3.18-40 に示すように発電用原子炉の運 転中又は停止中において, 外観検査が可能な設計とする。 待機場所の遮蔽及び室内遮蔽は, 外観検査として, 目視により機能・性能に 影響を与えうる傷, 割れ等の外観確認が可能な設計とする。</p> <p>表3.18-40 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽及び5号炉原 子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 室内遮蔽の検査</p>	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
98	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (3)	添 3.18-65	<p>待機場所の可搬型陽圧化空調機は, 表3.18-41に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において, 機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>待機場所の可搬型陽圧化空調機は, 機能・性能試験として, 試運転による機能確認を行うことが可能な設計とする。また, 可搬型陽圧化空調機を待機場所に接続し, 待機場所を陽圧化した状態において待機場所内・外の差圧測定を行うことにより, 気密性能確認が可能な設計とする。</p> <p>また, 外観検査として, ブロフ及びダクトの外観に性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等が無いこと, 及びフィルタの保管状態について外観確認を行える設計とする。</p> <p>(61-5)</p> <p>表3.18-41 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機の試験及び検査</p>	—	② (設計進捗)
99	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (3)	添 3.18-66	<p>待機場所の陽圧化装置(空気ポンペ)は, 表3.18-42に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能検査及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>待機場所の陽圧化装置(空気ポンペ)は, 空気ポンペ残圧の確認により空気ポンペ容量を確認可能な設計とする。待機場所は, 発電用原子炉の運転中又は停止中において, 機能・性能確認として, 待機場所の空調バウンダリを陽圧化した状態において待機場所内・外の差圧測定を行うことにより, 気密性能確認が可能な設計とする。</p> <p>また, 外観の確認として, 性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等が無いことについて外観確認が行える設計とする。</p> <p>表3.18-42 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンペ)の試験及び検査</p>	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
100	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-66	<p>待機場所の差圧計は, 表3.18-43 に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において, 機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 待機場所の差圧計は, 機能・性能試験として計器単品での点検・構成が可能であり, また, 陽圧化機能確認時に合わせて指示値の確認を行うことが可能な設計とする。 また, 外観検査として, 目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等が無いことについて外観確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p>表3.18-43 差圧計 (待機場所) の試験及び検査</p>	—	② (設計進捗)
101	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-66	<p>待機場所の酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 表3.18-44 に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において, 機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 待機場所の酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 機能・性能試験として校正ガスによる指示値等の確認を行うことが可能な設計とする。 また, 外観検査として, 目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷, 割れ等が無いことについて外観確認が可能な設計とする。</p> <p>(61-5)</p> <p>表3.18-44 酸素濃度計 (待機場所) , 二酸化炭素濃度計 (待機場所) の試験及び検査</p>	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

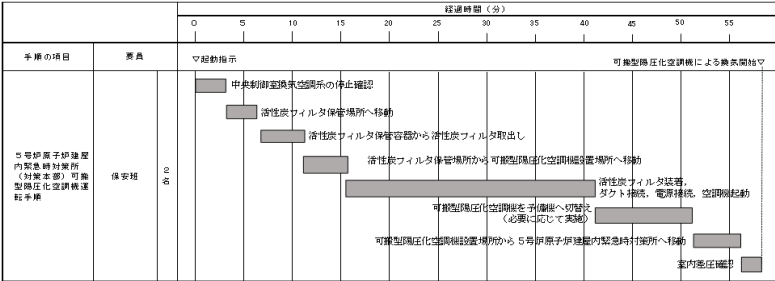
【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
102	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (3)	添 3.18-67	待機場所可搬型エリアモニタは、表3.18-45 に示すように発電用原子炉の運転中又は停止中において、機能・性能試験及び外観検査が可能な設計とする。 機能・性能試験として線源による校正が可能な設計とする。 また、外観検査として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある傷、割れ等が無いことについて外観確認が可能な設計とする。 (61-5) 表3.18-45 可搬型エリアモニタ（待機場所）の試験及び検査	—	② (設計進捗)
103	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-68	2.3.4 操作性及び試験・検査性 a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部） 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽及び高气密室は、遮断以外の用途として使用することなく、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）の使用にあたり切り替えせずに使用できる設計とする。	2.3.4 操作性及び試験・検査性 免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は、免震重要棟建屋と一体で設置するうえ、本来の用途以外の用途として使用するための切り替えが不要であり、免震重要棟内緊急時対策所の使用にあたり切り替えせずに使用できる設計とする。また免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は、免震重要棟1階の待避室近傍及び免震棟屋外に保管するうえ、本来の用途以外の用途として使用するための切り替えが不要であり、免震重要棟内緊急時対策所の使用にあたり切り替えせずに使用できる設計とする。	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
104	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-68	対策本部の可搬型陽圧化空調機、可搬型外気取入送風機、陽圧化装置（空気ポンプ）、二酸化炭素吸収装置、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計、差圧計及び可搬型エリアモニタは、本来の用途以外には使用しない設計とし、対策本部の使用にあたり切り替えせずに使用できる設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とし、免震重要棟内緊急時対策所の使用にあたり切り替えせずに使用できる設計とする。	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
105	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-68	また、対策本部の可搬型陽圧化空調機による対策本部高气密室の陽圧化から、陽圧化装置（空気ポンプ）による陽圧化への切替えは、陽圧化装置の弁開操作、可搬型陽圧化空調機の仮設ダクトの切離し、高气密室給気口の閉止板取付け及び、差圧制御用排気弁の切替えにより容易かつ確実に実施できる設計とする。 本切替えは、対策本部高气密室内で全て操作可能な設計とすることにより、可搬型エリアモニタの警報発生後速やかに実施可能な設計とする。	—	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
106	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-68	対策本部の可搬型エリアモニタの警報発生から切替え操作完了までの所要時間は、陽圧化装置による陽圧化開始(給気第一/第二弁の開操作)を1分以内、陽圧化状態の確認完了(高気密室内・外差圧確認)を約2分以内に実施可能な設計とする。 (61-4)	—	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
107	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-68	対策本部の可搬型陽圧化空調機起動手順のタイムチャートを図3.18-13に、可搬型陽圧化空調機停止、及び、陽圧化装置(空気ポンプ)起動手順のタイムチャートを図3.18-14に示す。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは、本来の用途以外の用途には使用しない。	—	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
108	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-69	 <p>図 3.18-13 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機起動手順のタイムチャート*。</p>	 <p>図 3.18.2.3.3-1 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機運転手順のタイムチャート*。</p>	② (免震棟の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)

*:「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について(個別手順)の1.18で示すタイムチャート。

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																													
109	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-69	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="7">経過時間 (分)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手順の項目</td> <td>要員</td> <td colspan="7"> ▼可搬型エリアモニタの警報発生 ▼可搬型陽圧化空調機切離し／空気ポンベ陽圧化装置起動 ▼陽圧化状態の確認完了 ▼可搬型陽圧化空調機停止 </td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機停止手順</td> <td>保安班 2名</td> <td></td> <td>給気口から仮設ダクト取外し（対策本部内作業）</td> <td>高気密室給気口に閉止板取付け（対策本部内作業）</td> <td>室内差圧確認（対策本部内作業）</td> <td>通路（可搬型空調機設置場所）へ移動</td> <td>空調機停止（対策本部外作業）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンベ）起動手順</td> <td>保安班 1名</td> <td></td> <td>空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一／第二弁開操作（対策本部内作業）</td> <td>差圧調整用排気弁の切替え（対策本部内作業）</td> <td>室内差圧確認（対策本部内作業）</td> <td>二酸化炭素吸収装置起動</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3.18-14 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機停止、及び、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンベ）空気供給手順のタイムチャート*。</p>			経過時間 (分)									0	1	2	3	4	5	6	手順の項目	要員	▼可搬型エリアモニタの警報発生 ▼可搬型陽圧化空調機切離し／空気ポンベ陽圧化装置起動 ▼陽圧化状態の確認完了 ▼可搬型陽圧化空調機停止							5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機停止手順	保安班 2名		給気口から仮設ダクト取外し（対策本部内作業）	高気密室給気口に閉止板取付け（対策本部内作業）	室内差圧確認（対策本部内作業）	通路（可搬型空調機設置場所）へ移動	空調機停止（対策本部外作業）		5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンベ）起動手順	保安班 1名		空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一／第二弁開操作（対策本部内作業）	差圧調整用排気弁の切替え（対策本部内作業）	室内差圧確認（対策本部内作業）	二酸化炭素吸収装置起動			—	② (設計進捗)
		経過時間 (分)																																																
		0	1	2	3	4	5	6																																										
手順の項目	要員	▼可搬型エリアモニタの警報発生 ▼可搬型陽圧化空調機切離し／空気ポンベ陽圧化装置起動 ▼陽圧化状態の確認完了 ▼可搬型陽圧化空調機停止																																																
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）可搬型陽圧化空調機停止手順	保安班 2名		給気口から仮設ダクト取外し（対策本部内作業）	高気密室給気口に閉止板取付け（対策本部内作業）	室内差圧確認（対策本部内作業）	通路（可搬型空調機設置場所）へ移動	空調機停止（対策本部外作業）																																											
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）陽圧化装置（空気ポンベ）起動手順	保安班 1名		空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一／第二弁開操作（対策本部内作業）	差圧調整用排気弁の切替え（対策本部内作業）	室内差圧確認（対策本部内作業）	二酸化炭素吸収装置起動																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
110	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)	—	② (設計進捗)
111	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 室内遮蔽は, 遮断以外の用途として使用することはなく, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) の使用にあたり切替えせずに使用できる設計とする。	—	② (設計進捗)
112	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置 (空気ポンプ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エアモニタは, 本来の用途以外の用途には使用しない設計とし, 待機場所の使用にあたり切替えせずに使用できる設計とする。	—	② (設計進捗)
113	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	また, 待機場所の可搬型陽圧化空調機による待機場所の空調バウンダリの陽圧化から, 陽圧化装置 (空気ポンプ) による陽圧化への切替えは, 陽圧化装置の弁開操作, 可搬型陽圧化空調機仮設ダクトの切離し, 空調バウンダリの給気口の閉止板取付けにより実施可能な設計とする。	—	② (設計進捗)
114	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	本切替えは, 待機場所内で全て操作可能な設計とすることにより, 可搬型エアモニタの警報発生後速やかに実施可能な設計とする。	—	② (設計進捗)
115	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (4)	添 3.18-70	待機場所の可搬型エアモニタの警報発生から切替え操作完了までの所要時間は, 陽圧化装置による陽圧化開始 (給気第一/第二弁の開操作) を1分以内, 陽圧化状態の確認完了 (待機場所内・外の差圧確認) を約2分以内に実施可能な設計とする。 (61-4)	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
116	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (4)	添 3.18-70	<p>待機場所の可搬型陽圧化空調機の起動手順のタイムチャートを図3.18-15に、可搬型陽圧化空調機停止、及び、陽圧化装置（空気ポンプ）起動手順のタイムチャートを図3.18-16に示す。</p> <p>図 3.18-15 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機起動手順のタイムチャート*</p>	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																													
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員</th> <th colspan="7">経過時間(分)</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="7">▽可搬型エリアモニタの警報発生 ▽可搬型陽圧化空調機切離し/空気ポンベ陽圧化装置起動 ▽陽圧化状態の確認完了 ▽可搬型陽圧化空調機停止</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機停止手順</td> <td rowspan="4">復旧班 2名</td> <td>給気口から仮設ダクト取外し(待機場所内作業)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>高気密室給気口に閉止板取り付け(待機場所内作業)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>室内差圧確認(待機場所内作業)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>通路(可搬型空調機設置場所)へ移動</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>空調機停止(待機場所外作業)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンベ)起動手順</td> <td rowspan="2">復旧班 1名</td> <td>空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一ノ上弁開閉作(待機場所内作業)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>室内差圧確認</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>図 3.18-16 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機停止、及び、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンベ)空気供給手順のタイムチャート*</p> <p>*:「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について(個別手順)の1.18で示すタイムチャート。</p>	手順の項目	要員	経過時間(分)							0	1	2	3	4	5	6			▽可搬型エリアモニタの警報発生 ▽可搬型陽圧化空調機切離し/空気ポンベ陽圧化装置起動 ▽陽圧化状態の確認完了 ▽可搬型陽圧化空調機停止							5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機停止手順	復旧班 2名	給気口から仮設ダクト取外し(待機場所内作業)									高気密室給気口に閉止板取り付け(待機場所内作業)									室内差圧確認(待機場所内作業)									通路(可搬型空調機設置場所)へ移動											空調機停止(待機場所外作業)								5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンベ)起動手順	復旧班 1名	空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一ノ上弁開閉作(待機場所内作業)									室内差圧確認										
手順の項目	要員	経過時間(分)																																																																																																
		0	1	2	3	4	5	6																																																																																										
		▽可搬型エリアモニタの警報発生 ▽可搬型陽圧化空調機切離し/空気ポンベ陽圧化装置起動 ▽陽圧化状態の確認完了 ▽可搬型陽圧化空調機停止																																																																																																
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機停止手順	復旧班 2名	給気口から仮設ダクト取外し(待機場所内作業)																																																																																																
		高気密室給気口に閉止板取り付け(待機場所内作業)																																																																																																
		室内差圧確認(待機場所内作業)																																																																																																
		通路(可搬型空調機設置場所)へ移動																																																																																																
		空調機停止(待機場所外作業)																																																																																																
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンベ)起動手順	復旧班 1名	空気ポンベ陽圧化装置空気供給第一ノ上弁開閉作(待機場所内作業)																																																																																																
		室内差圧確認																																																																																																
117	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (5)	添 3.18-72	<p>2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等</p> <p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 遮蔽は、5号炉原子炉建屋と一体のコンクリート又は鉛の構造物とし、倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は、免震重要棟建屋と一体のコンクリート構造物とし、倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は、免震重要棟1階の待避室壁面に沿って保管することで、倒壊等により他の設備や対策要員の活動及びアクセスに悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)</p>																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
118	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	対策本部の高気密室, 可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機, 陽圧化装置(空気ポンペ), 二酸化炭素吸収装置, 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び差圧計は, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	② (免震棟緊急時の削除と、5号炉緊急時の設計進捗)
119	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	また, 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機及び二酸化炭素吸収装置のプロワの羽根は回転軸との一体型であるが, 運転中に羽根が破損したとしても, 羽根がケーシング内にとどまり, 飛散しない設計とする。	また, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機のプロア羽根は回転軸との一体型であるが, 可搬型陽圧化空調機の運転中に羽根が破損したとしても, 羽根がプロアケーシング内に留まり, 飛散しない設計とする。	② (免震棟緊急時の削除と、5号炉緊急時の設計進捗)
120	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機, 陽圧化装置(空気ポンペ), 二酸化炭素吸収装置, 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 固定することにより他の設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは, 単独の設備統構成としており他の設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは設置場所に固定設置することで転倒防止を図ることにより, 他の設備に対して影響を及ぼさない設計とする。 (61-3)	—	② (設計進捗)
121	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)	—	② (設計進捗)
122	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)遮蔽は, 5号炉原子炉建屋建屋と一体のコンクリート又は鉛の構造物とし, 倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。また, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽は, 5号炉原子炉建屋付属棟床に固定して設置することで倒壊等により他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
123	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。また, 可搬型陽圧化空調機のプロワの羽根は回転軸との一体型であるが, 運転中に羽根が破損したとしても, 羽根がケーシング内にとどまり, 飛散しない設計とする。	—	② (設計進捗)
124	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (5)	添 3.18-72	待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 固定することにより他の設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。	—	② (設計進捗)
125	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (6)	添 3.18-73	a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽は, 5号炉原子炉建屋と一体のコンクリート又は鉛の構造物であり, 重大事故等時に操作及び作業を必要としない設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は, 免震重要棟建屋と一体のコンクリート構造物, 並びに免震重要棟建屋屋外に設置し, 重大事故等時に操作及び作業を必要としない設計とする。	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)
126	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (6)	添 3.18-73	また, 高気密室は5号炉原子炉建屋付属棟床に固定して設置することで, 重大事故時に操作及び作業を必要としない設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所 (待避室) 遮蔽は, 免震重要棟建屋に保管し, 放射線量が高くなるおそれが少ない設計とする。	② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																					
127	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (6)	添 3.18-73	<p>対策本部の高気密室可搬型陽圧化空調機，可搬型外気取入送風機，陽圧化装置（空気ポンプ），二酸化炭素吸収装置，酸素濃度計，二酸化炭素濃度計，差圧計及び可搬型エリアモニタは，放射線量が高くなるおそれが少ない5号炉原子炉建屋附属棟内に設置場所又は保管し，設置又は保管場所で操作可能な設計とする。表3.18-46に操作対象機器を示す。 (61-3)</p> <p>5号炉屋外緊急連絡用インターフォンとして操作が必要な機器の設置場所，操作場所を表3.18-47に示す。 5号炉屋外緊急連絡用インターフォンのうちインターフォン子機は屋外に設置し重大事故等における環境条件を考慮した設計とする。またインターフォン親機は5号炉原子炉建屋附属棟の屋内に設置し，重大事故等における環境条件を考慮した設計とする。 (61-3)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機，酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は，免震重要棟建屋に保管し，放射線量が高くなるおそれが少ない設計とする。 (61-3-6～11)</p>	<p>② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)</p>																					
128	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (6)	添 3.18-74	<p>表3.18-46 操作対象機器設置場所（対策本部）</p> <p>表3.18-47 操作対象機器設置場所</p>	<p>表 3.18.2.3.3-9 操作対象機器設置場所。 (免震重要棟内緊急時対策所遮蔽，免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽，免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機，酸素濃度計，二酸化炭素濃度計及び差圧計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽</td> <td>免震重要棟地上1階</td> <td>(操作不要)</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽</td> <td>免震重要棟地上1階、 地上2階、 屋外(建屋周囲全周)</td> <td>(操作不要)</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機</td> <td>免震重要棟 地上1階</td> <td>免震重要棟地上1階</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計</td> <td>免震重要棟地上2階、 地上1階</td> <td>免震重要棟地上2階、 地上1階</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計</td> <td>免震重要棟地上2階、 地上1階</td> <td>免震重要棟地上2階、 地上1階</td> </tr> <tr> <td>差圧計</td> <td>免震重要棟 地上1階</td> <td>免震重要棟 地上1階</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	免震重要棟内緊急時対策所遮蔽	免震重要棟地上1階	(操作不要)	免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽	免震重要棟地上1階、 地上2階、 屋外(建屋周囲全周)	(操作不要)	免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機	免震重要棟 地上1階	免震重要棟地上1階	酸素濃度計	免震重要棟地上2階、 地上1階	免震重要棟地上2階、 地上1階	二酸化炭素濃度計	免震重要棟地上2階、 地上1階	免震重要棟地上2階、 地上1階	差圧計	免震重要棟 地上1階	免震重要棟 地上1階	<p>② (免震棟緊対所の削除と、5号炉緊対所の設計進捗)</p>
機器名称	設置場所	操作場所																								
免震重要棟内緊急時対策所遮蔽	免震重要棟地上1階	(操作不要)																								
免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽	免震重要棟地上1階、 地上2階、 屋外(建屋周囲全周)	(操作不要)																								
免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機	免震重要棟 地上1階	免震重要棟地上1階																								
酸素濃度計	免震重要棟地上2階、 地上1階	免震重要棟地上2階、 地上1階																								
二酸化炭素濃度計	免震重要棟地上2階、 地上1階	免震重要棟地上2階、 地上1階																								
差圧計	免震重要棟 地上1階	免震重要棟 地上1階																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
129	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (6)	添 3.18-75	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）	—	② (設計進捗)
130	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (6)	添 3.18-75	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽は、5号炉原子炉建屋と一体のコンクリート又は鉛の構造物であり、重大事故等時に操作及び作業を必要としない設計とする。また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽は、5号炉原子炉建屋付属棟床に固定して設置することで重大事故時に操作及び作業を必要としない設計とする。	—	② (設計進捗)
131	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3 .1 (6)	添 3.18-75	待機場所の可搬型陽圧化空調機、5号炉原子炉陽圧化装置（空気ポンプ）、差圧計、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び可搬型エアモニタは、放射線量が高くなるおそれが少ない5号炉原子炉建屋付属棟内に設置又は保管し、設置場所又は保管場所で操作可能な設計とする。表3.18-48に操作対象機器を示す。 (61-3)	—	② (設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																											
132	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.1 (6)	添 3.18-75	<p>表 3.18-48 操作対象機器設置場所（待機場所）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階、屋上</td> <td>（操作不要）</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> <td>（操作不要）</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンプ）</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階、2階</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階、2階</td> </tr> <tr> <td>差圧計（待機場所）</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計（待機場所）</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階対策本部</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計（待機場所）</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階対策本部</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ（待機場所）</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階対策本部</td> <td>5号炉原子炉建屋地上3階待機場所</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	設置場所	操作場所	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽	5号炉原子炉建屋地上3階、屋上	（操作不要）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	（操作不要）	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機	5号炉原子炉建屋地上3階	5号炉原子炉建屋地上3階	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンプ）	5号炉原子炉建屋地上3階、2階	5号炉原子炉建屋地上3階、2階	差圧計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	酸素濃度計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	二酸化炭素濃度計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	可搬型エリアモニタ（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	—	② (設計進捗)
機器名称	設置場所	操作場所																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽	5号炉原子炉建屋地上3階、屋上	（操作不要）																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）室内遮蔽	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	（操作不要）																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）可搬型陽圧化空調機	5号炉原子炉建屋地上3階	5号炉原子炉建屋地上3階																														
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）陽圧化装置（空気ポンプ）	5号炉原子炉建屋地上3階、2階	5号炉原子炉建屋地上3階、2階																														
差圧計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所																														
酸素濃度計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所																														
二酸化炭素濃度計（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所																														
可搬型エリアモニタ（待機場所）	5号炉原子炉建屋地上3階対策本部	5号炉原子炉建屋地上3階待機場所																														

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条(緊急時対策所)
 章/項番号: 3.18.2.3 居住性を確保するための設備

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
133	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.2 (1)	添 3.18-81	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽は、重大事故等が発生した場合において、対策本部の高気密室、二酸化炭素吸収装置及び他の常設設備の機能とあいまって、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。 対策本部の二酸化炭素吸収装置は、重大事故等が発生した場合において、陽圧化装置 (空気ポンペ) により高気密室を陽圧化する場合において、対策要員が二酸化炭素増加により窒息することを防止可能な十分な二酸化炭素吸収剤量を確保可能な設計とする。保有数は1台設置することに加え、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップとして1台設置する設計とする。 (61-6)</p> <p>5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは、重大事故等が発生した場合において、対策要員を5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に円滑かつ安全に収容することができるよう、5号炉原子炉建屋のアクセス扉付近と対策本部との連絡のために設置することから、5号炉原子炉建屋屋外に子機を3台配備する。また5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) と5号炉中央制御室にそれぞれ親機1台ずつ合計2台配備する設計とする。 (61-6)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は、重大事故が発生した場合においても対策要員がとどまるために必要な重大事故等対処設備として設置する。</p>	<p>② 免震重要棟内緊急時対策所削除</p> <p>② (設計進捗による二酸化炭素吸収装置台数追記)</p>
134	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.2 (1)	添 3.18-81	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の遮蔽及び室内遮蔽は、重大事故等が発生した場合において、可搬型陽圧化空調機及び陽圧化装置 (空気ポンペ) の機能とあいまって、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない設計とする。保有数は1台設置することに加え、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップとして1台設置する設計とする。 (61-6)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所遮蔽は対策要員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる重大事故等時に、免震重要棟内緊急時対策所 (待避室) 遮蔽、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機及び免震重要棟内緊急時対策所待避室の機能と併せて、対策要員の实効線量が7日間で100mSvを超えないようにするために必要な遮蔽厚さを確保可能な設計とする。</p>	<p>② 設計進捗による待機場所記載追加</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
135	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.2 (2)	添 3.18-82	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部） 対策本部の遮蔽, 高気密室及び二酸化炭素吸収装置は, 6号及び7号炉で共用することで, 対策活動に必要なスペース, 居住性, 電源設備, 必要な情報及び通信連絡設備を共有し, 総合的な管理（事故処置を含む）を行うことにより, 安全性の向上を図ることができることから, 6号及び7号炉で共用する設計とする。 (61-3)</p> <p>5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは, 共用の設計とすることにより, 屋外現場等のアクセスを円滑かつ安全に行うことが期待でき, また不測の事態においても確実に5号炉原子炉建屋屋内に避難させることで安全性を向上させることができることから, 6号及び7号炉で共用する設計とする。</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所は, 6号及び7号炉で共用することで, 必要な情報(相互のプラント状況, 緊急時対策要員の対応状況等)を共有・考慮しながら, 総合的な管理(事故処置を含む。)を行うことで, 安全性の向上を図ることができることから, 6号及び7号炉で共用する設計とする。免震重要棟内緊急時対策所のために設置する免震重要棟内緊急時対策所遮蔽も同様に6号及び7号炉で共有する設計とする。 なお, 免震重要棟内緊急時対策所は, 他の安全施設を設置する原子炉建屋等とは独立した建屋内に設置することから, 悪影響を及ぼすことはない。 (61-3-4)</p>	② 免震棟削除
136	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.2 (2)	添 3.18-82	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 待機場所の遮蔽及び室内遮蔽は, 6号及び7号炉で共用することで, 対策活動に必要なスペース, 居住性及び通信連絡設備を共有し, 総合的な管理（事故処置を含む）を行うことにより, 安全性の向上を図ることができることから, 6号及び7号炉で共用する設計とする。 (61-3)</p>	—	② (設計進捗による待機場所記載追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
137	3.18.2.3 3.18.2.3. 3 3.18.2.3. 3.2 (3)	添 3.18-82	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 対策本部の遮蔽, 高気密室及び二酸化炭素吸収装置は, 設計基準事故対処設備である6号及び7号炉中央制御室と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 共通要因により同時に機能が損なわれることのない設計とする。 (61-3)</p> <p>5号炉屋外緊急連絡用インターフォンは, 6号及び7号炉の通信連絡設備とは離れた建屋に設置することで, 共通要因によって同時に機能を損なわないよう, 位置的分散を図る設計とする。また, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) とは独立した設備構成とすることで, 共通要因によって同時に機能を損なわない設計とする。 (61-2)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所用遮蔽は, 設計基準事故対処設備である6号炉及び7号中央制御室遮蔽と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 同時に機能が損なわれることのない設計とする。 (61-3-2)</p>	⑤ (記載適正化)
138	3.18.2.3 3.18.2.3. 3 3.18.2.3. 3.2 (3)	添 3.18-83	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の遮蔽及び室内遮蔽は, 設計基準事故対処設備である6号及び7号炉中央制御室と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 共通要因により同時に機能が損なわれることのない設計とする。 (61-3)</p>	—	② (設計進捗による待機場所記載追加)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条(緊急時対策所)
 章/項番号: 3.18.2.3 居住性を確保するための設備

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
139	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3	添 3.18-41	<p>3.18.2.3.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針</p> <p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機及び陽圧化装置(空気ポンペ)は、重大事故等が発生した場合において、対策要員の放射性被ばくを低減及び防止するとともに高気密室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度を活動に支障がない範囲に維持するために必要な換気容量を有する設計とする。可搬型陽圧化空調機の保有数は1台保管することに加え、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップとして1台保有する設計とする。また、陽圧化装置(空気ポンペ)の保有数は132本保管することに加え、必要な余裕を考慮した設計とする。</p> <p>対策本部の差圧計、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び対策本部内の居住環境の基準値を上回る範囲を測定できるものを1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型エリアモニタ(対策本部)は、対策本部内の放射線量の測定が可能な測定範囲を持つものを1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する設計とする。(61-6)</p>	<p>3.18.2.3.5 設置許可基準規則第43条第3項への適合状況</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は、対策要員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる重大事故等時に、免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の機能と併せて、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないようにするために必要な遮蔽厚さを確保可能な設計とする。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は、重大事故等発生時において、免震重要棟内緊急時対策所待避室内に隣接区画から放射性物質が流入することを防止するために必要な隣接区画との差圧を確保するとともに、免震重要棟内緊急時対策所待避室内にとどまる対策要員の窒息を防止可能な換気量を確保可能な設計とする。</p> <p>酸素濃度計、二酸化炭素濃度計及び差圧計は、免震重要棟内緊急時対策所内の居住環境の基準値を上回る範囲を測定できるものを1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を分散して保管する。(61-6-2~4)</p>	<p>② (免震重要棟内緊急時対策所記載削除)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
140	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (1)	添 3.18-41	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 待機場所の可搬型陽圧化空調機及び陽圧化装置(空気ボンベ)は、重大事故等が発生した場合において、対策要員の放射性被ばくを低減及び防止するとともに待機場所内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度を活動に支障がない範囲に維持するために必要な換気容量を有する設計とする。可搬型陽圧化空調機の保有数は2台保管することに加え、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップとして1台保有する設計とする。また、陽圧化装置(空気ボンベ)の保有数は1792本保管することに加え、必要な余裕を考慮した設計とする。</p> <p>待機場所の差圧計，酸素濃度計，二酸化炭素濃度計及び待機場所内の居住環境の基準値を上回る範囲を測定できるものを1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型エリアモニタ（待機場所）は、待機場所内の放射線量の測定が可能な測定範囲を持つものを1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する設計とする。 (61-6)</p>	—	② (免震重要棟内緊急時対策所記載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
141	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (2)	添 3.18-42	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機及び可搬型外気取入送風機との接続口は, 簡便な接続とし一般的な工具で容易かつ確実に接続できる設計とする。</p> <p>酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計, 差圧計及び可搬型エリアモニタは, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 使用のための接続を伴わない設計とする。 陽圧化装置(空気ボンベ)は設置場所及び対策本部での弁の手動操作により速やかに対策本部の高気密室を陽圧化できる設計とする。 (61-4)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)近傍の免震重要棟建屋1階に保管するとともに, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽は免震重要棟建屋1階壁面にて固定可能な設計とすることで操作性を確保する。設置場所である免震重要棟建屋地上1階は, 十分な操作空間を確保する。</p> <p>免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の準備, 起動は, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機を免震重要棟内緊急時対策所(待避室)近傍の免震重要棟建屋地上1階に配置するとともに, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は免震重要棟建屋地上1階現場にて接続可能な設計とすることで操作性を確保する。接続場所である免震重要棟建屋地上1階は, 十分な操作空間を確保する。</p> <p>また, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機の仮設ダクトは人力にて確実に接続作業ができる設計とする。</p> <p>酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 使用のための接続を伴わない設計とする。 (61-3-9)</p>	<p>② (免震重要棟記載削除)</p> <p>⑤ (記載適正化)</p>
142	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (2)	添 3.18-42	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の可搬型陽圧化空調機の接続口は, 簡便な接続とし, 一般的な工具で容易かつ確実に接続できる設計とする。 待機場所の差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 他の設備から独立して単独で使用可能なことにより, 使用のための接続を伴わない設計とする。 (61-4)</p>	—	<p>② (設計進捗による待機場所記載追加)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
143	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (3)	添 3.18-43	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。)に該当しないことから, 対象外とする。</p> <p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタ (待機場所) は, 可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。)に該当しないことから, 対象外とする。</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機, 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る)に該当しないことから, 対象外とする。</p>	<p>② (設計進捗による待機場所記載追加)</p>
144	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (4)	添 3.18-44	<p>a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 5号炉原子炉建屋付属棟内に保管し, 保管場所での操作可能な設計とする。 (61-3)</p>	<p>免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機, 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 6号及び7号炉からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である免震重要棟建屋地上1階及び免震重要棟屋外に保管し, 想定される重大事故等が発生した場合においても使用が可能な設計とする。 また重大事故等において免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機を使用する際には, 免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽による遮蔽効果を見込むことで可搬型陽圧化空調機から受ける被ばくを低減するとともに, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機設置室付近の放射線量を確認し, 必要に応じ接近制限を行うことで対策要員を不要な被ばくから防護する。 (61-3-2, 9)</p>	<p>② (免震重要棟記載削除)</p>
145	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (4)	添 3.18-44	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置 (空気ポンペ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 保管場所で操作可能な設計とする。 (61-3)</p>	—	<p>② (設計進捗による待機場所記載追加)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
146	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (5)	添 3.18-45	a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機, 陽圧化装置(空気ポンベ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタ(対策本部)は, 風(台風), 竜巻, 低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象, 火災・爆発(森林火災, 近隣工場等の火災・爆発, 航空機墜落火災), 有毒ガス, 船舶の衝突及び電磁的障害に対して, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟内に保管する設計とする。 (61-3)	免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機, 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 風(台風), 竜巻, 低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象, 火災・爆発(森林火災, 近隣工場等の火災・爆発, 航空機墜落火災), 有毒ガス, 船舶の衝突及び電磁的障害に対して, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた免震重要棟建屋内1階に保管する。また予備機は同じ免震重要棟内の位置的に分散した別室に保管する。 (61-3-7, 9, 10)	② (免震重要棟記載削除)
147	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (5)	添 3.18-45	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 待機場所の可搬型陽圧化空調機, 陽圧化装置(空気ポンベ), 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタ(待機場所)は, 風(台風), 竜巻, 低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象, 火災・爆発(森林火災, 近隣工場等の火災・爆発, 航空機墜落火災), 有毒ガス, 船舶の衝突及び電磁的障害に対して, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟内に保管する設計とする。 (61-3)	—	② (設計進捗による待機場所記載追加)
148	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (6)	添 3.18-46	a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機は, 保管場所及び使用場所が対策本部近傍のため, 重大事故等が発生した場合においても確実なアクセスが可能な設計とする。	—	⑤ (記載の適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
149	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (6)	添 3.18-46	陽圧化装置（空気ボンベ）は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟内に保管することで確実なアクセスが可能な設計とする。	免震重要棟内緊急時対策所（待避室）遮蔽、可搬型陽圧化空調機、酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は、自然現象として考慮する津波、風（台風）、竜巻、低温（凍結）、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発（森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災）、有毒ガスに対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた免震重要棟建屋内に保管する設計とする。 (61-3-25)	② (免震重要棟 記載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
150	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (6)	添 3.18-46	差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 保管場所及び使用場所が対策本部内であるため, 重大事故等が発生した場合においても確実なアクセスが可能な設計とする。 (61-3)	—	⑤ (記載の適正化)
151	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (6)	添 3.18-46	b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 待機場所の可搬型陽圧化空調機は, 保管場所及び使用場所が待機場所近傍のため, 重大事故等が発生した場合においても確実なアクセスが可能な設計とする。 陽圧化装置(空気ポンペ)は, 自然現象として考慮する津波, 風(台風), 竜巻, 低温(凍結), 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発(森林火災, 近隣工場等の火災・爆発, 航空機墜落火災), 有毒ガス, 船舶の衝突及び電磁的障害に対して, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟内に保管することで確実なアクセスが可能な設計とする。 差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 保管場所は対策本部で使用場所が待機場所内であるため, 重大事故等が発生した場合においても確実なアクセスが可能な設計とする。 (61-3)	—	② (設計進捗による待機場所記載追加)
152	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (7)	添 3.18-47	a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 対策本部の可搬型陽圧化空調機, 可搬型外気取入送風機及び陽圧化装置(空気ポンペ)は, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟内に保管するとともに, 設計基準対象施設である6号及び7号炉中央制御室換気空調設備と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 同時に機能が損なわれることのない設計とする。 対策本部の差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋付属棟に保管する設計とする。 (61-3)	免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽, 免震重要棟内緊急時対策所可搬型陽圧化空調機は, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた免震重要棟建屋内に保管するとともに, 設計基準対象施設である6号炉及び7号中央制御室換気空調設備と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 同時に機能が損なわれることのない設計とする。 酸素濃度計及び二酸化炭素濃度計は, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた免震重要棟内に保管する設計とする。 (61-3-2)	② (免震重要棟記載削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
153	3.18.2.3 3.18.2.3.3 3.18.2.3.3.3 (7)	添 3.18-47	<p>b) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 待機場所の陽圧化装置 (空気ボンベ) は, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋内に保管するとともに, 設計基準対象施設である6号及び7号炉中央制御室換気空調設備と100m以上の離隔距離を確保した位置的分散を図り, 同時に機能が損なわれることのない設計とする。</p> <p>待機場所の差圧計, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計及び可搬型エリアモニタは, 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた5号炉原子炉建屋内に保管する設計とする。</p>	-	② (設計進捗による待機場所記載追加)